

# 北信高体連のあゆみ



## 発刊のことば

北信高等学校体育連盟

会長 福田 芳 典

庭先には深い碧さを湛えた「龍の玉」が雪間に小さな顔を覗かせ、早春の到来を思わせるこのごろです。

数年来の懸案であり、地道な努力が重ねられてきました『北信高体連のあゆみ』の編集がめでたく完了し、ここに発刊の運びとなりましたことを、皆様とともに心より慶び合いたいと存じます。特に、戦後の激動期、組織と良い資料と良い整備されていなかった頃の記録の収集や整理など、この編集にたずさわってこられた北信高体連調査研究委員の先生方のご苦勞には深く感謝申し上げる次第であります。

北信高等学校体育連盟の歴史は、詳しくは「沿革」の中に記されておりますが、昭和22年、長野県学校体育連盟北信支部として呱呱の声をあげ、昭和24年に今の名称に改称されました。その間、年とともに活動内容が充実し、隆盛発展してまいりました。「北信高体連のあゆみ」はその活躍ぶりを具体的に記していますが、更に今年度は「空手」と「ラグビー」の2つの専門部の加盟が実現し、23の専門部となり一層の充実をみました。

今年度は特に鳥取国体において北信高体連所属の少年女子体操チームが優勝いたしました。また、金沢市でのインターハイには、男子800米で優勝、ハンマー投げで大会初の6位入賞（国体3位）など数々の輝かしい成果を収めました。それにつけましても、選手を励まし鍛え導いて下さった指導者の先生方に深甚なる敬意を表するものであります。

『わが青春のサッカー』（堀江忠男）に「これだけの苦しみに耐えて練習し、ゲームをすること、その苦しみのうちに、目標を見定め、それを実現してゆく喜びを味わうことは、それだけでももちろん意義がある。（略）苦しみを通しての喜びというサッカーでの体験は、君たちの勉強にも将来の仕事にも必ず役立つ」といっています。また、スポーツは「人生修業」の大切な一つだともいっています。

「いまやらねばいつできる わしがやらねばだれがやる」と百歳になったとき、平櫛田中氏は色紙に書いたそうですが、この気魄と意気込みで頑張った選手と指導された先生方の汗と涙の貴重な記録が本書の中味だと思います。ひとつひとつの記録を敬虔な気持ちで読み進め、今後の精進の糧にさせていただければ大変有難いと存じます。

終りに、貴重な記録や資料を提供して下さいました、各方面の方々ならびに、今日まで、陰に陽にご指導賜りました先輩各位、特に県高体連の関係各位に厚く御礼申し上げ、更に、北信高体連の益々の発展を祈念いたし、ここに発刊のことばといたします。

## 発刊のことば



北信高等学校体育連盟

理事長 玉井重遠

昭和22年、長野県学校体育連盟北信支部として誕生した体育連盟は、24年その名称を北信高等学校体育連盟とし、以来、多くの先輩各位のご努力と数々の業績の中で、事務局の輪番制という新しい方向が打出され、私共篠ノ井高校がその事務局をお引受けしたこの年に、先人の築いた栄光と苦難の歴史を顧み、更に新しい発展を目指して、ここに記念誌が発刊されることになりました事は、何にもたえようのない喜びであります。

北信高体連は過去幾多の問題を克服しながら、北信高校体育はもちろん長野県体育界の中枢として活躍し、高校教育に果たした功績は極めて多大であり、これまでご指導賜りました歴代高体連会長、理事長をはじめとして多くの先輩諸兄の苦闘とたゆまざるご努力に深甚なる敬意と謝意を表するものであります。

さて、今日の科学技術の進歩は、社会環境や生活様式を大きく変えて参りました。このような中で私共の生活が機械化され、画一化されてきますと、機械にたよって何かをするといった機械への依頼心が生まれます。「物に頼って生活する」、といった依頼心の中では、純粹で美しい心を見失ない、自分としての自由と創造を忘れてしまいます。こうした生活を打開する為には、身体(体育、スポーツ)を通し、手にマメし額に汗した精神的苦痛と身体的な苦しみの生活に喜びと満足感を求め、その中に人間本来の喜びを発見すること以外に道はありません。この意味で、知・徳・体の調和のとれた人間形成の上からも体育教育が大切でありまた高体連の果たす役割が如何に重要かを痛感せずにはいられません。

本年も県大会、全国高校総体において北信勢の活躍は目をみはるものがありました。これも先生方の「一日不作、一日不食」の厳しい姿勢の賜ものと存じます。私共もこのことを肝に命じ「人の過ちを見る勿れ、人の作さざるを責むる勿れ、己が今、何を、如何に作せしかを自から問うべし」を胸に、決意新たに事務局員一丸となってその使命を全うして参りたいと存じますので、より一層のご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

最後になりましたが、この記念誌が皆様方の明日への糧となり、エネルギーとなることを祈願するとともに、発刊にご苦勞いただきました調査研究委員の先生方に深く感謝申し上げます。発刊のことばといたします。



## 発刊を祝って

長野県高等学校体育連盟

会長 平 松 剛

春の気配が近づく中、山岸重夫・宮坂正篤・塚田修三歴代各委員長采配の御苦勞が積み重ねられた念願の「北信高体連のあゆみ」が、ここに発刊の時を迎えました。心よりお祝いを申しあげて、その喜びをともにしたいと存じます。

「長野県スポーツ史」（昭和54年刊）にも「昭和24年、長野県高等学校体育連盟が結成され、県下の各高等学校はこれに加盟して、対外競技に参加した。……」とあります。北信高体連も、東・中・南信各地の高体連ともども、県高体連を形づくる連合体の一組織として昭和24年に元気に呱呱（ここ）の声をあげ、以来星霜37年。油の乗りきった少壮気鋭の働き盛りの年頃を、今迎えている訳です。己れの今まで歩んで来た道をふり返って一つの思い出のよすがとし、また新しい前進への糧とするためにも、恰好（かっこう）の記録であり時宜を得た出刊と申せましょう。

上梓に到るまでの諸資料の収集に伴う労苦は言うに及ばず、その整理、編集作業の御苦勞も、さこそであったと察せられます。収集に惜しめない力を貸して下さった関係各位や、直接整理、編集に力を注がれた関係者の方々に敬意を表させて頂き、ここに集められ載せられた諸記録の紙背に、にじんんでいるその祈々の選手や補助員として活躍した生徒諸子とその指導育成に精根を尽された関係各位の、限りない努力の汗に思いを致し、現在、公私立33校・28157名を擁する地区高体連の雄、北信高体連が、県高体連に寄せてくださっている平素の御協力に感謝を申しあげ、さらにその今後の弥栄（いやさか）を祈念して、この「北信高体連のあゆみ」発刊へのお祝いの言葉と致します。



## 発 刊 を 祝 し て

北 信 高 等 学 校 長 会

会 長 小 林 元 亨

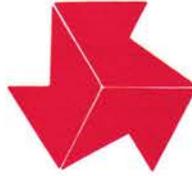
このたび、北信高等学校体育連盟の役員はじめ関係者各位の長い間のご努力が実って、『北信高体連のあゆみ』が発刊されましたことは、誠に慶賀の至りであり、心からお祝い申し上げます。

この書は、連盟発足以来37年間の学校体育・スポーツ活動に活躍した生徒たち、先生方の栄光と共闘の歴史をつづったものであり、これを後世に伝えることは、後につづく者に、「学校体育・スポーツ活動とは何か」を実践的に教えることになり、さらにそれを通して、「人間とは何か」「人生とは何か」を考えさせることとなるでしょう。その意味で、この書の発刊は、北信高等学校体育連盟の記念すべき大事業であるというにとどまらず、高等学校教育全般にとっても極めて大きな教育的意義を持つ快挙といふべきであります。ここに、関係者各位のご熱意とご苦勞に対し、深く敬意と感謝の意を捧げる次第であります。

学校教育の目的は、いうまでもなく、人格の完成に努力するとともに、平和的な国家・社会の文化の創造と発展に貢献する人間を育成するところにあります。そのためには、知育と体育とをいわば車の両輪とし、徳育を御者とするような教育、すなわち全人教育が施されなければなりません。古代から現代までの教育を見ると、文化を興した民族はみな知育とともに体育を重んじてきました。古代ギリシアの文化国家アテネが、単にギリシア全土の学問・道徳・芸術のメッカとなったのみならず、オリンピック競技を国家行事として催したのも、人格の育成は全人教育によるべきだとしたからでありましょう。このギリシア人によって培われた文化と教育の種子は、ルネサンス時代に大きな花を咲かせ、「万能の天才たれ」という言葉は全人教育の合言葉となって、西欧教育の今日を築いてきました。東洋でも同様に、「文武両道」が教育の合言葉になっています。われわれの目指すところも、そこにあります。しかし、ますます機械化する昨今の教育状況下では、問題なしとしません。万能ないし両道を目指す生徒たちの気概に、一層の野性的な強烈さを期待すること切なるものがあります。

この時に発刊された本書が、この全人教育を進める学校体育・スポーツ活動をさらに振興し、北信高等学校体育連盟を発展させる活力となることを祈念して、祝辞といたします。

# 高体連マーク



**由来** このマークは全国高体連（昭和30年）が発足して間もなく考案された。  
 若人の力（**K**räft），技（**K**unst），明朗（**K**larheit）の頭文字の3つの**K**を  
 組合わせて作ったもので、真紅の色彩は高い理想、燃える希望、ほとぼしる熱情を  
 示したと言われている。

## 高体連の歌

増田文雄 作詞  
 小松 清 作曲

あけゆくおおそらあかねのあさの空  
 おぐこころはさやかにほれど  
 ちにかたくすみーなえゆく  
 のちはつらつ（女声）あがる  
 とちよいぎつどいなん  
 こらたいれんこらたいれんわれらわかし

一、あけゆく 大空  
 あかねの 朝の陽

仰ぐ心は さやかに晴れて  
 ともに肩組み 鍛えゆく  
 生命はつらつ 意気あがる  
 友よいぎつどいなん

高体連 高体連 われら若し

二、さみどり萌えたつ  
 希望の この土

しかと踏みしめ 大気に伸ばす  
 この手 この脚躍進の  
 ちから 溢れて血はおどる  
 友よいぎつどいなん

高体連 高体連 われら若し

三、世紀のひかりは  
 野山に 波路に

うた声たかく こだまとひびき  
 たゆまぬ努力 技を練る  
 行手ほまれの花かおる  
 友よいぎつどいなん

高体連 高体連 われら若し

（昭和三十二年七月十五日制定）

# 賞状の変遷



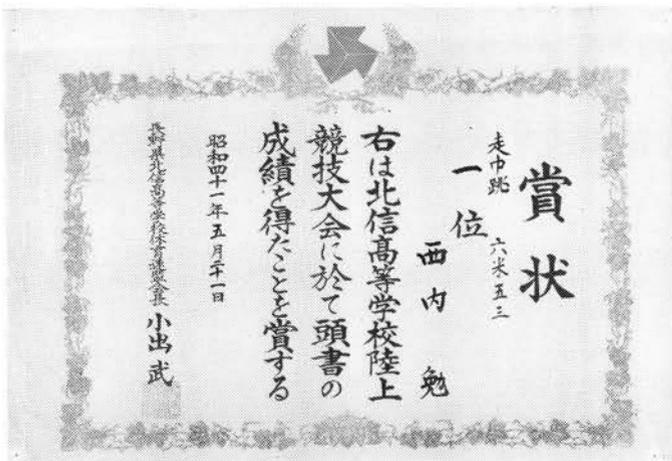
昭和 20 年代



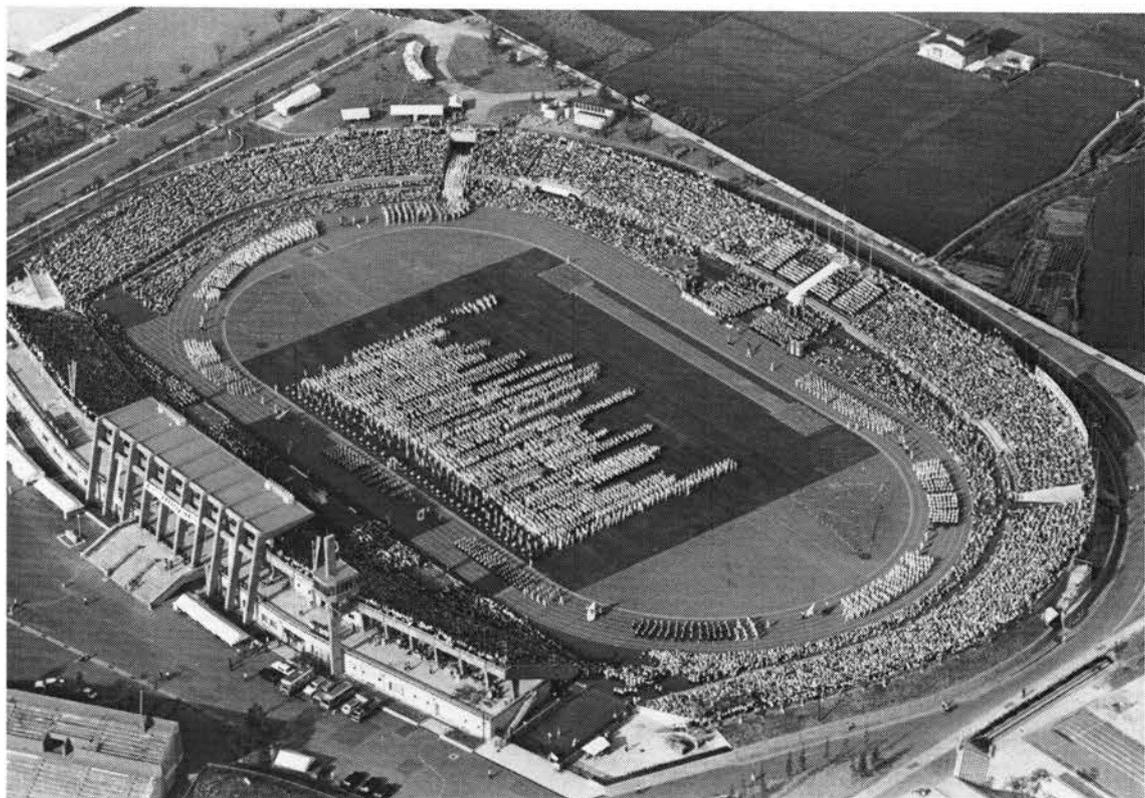
昭和 30 年代



昭和 50 年代



昭和 40 年代



51 全国高校総体総合開会式会場 長野市運動公園陸上競技場



51 全国高校総体総合開会式 長野県選手団の入場行進



38 全国高校東西対抗 (長居)

走高跳優勝 1m89  
 全国高校総体 (新潟)  
 走高跳準優勝 1 m 85  
 浦野 義 忠 (長野吉田)



43 全国高校総体 (広島)  
 100 m 優勝 12秒 2  
 村 沢 順 子 (長野西)



49 全国高校総体 (久留米)  
 準優勝 47m96  
 50 全国高校総体 (東京) 優勝 52m02  
 50 国体 (三重) 優勝 51m86  
 円盤投 上月 正 彦 (長野中央)



46 全国高校総体 (鳴門)  
 800 m 準優勝 2分 22秒 7  
 藤 倉 住 江 (長野西)



60 全国高校総体 (金沢)  
 800 m 優勝 1分 53秒 17  
 中 村 恵 一 郎 (篠ノ井)



体操 60 国体 (鳥取) 個人総合優勝  
内藤いずみ (長野南)



体操 60 国体 (鳥取) 団体優勝チーム



バスケットボール 56 全国高校総体 (川崎) ベスト8  
長野吉田



バスケットボール アジア大会 (イラン)  
優勝 女子世界選手権 (コロンビア) 2位  
モントリオールオリンピック 5位  
53 国体 (長野) 2位 (選手宣誓)  
青沼令子 (長野清泉)



バスケットボール 39 全国高校総体 (静岡) ベスト8 長野西



51' 全国高校総体(長野) 柔道団体5位 中野実業



45 国体(岩手) バレーボール5位 長野吉田



51 全国高校総体(福井) 剣道女子団体5位 飯山北



50 全国高校総体(石川) 軟式庭球5位 丸山・青沼(長野西)



57 全国高校総体(鹿児島)  
登山女子・最優秀校 長野西



53 国体(長野)飛び板飛び込み  
3位 成田年幸(長野)



53 全国高校総体(宮城)弓道 3位  
長野中央



51 全国高校総体(富山)  
ハンドボール 5位 屋代



53 国体(長野)  
ホッケー 女子 4位 中条





27 全国高校総体（水上） スキー総合優勝 下高井農林



40 全国高校総体  
（秋田県・花輪）

スキー競技会  
男子総合 - 飯山北  
女子総合 - 飯山南  
のアベック優勝



40 全国高校総体（花輪）  
男子リレー優勝 飯山照丘

# 北信高体連のあゆみ

(表紙題字 福田芳典会長)

## も く じ

発刊のことば	北信高等学校体育連盟会長	福田芳典	.....	I
発刊のことば	北信高等学校体育連盟理事長	玉井重遠	.....	II
祝 辞	長野県高等学校体育連盟会長	平松剛	.....	III
祝 辞	北信高等学校長会会長	小林元亨	.....	IV
高体連マーク，高体連の歌	.....			V
グラビア 賞状の変遷	各種目活躍の選手・チーム			..... VI

---

発刊に寄せて	.....	1
歴代会長，理事長在任期間の思い出		
北信高体連のあゆみ	.....	11
北信高等学校体育連盟の沿革と経過の概要		
年次別役員一覧表，年次別専門委員長一覧表		
会員数分担金の変遷，北信高体連の新旧規約		
専門部のあゆみ	.....	21
23 専門部の小史と記録		
51 全国高校総体の思い出	.....	153
53 長野国体と北信高体連	.....	167
北信高体連加盟校の横顔	.....	175
あとがき	.....	194

# 発刊に寄せて

歴代会長・理事長在任期間回顧

### 歴代会長

塚田隆雄	.....	3
久保田文雄	.....	3
中村優造	.....	4
佐藤穂次	.....	4
栗田寛	.....	5
北川原平造	.....	6
高野禎二	.....	6
平松剛	.....	7

### 歴代理事長

北沢生吉	.....	8
丸山保彦	.....	8
宮本迪彦	.....	9
渡辺伊八	.....	9



## 北信高体連の思い出

塚 田 隆 雄  
(2代会長 昭和32年～昭和33年)

終戦前後のことは今から思い出しても、まことに今昔の感に堪えないが、まづ昭和17年7月には全国中等学校野球大会が中止され、18年12月にはストライクは「よし1本」アウトは「ひけ」と改められた。19年春頃から勤労奉仕、工場動員つづいて学校工場、20年4月1日から決戦教育措置法で一年間授業停止、学校の機能は全く止ってしまった。

戦後21年1月修身、日本史、地理は授業停止、武道も軍国主義的であるとして停止。しかし21年7月にはスポーツとして再出発、禁止された教科も10月復活した。21年9月戦後初めて県主催で体育大会が松本で開かれたが、参加したのは野球を除く球技が主なもののようであった。この頃から漸くスポーツも復旧の途についたが、何分にも施設も用具も不十分、まずこれが整備から始めなければならないような状態であった。戦時中食糧増産に転用された運動場の整備も、生徒が用具を持ちよってやるというような有様、運動用具も先輩の家をかけずり廻って貰って歩く、こっそり隠しておいた防具をもち出してくる。古道具屋、物物交換所といったところをあさりまわる。遠征の時などは食糧炊事用具には炭まで持参で学校に泊めて貰うという状況であった。23年高等学校発足、同年6月全国高体連結成、24年4月県高体連、つづいて北信が結成された。25年10月13日武道は漸く課外活動として承認、同年12月13日公安委員会協議会主催で県下青年柔道大会が長野市栗田の警察学校で開かれる日を見るようになった。

こうして23年から終戦後虚脱状態から脱出した体育界も段々活気を取り戻し、各学校の運動施設も整備され体育館も近代的に再建されるものが多くなり、29年頃からは殆んどどの学校に出来るようになり、一方公営の施設も立派なものが各所に造られて戦前を凌ぐ姿となったことは、慶賀に堪えない次第である。



## 北信高体連の思い出

久 保 田 文 雄  
(5代会長 昭和38年～昭和39年)

北信高等学校体育連盟発足以来今日に至る歩みについて、編集されるとのことので私の会長在任中の感想を書くよう求められました。私は長野商業高校長在職中北信高体連会長をやり、併せて長野県高体連の会長を仰せつかった次第であります。何分にも在任2年の短期間であり、然も不馴れな任務だったので当時長商在職中の丸山保彦理事長を中心とした役員各位に専門的事務的な仕事を一切お任せして事に当たった次第であります。第一線を引退した今日日に18年の歳月を経過しており手元に資料を欠き当時の感想も生々しく浮んでこないで、言わば抽象的な月並な感想にとどまらざるを得ないことをご察願したいと思います。兎角、専門的事務的な仕事を担当した役員各位が連盟の運営のため誠心誠意事にあたり実行力を発揮し、生徒も真面目に熱心に参加しスムーズに運営出来たことが強く印象に残っています。具体的な実体に関しては当時の役員各位から夫々感想を述べられることからお察し願いたいと思います。北信高体連の今後一層の充実発展を心からお祈りする次第であります。



## 北信高体連の思い出

中 村 優 造  
(7代会長 昭和43年～昭和44年)

北信高体連の会長を私が勤めたのは昭和43・44年度でしたか。長野高校が理事長校となったためそういうことになった訳です。とにかく、10数年も前のことですから記憶も不確実なので、古い教務手帳や日誌などを引っ張り出したのですが、記録もあまり無いようです。ただ、何回か大会のための企画の会議に出席したり、また、大会中あちらこちらの会場に、選手諸君への激励と会場校へのお礼を兼ねて、参上したことは憶えております。非常に心配したような事故はありませんでした。つまり「北信高体連の世界は平和であった」ことになりましたでしょうか。

併し、実際は台所を預った理事校および関係の先生は大変だったのです。理事長の宮崎荘造先生には一番ご苦勞をおかけしたと思います。また、体育の先生、他教科でも高体連関係のそれぞれの先生の裏方としてのご努力には本当に感謝申し上げます。

大会では選手諸君は精一杯自分の力を出して活躍するのですが、考えてみれば、これもその人ひとりの力ではなくかけの力の役目をしている先生方が多数居られることは忘れられません。

今では私は「北信高体連は平和だった」などと呑気なことを言っていますが、その「平和」のかけには数多くの「緑の下の力もち」があった訳です。そして高体連にかぎらず、「学校」とは「教師と生徒」とは、そのようなものであることを改めて痛感しております。



## 北信高体連の思い出

佐 藤 穂 次  
(9代会長 昭和49年～昭和51年)

昭和49年4月、4年振りに学校に戻った私に、縁あって高体連の仕事が廻ってきました。時たまたま、前会長中村先生のたいへんなお骨折で、昭和51年度全国高等学校総合体育大会が、本県を中心として、北信越地区で開催することが内定しており、しかも、主会場は長野市ということで、県高体連として担当する事業とはいえ、地元である北信高体連には必然的に大会開催のための重い荷が課せられていたわけでありました。平常業務は、専ら理事長を中心として運営され、その上、大会開催のために設けられた三特別委員会の委員長をはじめ、実施のための各ポストにも北信地区からそれぞれ人を得て、本県らしいさわやかな大会をと、創造の意欲に燃えて、真剣な取り組みを進めたわけでありました。以来2年半、大会開催の日まで、大会を成功に導くために、高体連の発展のためにと、休日を返上し、時間を超越して頑張り抜いていただいた先生方の献身的な活動に対して今なお敬服の念を禁じ得ません。また、高体連の活動は、生徒が主役であり、全校挙げて取り組むのが本来の姿であるとして、推進委員会が結成され、各方面に亘って幅広く協力がなされたことも、大会成功のためには申すまでもなく、高体連発展の礎をいっそう強固にしたものと信じています。ここでも委員長はじめそれぞれ人を得て推進され立派な成果を挙げられたことはほんとうにありがたい思い出であります。

在任した時期の関係上、総体のことのみを終始してしまいましたが、今、往時を振り返って、心に強

く残っていることは、何と言っても、素晴らしい人間関係の中で、3年間に亘り、ほんとうに充実した日々を与えられたしあわせに対する感謝と、事に当っての和の重要性、裏方の尊さを改めて教えられたことであります。

最後に、今日も、大会目指して精進を続ける大勢の若人たちの栄光と、北信高体連のいよいよの発展を祈ってやみません。



## 北信高体連の思い出

栗 田 寛  
(11代会長 昭和53年～昭和54年)

会長をお引受けした昭和53年は、いわゆる「やまびこ国体」開催の年にあたっていました。

2年前、51総体が本県を中心に行われたばかりで、高体連としては、その大行事を立派な成果を収めて成し遂げ、感激もさめやらぬまま国体の年を迎え、国体成功の支えとしての期待にこたえて、全面的協力体制をもって臨むべく、その気運が高まっている時でした。

高校総体も済んで国体（秋季大会）は松本が主会場になることから、県高体連事務局は中信に移すことを予定していたころ、中信の事情で実現できぬまま引きつづいて北信でやることになってしまい、北信事務局（吉田高）と県事務局（長野西高）の二本建てで会長は双方を兼ねるという形になり、仕事が山積する中で、渡辺理事長さんはじめ事務局の先生方には大変不便をかける状況になりました。高体連本来の事業に加えて、国体への協力参加という大仕事が負いかぶさって大変なことは、予想していたことでしたが、総体につぐ国体へと、体育に対する関心、スポーツ熱の高まる中で、競技種目がふえ参加者も増して、平常事業それ自体も拡大し、大会の日程を組み会場確保もままならず、大会をこなすのがひと苦勞。その上に国体本番が近づくとつれて、慌しさがますます加わり、忙しいことになりました。国体は冬（スキーで前年度開催）夏（水泳）は当北信地区、秋季大会は開閉会式は松本で行われましたが、バスケット、卓球、体操、ハンドボール、剣道など九種目が北信地区内各地で開催され、役員として、また集団演技として、各学校の職員生徒諸君が積極的に参加し、大会の運営に協力し、また大会に光彩をそえ、国体成功の支えとなっていただけのこと、大いに心強くうれしく感じた次第です。

かくて国体も、多くの感動と成果を残して幕を閉じましたが、高体連にとってはもう一つの大事業が待っていました。53年度全国高校総体冬季大会（スケート競技）を本県（軽井沢）で開催することになっており、すでに準備を進めていたわけですが、国体が終ると息つくひまもなく、本番への取り組みになりました。これも多くの方がたの理解と力添えをいただき、盛会裡に終了できましたが、こんなわけでもなくとも53年度は、いわば大変な年であり、それだけに充実した年でした。高体連30余年の歩みの中でも心に残る年であったと思います。関係の先生方と共に苦勞したことがなつかしく思い出されます。

明けて54年度は51～53の嵐の去った後、県高体連も北信を離れて松本に移ったので、ようやく平常ペースに戻り、総体、国体の経験を教訓を生かし、高校体育、スポーツの充実振興を期して地道な前進を図って行くことになりました。何分にも力及ばず、充分なこともし得ませんでした。今にして思えばたのしい2年間でした。30有余年の歩みをふまえ、北信高体連の一層の発展を祈念いたします。



## さわやかな印象

北川原平造  
(12代会長 昭和55年)

会長をお引受けしたのは、昭和55年度の1年間だけで、印象の浅いものようですが、しかし長い教育生活のなかで、まことにさわやかな思い出となっております。事務局がずっと吉田高校にあって、吉田着任以来、高体連は身近かに感じておりました。県事務局の問題にからんで、何かと多忙な時でした。また、高体連の組織が充実拡張されてきて、地区の諸大会を挙げるにも、従来にくらべて飛躍的に大がかりとなって、これは高体連にとって喜ぶべきことであるが役員や事務局の先生方のご苦労は大変なものであると、しみじみ感じておりました。

全国総体や国体のあとでただけに、その盛りあがり維持強化していく努力と一方では、組織等の整備にも迫られて、関係者の苦心は並々ならぬものだったわけです。教育の立場から体育の充実とスポーツの興隆に対して、行政の側からの施策は必ずしも関係者の意に沿うものでなかった。渡辺理事長と松本県ヶ丘へ頭の痛い会合に何度通ったことか。大きな課題をかかえたなかを、退職したので心残りのことが多かったが、しかし関係者の皆さんが力強く高体連を盛りたてておられる様子に、たのもしさを限りなく覚えております。言うまでもないことですが、今日の高校教育のなかで、体育、スポーツの占める比重はいよいよ増大するわけで、これからの青少年の育成を背負うのは、体育関係の先生方だという使命感に燃えて、自信を深めてお願いしたいと切望いたします。



## 北信高体連の思い出

高野 禎 二  
(13代会長 昭和56年～昭和57年)

会長当時の思い出をとのことですが、私のような全くの素人が、北信高体連の会長という重職をつとめることになったのは、56年4月縁あって長野吉田高校に勤務を命ぜられ、前会長の残任期間を引き継いだことに始まります。そして、なんとかその職を全うすることが出来たのは、渡辺理事長はじめ体育科の先生方や、北信地区の高体連関係各位の強力な御助力をいただけたお陰であり、心から感謝している次第です。

ところで、北信地区の会長は県高体連の副会長を兼ね、県連盟の常任理事会等に出席するわけであり、56年秋頃の常任理事会に県事務局を来年度北信地区に移したいという議題が提案され、今回もまた、過去における事務局異動の都度難航したと同じように、時期尚早とか、受け入れ態勢が出来ていないなどの理由で、ボールを投げたが投げ返されるということが繰り返され、57年度は事務局異動についての研究期間として種々検討され、基本的なルールが確立されたことは特筆すべきことでありましょう。従来は会議の開催の便その他の都合により、長野市内と松本市内の学校で適当期間交互に分担し、高体連の発展に寄与してきたわけでありましたが、たしかに地区にしろ県にしろ事務局を引き受けるということは、その学校の本務を遂行しながら、更に地区または県全体の体育振興のために奉仕することであり、校内の体育科ばかりでなく、学校全体の協力態勢の確立が必要です。しかも時代の進展にともない、競技種目も増加し、事務量も増え、53長野国体を機に事務局要員として、県事務局に定数1、各地区事務

局に0.5の常勤職員が、県教委体育課の予算で配当されましたが、57年以降地区事務局は全員非常勤となり、一步後退を余儀無くされていることは残念であり、体育振興と高体連発展のため、今後県教委当局的格段のご高配をお願いしたいものである。



## 北信高体連のより弥栄を

平 松 剛

(14代会長 昭和58年～昭和59年)

「逝く者は斯くの如き夫(かな)、昼食夜を舍(お)かず」昭和52年度以来担当した吉田高校より篠ノ井高校に事務局を引き受けて頂いてから既に9か月近くが経過。うたた時間の流れを感じます。

すばらしい会長先生のあとを受けて58・59年度の会長役を勤めさせて頂きました。思いつくままに兩年度内の主な事項を書き並べて責めをふさぐこととなります。

昭和58年度は、北信高体連としての「傷害見舞金規定」について検討、その成立(59・4・17の評議員会)を見ました。地区としては北信だけが持っているもので既に運用されている訳ですが、少しでもお役に立てば結構なことです。この年は調査研究委員会(宮坂正篤委員長)が引き続き「北信高体連史」の編集に取り組み、7回も会議が重ねられ、翌年に引き継がれました。また新加盟校として長野南高校を仲間に加え、加盟校32・生徒数26,996名を誇るに至りました。県下4地区内でも最大の組織を抱える事務局、その懸案の移転問題も何度か議題になり、そのためだけの臨時理事会が3回も持たれました。慎重な意見交換の中で、移転にかかる基本事項の合意承認がなされ(59・3・24)、その具体的つめは翌年度に持ち越されることになりました。

昭和59年度は、新加盟校として中野西高校が加わり、33校27,518人という地区中最大を誇る北信高体連としての運営活躍がなされました。大会運営一つを例にとっても大変なことです。各専門委員長、委員さん始め役員や関係各位の御苦勞が今更のように偲ばれます。この年調査研究委員会(塚田修三委員長)は10回の編集会議を重ね60年度引き続き活動、今ここにその花を見事に咲かせました。委員長・委員さん、それに力を借して下さった関係皆さん方の御苦勞大変だったと存じます。御祝と御礼を申し上げます。事務局移転についても、前年度決定の移転基本事項に沿ってやや曲折はみたものの結局、北信高校長会を始め関係各位の御力添えの中「生徒達のため」という大乗の見地から篠ノ井高の校長先生(現福田芳典会長)、体育科の先生方中心の御理解協力のもと、吉田高より篠ノ井高へ事務局の引き継ぎがなされました(60・3・26)。

顧みれば自責の念を覚えるのみの2年間、御指導御協力を惜しみなく頂いた関係各位に改めて御礼を申し上げ、福田会長、玉井理事長さんのもと、事務局の立派な采配によって参加校33、生徒数約2万8千を擁する我等が北信高体連が、いよいよ発展を続けることを祈りたい気持で一杯です。数の多きのみを以て貴しとせず。紙数が尽きました。意あって言葉足らず、不尽のまま。



## 北信高体連の思い出

北 沢 生 吾  
(2代理事長 昭和32年～昭和33年)

あの頃の大会場の殆んどは、現在のように整備されていない狭い体育館、運動場等のため、どの種目をどこで開催するか、その会場決定には種々問題となりましたが、決定後は各方面の各位のご協力で順調に開催されたこと、各校各人分担金等、増額が問題となりましたが、なんとか解決していただいたこと、事務担当体育科の各位には、特に大会開催前後には、多忙となるにも拘らず、万障繰り合わせてその処置に当たっていただいたこと、等々自分は微力だったが、各方面よりの力強いお力添えでその任を果させていただいたことが、今更のように偲ばれ深く感謝し、北信高連の今後ますます発展されますよう祈念申し上げます。



## 理事長時代の思い出

丸 山 保 彦  
(3代理事長 昭和34年～昭和39年)  
(10代会長 昭和52年)

今回、調査研究部から在任当時の思い出を書くようにとの御指示がありましたので、理事長をお受けした当時を回顧して二・三お話をしてみたいと存じます。

(1) 北信高体連事務局は当時、長野工業高校にありましたので、34年度総会が同校で開催された。吾々は当然、会長、理事長の留任を予想して出席したが、案に相違して事務局校として長野商業高校が決定された。会長は更級校長が引受けられたが、理事長として丸山とのこと、全く突然であり、校内事情もあってその席で受けられず、いつれ会長が後日紙上で発表するという事で総会は了承して閉会となった。校内事情というのは、新学期が発足して担任が発表され、同僚に推されて分不相応にも学年主任を引受けた3週間後のことであった。学校長、体育科、学年会の理解と御協力を支えにして引受けたもの大変であった。翌月から北信地区大会、翌々月は県大会、つづいてインターハイのための全国会議、その間に学年会、担任意務、授業にと完全にグロッキーになってしまった。当時の持時間は24時間だったと記憶している。学校泊込みの日がつづき、原紙切り、印刷に追われ朝方就寝したこともしばしばであった。

こんな状態で、県、北信の理事長がよく勤まったものだと不思議な気がするが、それは和、同様の持時間をかかえながら休憩時間、空時間、放課後暗くなるまで、それこそ寸暇を割いて御協力いただいた内外の先輩、同僚の先生方がおられたればこそと、今更ながら只々頭の下がる想いで一杯である。

(2) 翌35年、県教委は事務局校(県、北信兼)に0.5の人事配当をしてくれた。これが高体連事務局校への人事配当の嚆矢であった。もちろん体育科全体で祝盃をあげました。

(3) 翌36年、新田稔会長と参加種目、参加チーム数増加策により、分担金を値上げせざるを得なくなり何回も計算して1人当たり2円の値上げと総会に上程して認めてもらったものも忘れられない一つである。

今、回顧すれば、20年前のことなのに正に隔世の感がする次第であります。



## 51 高校総体の思い出

宮 本 廸 彦  
(5代理事長 昭和47年～昭和51年)

事務局より在任中の思い出と題した原稿の依頼を拜見し、在任中の当時を回顧いたしますと、私にとっては51総体がすべてであります。

昭和47年北信高体連理事長に就任の際には、総体開催県が近づきつつあることも念頭もなく、7月山形インターハイに出発いたしました。宿舎に到着後「51総体北信越に決定」との第一報が入り、「自然と友情と躍進」の51総体の出発点となりました。引き続き9月には主会場も長野県とするとの北信越高体連理事会の決定までなされました。

当時長野県には、総合開会式の実施可能陸上競技場もなく、前途に不安を抱きつつも初歩的準備が進められたのであります。

48年三重インターハイには長野市も夏目市長さん以下多くの視察員が参加されました。総合開会式を視察された市長さんが、夕食会の席上開口一番「本日の開会式に於ける高校生あの真面目な姿は実に素晴らしい。この高校生のために市に陸上競技場を完成させ、わが長野市に全国の高校生を迎えて立派に大会を開催しようではないか」と発言されました。この市長さんの一言が、51総体の総合開会式を含む北信高体連の分担決定にと発展をいたした次第であります。開催までいくたの困難がありその過程は省略いたしますが、県、市、町村の格別な御支援と力強い競技団体との連携、参加校の絶大な協力により大過なく総体の全日程を消化し、数々の成果を収めて無事地区高体連の責務を終了した次第であります。退職しました今日、在任中の歴代正副会長先生、諸先輩並びに会員の皆様の深い理解と温いご配慮、数々のご援助に対しまして改めて感謝を申し上げる次第であります。おわりに、学校スポーツの一翼をになう北信高体連の積極的な活動と一層の発展を心から期待申し上げます。



## 北信高体連発足 35周年を迎えて

渡 辺 伊 八  
(6代理事長 昭和52年～昭和59年)

昭和21年。戦後の荒廃という社会情勢の中、教育制度の改革と共に学校組織をもつ高校以上の学校が加盟し、「長野県学校体育連盟」が発足しました。さらに昭和24年には各地区がそれぞれ独立した高体連組織として発足しました。

草創期の高体連は種目数も少なく、競技場もなく、また記録内容も低調であり現在のような学校数もありませんでした。昭和50年代に入ってようやく全国大会に出場する生徒の数も多くなり、記録等も長足の進歩の跡がうかがわれるようになりました。これらの成果は指導者の熱意とそれを支えて来られた学校関係者及び、本連盟の発展に辛苦を忘れてご尽力をいただきました歴代の役員・諸先輩の努力の賜物と深く感謝致しております。しかし一方ではその活躍も一部伝統校に頼る傾向が強くなり、追いつき追い越そうとする気迫に欠ける種目や、県的レベルからますます格差を生じたり、レベルダウンの種目も見うけられることもあります。基本的な学校体育スポーツ活動育成の意義を理解しながらも、もう一

方では特色のある学校体育スポーツの育成強化が大切な課題のように思います。

近年、新設される高校では文武両道を目指して、多くのクラブ種目を発展させ、多数の生徒の運動部への参加を求めています。そこには新設校というハンディを乗り越えながら、単に選手のみならず、全ての生徒に自信と誇りを与えることにより、進路指導や生活指導の面でも多大な成果をおさめているように思われます。また毎年のように県大会、全国大会等で活躍する伝統あると言われる学校では、全ての生徒や職員そしてOBや地域の協力体制があり、特色ある学校の体育、スポーツ活動がなされているように思います。

高校生の体育、スポーツ活動の振興は“教育活動の一環”を底辺にしなが、指導者の熱心さとたゆまぬ努力の累積がよりよい結果を生み、生徒の巾広い人格形成に寄与するのではないのでしょうか。

その成果が今後の本連盟の歩むべき道であると考えます。その中で特色ある学校体育、スポーツ活動育成への志向が多くの学校で推進されることを期待します。

# 北信高体連のあゆみ

# 北信高等学校体育連盟の沿革と経過

北信高等学校体育連盟の沿革と経過の概要	13
年次別役員一覧表	14
年次別専門委員長一覧表	15
会員数・分担金の変遷	18
北信高等学校体育連盟の新旧規約	19

## 北信高等学校体育連盟の沿革と経過の概要

思えば、終戦後荒廃たる焦土と化し、混乱と混迷の世相の中で、日本再建の槌音が各所で力強く響く頃、昭和22年学校体育関係の組織の一環として、長野県学校体育連盟北信支部を設立、当時の長野工業高校の校長であった西村文雄先生が会長に、また理事長に体育科の刈間今朝雄先生が就任され、現在の高体連の基礎が築かれたわけでありました。

発足当時の会員数は16,118名で、分担金は2円でありました。戦後民主主義のスタートとともに様々な変革がなされ、学校教育関係に於ても前後2回に亘りアメリカの教育使節団が派遣され、その中で体育連盟の誕生は極めて難産でありました。役員の方で苦労が推察されます。また、食糧事情の悪化と物資不足により社会情勢は混乱の極に達しました。運動用具などもなく、戦前の物をさがしたり、工夫をして使用したものです。昭和23年には学制改革により、6・3・3・4制が実施され、今までの中等学校が高等学校と改称、3年課程の学校となりました。

昭和23年全国高等学校体育連盟が設立され、その傘下に長野県高等学校体育連盟があり、長野県は県内の事情に応じて4地区制とし、昭和24年北信高等学校体育連盟が発足いたしました。発足当時は各高校の体育科の先生も少数であり、今のように多くの専門部もなく、ただ陸上競技部・球技部として、1人の先生が多くの種目の審判や大会運営に当たったものです。また、公共的な体育施設もなく、各学校を巡回して不備な施設の中で創意工夫しながら大会を開催しました。現在のように充実した施設設備と比較すれば全く夢のようなことです。

時代が進むに従い、新設高校もでき、高校への進学率が高まる中で、生徒数も増加し、昭和35年には2万人をこえるようになりました。専門部は全国高体連専門部に準拠して設置（現在専門部）され、広範な高体連の活動も専門部ごとに展開されるようになりました。また、昭和46年には定通部も加わり、定通部の体育大会も独自に開催されるようになりま

した。北信高体連の事務局は、長野工業高校（昭22～31）、長野商業高校（昭34～39）、長野高校（昭32～33、昭40～46）、長野西高校（昭47～51）、長野吉田高校（昭52～59）、篠ノ井高校（昭60～）へと引継がれ、その間に組織も充実強化され、事業も拡大・発展してまいりました。

昭和51年には、全国高校総体が本県を主会場として開催され、北信地区では、総合開会式を新装となった長野市東和田の市営陸上競技場に3万人余の観衆を集めて晴天に恵まれ盛大裡に行われました。その他、陸上競技・体操・バトミントン・バレーボール（男子）・柔道・水泳・水球の各種目が北信で開催され、高体連が中心となり、県・市の実行委員会、関係諸団体の絶大なる協力と支援のもとに成功裡に終了しました。また、裏方役の推進委員及び補助員の活躍はめざましいものでありました。

昭和53年には、第33回やまびこ国体が本県で全種目実施され、北信地区でもスキー・水泳・体操など多くの競技が開催され、北信高体連も全面的に協力し、無事終了いたしました。

北信高体連も発足以来30数年の歴史が流れ、その間、高校生の体育・スポーツの振興に大きな役割を果たしてきました。ここに、本連盟発足以来の役員の方々に深甚なる敬意と感謝を表し、更に、本連盟の発展を祈念し、沿革と経過の概要といたします。

（文責 清水 泰雄）

# 北信高等学校体育連盟年次別役員一覽表

年度	会 長	副 会 長	副 会 長	副 会 長	副 会 長	副 会 長	理 事 長	事 務 局
昭22	西村 文雄(長野工)						刈間今朝雄(長野工)	長 野 工 業
23	西村 文雄(長野工)						刈間今朝雄(長野工)	長 野 工 業
24	西村 文雄(長野工)				水上 正広(長野北)		刈間今朝雄(長野工)	長 野 工 業
25	西村 文雄(長野工)	太田 勇愛(飯山北)	伊藤 郷平(須坂西)		水上 正広(長野北)	宮本 邦磨(屋代東)	刈間今朝雄(長野工)	長 野 工 業
26	西村 文雄(長野工)	太田 勇愛(飯山北)			水上 正広(長野北)	宮本 邦磨(屋代東)	刈間今朝雄(長野工)	長 野 工 業
27	西村 文雄(長野工)					太田 勇愛(屋代東)	刈間今朝雄(長野工)	長 野 工 業
28	西村 文雄(長野工)					太田 勇愛(屋代東)	刈間今朝雄(長野工)	長 野 工 業
29	西村 文雄(長野工)					太田 勇愛(屋代東)	刈間今朝雄(長野工)	長 野 工 業
30	西村 文雄(長野工)				塚田 隆雄(長野商)		刈間今朝雄(長野工)	長 野 工 業
31	西村 文雄(長野工)	宮本 貞樹(飯山北)	太田 勇愛(須坂西)	塚田 隆雄(長野商)	上島 周蔵(屋代東)		刈間今朝雄(長野工)	長 野 工 業
32	塚田 隆雄(長 野)	清水 次郎(飯山北)	太田 勇愛(須坂西)	土屋 良徳(市 立)	伝田 恒夫(篠ノ井)		北沢 生吉(長 野)	長 野 野
33	塚田 隆雄(長 野)	清水 次郎(飯山北)					北沢 生吉(長 野)	長 野 野
34	更級 勉(長野商)	宮下 薫(下高農)	北原 明治(須坂西)	中村 優造(市 立)	杵瀬 道夫(屋代南)		丸山 保彦(長野商)	長 野 商 業
35	更級 勉(長野商)	新井 泰雄(飯山北)	田中 久雄(須坂園)	池田 哲夫(北 部)	杵瀬 道夫(屋代南)		丸山 保彦(長野商)	長 野 商 業
36	新田 稔(長野商)	新井 泰雄(飯山北)	田中 久雄(須坂園)	上島 周蔵(中 条)	杵瀬 道夫(屋代南)		丸山 保彦(長野商)	長 野 商 業
37	新田 稔(長野商)	新井 泰雄(飯山北)	田中 久雄(須坂園)	白石 義男(犀 峽)	曾根原周平(旭)		丸山 保彦(長野商)	長 野 商 業
38	久保田文雄(長野商)	北沢 公平(飯山北)	土屋 良徳(須坂東)	白石 義男(犀 峽)	曾根原周平(旭)		丸山 保彦(長野商)	長 野 商 業
39	久保田文雄(長野商)	北沢 公平(飯山北)	小松 孝志(須坂東)	白石 義男(犀 峽)	曾根原周平(旭)		丸山 保彦(長野商)	長 野 商 業
40	小出 武(長 野)	北沢 公平(飯山北)	小松 孝志(須坂東)	丸山 英樹(犀 峽)	曾根原周平(旭)		宮崎 荘造(長 野)	長 野 野
41	小出 武(長 野)	北沢 公平(飯山北)	白鳥 貞一(須坂園)	丸山 英樹(犀 峽)	曾根原周平(旭)		宮崎 荘造(長 野)	長 野 野
42	小出 武(長 野)	小林 信義(飯山北)	白鳥 貞一(須坂園)	丸山 英樹(犀 峽)	曾根原周平(旭)		宮崎 荘造(長 野)	長 野 野
43	中村 優造(長 野)	小林 信義(飯山北)	市川 淨(須坂東)	栗田 寛(犀 峽)	池田 通夫(旭)		宮崎 荘造(長 野)	長 野 野
44	中村 優造(長 野)	小林 信義(飯山北)	市川 淨(須坂東)	栗田 寛(犀 峽)	池田 通夫(旭)		宮崎 荘造(長 野)	長 野 野
45	中村 博二(長 野)	小林 信義(飯山北)	岡部善治郎(須坂園)	栗田 寛(犀 峽)	池田 通夫(旭)		宮崎 荘造(長 野)	長 野 野
46	中村 博二(長 野)	古田 正直(飯山北)	坂本 勝三(須坂園)	栗田 寛(犀 峽)	池田 通夫(旭)		宮崎 荘造(長 野)	長 野 野
47	中村 博二(長 野)	三井愛之輔(飯山北)	北沢 高明(須坂東)	今牧 英世(中 条)	池田 通夫(旭)		宮本 迪彦(長野西)	長 野 西
48	中村 博二(長 野)	三井愛之助(飯山北)	坂本 勝三(須坂園)	今牧 英世(中 条)	池田 通夫(旭)		宮本 迪彦(長野西)	長 野 西
49	佐藤 穂次(長野西)	丸山 保彦(吉 田)	宮崎 藤作(須 坂)	今牧 英世(中 条)	長沢 三夫(屋代南)		宮本 迪彦(長野西)	長 野 西
50	佐藤 穂次(長野西)	尾崎 百合(文 化)	斉藤 嘉郎(須坂東)		近藤 文治(更級農)		宮本 迪彦(長野西)	長 野 西
51	佐藤 穂次(長野西)	丸山 保彦(吉 田)	宮崎 藤作(須 坂)	花岡 俊平(中 条)	浜 栄助(屋代南)		宮本 迪彦(長野西)	長 野 西
52	丸山 保彦(吉 田)	宮林 秋男(照 丘)	高沢 宏源(須坂園)	小林 直之(中 央)	浜 栄助(屋代南)		渡辺 伊八(吉 田)	長 野 吉 田
53	栗田 寛(長野西)	草間 由雄(下高農)	高沢 宏源(須坂園)	小林 直之(中 央)	飯田 正夫(篠ノ井)		渡辺 伊八(吉 田)	長 野 吉 田
54	栗田 寛(長野西)	土屋 弘(下高農)	高沢 宏源(須坂園)	小林 直之(中 央)	塚田 元好(篠ノ井)		渡辺 伊八(吉 田)	長 野 吉 田
55	北川原平造(吉 田)	小笠原光治(中野実)	原 敏(須坂東)	倉沢 彦彦(長野東)	丸山 忠通(坂 城)		渡辺 伊八(吉 田)	長 野 吉 田
56	高野 禎二(吉 田)	小笠原光治(中野実)	丸山 忠通(須坂東)	倉沢 彦彦(長野東)	小出 卓二(坂 城)		渡辺 伊八(吉 田)	長 野 吉 田
57	高野 禎二(吉 田)	武井 佳朝(中 野)	北沢 輝夫(須 商)	原 敏(中 条)	吉川 哲夫(屋 代)		渡辺 伊八(吉 田)	長 野 吉 田
58	平松 剛(吉 田)	武井 佳朝(中 野)	北沢 輝夫(須 商)	山城 昭(中 条)	吉川 哲夫(屋 代)		渡辺 伊八(吉 田)	長 野 吉 田
59	平松 剛(吉 田)	外山 義勇(飯山北)	西村 忠彦(須 坂)	岩崎 弥(犀 峽)	小松 一弘(屋 代)		渡辺 伊八(吉 田)	長 野 吉 田
60	福田 芳典(篠ノ井)	外山 義勇(飯山北)	西村 忠彦(須 坂)	岩崎 弥(犀 峽)	小松 一弘(屋 代)		玉井 重遠(篠ノ井)	篠 ノ 井

# 年次別専門委員長一覧表

	陸上競技	体操(男子)	体操(女子)	バスケットボール	バドミントン	卓球	バレーボール
昭22							
23							
24	伊藤 (中野実)			宮崎 荘造(長野西)		丸山 保彦(長野北)	湯本 宣政(長野北)
25	山浦 保(長野農)			鈴木 武平(長野北)		丸山 保彦(長野北)	飯島辰三郎(須坂西)
26	山浦 保(長野農)			鈴木 武平(長野北)		丸山 保彦(長野北)	飯島辰三郎(須坂西)
27	山浦 保(長野農)			鈴木 武平(長野北)		丸山 保彦(長野北)	飯島辰三郎(須坂西)
28	山浦 保(長野農)	広田 金平(長野工)	宮本 栄子(長野西)	鈴木 武平(長野北)		丸山 保彦(長野北)	飯島辰三郎(須坂西)
29	山浦 保(長野農)	広田 金平(長野工)	宮本 栄子(長野西)	鈴木 武平(長野北)		丸山 保彦(長野北)	飯島辰三郎(須坂西)
30	山浦 保(長野農)	広田 金平(長野工)	宮本 栄子(長野西)	鈴木 武平(長野西)		丸山 保彦(長野北)	湯本 宣政(長野北)
31	山浦 保(長野農)	広田 金平(長野工)	宮本 栄子(長野西)	鈴木 武平(長野西)		丸山 保彦(長野北)	湯本 宣政(長野北)
32	半田 実(屋代東)	広田 金平(長野工)	宮本 栄子(飯山南)	宮崎 荘造(長野)	和田 圭喜(長野西)	丸山 保彦(長野商)	湯本 宣政(須坂東)
33	半田 実(屋代東)	広田 金平(長野工)	宮本 栄子(飯山南)	宮崎 荘造(長野)	和田 圭喜(長野西)	丸山 保彦(長野商)	湯本 宣政(須坂東)
34	半田 実(屋代東)	広田 金平(長野工)	宮本 栄子(飯山南)	笠原 隆明(長野商)	和田 圭喜(長野西)	和田 圭喜(長野西)	湯本 宣政(須坂東)
35	半田 実(屋代東)	広田 金平(長野工)	香山田鶴子(市立)	笠原 隆明(長野西)	和田 圭喜(長野西)	和田 圭喜(長野西)	湯本 宣政(須坂東)
36	山浦 保(吉田)	広田 金平(長野工)	香山田鶴子(市立)	笠原 隆明(長野西)	和田 圭喜(長野西)	和田 圭喜(長野西)	湯本 宣政(須坂東)
37	山浦 保(吉田)	広田 金平(長野工)	小山 生(屋代南)	竹前 勝(吉田)	和田 圭喜(長野西)	和田 圭喜(長野西)	湯本 宣政(須坂東)
38	山浦 保(吉田)	広田 金平(長野工)	小山 生(屋代南)	竹前 勝(吉田)	和田 圭喜(長野西)	和田 圭喜(長野西)	湯本 宣政(須坂東)
39	山浦 保(吉田)	広田 金平(長野工)	酒井 園子(須坂東)	竹前 勝(吉田)	和田 圭喜(長野西)	和田 圭喜(長野西)	湯本 宣政(須坂東)
40	山浦 保(吉田)	広田 金平(長野工)	酒井 園子(須坂東)	竹前 勝(吉田)	和田 圭喜(長野西)	和田 圭喜(長野西)	湯本 宣政(須坂東)
41	山浦 保(吉田)	宮本 金作(長野商)	香山田鶴子(市立)	竹前 勝(吉田)	和田 圭喜(長野西)	和田 圭喜(長野西)	湯本 宣政(須坂東)
42	山浦 保(吉田)	宮本 金作(長野商)	香山田鶴子(市立)	竹前 勝(吉田)	和田 圭喜(長野西)	和田 圭喜(長野西)	湯本 宣政(須坂東)
43	山浦 保(吉田)	船木 政明(中央)	小山 生(屋代南)	竹前 勝(須坂園)	長浦 音吉(更級農)	和田 圭喜(須坂東)	湯本 宣政(須坂東)
44	山浦 保(吉田)	船木 政明(中央)	小山 生(屋代南)	竹前 勝(須坂園)	長浦 音吉(更級農)	和田 圭喜(須坂東)	湯本 宣政(長野西)
45	山浦 保(吉田)	船木 政明(中央)	香山田鶴子(長野西)	竹前 勝(須坂園)	長浦 音吉(更級農)	和田 圭喜(須坂東)	湯本 宣政(長野西)
46	山浦 保(吉田)	船木 政明(中央)	香山田鶴子(長野西)	竹前 勝(須坂園)	長浦 音吉(更級農)	和田 圭喜(須坂東)	湯本 宣政(長野西)
47	山浦 保(吉田)	船木 政明(中央)	酒井 園子(須坂東)	宮本 守(更級農)	長浦 音吉(更級農)	和田 圭喜(須坂東)	渡辺 伊八(吉田)
48	山浦 保(吉田)	船木 政明(中央)	酒井 園子(須坂東)	宮本 守(更級農)	長浦 音吉(更級農)	和田 圭喜(須坂東)	渡辺 伊八(吉田)
49	山浦 保(吉田)	倉島 安隆(更級農)	香山田鶴子(長野西)	宮本 守(屋代南)	長浦 音吉(更級農)	和田 圭喜(須坂東)	渡辺 伊八(吉田)
50	山浦 保(文化)	倉島 安隆(更級農)	小宮山敏子(阜月)	宮本 守(屋代南)	長浦 音吉(更級農)	和田 圭喜(須坂東)	渡辺 伊八(吉田)
51	山浦 保(文化)	倉島 安隆(更級農)	香山田鶴子(長野西)	宮本 守(屋代南)	長浦 音吉(更級農)	和田 圭喜(須坂東)	渡辺 伊八(吉田)
52	依田 良春(長野東)	倉島 安隆(更級農)	香山田鶴子(長野西)	宮本 守(屋代南)	長浦 音吉(更級農)	和田 圭喜(須坂東)	三井 晋(長野西)
53	依田 良春(長野東)	池田 実(長野)	香山田鶴子(長野西)	宮本 守(屋代南)	長浦 音吉(更級農)	和田 圭喜(須坂東)	三井 晋(長野西)
54	依田 良春(長野東)	池田 実(長野)	香山田鶴子(長野西)	宮本 守(屋代南)	長浦 音吉(更級農)	和田 圭喜(須坂東)	三井 晋(長野西)
55	依田 良春(長野東)	池田 実(長野)	香山田鶴子(長野西)	内田 靖男(須坂東)	長浦 音吉(更級農)	湯本 誠(長野西)	三井 晋(長野西)
56	依田 良春(長野東)	池田 実(長野)	香山田鶴子(長野西)	内田 靖男(須坂東)	長浦 音吉(更級農)	湯本 誠(須坂商)	三井 晋(長野西)
57	依田 良春(長野東)	船木 政明(中央)	米沢 明子(屋代南)	内田 靖男(須坂東)	長浦 音吉(更級農)	湯本 誠(須坂商)	三井 晋(中条)
58	依田 良春(長野東)	船木 政明(中央)	米沢 明子(屋代南)	内田 靖男(須坂東)	長浦 音吉(更級農)	湯本 誠(須坂商)	三井 晋(中条)
59	依田 良春(長野東)	船木 政明(中央)	米沢 明子(屋代南)	内田 靖男(須坂東)	平林 良人(中央)	湯本 誠(須坂商)	三井 晋(中条)
60	依田 良春(長野東)	船木 政明(中央)	米沢 明子(屋代南)	内田 靖男(須坂東)	平林 良人(中央)	湯本 誠(須坂商)	三井 晋(中条)

	軟式庭球	剣道	サッカー	柔道	ソフトボール	弓道	水泳
昭22							
23							
24	若林 貞良(篠ノ井)						
25	土屋 扶雄(長野商)				宮本 金作(須坂東)		
26	土屋 扶雄(長野商)				宮本 金作(須坂東)		
27	土屋 扶雄(長野商)			北沢 生吉(長野北)	宮本 金作(須坂東)		
28	土屋 扶雄(長野商)			北沢 生吉(長野北)	宮本 金作(須坂東)		
29	土屋 扶雄(長野商)			北沢 生吉(長野北)	宮本 金作(須坂東)		
30	宮下 睦夫(長野工)			北沢 生吉(長野北)	宮本 金作(須坂東)		
31	宮下 睦夫(長野工)			北沢 生吉(長野北)	宮本 金作(須坂東)		
32	土屋 扶雄(長野商)	千葉 九吾(飯山北)	飯島辰三郎(須坂西)	青木 国作(須坂商)	若林 貞良(篠ノ井)	暮沼 一馬(屋代東)	
33	土屋 扶雄(長野商)	千葉 九吾(飯山北)	飯島辰三郎(須坂西)	青木 国作(須坂商)	若林 貞良(篠ノ井)	暮沼 一馬(屋代東)	甲崎 元(長野)
34	土屋 扶雄(長野商)	千葉 九吾(飯山北)	飯島辰三郎(須坂西)	北沢 生吉(長野)	若林 貞良(篠ノ井)	暮沼 一馬(屋代東)	甲崎 元(長野)
35	土屋 扶雄(長野商)	千葉 九吾(飯山北)	飯島辰三郎(須坂西)	北沢 生吉(長野)	若林 貞良(篠ノ井)	暮沼 一馬(屋代東)	甲崎 元(長野)
36	土屋 扶雄(長野商)	千葉 九吾(飯山北)	飯島辰三郎(須坂西)	北沢 生吉(長野)	若林 貞良(篠ノ井)	暮沼 一馬(屋代東)	甲崎 元(長野)
37	平栗 寛二(長野西)	千葉 九吾(飯山北)	百瀬 文夫(埴生)	北沢 生吉(長野)	山田 正俊(須坂東)	暮沼 一馬(屋代)	甲崎 元(長野)
38	平栗 寛二(長野西)	千葉 九吾(飯山北)	百瀬 文夫(埴生)	北沢 生吉(長野)	山田 正俊(須坂東)	暮沼 一馬(屋代)	甲崎 元(長野)
39	平栗 寛二(長野西)	千葉 九吾(飯山北)		北沢 生吉(長野)	山田 正俊(須坂東)	暮沼 一馬(屋代)	甲崎 元(長野)
40	平栗 寛二(清泉)	千葉 九吾(飯山北)		北沢 生吉(長野)	山田 正俊(須坂東)	暮沼 一馬(屋代)	甲崎 元(長野)
41	平栗 寛二(清泉)	千葉 九吾(飯山北)		北沢 生吉(長野)	山田 正俊(須坂東)	暮沼 一馬(屋代)	甲崎 元(長野)
42	平栗 寛二(清泉)	千葉 九吾(飯山北)	江尻 耕導(須坂)	北沢 生吉(長野)	山田 正俊(長野工)	暮沼 一馬(屋代)	甲崎 元(長野)
43	平栗 寛二(清泉)	千葉 九吾(飯山北)	江尻 耕導(下高農)	北沢 生吉(長野)	山田 正俊(長野工)	暮沼 一馬(屋代)	甲崎 元(長野)
44	平栗 寛二(清泉)	千葉 九吾(飯山北)	江尻 耕導(下高農)	北沢 生吉(長野)	山田 正俊(長野工)	暮沼 一馬(屋代)	甲崎 元(長野)
45	平栗 寛二(清泉)	千葉 九吾(飯山北)	江尻 耕導(下高農)	北沢 生吉(長野)	山田 正俊(長野工)	宮崎今朝一(篠ノ井)	甲崎 元(長野)
46	小林 貞男(長野商)	千葉 九吾(飯山北)	江尻 耕導(下高農)	清水 泰雄(屋代)	山田 正俊(長野工)	宮崎今朝一(篠ノ井)	甲崎 元(長野)
47	小林 貞男(長野商)	依田 和武(松代)	江尻 耕導(下高農)	清水 泰雄(屋代)	山田 正俊(長野工)	宮崎今朝一(篠ノ井)	甲崎 元(長野)
48	小林 貞男(長野商)	依田 和武(松代)	江尻 耕導(下高農)	清水 泰雄(屋代)	山田 正俊(長野工)	宮崎今朝一(篠ノ井)	甲崎 元(長野)
49	小林 貞男(長野商)	依田 和武(松代)	江尻 耕導(松代)	石田 和増(吉田)	山田 正俊(長野工)	宮崎今朝一(篠ノ井)	中村 郷見(阜月)
50	小林 貞男(長野商)	依田 和武(松代)	江尻 耕導(松代)	石田 和増(吉田)	山田 正俊(長野工)	宮崎今朝一(篠ノ井)	中村 郷見(坂城)
51	小林 貞男(長野商)	依田 和武(松代)	江尻 耕導(松代)	石田 和増(吉田)	山田 正俊(長野工)	宮崎今朝一(篠ノ井)	中村 郷見(坂城)
52	小林 貞男(長野商)	依田 和武(長野商)	江尻 耕導(松代)	石田 和増(吉田)	山田 正俊(長野工)	宮崎今朝一(篠ノ井)	西沢 光一(阜月)
53	小林 貞男(長野商)	依田 和武(長野商)	江尻 耕導(松代)	石田 和増(吉田)	山田 正俊(長野工)	宮崎今朝一(篠ノ井)	西沢 光一(阜月)
54	小林 貞男(長野商)	依田 和武(長野商)	江尻 耕導(松代)	石田 和増(吉田)	山田 正俊(長野工)	宮崎今朝一(篠ノ井)	西沢 光一(阜月)
55	小林 貞男(長野商)	依田 和武(長野商)	江尻 耕導(松代)	石田 和増(吉田)	山田 正俊(長野工)	宮崎今朝一(篠ノ井)	市岡 洋一(長野東)
56	小林 貞男(長野商)	依田 和武(長野商)	江尻 耕導(松代)	石田 和増(屋代)	山田 正俊(長野工)	斉藤 節朗(長野西)	市岡 洋一(長野東)
57	小林 貞男(長野商)	依田 和武(長野商)	江尻 耕導(松代)	石田 和増(屋代)	山田 正俊(長野工)	斉藤 節朗(長野西)	斉藤 重夫(須坂東)
58	小林高進治(須坂)	依田 和武(長野商)	江尻 耕導(松代)	石田 和増(屋代)	山田 正俊(中条)	斉藤 節朗(長野西)	斉藤 重夫(須坂東)
59	小林高進治(須坂)	依田 和武(長野商)	江尻 耕導(松代)	石田 和増(屋代)	山田 正俊(中条)	斉藤 節朗(長野西)	斉藤 重夫(須坂東)
60	小林高進治(須坂)	依田 和武(長野商)	江尻 耕導(松代)	石田 和増(屋代)	山田 正俊(中条)	斉藤 節朗(長野西)	斉藤 重夫(須坂東)

	ハンドボール	テニ	登	ス	スケ	空	ラ
	ド	ス	山	キ	ート	手	グ
	ール	ス		ー	ト	道	ビー
昭22							
23							
24							
25							
26							
27							
28				千葉 九吾(飯山北)			
29				千葉 九吾(飯山北)			
30				千葉 九吾(飯山北)			
31				千葉 九吾(飯山北)			
32	中沢 正己(屋代東)			宮本 金作(長野)	西片 庄平(長野西)		
33	中沢 正己(屋代東)			宮本 金作(長野)	西片 庄平(長野西)		
34	中沢 正己(屋代東)			宮本 金作(長野)	入野 勝行(長野工)		
35	中沢 正己(屋代東)			宮本 金作(長野)	入野 勝行(長野工)		
36	中沢 正己(屋代東)			宮本 金作(長野)	入野 勝行(長野工)		
37	中沢 正己(屋代東)			宮本 金作(長野)	入野 勝行(長野工)		
38	中沢 正己(屋代)			宮本 金作(長野)	入野 勝行(長野工)		
39	中沢 正己(屋代)			宮本 金作(長野)	入野 勝行(長野工)		
40	中沢 正己(屋代)			宮本 金作(長野)	入野 勝行(長野工)		
41	中沢 正己(屋代)			宮本 金作(長野商)	入野 勝行(長野工)		
42	中沢 正己(屋代)			宮本 金作(長野商)	入野 勝行(長野工)		
43	中沢 正己(屋代)			千葉 九吾(飯山北)	石田 和増(長野商)		
44	中沢 正己(屋代)			千葉 九吾(飯山北)	石田 和増(長野商)		
45	中沢 正己(屋代)		和田 圭喜(須坂東)	斉藤 節朗(飯山南)	石田 和増(長野商)		
46	中沢 正己(屋代)		和田 圭喜(須坂東)	隼田万壽雄(飯山北)	石田 和増(吉田)		
47	中沢 正己(屋代)		和田 圭喜(須坂東)	隼田万壽雄(飯山北)	石田 和増(吉田)		
48	中沢 正己(屋代)		沖 大啓(篠ノ井)	隼田万壽雄(飯山北)	石田 和増(吉田)		
49	中沢 正己(屋代)		沖 大啓(篠ノ井)	隼田万壽雄(飯山北)	遠藤 六郎(松代)		
50	中沢 正己(屋代)	遠藤 六郎(松代)	沖 大啓(篠ノ井)	隼田万壽雄(飯山北)	北原 勲(皐月)		
51	中沢 正己(屋代)	遠藤 六郎(松代)	沖 大啓(篠ノ井)	隼田万壽雄(飯山南)	北原 勲(中条)		
52	中沢 正己(屋代)	遠藤 六郎(松代)	沖 大啓(北 部)	隼田万壽雄(飯山南)	尾田美恵子(文 化)		
53	中沢 正己(屋代)	遠藤 六郎(松代)	沖 大啓(北 部)	隼田万壽雄(飯山南)	尾田美恵子(文 化)		
54	中沢 正己(屋代)	遠藤 六郎(松代)	沖 大啓(北 部)	隼田万壽雄(飯山南)	尾田美恵子(文 化)		
55	青木 崇(屋代)	遠藤 六郎(松代)	沖 大啓(北 部)	池田 穰(下高農)	尾田美恵子(文 化)		
56	青木 崇(屋代)	遠藤 六郎(松代)	沖 大啓(北 部)	池田 穰(下高農)	尾田美恵子(文 化)		
57	青木 崇(屋代)	遠藤 六郎(松代)	沖 大啓(北 部)	古沢 金蔵(飯山南)	尾田美恵子(文 化)		
58	青木 崇(屋代)	遠藤 六郎(松代)	沖 大啓(北 部)	古沢 金蔵(飯山南)	尾田美恵子(文 化)		
59	青木 崇(屋代)	遠藤 六郎(松代)	宮本 義彦(中野実)	古沢 金蔵(飯山南)	尾田美恵子(文大長)		
60	青木 崇(屋代)	遠藤 六郎(松代)	宮本 義彦(中野実)	古沢 金蔵(飯山南)	尾田美恵子(文大長)	根橋 寛(北 部)	宮下 高光(長野)

## 会員数・分担金の変遷

	定 通	調 査 研 究	傷 害 審 査
昭22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			
33			
34			
35			
36			
37			
38			
39			
40			
41			
42			
43			
44			
45		小出 勉(中野)	
46	菊地 光雄(長野)	小出 勉(中野)	
47	鮎田 次雄(長野西)	宮沢源太郎(阜月)	
48	荒井 福衛(長野西)	宮沢源太郎(阜月)	
49	牛村 一雄(吉田)	竹前 勝(須坂農)	
50	牛村 一雄(吉田)	竹前 勝(須坂農)	
51	牛村 一雄(吉田)		
52	牛村 一雄(吉田)		
53	牛村 一雄(吉田)		
54	牛村 一雄(吉田)		
55	牛村 一雄(吉田)	山岸 重夫(長野商)	
56	牛村 一雄(吉田)	山岸 重夫(長野商)	
57	岡村 新一(須坂)	山岸 重夫(長野商)	
58	岡村 新一(須坂)	宮坂 正篤(松代)	
59	岡村 新一(須坂)	塚田 修三(飯山北)	小池 宗男(長野)
60	岡村 新一(須坂)	塚田 修三(飯山北)	小池 宗男(長野)

年 度	会 員 数 (人)	分 担 金 (1人当円)
昭22	16,118	2
23	16,216	2
24	11,528	10
25	13,871	10
26	14,954	15
27	15,360	15
28	15,150	15
29	15,393	15
30	15,789	20
31	16,179	20
32	16,322	20
33	16,500	20
34	19,820	20
35	20,220	20
36	19,927	20
37	20,500	20
38	23,400	20
39	26,857	30
40	29,404	30
41	28,530	40
42	28,526	40
43	27,067	40
44	26,152	40
45	25,355	50
46	25,503	50
47	25,911	50
48	26,101	50
49	26,238 (988)	100 (48)
50	27,189 (913)	100 (48)
51	27,038 (762)	100 (48)
52	26,545 (658)	100 (70)
53	26,769 (558)	100 (70)
54	27,070 (644)	100 (70)
55	27,330 (664)	100 (70)
56	27,265 (659)	100 (100)
57	26,515 (719)	200 (200)
58	26,996 (692)	200 (200)
59	27,518 (712)	200 (200)
60	28,157 (801)	200 (200)

( )内は定通部

# 北信高等学校体育連盟の新旧規約

## 北信高体連発足時（昭和24年）の規約

### 北信高等学校体育連盟規約

#### 第1章 総 則

第1条 本連盟は北信高等学校体育連盟と称し、事務所を会長在任校に置く。

第2条 本連盟は北信地区（四市六郡）内の高等学校を以って組織する。

第3条 本連盟は高等学校体育全般の振興を図ると共に緊密なる連絡を計るを以って目的とする。

#### 第2章 事 業

第4条 本連盟は前条の目的を達成するため次の事業を行う。

1. 高等学校体育に関する研究、調査
1. 高等学校体育大会の開催
1. その他本連盟の目的達成に必要な事項

#### 第3章 役 員

第5条 本連盟に次の役員を置く。

会 長	1 名
副 会 長	4 名
理 事 長	1 名
副 理 事 長	1 名
理 事	10 名（内常任理事4名）
評 議 員	若干名
監 事	4 名
幹 事	若干名

第6条 会長は総会に於いて選出し、本連盟を代表する。会長は県連盟評議員を兼ねる。

第7条 副会長は総会に於て選出し、会長を補佐し、会長事故ある時は之を代理する。

副会長は県連盟評議員を兼ねる。

第8条 理事長、副理事長は理事の互選により決定し、会長の指示を受け理事会を代表する。理事長は県連盟常任理事を兼ねる。（内3名）

第9条 理事、監事は総会に於て選出する。監事は会計の監査をする。

第10条 評議員は加盟学校長及びその校選出の代表者とする。

第11条 幹事は理事会の推薦により会長が之を委嘱し、庶務会計その他会務に従事する。

第12条 本連盟の役員は任期は2ケ年とし再選を妨げない。但し、補欠役員は任期は前任者の残任期間とする。

#### 第4章 会 議

第13条 本連盟の会議は総会・理事会とする。

第14条 総会は会長、副会長、評議員をもって構成し毎年1回以上会長之を招集し本連盟の重要な事項を審議する。

第15条 理事会は会長、副会長、理事を以て構成し、必要に応じ会長随時之を招集し本連盟の運営をする。

第16条 会議の成立は総会が2分の1、理事会は3分の2以上の出席を以て成立し、その議決は出席者の過半数の同意を以て決し、可否同数なるときは議長がこれを決する。但し、書面をもって出席に代えることが出来る。

#### 第5章 会 計

第17条 本連盟の経費は次に掲げるものを以て支弁する。

1. 分担金
2. 寄附金
3. その他の収入金

第16条 本連盟の会計年度は毎年4月1日に始まり翌年3月31日終る。

## 第6章 附 則

第19条 本規約を改正しようとするときは総会の議決を経なければならない。

第20条 本規約施行に必要な細則は理事会に於て定める。

第21条 本規約は昭和24年5月1日より施行する。

第22条 本連盟の事務所には書類を備える。

1. 加盟校名簿
1. 会 計 簿
1. 事 業 記 録
1. 役 員 名 簿
1. 会 議 録
1. 規 約

### 現在の規約

#### 長野県北信高等学校体育連盟規約

第1条 本連盟は北信高等学校体育連盟と称し、事務局を会長の指定校で執る。

第2条 本連盟は北信地区（5市6郡）内の高等学校を以って組織し、その体育全般の振興を以って目的とし、そのために必要な事業を行う。

第3条 本連盟の経費は会費・大会参加費・その他を以って充てる。

第4条 本連盟の会計年度は毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終る。

第5条 本連盟の会計監査は年1回とする。

第6条 本連盟は次の役員を置く。

1. 会 長 1 名
2. 副 会 長 4 名
3. 評 議 員 若干名
4. 理 事 長 1 名
5. 理 事 若干名
6. 専門委員長 若干名（各種目1名）
7. 専門委員 若干名（各種目2～8名）
8. 監 事 4 名

第7条 会長は評議員会で選出し、本連盟を代表し

県連盟の副会長を兼る。

副会長は評議員会で選出し、会長を補佐し会長の事故ある時はこれに代る。

副会長の内3名は県連盟の評議員を兼ね、1名は県連盟の監事を兼ねる。

評議員は加盟高等学校長並びその校代表1名とする。

理事長は理事の内より会長が委嘱し、県連盟常任理事を兼ねる。

理事は評議員会で選出し、会長の指示を受けて会務を執行する。

理事の内3名は県連盟理事、2名は県連盟評議員を兼ねる。

専門委員長は専門委員の推薦により会長が委嘱する。

専門委員は評議員会の推薦により会長が委嘱する。

専門委員は評議員会の推薦により会長が委嘱し種目別大会等の運営にあたる。

監事は評議員会で選出し、会計の監査をする。

幹事は会長が委嘱し、会長の命を受けて庶務・会計を行う。

第8条 役職員の任期は2ケ年とする。ただし重任を妨げない。また補欠の者は前任者の任期を継ぐ。

第9条 評議員会は毎年1回以上会長が招集し、次のことを行う。

1. 事業報告・予算の議決・決算の承認
2. 役員を選出
3. 会則の変更
4. その他目的の達成に必要な事項

第10条 理事会・専門委員長会・専門委員会・役員会は必要に応じ会長が招集する。

第11条 会議の成立はその2分の1、議決はその過半数の同意を以って決定する。

ただし文書を以って出席に代えることができる。

第12条 本連盟には次の帳簿を備える。

- |              |         |
|--------------|---------|
| 1. 会員（加盟校）名簿 | 1. 事業記録 |
| 1. 備品台帳      | 1. 会計簿  |
| 1. 規 約       | 1. 会議録  |
| 1. 役員名簿      |         |

# 専門部のあゆみ

- |                       |                       |
|-----------------------|-----------------------|
| (25) 1970年度 第1回 学術大会  | (26) 1970年度 第2回 学術大会  |
| (27) 1970年度 第3回 学術大会  | (28) 1970年度 第4回 学術大会  |
| (29) 1970年度 第5回 学術大会  | (30) 1970年度 第6回 学術大会  |
| (31) 1970年度 第7回 学術大会  | (32) 1970年度 第8回 学術大会  |
| (33) 1970年度 第9回 学術大会  | (34) 1970年度 第10回 学術大会 |
| (35) 1970年度 第11回 学術大会 | (36) 1970年度 第12回 学術大会 |
| (37) 1970年度 第13回 学術大会 | (38) 1970年度 第14回 学術大会 |
| (39) 1970年度 第15回 学術大会 | (40) 1970年度 第16回 学術大会 |
| (41) 1970年度 第17回 学術大会 | (42) 1970年度 第18回 学術大会 |
| (43) 1970年度 第19回 学術大会 | (44) 1970年度 第20回 学術大会 |
| (45) 1970年度 第21回 学術大会 | (46) 1970年度 第22回 学術大会 |
| (47) 1970年度 第23回 学術大会 | (48) 1970年度 第24回 学術大会 |
| (49) 1970年度 第25回 学術大会 | (50) 1970年度 第26回 学術大会 |
| (51) 1970年度 第27回 学術大会 | (52) 1970年度 第28回 学術大会 |

# 陸上競技の諸門

陸上競技	( 23 )	弓道	( 96 )
体操(男子)	( 37 )	水泳	( 99 )
体操(女子)	( 40 )	ハンドボール	( 121 )
バスケットボール	( 47 )	テニス	( 123 )
バドミントン	( 51 )	登山	( 129 )
卓球	( 59 )	スキー	( 130 )
バレーボール	( 71 )	スケート	( 131 )
軟式庭球	( 74 )	空手道	( 132 )
剣道	( 82 )	ラグビー	( 133 )
サッカー	( 87 )	定通	( 134 )
柔道	( 89 )	調査研究	( 150 )
ソフトボール	( 94 )		



## 陸 上 競 技

昭和23年、第1回の全国高校総体が名古屋瑞穂陸上競技場で開催された。また、第1回の全国高校駅伝競走がその2年後に開催された。当時長野県には充分な組織がなく、県の体育協会が発足したのが昭和21年夏頃であり、各種競技団体が誕生し秋には曲りなりにも出来上がった。県高体連は昭和23年、長野工業高校が事務局となり、会長西村文雄、理事長刈間今朝雄の両氏で発足した。陸上専門部は、北信地区神戸英雄、東信地区山浦保、中信地区岡村好実、南信地区温田市助の各氏であった。競技場は公認に近いものは県営松本陸上競技場で、芋畑に変わっており、競技場作りは収穫が済んでからとなり、長野陸協は信州大学の学生にも奉仕を願い総力を挙げて、400mのトラックを作りあげ、第2回国民体育大会に選手を送ることができた。

北信高体連陸上部は神戸氏によって運営され、昭和26年の役員改選で山浦が専門委員長になった。大会運営で最も困ったことは公認審判員の殆んどいないことであった。山浦は県陸協審判部長を兼ねていたので、高校の先生を中心に審判員養成にも尽力した。

300mのトラックがとれるグラウンドを持てた高校は長工、須坂、屋代、長野であり、後に皐月高校に公認300mトラックが出来た。

しかし、300mトラックでは、400H、1500SCの競技が出来ない。そこで1500SCなどは2000m種目で予選とし県大会に選手を送った。そんな状態の中にありながら、篠ノ井旭の岡宮は同種目で北信越大会に優勝した。

昭和51年全国高校総体が長野市で開催されることになり、この年に長野市営陸上競技場が出来た。それまでは北信地区大会の記録は公認されず、県大会の松本競技場でやっと公認される気の毒さであった。陸上競技は他種目と異り、公認の競技場、公認の審判員、検定済の器具を使用しないと正式の記録とはならない。そのために、いかに大会を運営するかが問題であった。公認競技場設置には、cm刻みの計測

があり随分苦労した。巻尺はスチール製の50m、日本陸連公認のもので、気温20℃の時の計測と定められており、春・夏では長さが違い、しかもその巻尺は入手出来ないので、長い間布製の物を使用した。そのため雨の中で使えば短くなり、20mの巻尺5個用意しても長さがまちまちで、中間の長さの物を使った。競技役員は80名委嘱しても集る者は40名足らず、審判長は資格のある付添の先生を集めて歩いた。

また、雨中長時間、机、腰掛を利用した架設台上の審判は大変であった。先生方も学校出張で参加した方が選手の世話も出来るし、手当もよかった。高体連には資金がなく、弁当持参の役員は僅かな手当であった。プログラムの編成と、ガリバン切りに多くの時間を要し、それも委員の仕事であった。競技会も好天に恵まれれば良いが、雨で冷え込んだ時があったり、強風と豪雨でテントが飛ばされたり、前日張っておいたテントが突風で吹き飛ばされ、大木の途中で吹き上げられた事もあった。また、真夏の炎天下ではテントが灼熱化し、禁をおかして辱かしながらアイスクャンデーを口にすることもあった。用器具も不足しており、ハードル、マットは各校より借用であった。そんな大会が30年近く続いた。全く筆舌に尽せない難業苦業の陸上競技会であった。北信の高校生は、公認の正式競技場に出ると、立派すぎて記録が出ず尻ごみする状態であった。特に全国大会では顕著であり、我々委員の夢は公認の陸上競技場作りであった。当時、審判部長だった山浦は競技場作りの設計図を作成して地区委員長に渡し、また、審判講習会の都度話題に乗せていた。

今は施設用器具委員会があるが、当時は審判部が取り扱い選手の強化もしていた。

高校選手を強化するには中学生の指導が先決と考え、各地区をまわり巡回指導もした。

昔は県高体連独自の規約で、陸上は各地区6位の内3名しか県高校大会に出場させなかった。松本に事務局が移り、山田県高体連会長の時にやっと6名の

出場枠が認められた。

各校の経費を考えたことと思うが、ブロック大会出場も同様であった。また、種目によって四地区にレベルの偏りがあり、当時跳躍のレベルが高かった北信の6位が、他地区の優勝者より好記録であっても県大会に出場できないこともあった。そのために信越ブロック大会では、新潟県にどうしても勝てず、委員は常にこの不公平に嘆いていた。

当時から続いて委員をしていた現専門委員長の依田良春氏が最も長く、また、委員としてやってきた藤本勝彦、伊藤利博、大竹の各氏が集まると、当時の苦労が語り草となる。

北信地区の高校が生んで全国高校及び国体で活躍したアスリートは沢山いる。思い出すままに名前を挙げてみると、小口正行、畑山隆、伊藤貞雄、小口吉寿郎、倉沢光治、笠原誠則、水沢孝夫、高橋実、高橋一郎、中沢晴雄（現山本）、山田栄一郎、三浦邦

夫、西沢民雄、浦野義忠、大川賢明、西内勉、市川久、村沢順子、藤倉住江、高森勝夫、岡宮育夫、山崎公夫、横山正博、上月正彦等々、まだまだ書き尽せない程沢山輩出した。そして大方の者は現在県陸協の役員としても活躍している。

また、須坂園芸が全国高校駅伝大会オープン時代に全国優勝したことがあった。

当時は 偲び、昭和20年代、30年代、40年代と回顧し今日の立派なお座敷大会にするために各委員諸氏の努力が報いられ、隔世の感がある。

昔に比べ、今日は生活様式の変化から体力低下が危惧されている。心身の健全な発達をはかるためにも、強靱な気力、体力を練り、執念を燃し、長野県の陸上は北信からの意気を持って、先輩の築いた北信高校の意気を示して貰いたい。北信高体連陸上専門部のご発展を心より祈念し筆を擱く。

（文責 山浦 保）



昭和32年 須坂高校グランド



昭和60年 長野市営陸上競技場



年度	種目 1,500 m												種目 5,000 m											
	1 位			2 位			3 位			1 位			2 位			3 位								
	記録	氏名	校名	氏名	校名	氏名	校名	氏名	校名	氏名	校名	氏名	校名	氏名	校名	氏名	校名							
22	4.42.5	牧野																						
23																								
24	4.50.0	太田	降五郎	岸野	東	東	東	松	島	下	高	農	農	農	農	農	農							
25	4.36.5	塚田	梓	岸野	東	東	東	松	島	下	高	農	農	農	農	農	農							
26	4.28.0	塚田	治雄	岸野	東	東	東	松	島	下	高	農	農	農	農	農	農							
27	4.29.7	井浦	貞正	岸野	東	東	東	松	島	下	高	農	農	農	農	農	農							
28	4.21.2	伊藤	貞正	岸野	東	東	東	松	島	下	高	農	農	農	農	農	農							
29	4.43.2	伊藤	貞正	岸野	東	東	東	松	島	下	高	農	農	農	農	農	農							
30	4.31.2	中村	秀年	岸野	東	東	東	松	島	下	高	農	農	農	農	農	農							
31	4.40.8	松沢	秀年	岸野	東	東	東	松	島	下	高	農	農	農	農	農	農							
32	4.34.5	丸山	富雄	岸野	東	東	東	松	島	下	高	農	農	農	農	農	農							
33	4.31.8	丸山	富雄	岸野	東	東	東	松	島	下	高	農	農	農	農	農	農							
34	4.23.5	大田	方幸	岸野	東	東	東	松	島	下	高	農	農	農	農	農	農							
35	4.21.9	大田	方幸	岸野	東	東	東	松	島	下	高	農	農	農	農	農	農							
36	4.22.0	中島	義昌	岸野	東	東	東	松	島	下	高	農	農	農	農	農	農							
37	4.28.0	三浦	邦夫	岸野	東	東	東	松	島	下	高	農	農	農	農	農	農							
38	4.24.7	浅井	守	岸野	東	東	東	松	島	下	高	農	農	農	農	農	農							
39	4.27.9	寺島	務	岸野	東	東	東	松	島	下	高	農	農	農	農	農	農							
40	4.23.7	小平	務	岸野	東	東	東	松	島	下	高	農	農	農	農	農	農							
41	4.14.4	小宮	青雄	岸野	東	東	東	松	島	下	高	農	農	農	農	農	農							
42	4.11.2	小宮	青雄	岸野	東	東	東	松	島	下	高	農	農	農	農	農	農							
43	4.12.8	岡宮	武邦	岸野	東	東	東	松	島	下	高	農	農	農	農	農	農							
44	4.30.6	井浦	武邦	岸野	東	東	東	松	島	下	高	農	農	農	農	農	農							
45	4.20.3	菅沼	友一	岸野	東	東	東	松	島	下	高	農	農	農	農	農	農							
46	4.24.4	菅沼	友一	岸野	東	東	東	松	島	下	高	農	農	農	農	農	農							
47	4.26.1	五明	秋男	岸野	東	東	東	松	島	下	高	農	農	農	農	農	農							
48	4.24.0	駒沢	幸尚	岸野	東	東	東	松	島	下	高	農	農	農	農	農	農							
49	4.27.0	大沢	幸尚	岸野	東	東	東	松	島	下	高	農	農	農	農	農	農							
50	4.16.0	大沢	幸尚	岸野	東	東	東	松	島	下	高	農	農	農	農	農	農							
51	4.17.7	滝沢	尚志	岸野	東	東	東	松	島	下	高	農	農	農	農	農	農							
52	4.13.6	村田	光三	岸野	東	東	東	松	島	下	高	農	農	農	農	農	農							
53	4.11.3	村田	光三	岸野	東	東	東	松	島	下	高	農	農	農	農	農	農							
54	4.18.1	高木	三孝	岸野	東	東	東	松	島	下	高	農	農	農	農	農	農							
55	4.05.6	高木	三孝	岸野	東	東	東	松	島	下	高	農	農	農	農	農	農							
56	4.15.1	入井	康一	岸野	東	東	東	松	島	下	高	農	農	農	農	農	農							
57	4.12.2	入井	康一	岸野	東	東	東	松	島	下	高	農	農	農	農	農	農							
58	4.11.4	小沢	康一	岸野	東	東	東	松	島	下	高	農	農	農	農	農	農							
59	4.03.2	小沢	康一	岸野	東	東	東	松	島	下	高	農	農	農	農	農	農							

年度	種目 110 mH (57年より110 mH-H)												種目 400 mH (200 mH)											
	1 位			2 位			3 位			1 位			2 位			3 位								
	記録	氏名	校名	氏名	校名	氏名	校名	氏名	校名	氏名	校名	氏名	校名	氏名	校名	氏名	校名							
22																								
23																								
24																								
25	17.8	伊東	好則	野	北	北	北	野	野	野	野	野	野	野	野	野	野							
26	16.4	空原	誠英	野	北	北	北	野	野	野	野	野	野	野	野	野	野							
27	17.5	佐藤	英彦	野	北	北	北	野	野	野	野	野	野	野	野	野	野							
28	16.2	佐藤	英彦	野	北	北	北	野	野	野	野	野	野	野	野	野	野							
29	18.5	市川	高橋	野	北	北	北	野	野	野	野	野	野	野	野	野	野							
30	17.8	市川	高橋	野	北	北	北	野	野	野	野	野	野	野	野	野	野							
31	17.0	柳沢	邦彦	野	北	北	北	野	野	野	野	野	野	野	野	野	野							
32	17.3	柳沢	邦彦	野	北	北	北	野	野	野	野	野	野	野	野	野	野							
33	18.4	小林	志嘉	野	北	北	北	野	野	野	野	野	野	野	野	野	野							
34	18.6	小土	小岩	野	北	北	北	野	野	野	野	野	野	野	野	野	野							
35	17.1	小松	野井	野	北	北	北	野	野	野	野	野	野	野	野	野	野							
36	18.5	小松	野井	野	北	北	北	野	野	野	野	野	野	野	野	野	野							
37	18.1	嶋田	捷	野	北	北	北	野	野	野	野	野	野	野	野	野	野							
38	16.0	原	捷	野	北	北	北	野	野	野	野	野	野	野	野	野	野							
39	15.9	原	捷	野	北	北	北	野	野	野	野	野	野	野	野	野	野							
40	16.8	白宮	孝行	野	北	北	北	野	野	野	野	野	野	野	野	野	野							
41	18.5	白宮	孝行	野	北	北	北	野	野	野	野	野	野	野	野	野	野							
42	16.0	坂田	章夫	野	北	北	北	野	野	野	野	野	野	野	野	野	野							
43	16.7	坂田	章夫	野	北	北	北	野	野	野	野	野	野	野	野	野	野							
44	17.3	浅川	康夫	野	北	北	北	野	野	野	野	野	野	野	野	野	野							
45	18.5	黒崎	康高	野	北	北	北	野	野	野	野	野	野	野	野	野	野							
46	16.9	佐藤	高利	野	北	北	北	野	野	野	野	野	野	野	野	野	野							
47	15.1	湯本	正利	野	北	北	北	野	野	野	野	野	野	野	野	野	野							
48	15.5	湯本	正利	野	北	北	北	野	野	野	野	野	野	野	野	野	野							
49	15.9	湯本	正利	野	北	北	北	野	野	野	野	野	野	野	野	野	野							
50	15.8	小出	正明	野	北	北	北	野	野	野	野	野	野	野	野	野	野							
51	15.0	藤井	昭一	野	北	北	北	野	野	野	野	野	野	野	野	野	野							
52	14.8	藤井	昭一	野	北	北	北	野	野	野	野	野	野	野	野	野	野							
53	14.3	大久保	圭二	野	北	北	北	野	野	野	野	野	野	野	野	野	野							
54	14.6	大久保	圭二	野	北	北	北	野	野	野	野	野	野	野	野	野	野							
55	14.6	杉本	真良	野	北	北	北	野	野	野	野	野	野	野	野	野	野							
56	14.7	杉本	真良	野	北	北	北	野	野	野	野	野	野	野	野	野	野							
57	15.3	山上	昌広	野	北	北	北	野	野	野	野	野	野	野	野	野	野							
58	15.5	山上	昌広	野	北	北	北	野	野	野	野	野	野	野	野	野	野							
59	15.5	小松	幸	野	北	北	北	野	野	野	野	野	野	野	野	野	野							
60	15.2	小松	幸	野	北	北	北	野	野	野	野	野	野	野	野	野	野							

年度	種目 3,000 m SC (1,500 m SC)												種目 5,000 mW (3,000 m W)																																																																																																																																																																								
	1 位				2 位				3 位				1 位				2 位				3 位																																																																																																																																																																
	記録	氏名	校名	氏名	校名	氏名	校名	氏名	校名	記録	氏名	校名	氏名	校名	氏名	校名	氏名	校名	氏名	校名	氏名	校名																																																																																																																																																															
42	2000m 5.53.2	岡宮 育雄	旭	飯島 旭	清野 須坂商	16.09.6	小島 敏久	屋代 竹村	中央 高橋 照丘	43	2000m 6.01.6	岡宮 育雄	旭	中山 須坂園	榎原 須坂園	14.49.6	青木 康男	須坂園 小根沢	中野実 丸山 中野実	44	2000m 6.14.8	井上 弘文	旭	湯本 中野実	三浦 須坂園	16.29.0	丸山 文男	中野実 西沢	須坂園 三浦 須坂園	45	2000m 6.43.4	市川 芳満	下高農	高橋 中央	西沢 中条	16.09.2	富田 幸一	更級農 関谷	下高農 雨宮 吉田	46	2000m 6.11.0	高橋 和己	中央 市川	下高農 田中	飯山北 15.10.2	関谷 聡	下高農 高橋	吉田 藤沢 須坂園	47	2000m 6.01.0	袖山 俊男	更級農	小沢 松代	井上 中央	15.13.6	高橋 恒善	吉田 藤沢	須坂園 戸谷 中条	48	2000m 6.13.4	五明 一秋	更級農	平尾 須坂園	西沢 更級農	16.00.6	和田 重孝	中条 山田	村中央 鈴木 中条	49	2000m 6.11.4	駒沢 純男	長野工	大沢 屋代	菅沼 須坂園	15.39.0	鈴木 良忠	吉田 岡村	長野工 傘木 中条	50	3000m 10.07.4	滝沢 尚志	須坂園	木ノ内 須坂園	丸山 飯山北	15.39.7	傘木 則興	中条 牧野	北野 部宮 沢吉田	51	4.48.6	小境 宏和	照丘 木ノ内	須坂園 伊藤	飯山北 15.45.2	牧野 稔	北野 伊藤	北野 部宮 沢吉田	52	4.42.5	木ノ内和明	須坂園	浅沼 中野実	伊藤 飯山北	16.53.8	伊藤 吉治	北野 部宮	下中条 穂谷 吉田	53	4.32.5	丸山 泰照	須坂園	村田 長野市	川長野東 15.44.5	穂谷 尚敏	吉田 酒井	中条 玉城 吉田	54	4.24.3	村田 淳	長野玉	坂吉田 石沢	中野実 16.07.8	富岡今朝人	北野 北村	吉田 佐藤 屋代	55	4.42.2	宮入 章	吉田 征矢	須坂園 割田	中野実 15.57.0	富岡今朝人	北野 春日原	吉田 伊藤 北野	56	4.37.4	深沢 賢弘	吉田 佐藤	飯山北 吉川	長野 15.15.4	伝田 和宏	吉田 春日原	吉田 赤沼 長野	57	4.31.0	田野口 勉	長野工	佐藤 飯山北	吉川 長野 15.01.7	伝田 和宏	吉田 官川	長野 沖吉田	58	9.53.6	山崎 芳弘	飯山北	吉見 中野実	風間 飯山南	29.00.2	滝沢 勉	吉田 真藤	中野実 宇敷 長野東	59	9.51.9	宮入 修一	更級農	栗林 中央	風間 飯山南	26.20.2	滝沢 勉	吉田 真藤	中野実 村田 長野	60	9.52.2	田幸 寛史	長野 仲吉	田室 賀藤	ノ井 26.11.5	柳原 司	藤ノ井 今井	吉田 長原 吉田

年度	種目 4×100 m R (4×200 m R)						種目 4×400 m R					
	1 位		2 位		3 位		1 位		2 位		3 位	
	記録	校名	校名	校名	校名	校名	記録	校名	校名	校名	校名	校名
22	1.48.7	須坂 中										
23												
24	1.42.9	長野 野北	屋代 代東	須坂 坂野	西工 西工							
25	1.44.5	長野 野北	屋代 代東	須坂 坂野	西工 西工							
26	1.42.8	長野 野北	屋代 代東	須坂 坂野	西工 西工							
27	1.44.3	長野 野北	屋代 代東	須坂 坂野	西工 西工							
28	1.41.5	長野 野北	屋代 代東	須坂 坂野	西工 西工							
29	1.46.6	長野 野北	屋代 代東	須坂 坂野	西工 西工							
30	1.40.6	長野 野北	屋代 代東	須坂 坂野	西工 西工							
31	1.41.7	長野 野北	屋代 代東	須坂 坂野	西工 西工							
32	1.40.9	長野 野北	屋代 代東	須坂 坂野	西工 西工							
33	1.41.3	長野 野北	屋代 代東	須坂 坂野	西工 西工							
34	1.43.6	長野 野北	屋代 代東	須坂 坂野	西工 西工							
35	1.40.9	長野 野北	屋代 代東	須坂 坂野	西工 西工							
36	1.41.0	長野 野北	屋代 代東	須坂 坂野	西工 西工							
37	1.38.0	長野 野北	屋代 代東	須坂 坂野	西工 西工							
38	1.40.6	長野 野北	屋代 代東	須坂 坂野	西工 西工							
39	1.39.1	長野 野北	屋代 代東	須坂 坂野	西工 西工							
40	45.9	長野 野北	屋代 代東	須坂 坂野	西工 西工	3:45.5	長野 野北	屋代 代東	須坂 坂野	西工 西工	代東 代東	野北 野北
41	47.7	長野 野北	屋代 代東	須坂 坂野	西工 西工	4.00.9	長野 野北	屋代 代東	須坂 坂野	西工 西工	代東 代東	野北 野北
42	45.5	長野 野北	屋代 代東	須坂 坂野	西工 西工	3.38.1	長野 野北	屋代 代東	須坂 坂野	西工 西工	代東 代東	野北 野北
43	45.2	長野 野北	屋代 代東	須坂 坂野	西工 西工	3.42.8	長野 野北	屋代 代東	須坂 坂野	西工 西工	代東 代東	野北 野北
44	46.1	長野 野北	屋代 代東	須坂 坂野	西工 西工	3.44.3	長野 野北	屋代 代東	須坂 坂野	西工 西工	代東 代東	野北 野北
45	45.8	長野 野北	屋代 代東	須坂 坂野	西工 西工	4.11.2	長野 野北	屋代 代東	須坂 坂野	西工 西工	代東 代東	野北 野北
46	46.5	長野 野北	屋代 代東	須坂 坂野	西工 西工	3.47.3	長野 野北	屋代 代東	須坂 坂野	西工 西工	代東 代東	野北 野北
47	45.7	長野 野北	屋代 代東	須坂 坂野	西工 西工	3.39.7	長野 野北	屋代 代東	須坂 坂野	西工 西工	代東 代東	野北 野北
48	45.6	長野 野北	屋代 代東	須坂 坂野	西工 西工	3.42.7	長野 野北	屋代 代東	須坂 坂野	西工 西工	代東 代東	野北 野北
49	45.2	長野 野北	屋代 代東	須坂 坂野	西工 西工	3.43.2	長野 野北	屋代 代東	須坂 坂野	西工 西工	代東 代東	野北 野北
50	45.1	長野 野北	屋代 代東	須坂 坂野	西工 西工	3.39.6	長野 野北	屋代 代東	須坂 坂野	西工 西工	代東 代東	野北 野北
51	44.2	長野 野北	屋代 代東	須坂 坂野	西工 西工	3.38.7	長野 野北	屋代 代東	須坂 坂野	西工 西工	代東 代東	野北 野北
52	44.2	長野 野北	屋代 代東	須坂 坂野	西工 西工	3.31.3	長野 野北	屋代 代東	須坂 坂野	西工 西工	代東 代東	野北 野北
53	43.8	長野 野北	屋代 代東	須坂 坂野	西工 西工	3.30.0	長野 野北	屋代 代東	須坂 坂野	西工 西工	代東 代東	野北 野北
54	44.3	長野 野北	屋代 代東	須坂 坂野	西工 西工	3.29.1	長野 野北	屋代 代東	須坂 坂野	西工 西工	代東 代東	野北 野北
55	44.5	長野 野北	屋代 代東	須坂 坂野	西工 西工	3.33.6	長野 野北	屋代 代東	須坂 坂野	西工 西工	代東 代東	野北 野北
56	44.1	長野 野北	屋代 代東	須坂 坂野	西工 西工	3.30.8	長野 野北	屋代 代東	須坂 坂野	西工 西工	代東 代東	野北 野北
57	44.2	長野 野北	屋代 代東	須坂 坂野	西工 西工	3.34.6	長野 野北	屋代 代東	須坂 坂野	西工 西工	代東 代東	野北 野北
58	44.8	長野 野北	屋代 代東	須坂 坂野	西工 西工	3.32.3	長野 野北	屋代 代東	須坂 坂野	西工 西工	代東 代東	野北 野北
59	44.4	長野 野北	屋代 代東	須坂 坂野	西工 西工	3.29.4	長野 野北	屋代 代東	須坂 坂野	西工 西工	代東 代東	野北 野北
60	44.0	長野 野北	屋代 代東	須坂 坂野	西工 西工	3.28.6	長野 野北	屋代 代東	須坂 坂野	西工 西工	代東 代東	野北 野北

年度	種目 走高跳												種目 棒高跳											
	1 位				2 位				3 位				1 位				2 位				3 位			
	記録	氏名	校名	氏名	校名	氏名	校名	氏名	校名	氏名	校名	氏名	校名	氏名	校名	氏名	校名	氏名	校名	氏名	校名	氏名	校名	
22	1.54	竹内	長野師	森	池宮	森	村田	越中	西工	2.90	高町	幸忠	雄義	実農	高福	橋田	須中	坂野	西実	塩江	崎口	須中	坂山	
23	1.67	小林	嘉雄	須長	池宮	森	村田	越中	西工	2.90	高町	幸忠	雄義	実農	高福	橋田	須中	坂野	西実	塩江	崎口	須中	坂山	
24	1.65	小口	正行	須長	池宮	森	村田	越中	西工	3.10	高町	幸忠	雄義	実農	高福	橋田	須中	坂野	西実	塩江	崎口	須中	坂山	
25	1.60	小口	正行	須長	池宮	森	村田	越中	西工	2.96	高町	幸忠	雄義	実農	高福	橋田	須中	坂野	西実	塩江	崎口	須中	坂山	
26	1.60	高橋	久一郎	須長	池宮	森	村田	越中	西工	3.00	高町	幸忠	雄義	実農	高福	橋田	須中	坂野	西実	塩江	崎口	須中	坂山	
27	1.70	塚田	久一郎	須長	池宮	森	村田	越中	西工	3.10	高町	幸忠	雄義	実農	高福	橋田	須中	坂野	西実	塩江	崎口	須中	坂山	
28	1.65	高橋	久一郎	須長	池宮	森	村田	越中	西工	2.90	高町	幸忠	雄義	実農	高福	橋田	須中	坂野	西実	塩江	崎口	須中	坂山	
29	1.65	高橋	久一郎	須長	池宮	森	村田	越中	西工	3.10	高町	幸忠	雄義	実農	高福	橋田	須中	坂野	西実	塩江	崎口	須中	坂山	
30	1.65	高橋	久一郎	須長	池宮	森	村田	越中	西工	2.80	高町	幸忠	雄義	実農	高福	橋田	須中	坂野	西実	塩江	崎口	須中	坂山	
31	1.65	高橋	久一郎	須長	池宮	森	村田	越中	西工	3.00	高町	幸忠	雄義	実農	高福	橋田	須中	坂野	西実	塩江	崎口	須中	坂山	
32	1.65	高橋	久一郎	須長	池宮	森	村田	越中	西工	3.20	高町	幸忠	雄義	実農	高福	橋田	須中	坂野	西実	塩江	崎口	須中	坂山	
33	1.75	小瀨	忠久	須長	池宮	森	村田	越中	西工	3.00	高町	幸忠	雄義	実農	高福	橋田	須中	坂野	西実	塩江	崎口	須中	坂山	
34	1.70	本誌	久直	須長	池宮	森	村田	越中	西工	3.20	高町	幸忠	雄義	実農	高福	橋田	須中	坂野	西実	塩江	崎口	須中	坂山	
35	1.75	坂詰	久直	須長	池宮	森	村田	越中	西工	3.10	高町	幸忠	雄義	実農	高福	橋田	須中	坂野	西実	塩江	崎口	須中	坂山	
36	1.70	内田	慶治	須長	池宮	森	村田	越中	西工	3.30	高町	幸忠	雄義	実農	高福	橋田	須中	坂野	西実	塩江	崎口	須中	坂山	
37	1.70	浦野	義弘	須長	池宮	森	村田	越中	西工	3.45	高町	幸忠	雄義	実農	高福	橋田	須中	坂野	西実	塩江	崎口	須中	坂山	
38	1.71	丸中	正博	須長	池宮	森	村田	越中	西工	3.10	高町	幸忠	雄義	実農	高福	橋田	須中	坂野	西実	塩江	崎口	須中	坂山	
39	1.70	丸中	正博	須長	池宮	森	村田	越中	西工	3.25	高町	幸忠	雄義	実農	高福	橋田	須中	坂野	西実	塩江	崎口	須中	坂山	
40	1.75	吉家	研明	須長	池宮	森	村田	越中	西工	3.60	高町	幸忠	雄義	実農	高福	橋田	須中	坂野	西実	塩江	崎口	須中	坂山	
41	1.60	吉家	研明	須長	池宮	森	村田	越中	西工	3.90	高町	幸忠	雄義	実農	高福	橋田	須中	坂野	西実	塩江	崎口	須中	坂山	
42	1.80	吉家	研明	須長	池宮	森	村田	越中	西工	3.70	高町	幸忠	雄義	実農	高福	橋田	須中	坂野	西実	塩江	崎口	須中	坂山	
43	1.75	山上	昌清	須長	池宮	森	村田	越中	西工	3.30	高町	幸忠	雄義	実農	高福	橋田	須中	坂野	西実	塩江	崎口	須中	坂山	
44	1.71	山上	昌清	須長	池宮	森	村田	越中	西工	3.20	高町	幸忠	雄義	実農	高福	橋田	須中	坂野	西実	塩江	崎口	須中	坂山	
45	1.65	山上	昌清	須長	池宮	森	村田	越中	西工	3.10	高町	幸忠	雄義	実農	高福	橋田	須中	坂野	西実	塩江	崎口	須中	坂山	
46	1.76	山上	昌清	須長	池宮	森	村田	越中	西工	3.30	高町	幸忠	雄義	実農	高福	橋田	須中	坂野	西実	塩江	崎口	須中	坂山	
47	1.71	山上	昌清	須長	池宮	森	村田	越中	西工	3.20	高町	幸忠	雄義	実農	高福	橋田	須中	坂野	西実	塩江	崎口	須中	坂山	
48	1.76	山上	昌清	須長	池宮	森	村田	越中	西工	3.60	高町	幸忠	雄義	実農	高福	橋田	須中	坂野	西実	塩江	崎口	須中	坂山	
49	1.85	前川	和夫	須長	池宮	森	村田	越中	西工	3.80	高町	幸忠	雄義	実農	高福	橋田	須中	坂野	西実	塩江	崎口	須中	坂山	
50	1.80	前川	和夫	須長	池宮	森	村田	越中	西工	4.20	高町	幸忠	雄義	実農	高福	橋田	須中	坂野	西実	塩江	崎口	須中	坂山	
51	1.80	真木	裕雄	須長	池宮	森	村田	越中	西工	4.20	高町	幸忠	雄義	実農	高福	橋田	須中	坂野	西実	塩江	崎口	須中	坂山	
52	2.00	加藤	圭造	須長	池宮	森	村田	越中	西工	4.20	高町	幸忠	雄義	実農	高福	橋田	須中	坂野	西実	塩江	崎口	須中	坂山	
53	1.95	加藤	圭造	須長	池宮	森	村田	越中	西工	4.10	高町	幸忠	雄義	実農	高福	橋田	須中	坂野	西実	塩江	崎口	須中	坂山	
54	1.90	山本	正芳	須長	池宮	森	村田	越中	西工	4.20	高町	幸忠	雄義	実農	高福	橋田	須中	坂野	西実	塩江	崎口	須中	坂山	
55	1.95	山本	正芳	須長	池宮	森	村田	越中	西工	4.20	高町	幸忠	雄義	実農	高福	橋田	須中	坂野	西実	塩江	崎口	須中	坂山	
56	1.95	早川	孝一	須長	池宮	森	村田	越中	西工	4.46	高町	幸忠	雄義	実農	高福	橋田	須中	坂野	西実	塩江	崎口	須中	坂山	
57	2.00	早川	孝一	須長	池宮	森	村田	越中	西工	4.46	高町	幸忠	雄義	実農	高福	橋田	須中	坂野	西実	塩江	崎口	須中	坂山	
58	1.95	早川	孝一	須長	池宮	森	村田	越中	西工	4.00	高町	幸忠	雄義	実農	高福	橋田	須中	坂野	西実	塩江	崎口	須中	坂山	
59	1.95	山崎	健二	須長	池宮	森	村田	越中	西工	4.46	高町	幸忠	雄義	実農	高福	橋田	須中	坂野	西実	塩江	崎口	須中	坂山	
60	1.90	山崎	健二	須長	池宮	森	村田	越中	西工	4.60	高町	幸忠	雄義	実農	高福	橋田	須中	坂野	西実	塩江	崎口	須中	坂山	

年度	種目 三段跳												
	1 位				2 位				3 位				
	記録	氏名	校名										
22	5.52	山口	長野師										
23	6.01	山口	暫行	上水	農北	峰本	鳥島	中長	野北	瀧三	沢内	西工	12.69
24	5.84	山口	暫行	上水	農北	峰本	鳥島	中長	野北	瀧三	沢内	西工	12.25
25	6.49	小口	信一	野北	北北	野北	野北	野北	野北	野北	野北	野北	12.07
26	5.82	小林	信一	野北	北北	野北	野北	野北	野北	野北	野北	野北	12.07
27	5.89	小林	信一	野北	北北	野北	野北	野北	野北	野北	野北	野北	12.07
28	5.67	山口	武博	野北	北北	野北	野北	野北	野北	野北	野北	野北	11.68
29	6.15	山口	武博	野北	北北	野北	野北	野北	野北	野北	野北	野北	12.57
30	5.89	山口	武博	野北	北北	野北	野北	野北	野北	野北	野北	野北	12.29
31	6.07	山口	武博	野北	北北	野北	野北	野北	野北	野北	野北	野北	13.17
32	6.07	山口	武博	野北	北北	野北	野北	野北	野北	野北	野北	野北	12.77
33	6.49	山口	武博	野北	北北	野北	野北	野北	野北	野北	野北	野北	13.27
34	6.24	山口	武博	野北	北北	野北	野北	野北	野北	野北	野北	野北	13.19
35	6.39	山口	武博	野北	北北	野北	野北	野北	野北	野北	野北	野北	13.24
36	6.18	山口	武博	野北	北北	野北	野北	野北	野北	野北	野北	野北	12.88
37	6.20	山口	武博	野北	北北	野北	野北	野北	野北	野北	野北	野北	13.15
38	6.41	山口	武博	野北	北北	野北	野北	野北	野北	野北	野北	野北	13.28
39	6.31	山口	武博	野北	北北	野北	野北	野北	野北	野北	野北	野北	13.93
40	7.11	山口	武博	野北	北北	野北	野北	野北	野北	野北	野北	野北	13.07
41	6.53	山口	武博	野北	北北	野北	野北	野北	野北	野北	野北	野北	13.22
42	6.25	山口	武博	野北	北北	野北	野北	野北	野北	野北	野北	野北	13.73
43	6.88	山口	武博	野北	北北	野北	野北	野北	野北	野北	野北	野北	12.90
44	5.82	山口	武博	野北	北北	野北	野北	野北	野北	野北	野北	野北	12.39
45	6.32	山口	武博	野北	北北	野北	野北	野北	野北	野北	野北	野北	13.00
46	6.37	山口	武博	野北	北北	野北	野北	野北	野北	野北	野北	野北	13.17
47	6.67	山口	武博	野北	北北	野北	野北	野北	野北	野北	野北	野北	13.61
48	6.72	山口	武博	野北	北北	野北	野北	野北	野北	野北	野北	野北	13.62
49	6.83	山口	武博	野北	北北	野北	野北	野北	野北	野北	野北	野北	12.82
50	6.55	山口	武博	野北	北北	野北	野北	野北	野北	野北	野北	野北	13.87
51	6.87	山口	武博	野北	北北	野北	野北	野北	野北	野北	野北	野北	13.87
52	6.98	山口	武博	野北	北北	野北	野北	野北	野北	野北	野北	野北	14.39
53	7.01	山口	武博	野北	北北	野北	野北	野北	野北	野北			





年度	種目 400 m												種目 800 m											
	1 位			2 位			3 位			1 位			2 位			3 位								
	記録	氏名	校名	氏名	校名	氏名	校名	氏名	校名	記録	氏名	校名	氏名	校名	氏名	校名	氏名	校名						
37										2.47.9	島田 禎子	須坂	森小	山松	校代	名代	氏	名						
38										2.43.2	島田 禎子	須坂	東東	松旭	代南	野	獲	原						
39										2.43.7	神田 和子	須坂	清商	水本	中野	野	獲	原						
40										2.40.7	荻原やす江	須坂	東東	中敷	山南	野	獲	原						
41										2.50.0	齊藤みよ子	文文	富富	井井	山南	野	中	宮						
42										2.32.8	齊藤みよ子	文文	富富	井井	山南	野	中	宮						
43										2.37.1	山崎波津子	文文	富富	井井	山南	野	中	宮						
44										2.37.2	原山登志子	早早	月月	山崎	女中	野	池	中						
45										2.55.5	清水さゆり	野野	佐々	木中	野	野	池	中						
46										2.26.2	藤倉 住江	野野	矢矢	野野	野	野	池	中						
47	1.04.7	渡辺 洋子	中野	渡	坂	内島	長野	西野	2.34.1	渡辺 洋子	中野	野野	野野	野野	野野	野野	野野	野野						
48	1.09.3	武士 哲子	中野	坂	内島	長野	西野	西野	2.34.5	武士 哲子	中野	野野	野野	野野	野野	野野	野野	野野						
49	1.04.1	冬木 弓子	中野	坂	内島	長野	西野	西野	2.31.0	武士 哲子	中野	野野	野野	野野	野野	野野	野野	野野						
50	1.05.2	上谷菜穂子	中野	坂	内島	長野	西野	西野	2.27.6	上谷菜穂子	中野	野野	野野	野野	野野	野野	野野	野野						
51	1.01.6	上谷菜穂子	中野	坂	内島	長野	西野	西野	2.22.5	上谷菜穂子	中野	野野	野野	野野	野野	野野	野野	野野						
52	1.03.8	倉田 裕子	長野	野	西	中	野	野	2.32.7	加藤 昌子	野野	野野	野野	野野	野野	野野	野野	野野						
53	1.03.8	倉田 裕子	長野	野	西	中	野	野	2.28.7	丸山 直美	野野	野野	野野	野野	野野	野野	野野	野野						
54	1.03.0	宮崎 悦子	中野	野	小	中	野	野	2.30.7	小林かおり	中野	野野	野野	野野	野野	野野	野野	野野						
55	1.03.9	笠原 園子	中野	野	小	中	野	野	2.29.2	小林 浩美	中野	野野	野野	野野	野野	野野	野野	野野						
56	1.03.3	岡本 恵美	中野	野	小	中	野	野	2.22.2	小林 浩美	中野	野野	野野	野野	野野	野野	野野	野野						
57	1.04.0	岩田 千恵	長野	野	山	小	野	野	2.28.2	塚田久美子	中野	野野	野野	野野	野野	野野	野野	野野						
58	1.02.2	山田まゆみ	飯山	北	野	野	野	野	2.22.5	矢部 香	野野	野野	野野	野野	野野	野野	野野	野野						
59	1.03.2	坪井志乃	飯山	北	野	野	野	野	2.26.4	坪井志乃	野野	野野	野野	野野	野野	野野	野野	野野						
60	1.01.5	巴 玲美子	飯山	北	野	野	野	野	2.22.0	巴 玲美子	野野	野野	野野	野野	野野	野野	野野	野野						

年度	種目 100 m H (43年まで80 m H)												種目 4×100 m R											
	1 位			2 位			3 位			1 位			2 位			3 位								
	記録	氏名	校名	氏名	校名	氏名	校名	氏名	校名	記録	氏名	校名	氏名	校名	氏名	校名	氏名	校名						
22										58.0	須坂 高女													
23																								
24	14.5	山田 幸子	中野	野	柴	田	須坂	東野	56.6	須坂 高女														
25	14.2	山田 幸子	中野	野	柴	田	須坂	東野	57.2	須坂 高女														
26	14.3	山田 幸子	中野	野	柴	田	須坂	東野	57.2	須坂 高女														
27	15.0	林部 郁子	中野	野	片	桐	須坂	東野	57.5	須坂 高女														
28	15.1	月岡 義子	飯山	山	山	崎	中野	野	55.0	須坂 高女														
29	15.4	金崎千枝子	飯山	山	山	崎	中野	野	1.01.1	須坂 高女														
30	15.4	谷中美智子	中野	野	須坂	東野	須坂	東野	58.1	須坂 高女														
31	15.4	久保 徳	須坂	野	青	木	須坂	東野	57.1	須坂 高女														
32	15.2	森 あや子	須坂	野	西	丸	須坂	東野	56.8	須坂 高女														
33	15.1	小口 友子	長野	野	石	矢	須坂	東野	58.9	須坂 高女														
34	14.4	高木 昌子	中野	野	石	矢	須坂	東野	54.9	須坂 高女														
35	14.8	矢沢 清子	中野	野	石	矢	須坂	東野	56.8	須坂 高女														
36	13.1	中沢 優子	松代	野	小	久	須坂	東野	54.5	須坂 高女														
37	14.2	中木村キヨ	須坂	野	保	田	須坂	東野	58.0	須坂 高女														
38	13.5	島田 禎子	須坂	野	保	田	須坂	東野	54.8	須坂 高女														
39	13.2	小根山政子	須坂	野	保	田	須坂	東野	54.7	須坂 高女														
40	13.7	足立まさ子	須坂	野	保	田	須坂	東野	57.9	須坂 高女														
41	14.5	知野 文子	須坂	野	保	田	須坂	東野	52.6	須坂 高女														
42	13.4	徳満 文枝	長野	野	保	田	須坂	東野	56.6	須坂 高女														
43	13.4	倉沢さく子	須坂	野	保	田	須坂	東野	60.0	須坂 高女														
44	19.0	倉沢さく子	須坂	野	保	田	須坂	東野	54.3	須坂 高女														
45	18.4	田中 秀子	須坂	野	保	田	須坂	東野	54.0	須坂 高女														
46	17.2	高橋すみ江	須坂	野	保	田	須坂	東野	54.9	須坂 高女														
47	17.1	布鹿谷 穂子	須坂	野	保	田	須坂	東野	54.4	須坂 高女														
48	18.9	山崎 圭子	須坂	野	保	田	須坂	東野	54.4	須坂 高女														
49	17.1	権原 久枝	須坂	野	保	田	須坂	東野	51.8	須坂 高女														
50	17.9	徳武 悦子	須坂	野	保	田	須坂	東野	51.3	須坂 高女														
51	16.5	田幸ひろみ	須坂	野	保	田	須坂	東野	52.2	須坂 高女														
52	15.6	田幸ひろみ	須坂	野	保	田	須坂	東野	52.5	須坂 高女														
53	15.5	滝沢美智子	須坂	野	保	田	須坂	東野	51.6	須坂 高女														
54	16.4	関上 絹子	須坂	野	保	田	須坂	東野	53.2	須坂 高女														
55	15.2	小川 敦子	須坂	野	保	田	須坂	東野	53.2	須坂 高女														
56	16.3	関上 絹子	須坂	野	保	田	須坂	東野	52.9	須坂 高女														
57	14.9	清水ちえみ	須坂	野	保	田	須坂	東野	52.5	須坂 高女														
58	16.9	長屋高代美	須坂	野	保	田	須坂	東野	51.4	須坂 高女														
59	16.9	松沢 麻紀	須坂	野	保	田	須坂	東野																
60	16.2	宮下 由美	須坂	野	保	田	須坂	東野																



種目	や り 投			種目			五種競技			
	1 位	2 位	3 位	1 位	2 位	3 位	1 位	2 位	3 位	
記録	氏 名	校 名	氏 名	校 名	氏 名	校 名	氏 名	校 名	氏 名	校 名
25	26.20	徳永千代子	坂東東	氏唐立	名	長須	名	須	名	須
26	24.26	佐藤静子	坂東東	校岩谷	名	須	名	須	名	須
27	26.74	小林澄子	須南東	校須	名	須	名	須	名	須
28	24.87	小大橋千	須南東	校須	名	須	名	須	名	須
29	25.46	湯井中	須南東	校須	名	須	名	須	名	須
30	28.18	清水み	須南東	校須	名	須	名	須	名	須
31	28.52	田久保	須南東	校須	名	須	名	須	名	須
32	26.81	土原つ	須南東	校須	名	須	名	須	名	須
33	31.60	町野た	須南東	校須	名	須	名	須	名	須
34	26.80	斎藤靖	須南東	校須	名	須	名	須	名	須
35	31.68	藤村正	須南東	校須	名	須	名	須	名	須
36	29.86	木村寿	須南東	校須	名	須	名	須	名	須
37	31.25	木村寿	須南東	校須	名	須	名	須	名	須
38	31.15	曾根寿	須南東	校須	名	須	名	須	名	須
39	35.10	浦林み	須南東	校須	名	須	名	須	名	須
40	30.77	若林み	須南東	校須	名	須	名	須	名	須
41	29.16	野田江	須南東	校須	名	須	名	須	名	須
42	32.92	野田江	須南東	校須	名	須	名	須	名	須
43	32.96	野田江	須南東	校須	名	須	名	須	名	須
44	30.62	野田江	須南東	校須	名	須	名	須	名	須
45	28.96	野田江	須南東	校須	名	須	名	須	名	須
46	29.94	野田江	須南東	校須	名	須	名	須	名	須
47	30.70	野田江	須南東	校須	名	須	名	須	名	須
48	31.00	野田江	須南東	校須	名	須	名	須	名	須
49	28.90	野田江	須南東	校須	名	須	名	須	名	須
50	29.86	野田江	須南東	校須	名	須	名	須	名	須
51	32.80	野田江	須南東	校須	名	須	名	須	名	須
52	34.68	野田江	須南東	校須	名	須	名	須	名	須
53	29.18	野田江	須南東	校須	名	須	名	須	名	須
54	34.22	野田江	須南東	校須	名	須	名	須	名	須
55	28.46	野田江	須南東	校須	名	須	名	須	名	須
56	30.74	野田江	須南東	校須	名	須	名	須	名	須
57	34.06	野田江	須南東	校須	名	須	名	須	名	須
58	35.20	野田江	須南東	校須	名	須	名	須	名	須
59	34.54	野田江	須南東	校須	名	須	名	須	名	須
60	35.42	野田江	須南東	校須	名	須	名	須	名	須

年度	種目			総合得点		
	1 位	2 位	3 位	1 位	2 位	3 位
記録	氏 名	校 名	氏 名	校 名	氏 名	校 名
22	須坂	東	須坂	東	須坂	東
23	須坂	東	須坂	東	須坂	東
24	須坂	東	須坂	東	須坂	東
25	須坂	東	須坂	東	須坂	東
26	須坂	東	須坂	東	須坂	東
27	須坂	東	須坂	東	須坂	東
28	須坂	東	須坂	東	須坂	東
29	須坂	東	須坂	東	須坂	東
30	須坂	東	須坂	東	須坂	東
31	須坂	東	須坂	東	須坂	東
32	須坂	東	須坂	東	須坂	東
33	須坂	東	須坂	東	須坂	東
34	須坂	東	須坂	東	須坂	東
35	須坂	東	須坂	東	須坂	東
36	須坂	東	須坂	東	須坂	東
37	須坂	東	須坂	東	須坂	東
38	須坂	東	須坂	東	須坂	東
39	須坂	東	須坂	東	須坂	東
40	須坂	東	須坂	東	須坂	東
41	須坂	東	須坂	東	須坂	東
42	須坂	東	須坂	東	須坂	東
43	須坂	東	須坂	東	須坂	東
44	須坂	東	須坂	東	須坂	東
45	須坂	東	須坂	東	須坂	東
46	須坂	東	須坂	東	須坂	東
47	須坂	東	須坂	東	須坂	東
48	須坂	東	須坂	東	須坂	東
49	須坂	東	須坂	東	須坂	東
50	須坂	東	須坂	東	須坂	東
51	須坂	東	須坂	東	須坂	東
52	須坂	東	須坂	東	須坂	東
53	須坂	東	須坂	東	須坂	東
54	須坂	東	須坂	東	須坂	東
55	須坂	東	須坂	東	須坂	東
56	須坂	東	須坂	東	須坂	東
57	須坂	東	須坂	東	須坂	東
58	須坂	東	須坂	東	須坂	東
59	須坂	東	須坂	東	須坂	東
60	須坂	東	須坂	東	須坂	東

年度	種目			駅伝競走		
	1 位	2 位	3 位	1 位	2 位	3 位
記録	氏 名	校 名	氏 名	校 名	氏 名	校 名
22	須坂	東	須坂	東	須坂	東
23	須坂	東	須坂	東	須坂	東
24	須坂	東	須坂	東	須坂	東
25	須坂	東	須坂	東	須坂	東
26	須坂	東	須坂	東	須坂	東
27	須坂	東	須坂	東	須坂	東
28	須坂	東	須坂	東	須坂	東
29	須坂	東	須坂	東	須坂	東
30	須坂	東	須坂	東	須坂	東
31	須坂	東	須坂	東	須坂	東
32	須坂	東	須坂	東	須坂	東
33	須坂	東	須坂	東	須坂	東
34	須坂	東	須坂	東	須坂	東
35	須坂	東	須坂	東	須坂	東
36	須坂	東	須坂	東	須坂	東
37	須坂	東	須坂	東	須坂	東
38	須坂	東	須坂	東	須坂	東
39	須坂	東	須坂	東	須坂	東
40	須坂	東	須坂	東	須坂	東
41	須坂	東	須坂	東	須坂	東
42	須坂	東	須坂	東	須坂	東
43	須坂	東	須坂	東	須坂	東
44	須坂	東	須坂	東	須坂	東
45	須坂	東	須坂	東	須坂	東
46	須坂	東	須坂	東	須坂	東
47	須坂	東	須坂	東	須坂	東
48	須坂	東	須坂	東	須坂	東
49	須坂	東	須坂	東	須坂	東
50	須坂	東	須坂	東	須坂	東
51	須坂	東	須坂	東	須坂	東
52	須坂	東	須坂	東	須坂	東
53	須坂	東	須坂	東	須坂	東
54	須坂	東	須坂	東	須坂	東
55	須坂	東	須坂	東	須坂	東
56	須坂	東	須坂	東	須坂	東
57	須坂	東	須坂	東	須坂	東
58	須坂	東	須坂	東	須坂	東
59	須坂	東	須坂	東	須坂	東
60	須坂	東	須坂	東	須坂	東

北信高等学校秋季体育大会（新人大会は51年より開始）

男子

年度	種目 100 m															種目 200 m																		
	1 位					2 位					3 位					1 位					2 位					3 位								
	記録	氏名	校名	氏名	校名	氏名	校名	氏名	校名	氏名	校名	氏名	校名	氏名	校名	記録	氏名	校名	氏名	校名	氏名	校名	氏名	校名	氏名	校名	氏名	校名	氏名	校名	氏名	校名		
51	10.9	中込	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須			
52	11.0	遠藤	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須			
53	11.3	小林	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須			
54	10.9	青木	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須		
55	11.4	内山	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須		
56	11.2	南雲	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	
57	11.6	峰村	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	
58	11.2	宮崎	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	
59	11.4	清水	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	
60	11.3	北村	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須	須須

年度	種目 走幅跳															種目 三段跳																	
	1 位					2 位					3 位					1 位					2 位					3 位							
	記録	氏	名	校	名	氏	名	校	名	氏	名	校	名	記録	氏	名	校	名	氏	名	校	名	氏	名	校	名	氏	名	校	名	氏	名	校
51	6.99	遠藤	茂	坂	古	川	長	野	高	橋	中	央	14.01	遠藤	圭	須	坂	加	中	須	野	坂	倉	田	原	吉	野	田	坂	野	野		
52	6.92	遠藤	童	坂	古	川	長	野	高	橋	中	央	13.84	遠藤	圭	須	坂	加	中	須	野	坂	倉	田	原	吉	野	田	坂	野	野		
53	6.67	遠藤	童	坂	古	川	長	野	高	橋	中	央	13.06	遠藤	圭	須	坂	加	中	須	野	坂	倉	田	原	吉	野	田	坂	野	野		
54	6.54	遠藤	童	坂	古	川	長	野	高	橋	中	央	13.37	遠藤	圭	須	坂	加	中	須	野	坂	倉	田	原	吉	野	田	坂	野	野		
55	6.57	遠藤	童	坂	古	川	長	野	高	橋	中	央	13.21	遠藤	圭	須	坂	加	中	須	野	坂	倉	田	原	吉	野	田	坂	野	野		
56	6.49	遠藤	童	坂	古	川	長	野	高	橋	中	央	13.34	遠藤	圭	須	坂	加	中	須	野	坂	倉	田	原	吉	野	田	坂	野	野		
57	6.40	遠藤	童	坂	古	川	長	野	高	橋	中	央	13.30	遠藤	圭	須	坂	加	中	須	野	坂	倉	田	原	吉	野	田	坂	野	野		
58	6.33	遠藤	童	坂	古	川	長	野	高	橋	中	央	13.58	遠藤	圭	須	坂	加	中	須	野	坂	倉	田	原	吉	野	田	坂	野	野		
59	6.46	遠藤	童	坂	古	川	長	野	高	橋	中	央	14.24	遠藤	圭	須	坂	加	中	須	野	坂	倉	田	原	吉	野	田	坂	野	野		
60	6.61	遠藤	童	坂	古	川	長	野	高	橋	中	央		遠藤	圭	須	坂	加	中	須	野	坂	倉	田	原	吉	野	田	坂	野	野		

年度	種目 走高跳															種目 棒高跳																	
	1 位					2 位					3 位					1 位					2 位					3 位							
	記録	氏	名	校	名	氏	名	校	名	氏	名	校	名	記録	氏	名	校	名	氏	名	校	名	氏	名	校	名	氏	名	校	名	氏	名	校
51	1.85	小林	祥	中	央	氏	黒	野	名	坂	飯	名	島	井	野	名	条	野	中	野	中	野	中	野	中	野	中	野	中	野	中	野	
52	1.96	小林	祥	中	央	氏	黒	野	名	坂	飯	名	島	井	野	名	条	野	中	野	中	野	中	野	中	野	中	野	中	野	中	野	
53	1.80	小林	祥	中	央	氏	黒	野	名	坂	飯	名	島	井	野	名	条	野	中	野	中	野	中	野	中	野	中	野	中	野	中	野	
54	1.90	小林	祥	中	央	氏	黒	野	名	坂	飯	名	島	井	野	名	条	野	中	野	中	野	中	野	中	野	中	野	中	野	中	野	
55	1.96	小林	祥	中	央	氏	黒	野	名	坂	飯	名	島	井	野	名	条	野	中	野	中	野	中	野	中	野	中	野	中	野	中	野	
56	1.85	小林	祥	中	央	氏	黒	野	名	坂	飯	名	島	井	野	名	条	野	中	野	中	野	中	野	中	野	中	野	中	野	中	野	
57	1.96	小林	祥	中	央	氏	黒	野	名	坂	飯	名	島	井	野	名	条	野	中	野	中	野	中	野	中	野	中	野	中	野	中	野	
58	1.96	小林	祥	中	央	氏	黒	野	名	坂	飯	名	島	井	野	名	条	野	中	野	中	野	中	野	中	野	中	野	中	野	中	野	
59	1.96	小林	祥	中	央	氏	黒	野	名	坂	飯	名	島	井	野	名	条	野	中	野	中	野	中	野	中	野	中	野	中	野	中	野	
60	1.90	小林	祥	中	央	氏	黒	野	名	坂	飯	名	島	井	野	名	条	野	中	野	中	野	中	野	中	野	中	野	中	野	中	野	

年度	種目 砲丸投															種目 円盤投																	
	1 位					2 位					3 位					1 位					2 位					3 位							
	記録	氏	名	校	名	氏	名	校	名	氏	名	校	名	記録	氏	名	校	名	氏	名	校	名	氏	名	校	名	氏	名	校	名	氏	名	校
51	10.69	羽田	新	中	央	氏	山	高	小	野	名	農	野	部	田	工	園	部	工	園	部	工	園	部	工	園	部	工	園	部	工	園	
52	12.65	羽田	新	中	央	氏	山	高	小	野	名	農	野	部	田	工	園	部	工	園	部	工	園	部	工	園	部	工	園	部	工	園	
53	12.42	羽田	新	中	央	氏	山	高	小	野	名	農	野	部	田	工	園	部	工	園	部	工	園	部	工	園	部	工	園	部	工	園	
54	12.80	羽田	新	中	央	氏	山	高	小	野	名	農	野	部	田	工	園	部	工	園	部	工	園	部	工	園	部	工	園	部	工	園	
55	12.07	羽田	新	中	央	氏	山	高	小	野	名	農	野	部	田	工	園	部	工	園	部	工	園	部	工	園	部	工	園	部	工	園	
56	13.16	羽田	新	中	央	氏	山	高	小	野	名	農	野	部	田	工	園	部	工	園	部	工	園	部	工	園	部	工	園	部	工	園	
57	12.31	羽田	新	中	央	氏	山	高	小	野	名	農	野	部	田	工	園	部	工	園	部	工	園	部	工	園	部	工	園	部	工	園	
58	13.06	羽田	新	中	央	氏	山	高	小	野	名	農	野	部	田	工	園	部	工	園	部	工	園	部	工	園	部	工	園	部	工	園	
59	11.84	羽田	新	中	央	氏	山	高	小	野	名	農	野	部	田	工	園	部	工	園	部	工	園	部	工	園	部	工	園	部	工	園	
60	13.66	羽田	新	中	央	氏	山	高	小	野	名	農	野	部	田	工	園	部	工	園	部	工	園	部	工	園	部	工	園	部	工	園	

年度	種目 ハンマー投 (57年より14Pの重量)															種目 やり投																	
	1 位					2 位					3 位					1 位					2 位					3 位							
	記録	氏	名	校	名	氏	名	校	名	氏	名	校	名	記録	氏	名	校	名	氏	名	校	名	氏	名	校	名	氏	名	校	名	氏	名	校
51	46.39	小林	芳	長	野	名	小	野	名	工	部	工	部	工	部	工	部	工	部	工	部	工	部	工	部	工	部	工	部	工	部		
52	42.22	小林	芳	長	野	名	小	野	名	工	部	工	部	工	部	工	部	工	部	工	部	工	部	工	部	工	部	工	部	工	部		
53	54.44	小林	芳	長	野	名	小	野	名	工	部	工	部	工	部	工	部	工	部	工	部	工	部	工	部	工	部	工	部	工	部		
54	49.34	小林	芳	長	野	名	小	野	名	工	部	工	部	工	部	工	部	工	部	工	部	工	部	工	部	工	部	工	部	工	部		
55	51.80	小林	芳	長	野	名	小	野	名	工	部	工	部	工	部	工	部	工	部	工	部	工	部	工	部	工	部	工	部	工	部		
56	39.50	小林	芳	長	野	名	小	野	名	工	部	工	部	工	部	工	部	工	部	工	部	工	部	工	部	工	部	工	部	工	部		
57	42.34	小林	芳	長	野	名	小	野	名	工	部	工	部	工	部	工	部	工	部	工	部	工	部	工	部	工	部	工	部	工	部		
58	39.34	小林	芳	長	野	名	小	野	名	工	部	工	部	工	部	工	部	工	部	工	部	工	部	工	部	工	部	工	部	工	部		
59	48.74	小林	芳	長	野	名	小	野	名	工	部	工	部	工	部	工	部	工	部	工	部	工	部	工	部	工	部	工	部	工	部		
60	38.50	小林	芳	長	野	名	小	野	名	工	部	工	部	工	部	工	部	工	部	工	部	工	部	工	部	工	部	工	部	工	部		

年度	種目 五種競技															種目 総合																	
	1 位					2 位					3 位					1 位					2 位					3 位							
	記録	氏	名	校	名	氏	名	校	名	氏	名	校	名	記録	氏	名	校	名	氏	名	校	名	氏	名	校	名	氏	名	校	名	氏	名	校
51	3106	竹内	隆	中	央	氏	関	野	名	園	野	名	園	野	名	園	野	名	園	野	名	園	野	名	園	野	名	園	野	名	園		
52	3108	竹内	隆	中	央	氏	関	野	名	園	野	名	園	野	名	園	野	名	園	野	名	園	野	名	園	野	名	園	野	名	園		
53	2961	竹内	隆	中	央	氏	関	野	名	園	野	名	園	野	名	園	野	名	園	野	名	園	野	名	園	野	名	園	野	名	園		
54	2780	竹内	隆	中	央																												





## 体 操 ( 男 子 )

昭和15年、長野市立城山小学校訓導・為田勝美、屋代中学校教諭・鈴木武平の2名が長野県代表として明治神宮大会に出場、輝しい成果を収めた。(信毎)また、長野師範学校の塩島・真島の両名も、この年名古屋大会に出場している。このような戦前の大会も、戦局悪化とともに、学徒動員や役員の出征で、体操競技会は自然消滅となり幕を閉じるに至った。

昭和21年の第1回国民体育大会開催と同時に、スポーツが盛んに行なわれるようになった。このようなかで、第二回国体で諏訪高女がダンスの部で優勝したことは多くの学校の刺激となった。

終戦当時、各学校の体操施設は、きわめて貧弱でマットが二、三枚程が殆んどであった。県大会は、昭和22年松本県ヶ丘高校、松本深志高校を中心に行われていたが、北信地区にあっては、昭和30年8月27・28日の両日、第10回国体予選北信高校体育大会が長野工業高校で開催されたのが最初で、参加校は長野工業高校一校のみというさびしいものであった。この長野工業高校では、早くから校内クラスマッチで鉄棒、平行棒、跳箱、前転倒立、団体徒手が実施されており、特に、鉄棒は機械科の実習時に生徒が作ったものを使用したという、これが大いに生徒への刺激となっていた。

昭和31年6月1・2日の両日、全国高等学校総合体育大会長野県大会北信地区大会が、春季北信体育祭として、卓球・体操など5種目が初の試みとして開催された。この大会が第一回北信大会となるわけである。体操は、長野工業高校を会場として行われ長野工業が団体徒手で規定種目40.2、自由種目28.6の成績で一位となった。昭和32年に入り、県下の体操実施校も男子9校、女子8校となり、また、専門部の組織や役員体制も整ってきた。当時の専門委員長は、故広田金平先生、宮本栄子先生(現在塩入)であった。しかし、依然として施設・指導者不足で各学校とも暗中摸索の状態であった。

このような中で昭和36年に新設された長野中央高



58年度春期大会個人1位(中央高)河西君

校の進出には目ざましいものがあった。この年、長野中央高校は、北信・県大会ともに団体総合で優勝、以来、昭和44・45年を除き本年(昭和58年)まで19回、昭和47年からは、北信・県大会ともに13年連続優勝という偉業を成し遂げている。その背景には、内藤先生、岡庭先生、船木先生らのよき指導者に支えられてきたことはいままでもない。昭和42年には、第一回県下高校新人大会が、また、昭和48年には第一回県下中学校体操競技大会が、飯綱中学校の北川先生らの尽力により開催され、底辺拡大、技術革新の道を開いた。昭和40年代後半の県下の体操人口は、実に1,300余名にも達し、施設の整備とともに、若い指導者も備かながら誕生し、未成熟種目体操もようやく明るい兆しが見えてきた。

このような中で、広田金平先生の死去により昭和30年代から昭和40年代前半に全国大会でも活躍した長野工業高校体操部は、しだいに影を潜め、やがてクラブ消滅という事態は関係者にさびしさを感じさせた。

昭和51年高校総体、昭和53年長野国体の開催で今後の盛り上がりを期待したものの、生徒のクラブ離れ、依然として悩みの指導者不足など、今後に残された課題は大きい。

(文責 池田 実)

## 北信高等学校春季総合体育大会男子・学校対抗

## 北信高等学校秋季体育大会男子・学校対抗

年度	1 位	記 録	2 位	3 位
27	長野工業			
28	長野工業			
29	長野工業			
30	長野工業		飯 山 北	
31	長野工業		飯 山 北	
32	飯 山 北	132.22	長野工業	長 野
33	長 野	134.65	長野工業	飯 山 北
34	長野工業	149.35	長 野	飯 山 北
35	長野工業	151.45	飯 山 北	長野中央
36	長野中央	310.95	長野工業	飯 山 北
37	飯 山 北	130.65	長野中央	長野工業
38	長 野	143.40	飯 山 北	長野工業
39	長野中央	144.95	長 野	長野工業
40	長野中央	142	長 野	飯 山 北
41	長野中央	144.5	飯 山 北	長野工業
42	長野中央	153.6	長 野	飯 山 北
43	長野中央	151.00	飯 山 北	須 坂
44	長野中央	148.9	飯 山 北	長 野
45	飯 山 北	134.25	長野中央	長 野
46	長 野	134.05	長野工業	長野中央
47	長野中央	145.10	飯 山 北	—
48	長野中央	303.95	長 野	長野工業
49	長野中央	262.40	須 坂	長野工業
50	長野中央	274.50	長野工業	中野実業
51	長野中央	155.15	中野実業	—
52	長野中央	153.80	長野吉田	中野実業
53	長野中央	154.60	長 野	中野実業
54	長野中央	153.05	長 野	中野実業
55	長野中央	155.25	中野実業	飯 山 北
56	長野中央	146.5	中野実業	—
57	長野中央	155.50	中野実業	—
58	長野中央	150.4	中野実業	長 野
59	長野中央	156.85	中野実業	—
60	長野中央	287.1	飯 山 北	中野実業

年度	1 位	記 録	2 位	3 位
27	長野工業			
28	長野工業			
29	長野工業			
30	長野工業			
31	長野工業	32.4	飯 山 北	
32	長野工業	81.0	飯 山 北	
33				
34				
35	長野工業	86.8	飯 山 北	
36				
37				
38				
39				
40				
41				
42				
43	個人戦のみ			
44	〃			
45	〃			
46	〃			
47	〃			
48	〃			
49	〃			
50	〃			
51	〃			
52	〃			
53	〃			
54	—		—	
55	長野中央	131.9	中野実業	—
56	長野中央	142.5	中野実業	—
57	長野中央	141.75	中野実業	—
58	中野実業			
59	長野中央	141.65	中 野	中野実業
60	長野中央	138.95	中野実業	更級農業

北信高等学校春季総合体育大会男子・個人

北信高等学校秋季体育大会男子・個人

年度	1 位	記録	2 位	3 位
26				
27				
28				
29	深沢 健二 (長野工)	70.5	伝田 光長 (長野工)	橋戸 秀仁 (長野工)
30	保泉 (長野工)		小布施 (長野工)	鎮目 (長野工)
31	西沢 信男 (長野工)	43.20	一由 元男 (長野工)	三井 順治 (長野工)
32	明石 悦夫 (飯山北)	45.82	青沼 清 (長野工)	山下 良夫 (長野工)
33	渡辺 雅文 (長野)	47.25	山田 成一 (長野)	太田 和由 (長野工)
34	太田 和由 (長野工)	53.20	野中 (長野)	久保田 (長野工)
35	山口 良明 (長野工)	51.1	梅津 (長野)	小日方 (長野工)
36	高沢 通夫 (中央)	1.04.50	山室 (中央)	谷口 (中央)
37	上市 邦夫 (長野)	49.60	松木 正直 (中央)	荒井 迪夫 (飯山北)
38	上市 邦夫 (長野)	52.70	荒井 迪夫 (飯山北)	中条 (長野工)
39	渡辺 憲雄 (中央)	49.55	元田 幸久 (長野工)	甲田 守信 (長野)
40	渡辺 憲雄 (中央)	51.70	小林 久男 (中央)	井原 (長野)
41	北川 和夫 (中央)	50.05	塚田 和茂 (中央)	勝山 幸人 (中央)
42	塚田 和茂 (中央)	53.35	山崎 義久 (中央)	岡本 強 (中央)
43	山崎 義久 (中央)	51.15	渡辺 竹見 (中央)	滝沢 澄夫 (中央)
44	林 辰政 (中央)	52.0	荒井 友雄 (中央)	常谷 茂 (中央)
45	荒井 友雄 (中央)	50.90	樋口 亮二 (飯山北)	村田 知明 (長野工)
46	西山 政樹 (長野)	47.00	和田 隆平 (長野)	唐沢 朗 (長野工)
47	堀米 信男 (中央)	50.65	小出 義弘 (飯山北)	西沢 豊 (中央)
48	小林 公雄 (中央)	1.02.40	林 (中央)	巖 (中央)
49	小林 秀樹 (中央)	90.85	松本 光夫 (中央)	佐藤 坂 (須坂)
50	北沢 豊和 (中央)	96.05	小林 文雄 (中央)	神林 政敏 (中央)
51	小林 国昭 (中央)	53.00	大川 市夫 (中央)	中沢 義人 (中央)
52	小林 国昭 (中央)	52.35	佐藤 秀文 (中央)	大川 市夫 (中央)
53	渡辺 武文 (吉田)		宮沢 高男 (中央)	中村 英雄 (中央)
54	大川 浩樹 (中央)	53.45	宮沢 高男 (中央)	長徳 淳 (中央)
55	伊藤 宏一 (中央)	52.30	酒井 純一 (中央)	羽生田 俊和 (中央)
56	関沢 健二 (吉田)	53.20	湯本 勝好 (中央)	羽生田 俊和 (中央)
57	星沢 秀一 (中央)	52.35	今井 憲男 (中央)	吉沢 真 (中央)
58	河西 裕 (中央)	52.0	南沢 利行 (中央)	群上 慎一 (中野実)
59	群上 慎一 (中野実)	54.05	中村 大信 (中央)	吉小神 秀徳 (中央)
60	久保田 泰司 (中央)	98.75	山岸 義隆 (中央)	村田 岳司 (中央)

年度	1 位	記録	2 位	3 位
26				
27				
28				
29				
30				
31	西沢 信男 (長野工)	94.10	三井 順治 (長野工)	
32	梅崎 幸信 (長野工)	97.25	青沼 清 (長野工)	
33				
34	太田 和由 (長野工)	97.40	三井 (長野工)	久保田 (長野工)
35	中村 征秀 (飯山北)	52.75	根津 (長野工)	山口 (長野工)
36				
37	荒井 迪夫 (飯山北)	51.25	松木 正直 (長野工)	阿部 幸久 (飯山北)
38	上市 邦夫 (長野)	54.40	荒井 迪夫 (飯山北)	中条 (長野工)
39				
40	柳沢 治雄 (中央)	52.95	小林 久男 (中央)	井原 敏 (長野)
41				
42	塚田 和茂 (中央)	53.30	山崎 (中央)	阿藤 (飯山北)
43	山崎 義久 (中央)		渡辺 竹見 (中央)	滝沢 澄夫 (中央)
44	荒井 友雄 (中央)	51.35	林 辰政 (中央)	中島 次夫 (飯山北)
45	荒井 友雄 (中央)		樋口 亮二 (飯山北)	村田 知明 (長野工)
46	唐沢 朗 (長野工)		和田 隆平 (長野)	笠井 三郎 (長野)
47	小出 義弘 (飯山北)	99.75	西沢 豊 (中央)	鈴木 清司 (飯山北)
48	林 (中央)	106.30	小林 (中央)	和田 (中央)
49	小林 秀樹 (中央)		松本 光男 (中央)	北沢 豊和 (中央)
50	佐藤 芳文 (中央)		小林 国昭 (中央)	中沢 義人 (中央)
51	小林 国昭 (中央)		大川 市夫 (中央)	青木 則晃 (中央)
52	渡辺 武文 (吉田)	52.60	大川 浩樹 (中央)	滝本 剛 (中央)
53	大川 浩樹 (中央)	52.60	永野 俊 (長野)	長瀬 淳 (中央)
54	伊藤 宏一 (中央)	50.20	酒井 純一 (中央)	清水 義人 (中野実)
55	羽生田 俊和 (中央)	50.40	湯本 勝好 (中央)	関沢 健二 (吉田)
56	今井 憲男 (中央)	49.30	星沢 秀一 (中央)	吉沢 真 (中央)
57	南沢 利行 (中央)	51.10	河西 裕 (中央)	群上 慎一 (中野実)
58	群上 慎一 (中野実)		中村 大信 (中央)	吉小神 秀徳 (中央)
59	久保田 泰司 (中央)	48.00	小池 富雄 (中央)	村田 岳司 (中央)
60	酒井 晴弥 (中央)	48.80	富田 博則 (中央)	山田 智己 (中央)



## 体 操 (女 子)

北信女子体操の歴史は浅く、本格的な大会ができるようになりしたのは昭和30年頃だったように思います。当初は高体連の中でもきちんとした体制ができておらず、北信だけの大会を実行するほどチームもありませんでした。北信ではじめて体操競技を始めたのは、長野西・長野商業で、その後、2～3年たって飯山南・須坂東・長野市立（現在、皐月）がチームを結成、続いて中野・文化と徐々にチームが増加、昭和51年長野インターハイの年にはピークとなり、飯山南・中野・須坂東・皐月・清泉・長野東・長野西・文化・更農・篠ノ井・屋代南の11校が大会に参加するようになりました。しかし、特別な器械と指導者が必要なため、また、その他の事情により、ここ2～3年やや衰退傾向にあり、将来、特別な学校だけが行なうことになるのではと心配な点も出てきました。組織がしっかりしてない頃は、直接県大会に出場することはもちろんですが、審判の有資格者もなく、クラブ顧問の先生方全員で、北信越・インターハイ・国体等へ、当時の理事長、刈間先生を先頭に、広田、宮本（金）、宮本（守）、藤沢、香山といつも一緒に行動したものでした。

その後、昭和34年、当時、協会や資格者がととのっていない状態であったので、北信から、尾田、和田、香山、酒井各氏が新潟県まで三種の審判講習を

受けにいき資格を取得。続いて東京へ二種の資格を取りに上京、昭和38年香山が二種となる。宮本金作先生が協会の理事長となり、引続いて立野弘氏が理事長となって協会が確立しました。県内で講習会を開き、女性の顧問は全員三種を取得できました。その後、中央で千葉吟子先生を派遣して下さり、北信にも多数の二種取得者がうまれました。昭和49年に竹内（利美）氏、香山が中央へ一種の受験にいき取得。昭和51年総体のため、米沢・清水各先生が昭和51年に一種取得。その後、竹内（義雄）氏が56年に一種を取得、現在、一種取得者が北信に集中、各種大会で活躍しています。

新体操の出発は、体操競技よりやや早く、昭和24年（県は昭和22年頃より）大会が始まり、長野西・長野市立・篠ノ井・屋代南・中野と盛んであったが、最近やや下り坂で、中野・清泉・飯山南・皐月が団体、個人が前記の他に、長野西・須坂東・屋代南という程度であり、審判員もやや手薄で、一種取得者は、酒井・森山・香山の三人だけである。

以上が、北信女子体操の歴史であるが、県の新体操は、戦前、昭和18年に春秋二回行なわれた。その頃は、団体体操といい、その名称は、昭和43年頃まで続いたと思います。

（文責 香山）



53年度高校総体出場（須坂東高）尾田智子選手

## 北信高等学校春季総合体育大会

年度	1 位	記 録	2 位	3 位
26				
27				
28				
29	須坂東	14.6		
30				
31				
32	須坂東			
33	須坂東	95.90	飯山南	長野西
34	飯山南	101.55	須坂東	
35	須坂東	92.38	飯山南	
36	須坂東	99.19	長野西	市立高女
37	須坂東	95.03	長野西	
38	須坂東	108.76	市立高女	飯山南
39	須坂東	92.88	長野西	屋代南
40	須坂東	100.65	屋代南	長野西
41	須坂東	97.76	文 化	
42	須坂東	97.95	文 化	
43	須坂東	101.20	篠ノ井	文 化
44	須坂東	101.45	文 化	屋代南
45	須坂東	95.85	文 化	屋代南
46	須坂東	95.80	中 野	長野西
47	須坂東	194.05	長野西	
48	須坂東	159.60	篠ノ井	長野西
49	須坂東	175.65	長野西	中 野
50	長野西	165.60	須坂東	文 化
51	須坂東	92.30	文 化	
52	文 化	99.60	須坂東	長野西
53	文 化		須坂東	長野西
54	須坂東	93.45	文 化	長野西
55	文 化	95.35	須坂東	長野西
56	文 化	92.35	須坂東	長野西
57	屋代南	85.15	須坂東	中 野
58	須坂東	93.4	屋代南	長野西
59	須坂東	95.35	長野西	文大長野
60	文大長野	170.45	長野西	皐 月

## 北信高等学校秋季体育大会

年度	1 位	記 録	2 位	3 位
26				
27				
28				
29				
30				
31	須坂東	48.0	長野西	飯山南
32	長野西	82.40	須坂東	飯山南
33				
34				
35				
36				
37	長野西B		須坂東	長野西A
38	須坂東	86.7	長野西	
39				
40				
41				
42				
43				
44				
45				
46				
47				
48				
49				
50				
51				
52				
53				
54	—		—	
55	文 化	84.09	長野西	須坂東
56	屋代南	79.35	須坂東	中 野
57	須坂東	67.25	屋代南	長野西
58	須坂東	69.15	文大長野	屋代南
59	文大長野	80.65	須坂東	長野西
60	文大長野	97.5	長野西	皐 月

北信高等学校春季総合体育大会

女子・個人

年度	1 位	記録	2 位	3 位
26				
27				
28				
29	梨本晴美 (須坂東)	32.4	落合ゆき江 (須坂東)	太田きみ子 (須坂東)
30	落合ゆき江 (須坂東)		深沢富士子 (須坂東)	宮沢信子 (須坂東)
31				
32	徳永睦子 (須坂東)	35.6	村田のぶ子 (須坂東)	中野紀子 (須坂東)
33	中野紀子 (須坂東)	33.39	石田清子 (飯山南)	久保田壽美子 (須坂東)
34	越てるい (須坂東)	35.3	水野 (飯山南)	中村行江 (須坂東)
35	関秀子 (飯山南)	33.48	小棚輝代子 (須坂東)	小宮山初子 (須坂東)
36	北沢さち子 (須坂東)	34.15	江沢南海子 (須坂東)	中村順子 (須坂東)
37	雪入和子 (須坂東)	33.03	伊藤久子 (須坂東)	北沢織江 (長野西)
38	雪入和子 (須坂東)	37.13	伊藤久子 (須坂東)	中沢京子 (須坂東)
39	丸山千代子 (須坂東)	34.06	斎藤正子 (須坂東)	米沢けさ代 (須坂東)
40	斎藤正子 (須坂東)	35.73	北島信子 (須坂東)	坂口和子 (須坂東)
41	牛尼よし子 (須坂東)	34.05	中家京子 (須坂東)	太田恵美子 (長野西)
42	越野政子 (文化)	34.09	遠藤めぐみ (須坂東)	久保田澄子 (須坂東)
43	丸山けさ子 (須坂東)		富岡慶子 (須坂東)	岩倉敦美 (須坂東)
44	茂井洋子 (須坂東)	34.05	川口あき子 (須坂東)	豊田栄子 (須坂東)
45	井浦みつる (須坂東)	37.70	仙仁正代 (文化)	菊地洋子 (文化)
46	田窪文子 (須坂東)	33.9	村石幸恵 (須坂東)	青木恵美子 (須坂東)
47	村石幸恵 (須坂東)	67.65	田窪文子 (須坂東)	斎藤雅子 (須坂東)
48	青木美栄子 (長野西)	59.75	西村久子 (須坂東)	溝口八千代 (須坂東)
49	小山和代 (須坂東)	64.45	塚田扶抄子 (須坂東)	渡辺久子 (須坂東)
50	新田和子 (長野西)	62.30	岩倉由美子 (長野西)	酒井志げ美 (長野西)
51	若麻穂栄利子 (長野西)		田中淳子 (須坂東)	佐藤真弓 (須坂東)
52	三木清江 (須坂東)	34.05	大関みさ子 (文化)	伊藤真由美 (文化)
53	竹本晴恵 (清泉)		富沢昌代 (須坂東)	武井千代美 (清泉)
54	黒岩英子 (文化)	37.2	小林留美子 (文化)	織敦子 (長野西)
55	小林留美子 (文化)	35.65	奥田真理 (長野西)	岡田匡古 (須坂東)
56	山田かおり (文化)	35.85	吉原美幸 (須坂東)	坂口美穂 (須坂東)
57	山田かおり (文化)	37.8	坂口美穂 (須坂東)	中沢恵子 (須坂東)
58	内藤いずみ (長野南)	37.4	富沢智子 (須坂東)	水野恵子 (須坂東)
59	内藤いずみ (長野南)	38.20	近藤啓子 (吉田)	鶴田有紀子 (須坂東)
60	内藤いずみ (長野南)	75.8	近藤啓子 (吉田)	中沢真理 (文大長野)

北信高等学校秋季体育大会

女子・個人

年度	1 位	記録	2 位	3 位
26				
27				
28				
29				
30	落合ゆき江 (須坂東)		太田きみ子 (須坂東)	桑島 (須坂東)
31	小松悦子 (須坂東)	67.39	深沢富士子 (須坂東)	宮沢信江 (須坂東)
32	徳永睦子 (須坂東)	69.40	村田のぶ子 (須坂東)	中野紀子 (須坂東)
33				
34	中村行江 (須坂東)	67.62	越てるい (須坂東)	水野 (飯山南)
35	関秀子 (飯山南)	34.76	小棚 (須坂東)	小宮山 (須坂東)
36				
37	伊藤久子 (須坂東)	34.39	雪入和子 (須坂東)	小川昭子 (須坂東)
38	雪入和子 (須坂東)	36.87	伊藤久子 (須坂東)	中沢京子 (須坂東)
39	梨本晴美 (長野西)		斎藤正子 (須坂東)	北島信子 (須坂東)
40	斎藤正子 (須坂東)	36.52	北島信子 (須坂東)	梨本晴美 (長野西)
41	山崎 (文化)		牛尼よし子 (須坂東)	藤沢久子 (須坂東)
42	久保田澄子 (須坂東)	33.58	越野政子 (文化)	小林 (須坂東)
43	丸山けさ子 (須坂東)		富岡慶子 (須坂東)	岩倉敦美 (須坂東)
44	茂井洋子 (須坂東)	34.65	川口あき子 (須坂東)	豊田栄子 (須坂東)
45	井浦みつる (須坂東)	34.75	山吉佳子 (須坂東)	仙仁正代 (文化)
46	青木恵美子 (須坂東)		田窪文子 (須坂東)	斎藤雅子 (須坂東)
47	村石幸恵 (須坂東)	67.7	田窪文子 (須坂東)	斎藤雅子 (須坂東)
48	青木美栄子 (長野西)		西村久子 (須坂東)	関野幸子 (須坂東)
49	渡辺久子 (須坂東)	61.65	小山和代 (須坂東)	塚田扶抄子 (須坂東)
50	山岸恵子 (皇月)		戸谷久美子 (皇月)	西川才子 (須坂東)
51	田中淳子 (須坂東)		佐藤真弓 (須坂東)	三木清江 (須坂東)
52				
53	黒岩英子 (文化)	9.70	小林留美子 (文化)	尾田智子 (須坂東)
54	小林留美子 (文化)	37.70	黒岩英子 (文化)	織敦子 (長野西)
55	山田かおり (文化)	36.55	内山淳子 (長野西)	藤崎ゆき江 (長野西)
56	山田かおり (文化)	36.80	坂口美穂 (須坂東)	中沢恵子 (須坂東)
57	鶴田有紀子 (須坂東)	28.1	丸田薫 (須坂東)	藤原豊子 (須坂東)
58	近藤啓子 (吉田)	36.2	内藤いずみ (長野南)	鶴田有紀子 (須坂東)
59	近藤啓子 (吉田)	38.05	内藤いずみ (長野南)	江東由美 (文大長野)
60	中沢真理 (文大長野)	39.95	坪井ひろみ (文大長野)	近藤真理子 (長野西)

# 新 体 操

北信高等学校春季総合体育大会  
女子・団体

年度	1 位	記 録	2 位	3 位
26				
27				
28				
29				
30	須坂東		長野西	篠ノ井
31				
32	長野西	84.7	須坂東	飯山南
33	須坂東	81.6	長野西	屋代南
34	須坂東	83.3	長野西	市立高
35	長野西	80.5	市立高	
36	長野西A		屋代南	
37	長野西A	85.4	須坂東	
38	須坂東	89.5	長野西A	篠ノ井A
39	長野西	86.6	須坂東	篠ノ井
40	須坂東A	87.9	長野西	篠ノ井
41	須坂東A	87.3	長野西	中野
42	須坂東A	84.20	長野西	
43	須坂東A	17.13	長野西A	中野A
44	須坂東	17.17	長野西A	中野
45	須坂東A	16.80	中野	長野西
46	須坂東A	16.925	長野西A	須坂東B
47	須坂東A	24.125	長野西A	
48	須坂東	16.50	屋代南	長野西
49	須坂東	15.7	中野	長野西
50	須坂東A	17.7	中野	須坂東B
51	須坂東	17.30	清泉	長野西
52	須坂東A	16.85	清泉A	長野西
53	須坂東A		清泉A	須坂B
54	清泉A	17.1	—	—
55	清泉A	17.2	中野	長野西
56	清泉A	17.40		
57	清泉	17.2	飯山南	中野
58	清泉A	16.25	飯山南A	中野
59	清泉A		飯山南A	中野
60	飯山南	14.25	清泉A	長野西

北信高等学校秋季体育大会  
女子・団体

年度	1 位	記 録	2 位	3 位
26				
27				
28				
29				
30	須坂東			
31				
32				
33				
34				
35				
36				
37	長野西A	81.3		
38	須坂東A	86.7		
39	長野西A			
40	須坂東A			
41	須坂東A			
42	須坂東A	86.8	中野A	須坂東B
43	須坂東A		長野西A	中野A
44	須坂東A	16.85	中野	長野西
45	須坂東A			
46	須坂東A		長野西	
47	須坂東A	30.31	中野A	須坂東B
48	須坂東A			
49	須坂東A	24.65	中野	須坂東B
50	須坂東A			
51	須坂東A			
52	須坂東A	16.65	清泉	中野
53	須坂東A			
54	清泉A			
55	清泉A	16.90	清泉B	—
56	清泉		中野	飯山南
57	清泉A	15.4	—	皐月
58	清泉A	16.15	飯山南A	皐月・清泉B
59	清泉A	14.50	飯山南	皐月A
60	清泉A	16.25	飯山南A	皐月A

北信高等学校春季総合体育大会  
女子・個人

年度	1 位	記録	2 位	3 位
26				
27				
28				
29				
30				
31				
32				
33				
34				
35				
36				
37				
38				
39				
40				
41				
42				
43				
44				
45				
46				
47				
48	中 沢 律 子 (須坂東)		大 塚 (中 野)	小 林 (中 野)
49	大 塚 平 子 (中 野)	15.3	大 泉 智恵子 (須坂東)	有 吉 由 輝子 (清 泉)
50	酒 井 美智子 (須坂東)	16.1	有 吉 由 輝子 (清 泉)	芳 賀 富士子 (須坂東)
51	野 村 美恵子 (須坂東)		石 坂 礼 子 (清 泉)	関 塚 洋 子 (長野西)
52	中 野 美智子 (須坂東)	16.25	小 沢 真理子 (須坂東)	宮 沢 昌 代 (須坂東)
53	竹 本 晴 恵 (清 泉)		宮 沢 昌 代 (須坂東)	武 井 千代美 (清 泉)
54	大 畑 奈 美 (清 泉)	16.35	堀 多 鶴子 (須坂東)	村 山 幸 代 (須坂東)
55	竹 本 明 恵 (清 泉)	16.50	高 橋 寛 子 (清 泉)	原 まゆみ (長野西)
56	竹 本 明 恵 (清 泉)	18.0	高 橋 寛 子 (清 泉)	小 山 朱 美 (長野西)
57	羽生田 操 (清 泉)	16.95	伝 田 若 葉 (泉 月)	上 野 礼 子 (清 泉)
58	上 野 礼 子 (清 泉)	16.3	伝 田 若 葉 (泉 月)	関 富 子 (清 泉)
59	外 山 亜希子 (泉 月)	15.95	倉 島 朋 美 (清 泉)	原 かんな (須坂東)
60	増 田 香 (清 泉)	15.15	山 本 幸 子 (泉 月)	倉 島 朋 美 (清 泉)

北信高等学校秋季体育大会  
女子・個人

年度	1 位	記録	2 位	3 位
26				
27				
28				
29				
30				
31				
32				
33				
34				
35				
36				
37				
38				
39				
40				
41				
42				
43				
44				
45				
46				
47	中 沢 律 子 (須坂東)	14.1	大 塚 (中 野)	小 林 (中 野)
48				
49				
50	酒 井 美智子 (須坂東)		市 川 はるみ (須坂東)	有 吉 由 輝子 (清 泉)
51	藤 田 英理子 (泉 月)		宮 沢 昌 代 (須坂東)	臼 井 直 子 (中 野)
52	宮 沢 昌 代 (須坂東)	17.05	栗 野 ひろみ (須坂東)	竹 本 晴 恵 (清 泉)
53	竹 本 晴 恵 (清 泉)	17.05	堀 多 鶴子 (須坂東)	倉 島 君 江 (須坂東)
54				
55	竹 本 明 恵 (清 泉)	16.65	高 橋 寛 子 (清 泉)	保 科 美恵子 (長野西)
56	上 野 礼 子 (清 泉)	15.5	池 田 るり子 (飯山南)	伝 田 若 葉 (泉 月)
57	伝 田 若 葉 (泉 月)	17.9	上 野 礼 子 (清 泉)	稲 崎 恵 美 (飯山南)
58	外 山 亜希子 (泉 月)	16.2	石 井 旬 子 (泉 月)	倉 島 明 美 (清 泉)
59	倉 島 明 美 (清 泉)	16.4	青 沼 裕 加 (清 泉)	増 田 香 (清 泉)
60	増 田 香 (清 泉)	16.25	田 尻 和 恵 (泉 月)	山 箸 水 鳥 (清 泉)

北信高等学校春季総合体育大会

男子・団体

年度	1 位	スコア	2 位	3 位	4 位
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					
31					
32	長野工業	65.0	飯山北		
33	長野工業	80.0	飯山北		
34	長野工業	77.3	飯山北		
35	長野工業	80.0	飯山北		
36	長野工業	85.30	飯山北		
37	長野工業	80.90	飯山北		
38	長野工業	84.4	飯山北		
39					
40					
41					
42					
43					
44					
45					
46					
47					
48					
49					
50					
51	長野東	14.90	—		
52	—	なし	—		
53					
54	長野東	なし			
55	—	なし	—		
56	長野東	15.30	中野		
57	長野東	17.60	中野		
58	長野東	17.00	中野		
59	長野東	15.9	中野		
60	長野東	16.30	中野	中野	

北信高等学校秋季体育大会

男子・団体

年度	1 位	スコア	2 位	3 位	4 位
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					
31					
32					
33					
34					
35	長野工業	86.8	飯山北		
36					
37	長野工業	推薦			
38					
39					
40					
41					
42					
43					
44					
45					
46					
47					
48					
49					
50					
51					
52	個人戦のみ				
53	〃				
54	〃				
55	なし				
56	長野東	15.20	中野		
57	個人戦のみ				
58		15.9			
59	長野東	17.40	中野西	長野東B	
60	長野東	17.30	中野西	中野	

北信高等学校春季総合体育大会

男子・個人

年度	1 位	記録	2 位	3 位
26				
27				
28				
29				
30				
31				
32				
33				
34				
35				
36				
37				
38				
39				
40				
41				
42				
43				
44				
45				
46				
47				
48				
49				
50				
51	高野明男 (長野東)	15.60	大城日昇 (長野東)	—
52	佐藤秋穂 (中野)	15.20	湯本康士 (中野)	上原啓二 (中野)
53				
54	池田喜郎 (中野)		岡本信一 (中野)	
55	池田喜郎 (中野)	17.30	荻原芳彦 (長野東)	宮入一夫 (長野東)
56	中村洋一 (中野)	17.0	荻原芳彦 (長野東)	大宮浩司 (中野)
57	中村裕一 (長野東)	16.30	笹岡克也 (中野)	徳嵩敏幸 (長野東)
58	中谷健二 (長野東)	16.10	徳嵩敏幸 (長野東)	石坂貴史 (長野東)
59	松本浩司 (長野東)	17.1	種山雅之 (長野東)	小林忠史 (長野東)
60	種山雅之 (長野東)	16.0	茂木淳一 (長野東)	西沢亘 (長野東)

北信高等学校秋季体育大会

男子・個人

年度	1 位	記録	2 位	3 位
26				
27				
28				
29				
30				
31				
32				
33				
34				
35				
36				
37				
38				
39				
40				
41				
42				
43				
44				
45				
46				
47				
48				
49				
50				
51				
52	小林政吉 (長野東)	16.00	太田伸二 (長野東)	大沢靖彦 (長野東)
53	池田喜郎 (中野)	14.75	岡本信一 (中野)	—
54	中村洋一 (中野)	15.55	佐々木義和 (中野)	大宮浩司 (中野)
55	—		—	—
56	中村裕一 (長野東)	15.1	笹岡克也 (中野)	久保田武彦 (中野)
57	徳嵩敏幸 (長野東)	15.90	石坂貴史 (長野東)	笹岡克也 (中野)
58	小林忠史 (長野東)	15.6	種山雅之 (長野東)	松本浩司 (長野東)
59	種山雅之 (長野東)	17.7	深沢一紀 (長野東)	茂木淳一 (長野東)
60	山本孝 (長野東)	16.50	丸山彰彦 (長野東)	西沢亘 (長野東)



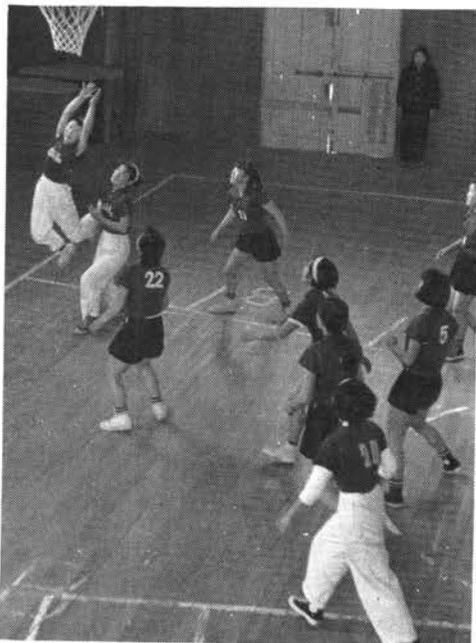
## バスケットボール

戦後、学制が改革され、クラブ活動の重要性がさげられるようになった。

ボールもない。(チューブ入りのボール)靴も入手困難。リングネットはすぐボロボロ。そんな中で遊びのない青少年がバスケットボールに取り組んだ。そして戦後すぐ、長野北(長野高)、長野商業、長野工業、長野農業(長野吉田)の4校で市内リーグ戦を始めた。しかし戦争というブランクは高校教師でバスケットボールの審判が出来る人は少なく、又審判員によってゲームの勝敗が左右された事も多くその為、協会に依存せざるをえなかったのである。(こんな状態は昭和30年代まで続いたであろう)

昭和25年、関東高等学校バスケットボール選手権大会が長野市を中心に(長野北、長野商、川端中、柳町中、後町小)更級郡川中島小、上高井郡井上小等を使って開かれた。しかしこれとて長野県協会が中心であり、高体連の自主性は全くなかった。これに刺激されるかのように、当時の委員長、鈴木武平氏(S25~31)、宮崎荘造氏(S24、32、33)笠原隆明氏(S34~36)は審判の養成に力を注ぎ、自分のチーム以外の試合は全部笛を口にし、昼食を食べることが出来なかったといわれている。このように委員長を中心に、北信高校の体育教師が一同となって、大会の会場となった長野北高体育館(今も一面残る)に出向き、バスケットボールの審判技術の向上ならびに研修に励むと共に、クラブ活動の教育的意義達成のために努力をおしかなかった。

昭和37年、4代目の委員長、竹前勝氏(S35~46)の時代に入り、過去の積み重ねと新制大学を卒業した若手教師が、先輩の情熱を受け継ぎ、審判員も増えると同時に経済的にも高体連がひとり歩き出来るようになった。その後、専門部は協会と対アップしつつ歩む中で、県協会の競技力向上を前面に出す方針と高体連の競技力向上と特別教育活動の教育的意義の両面を考える立場が、新人戦のもち方、期日等で討議され、改善されつつ、健全な方向へ歩むのであった。



昭和三十四年女子決勝(篠ノ井対長野西)

昭和51年、全国高等学校総合体育大会が長野県全域で開催され、バスケットボールは松本市で行なわれた。そして昭和53年国民体育大会のバスケットボールが、長野市及び須坂市で開催され、北信地区のバスケット顧問及び高校生部員は大会運営ならびに競技力向上に貴重な体験を得た。この間、委員長の宮本守氏(S47~54)を中心に社会体育の領域と学校体育の領域が検討され、北信高体連は春季体育大会(高校総体予選)と秋季体育大会(新人大会)の2大会が昭和50年に、確立したのである。

次に、北信地区で全国大会ならびに長野県大会で活躍した男子の学校をふりかえてみよう。昭和26年、名古屋大会において、長野北高が準々決勝、ベスト8に進出した。これが長野県男子チームとして初めてのベスト8であった。しかし、昭和20年代は中南信勢が高校男子をリードしていた。昭和30年代に入ると「北信大会に勝つことは、長野県を制す」と言われる時代に入り、長野高校と長野商業が県内をリードした10年間であった。その間、町田(長野農一日大-三井生命)、高原(長野北-慶応大-住

友金属)等の名選手が出ている。

昭和40年代に入り、長野農時代にチームの基礎をかためた長野吉田が頭角を現わし、50年代に入ると長野県を制すは、長野吉田か東海大第三かという時代に入っている。長野吉田は昭和56年、神奈川大会において、長野県男子チームとして、4チーム目の準々決勝、ベスト8に進出した。その間、佐藤(長野吉田一日大ー日本鋼管)等の名選手がでてゐる。その他、昭和37年の須坂西、昭和46年、47年の屋代高が長野県を制している。

女子の学校をふりかえると、長野県は昭和20年代から30年代半ばまで、上田染谷丘、岡谷東、飯田風越、松本美須々丘等が全国大会で上位を続け、全国のトップレベルにある10年であった。その間、北信地区では、長野西が着実に力をつけ、昭和36年、全国大会初出場し、39年の静岡大会で準々決勝、ベスト8へ進出した。昭和40年代に入ると、今は亡き太田直一先生の指導した篠ノ井と須坂東が台頭し、松本蟻ヶ崎と共に県内高校女子バスケットボール界をリードした。その間、鈴木(長野西一三井生命)、

竹内、北島(篠ノ井ー日本通運)、青沼(長野清泉ーユニチカ)等、全日本、実業団で活躍する選手が出てゐる。

このように30年間歩み続けた専門部は、現在大会参加チームも男女合わせて50チームを超え、3日間の大会が行なわれている。このような中で、多くの先生方がバスケットボールに情熱を注ぎ、その愛情を受けた数多くの生徒が毎年送り出されている。

「体育館の天井の梁を通してのシュート練習。」、「ロードワークとうさぎとびに明けくれたきびしい練習。」、「オリンピックが終ることに変わったルールに対し、新しい作戦が工夫された。」そして、長野北の体育館をはじめ、長野商、長野吉田、更埴市、須坂市の体育館で毎年作られた青春のドラマは先生方、生徒諸君の一生の思い出として今も脈々と生きてゐることを信じつつ、戦後30数年の回顧といたします。

(文責 内田 靖男)

## 北信高等学校春季総合体育大会

## 北信高等学校春季総合体育大会

(男子)

年度	1 位	記 録	2 位	3 位	
27	長野北	85 - 46	長野農	長野商業	屋代東
28	長野北	51 - 50	長野商業		
29	長野農業	54 - 53	長野北	長野商業	中野
30	長野北	51 - 31	須坂商業	長野商業	長野農
31	長野北	69 - 31	長野商業	長商(定)	須坂西
32	長野商業	62 - 35	長野吉田	長野	飯山北
33	長野	58 - 40	長野商業	須坂商業	長野工業
34	長野	52 - 49	長野商業	長野吉田	須坂商業
35	長野	67 - 38	長野商業	長野吉田	須坂商業
36	長野	47 - 42	須坂商業	長野商業	長野吉田
37	須坂西	49 - 45	須坂商業	長野吉田	長野
38	長野	54 - 32	長野吉田	長野商業	長野工業
39	長野	48 - 36	長野吉田	長野商業	長野工業
40	長野吉田	56 - 44	長野商業	須坂	長野工業
41	須坂	79 - 59	長野吉田	長野	長商(定)
42	長野商業	79 - 49	長野吉田	長野	須坂
43	長野商業	61 - 58	屋代	須坂	須坂商業
44	長野	66 - 45	長野中央	長野商業	屋代
45	長野吉田	72 - 63	須坂		
46	屋代	93 - 73	須坂	長野吉田	長野
47	長野	86 - 83	屋代	長野吉田	長野工業
48	長野吉田	69 - 49	須坂	屋代	長野
49	長野	86 - 68	須坂園芸	長野商業	長野吉田
50	長野吉田	92 - 74	屋代	須坂	長野商業
51	長野吉田	68 - 62	屋代	須坂	長野商業
52	長野吉田	83 - 71	篠ノ井	屋代	長野工業
53	長野吉田	101 - 66	屋代	須坂	須坂東
54	屋代	104 - 69	篠ノ井	長野工業	長野吉田
55	長野吉田	74 - 51	屋代	須坂	篠ノ井
56	長野吉田	80 - 57	須坂	長野	屋代
57	篠ノ井	74 - 73	須坂	須坂東	屋代
58	須坂東	66 - 65	長野吉田	屋代	長野
59	長野吉田	80 - 65	篠ノ井	須坂東	屋代
60	長野吉田	72 - 61	篠ノ井	長野南	長野

(女子)

年度	1 位	記 録	2 位	3 位	
27	長野西	33 - 31	篠ノ井	長野市立	松代
28	長野西	30 - 24	篠ノ井	須坂東	長野商業
29	長野西	51 - 31	長野商業	篠ノ井	長野市立
30	長野西	45 - 19	長野市立	長野商業	篠ノ井
31	長野西	44 - 35	篠ノ井	長野市立	須坂東
32	長野西	47 - 36	篠ノ井	長野市立	松代
33	長野西	53 - 37	篠ノ井	須坂東	屋代南
34	篠ノ井	28 - 26	長野西	須坂東	屋代南
35	長野西	53 - 31	篠ノ井	須坂東	屋代南
36	長野西	56 - 23	須坂東	篠ノ井	長西(定)
37	長野西	35 - 25	篠ノ井	須坂東	長西(定)
38	長野西	44 - 21	須坂東	篠ノ井	長野市立
39	長野西	63 - 38	長野文化	篠ノ井	須坂東
40	長野西	42 - 29	長野文化	篠ノ井	長西(定)
41	長野文化	47 - 28	長野西	中野	須坂東
42	長野西	19 - 17	篠ノ井	長野市立	長西(定)
43	長野西	34 - 32	篠ノ井	長野文化	皐月
44	篠ノ井	41 - 37	長野西	長野文化	須坂東
45	篠ノ井	61 - 46	須坂東	長野清泉	(皐月) (中野)
46	須坂東	71 - 46	篠ノ井	長野文化	中野
47	篠ノ井	63 - 61	須坂東	長野文化	中野
48	篠ノ井	49 - 33	須坂東	長野清泉	上水内北部
49	篠ノ井	59 - 28	長野西	須坂東	長野文化
50	長野西	60 - 49	長野清泉	篠ノ井	須坂東
51	須坂東	51 - 43	篠ノ井	長野清泉	屋代南
52	須坂東	94 - 49	篠ノ井	屋代南	長野清泉
53	須坂東	53 - 39	篠ノ井	屋代	屋代南
54	篠ノ井	56 - 43	須坂東	長野清泉	屋代南
55	須坂東	82 - 74	篠ノ井	屋代南	犀峽
56	篠ノ井	53 - 48	屋代南	須坂東	長野清泉
57	長野清泉	57 - 48	篠ノ井	須坂東	屋代南
58	篠ノ井	53 - 33	屋代	長野西	犀峽
59	長野西	44 - 34	須坂東	長野清泉	皐月
60	須坂東	78 - 72	篠ノ井	屋代	松代

## 北信高等学校秋季体育大会

## 北信高等学校秋季体育大会

(男子)

年度	1 位	記 録	2 位	3 位	
27	長野北	85 - 46	長野農	屋代東	長野商業
28					
29	長野北	57 - 41	長野農	長野商業	屋代東
30	長野北	68 - 28	長野商業	長野農	須坂商業
31	長野北	79 - 41	長野吉田	長野工業	長野商業
32	長野商業	54 - 41	長野	長野吉田	飯山北
33	長野	83 - 51	須坂商業	長野吉田	長野商業
34	長野	70 - 36	長野商業	須坂商業	長野吉田
35	長野	86 - 63	長野商業	更級農業	長野吉田
36	長野商業	86 - 50	長野吉田	須坂西	須坂商業
37	長野商業		須坂西		
38	長野		長野吉田	篠ノ井旭	長野工業
39	長野吉田	70 - 50	長野工業	長野	長野商業
40	長野商業		長野吉田		
41					
42	長野商業	74 - 49	長野吉田	須坂商業	須坂
43	長野中央		長野	長野商業	長野吉田
44	長野中央	72 - 24	長野	須坂商業	須坂
45	屋代		中野実業		
46	屋代		須坂	長野	中野実業
47	屋代		須坂	長野吉田	長野
48					
49	長野吉田	115 - 53	長野工業	須坂園芸	長野
50	長野吉田	65 - 53	屋代	須坂	長野商業
51	屋代	81 - 73	長野工業	長野中央	篠ノ井
52	長野吉田	94 - 54	屋代	篠ノ井	須坂
53	屋代	69 - 57	長野吉田	長野工業	篠ノ井
54	長野吉田	71 - 59	須坂	屋代	篠ノ井
55	長野吉田	74 - 52	須坂	長野	屋代
56	屋代	59 - 44	篠ノ井	須坂	長野吉田
57	須坂東	74 - 55	長野吉田	屋代	長野
58	長野吉田	71 - 66	須坂東	篠ノ井	中野実業
59	長野吉田	67 - 63	篠ノ井	長野	長野南
60	長野吉田	94 - 62	篠ノ井	長野南	屋代

(女子)

年度	1 位	記 録	2 位	3 位	
27	長野西	33 - 31	篠ノ井	長野市立	松代
28	長野西	30 - 24	篠ノ井	長野商業	長野市立
29	長野西	52 - 30	長野市立	長野商業	篠ノ井
30	篠ノ井		長野商業	長野西	長野市立
31	長野市立	35 - 30	須坂東	篠ノ井	長野西
32	長野西	46 - 28	篠ノ井	須坂東	松代
33	篠ノ井	51 - 35	屋代南	長野西	須坂東
34	篠ノ井	42 - 39	長野西	屋代南	須坂東
35	長野西	48 - 26	須坂東	長西(定)	篠ノ井
36	長野西	47 - 13	篠ノ井	屋代南	長西(定)
37	長野西		長西(定)	須坂東	
38	長野西		篠ノ井	長野清泉	須坂東
39	長野文化	42 - 36	長野西	篠ノ井	須坂東
40	長野文化		中野		
41					
42	長野文化	45 - 36	長野市立	須坂東	市立第二
43	篠ノ井		長野西	須坂東	長野文化
44	篠ノ井	85 - 25	長野清泉	臯月	長野文化
45	篠ノ井		須坂東		
46	須坂東		篠ノ井	長野女子	中野
47	篠ノ井		長野文化	臯月	飯山南
48					
49	篠ノ井	72 - 54	長野清泉	須坂東	長野西
50	篠ノ井	74 - 41	屋代南	長野西	須坂東
51	篠ノ井	68 - 58	須坂東	屋代南	長野清泉
52	須坂東	57 - 54	篠ノ井	長野清泉	屋代南
53	須坂東	48 - 43	篠ノ井	長野西	長野清泉
54	篠ノ井	74 - 52	須坂東	長野西	長野清泉
55	篠ノ井	87 - 52	須坂東	長野清泉	長野西
56	長野清泉	74 - 52	須坂東	篠ノ井	屋代南
57	篠ノ井	68 - 48	屋代	長野清泉	須坂東
58	須坂東	55 - 49	長野清泉	臯月	屋代南
59	須坂東	62 - 43	屋代	篠ノ井	松代
60	須坂東	54 - 42	屋代	臯月	長野西



## バドミントン

戦後間もない昭和23年にバドミントンの講習会が長野市で開かれたのが、長野県におけるバドミントンの最初だということから、それ以後に、物資の不足や不備な環境にもめげずに少しずつ高校生の間に行われるようになった。25.26年頃から協会の尽力で県高校選手権大会が行われたり、全国高校大会にも県代表校が出場せるようになったが、北信高体連として専門部が設置されたのは、昭和32年秋で、和田（長野西）、長浦（更農）、阿部（屋代南）、宮下（長野西）の諸氏が委員になって33年春季大会を期して準備をすすめることになった。こうして33年北信高校春季体育大会バドミントン競技は、男子7校からダブルス27組、シングル28名、女子5校からダブルス19組、シングルス20名の参加を得て、篠ノ井高校を会場に開催された。その年の秋季大会からは団体戦も加えられるようになった。この2回の大会経費はシャトル代も含めて10,360円であった。

その後、36年に県の4地区高体連に専門部が置かれ、県高体連バドミントンの組織が整えられるようになったが、北信の参加校数は相変わらず少なく、その普及は低調そのものであった。その原因の一つは、適当な場所がないことであったと思う。当時の体育館はどれも狭く、天井が低く、バドミントンには向いていなかった。当時新築された長野西高校の体育館がダブルスコート4面と、無理をしてシングル専用コート2面をとる有様であった。その第2は、費用が多くかかることであった。手軽に出来る羽つきバドミントンは、一時、デパートの運動用具売上げのトップになり、道路で流行したことがあったが、競技としてのバドミンのシャトルの消耗は大変なもので、生徒の個人負担増や、生徒会予算の関係で制限されざるをえない状態であった。この悩みは20年経った今日も少しも変わっておらず、バドミントン発展の隘路となっている。

昭和40年なかばになって全県的に国体招致のムードに合わせて体育館建設の気運が盛り上がり、学校や市町村に近代的体育館が建設されるようになった。



加えて51年インターハイ（中野）と53年国体（塩尻）がバドミントン発展の起爆剤となって、北信高校の大会参加数も増加し、一校の出場人員を制限したり、男女の会場を別にしたり、会期を延長するようになった。今まで四苦八苦していた大会の会場さがしもつい先頃のように思い出されるようになった。この二つの大会が残してくれた何よりも大きなことは、バドミントンを理解する人が多くなったことである。得点の方法、サーブの方法、セティング等々が常識として知っている人が多くなったことである。しかし、技術的なことは思うようにはいかない。技術の進歩は日進月歩だからである。北信高校生のレベルは全国的にみて「下」の部である。それは小中での体験者が少ないことである。幸い昨今中学、町にクラブが出来て中学大会も開かれ体験者が高校に来るようになりこの芽を育てれば北信高校のレベルは飛躍的に高まることだろう。

（文責 和田圭喜、長浦音吉）

北信高等学校春季総合体育大会

男子・団体

年度	1 位	記録	2 位	3 位	
27					
28					
29					
30					
31					
32					
33					
34	長野	3-1	長野(定)	長野商業	屋代
35	須坂西	3-2	長野	屋代東	長野商業
36	長野		長野商業	屋代東	長野(定)
37	須坂西		長野	長野工業	長野商業
38	長野	3-1	須坂西	長野商業	長野工業
39	須坂西	3-1	長野商業	長野	長野工業
40	長野工業	3-2	長野	長野商業	須坂
41	須坂	3-0	須坂商業	更級農業	屋代
42	須坂	3-1	須坂商業		
43	須坂	3-1	須坂商業	長野工業	長野
44	須坂商業	3-2	須坂	長野商業	埴生
45	須坂	3-1	更級農業	屋代	長野商業
46	須坂		長野商業	更級農業	長野
47	須坂	3-0	須坂商業	長野商業	長野中央
48	須坂	3-2	長野中央	更級農業	須坂商業
49	長野中央	3-2	長野商業	長野	長野工業
50	須坂		更級農業	長野	須坂商業
51	長野東	3-2	長野	長野中央	更級農業
52	長野	3-2	中野	長野東	更級農業
53	更級農業		中野実業	長野東	長野
54	長野中央		須坂	長野	更級農業
55	中野	2-1	長野東	長野中央	須坂商業
56	中野	2-1	長野	須坂東	須坂
57	更級農業	2-0	長野中央	中野実業	須坂
58	長野商業	2-0	中野実業	須坂東	中野
59	須坂	2-1	中野実業	中野	須坂東
60	中野実業	2-0	須坂東	須坂	長野中央

北信高等学校秋季体育大会

男子・団体

年度	1 位	記録	2 位	3 位	
27					
28					
29					
30					
31					
32					
33	長野	3-1	屋代東	長野(定)	長野商業
34	長野	3-1	屋代東	長野(定)	長野商業
35	長野商業		須坂西	長野	屋代東
36	須坂西	3-0	長野商業	長野	長野工業
37	長野		須坂西	長野商業	
38	長野		須坂西	長野商業	
39	長野		長野商業	須坂西	
40	長野工業		須坂	長野	
41	須坂		須坂商業	屋代	長野
42					
43					
44	須坂		長野中央	更級農業	
45	更級農業		須坂	長野中央	
46	長野		更級農業	須坂	長野商業
47					
48					
49	長野中央		更級農業	長野商業	長野
50	長野		長野東	更級農業	長野工業
51	長野		更級農業	長野東	長野工業
52	更級農業	3-0	中野	中野実業	須坂
53	長野	2-0	中野	長野中央	更級農業
54	須坂	2-1	中野	長野	長野中央
55	中野	2-1	須坂	長野工業	長野商業
56	中野実業	2-1	中野	更級農業	長野中央
57	長野商業	2-0	中野実業	須坂東	須坂商業
58	中野	3-2	須坂東	須坂	中野実業
59	中野実業	3-1	長野中央	須坂東	坂城
60	長野南	2-1	更級農業	長野中央	中野

北信高等学校春季総合体育大会

男子・ダブルス

年度	記録	2 位	3 位
27			
28			
29			
30			
31			
32	原松 田本(長野)	2-0 磯白 出川(長野)	鈴木(長野) 岡山 本口(長野)
33	今岡 井本(長野)	2-0 後酒 藤井(長野)	木鈴木(長野) 小工 池藤(屋代東)
34	内松 山本(長野商)	2-0 岩崎 崎(長野定)	白山(長野) 磯深 野沢(長野商)
35	北町 村田(長野商)	2-1 速宮 藤沢(長野商)	宮藤 下代(屋代東) 西大 山須(須坂西)
36	松鈴 原木(須坂西)	越 伊 藤(長野)	北 沢(長野商) 田上 中倉(須坂西)
37	鈴木 木藤(須坂西)	小小 林山(須坂西)	近 藤谷(長野商) 小 鷹 林野(長野)
38	西二 片村(長野)	2-0 内小 藤林(長野)	細 田(長野商) 三 富島(須坂西)
39	田石 鳥黒(須坂西)	2-0 吉小 岡池(長野)	牧 野(長野) 植 木(須坂西)
40	唐西 沢(長野)	2-1 荒井 井藤(長野工)	本 山(長野工) 高 橋(長野商)
41	河北 野畑(須坂)	2-0 徳橋 竹本(須坂)	彦 柄 沢(長野商) 村 高 山松(長野工)
42	石岩 黒野(須坂)	2-1 宮住 沢田(須坂)	竹 柳 内沢(屋代) 内倉 山石(屋代)
43	小小 山松(須坂)	2-1 住小 田林(須坂)	和 石 田田(長野工) 内山 田田(長野)
44	山藤 口沢(須坂)	2-1 北若 田林(須坂)	田 中(長野商) 島 田(中央)
45	名茨 川原(須坂)	2-0 西野入 石川(更級農)	湯 落 本合(須坂) 北小 村林(長野)
46	神鶴 津田(須坂)	松山 橋(長野商)	舟 木(須坂) 中上 沢崎(長野商)
47	竹首 前我(須坂)	2-1 舟松 本田(須坂)	竹 渡 前边(須坂商) 内宮 山島(更級農)
48	吉宮 沢島(更級農)	2-1 岡内 部山(須坂)	稲 葉(中央) 中 田(中央)
49	宮伊 城藤(更級農)	2-0 荻矢 原沢(長野)	牛 内 沢田(長野商) 清小 水松(長野)
50	小高 林坂(更級農)	根山 石崎(長野商)	関 谷(更級農) 竹 久保(須坂)
51	峯中 村川(長野東)	2-0 有石 賀坂(長野)	関 谷(更級農) 寺 島(坂城)
52	矢石 野渡(中野実)	2-0 吉若 田本(中野)	井 上(長野) 田川 中島(長野東)
53	宮島 崎田(更級農)	宮清 沢瀧(更級農)	宮 権 下田(更級農) 川 島(長野東)
54	柄島 沢浦(中央)	竹 徳 中竹(長野東)	窪 田(中央) 永 井(須坂)
55	横野 田上(中野)	2-0 山上 岸野(須坂東)	小小 林(須坂) 市北 川島(中央)
56	松湯 本本(中野)	2-0 吉徳 池竹(中野)	丸 山(須坂東) 植 原(中央)
57	鎌中 田沢(更級農)	2-0 原 井(中野実)	山 本(中野) 中 矢(中野)
58	白竹 井内(長野商)	2-0 出下 川田(中野実)	高小 橋(中野実) 矢 野(中野)
59	浦野 野上(中野)	2-0 井島 浦津(須坂)	中 香 島山(更級農) 馬 場(中野実)
60	武小 田林(中野)	2-1 波福 切田(須坂東)	藤 沢(中野実) 西 沢(中野実)

北信高等学校秋季体育大会

男子・ダブルス

年度	1 位	記録	2 位	3 位
27				
28				
29				
30				
31				
32	磯木 田沢(長野)	2-0 島市 田川(長野商)	山岡 口本(長野)	森 崎(長野定)
33	後木 藤沢(長野)	2-0 北岡 村沢(屋代東)	吉上 田松(長野)	山 下川(屋代東)
34	後木 藤沢(長野)	2-0 森久 保田(長野定)	松内 本田(長野商)	西 福 山井(須坂西)
35	北町 村田(長野商)	山山 岸田(長野)	藤 井(須坂西) 遠宮 藤沢(長野商)	
36	三山 沢本(長野商)	2-0 須坂 坂井(長野商)	鈴木 木藤(須坂西) 田 辺(長野)	
37	小三 林富(須坂西)	西小 片林(長野)	二 松 村橋(長野)	原小 山沢(長野商)
38	田石 島黒(須坂西)	2-0 植三 木富(須坂西)	伊 藤(長野工) 内 藤(長野)	
39	小西 池沢(長野)	2-0 荒井 井藤(長野工)	三 浦 浦本(須坂西) 小西 林内(長野商)	
40	本松 山田(長野工)	徳橋 武本(須坂)	飯 島(長野工) 河 北 野畑(長野工)	
41	宮宮 沢崎(須坂)	2-0 竹柳 内沢(屋代)	柄 新 沢井(長野商) 坂 佐 上藤(須坂商)	
42	小中 林沢(須坂)	2-1 小小 山松(須坂)	住 坂 田口(須坂)	竹 下 沢(長野工)
43	北若 沢林(須坂)	田小 村林(須坂商)	桜 井 井藤(長野工) 田 中(長野商)	
44	名茨 川原(須坂)	2-0 落 合(須坂)	白 石 石本(須坂商) 滝 浦 野沢(中央)	
45	窪久 保田(更級農)	西野入 北沢(更級農)	八木 沢尾(長野)	鶴 神 津田(須坂)
46	若渡 林辺(長野)	横松 山本(長野)	内 高 山橋(更級農) 上 五十嵐(長野商)	
47	内岡 山部(須坂)	2-1 内宮 山崎(更級農)	北 沢 田田(長野商) 清川 水上(須坂)	
48	吉宮 沢島(更級農)	清土 水屋(須坂)	神 津 城(更級農) 伊 藤 藤林(更級農)	
49	池久 保田(坂城)	2-1 新正 井村(坂城)	宮 城 藤(更級農) 牛 内 沢田(長野商)	
50	小高 林坂(更級農)	倉常 島田(中央)	井 長 上田(中央) 竹 小林(須坂商)	
51	井小 上池(長野)	2-0 田川 中島(長野東)	古 岩 田本(中野) 矢 野(中野実)	
52	宮島 崎田(更級農)	2-0 坂酒 上井(長野)	山 小 口林(中野実) 清 瀧 沢(更級農)	
53	竹徳 中武(長野東)	2-0 小宮 池沢(長野)	樋 西 口(長野) 窪 田 浦(中央)	
54	横野 田上(中野)	2-0 伊酒 藤井(更級農)	佐 藤 山(長野) 市北 川島(中央)	
55	宮野尾 本長(長野)	2-0 植野 原野(中央)	松 湯 本本(中野) 丸 山(須坂東)	
56	猪佐 瀬藤(須坂)	2-0 藤原 原川(長野)	原 井(中野実) 小 坂 林(中央)	
57	田矢 中野(中野)	2-0 白竹 井内(長野商)	宮 錦 島木(長野東) 柳 酒 沢井(長野商)	
58	浦野 野上(中野)	2-1 由馬 川場(中野実)	池 田(中野実) 井 島 浦津(須坂)	
59	西小 沢林(中野実)	2-1 小清 林水(中央)	田 中(中野実) 波 福 切田(須坂東)	
60	加加 藤藤(長野南)	2-0 佐宮 藤島(更級農)	関 子 栗(更級農) 岡 野 田沢(中央)	

北信高等学校春季総合体育大会  
男子・シングルス

年度	1 位	記録	2 位	3 位	位
27					
28					
29					
30					
31					
32	松本(長野)	2-0	鈴木(長野)	原田(長野)	今井(長野)
33	今井(長野)	2-0	磯田(長野)	山口(長野)	山口(長野商)
34	後藤(長野)	2-0	木沢(長野)	宇都宮(更級農)	久保田(長商定)
35	山岸(長野)	2-0	藤井(須坂西)	塩入(須坂西)	亀田(長野商)
36	小林(長野)		小林(須坂西)	小山(須坂西)	宮沢(長野商)
37	小林(須坂西)		風間(長野)	鈴木(須坂西)	田辺(長野)
38	西片(長野)	2-0	二村(長野)	山田(長野商)	三富(須坂西)
39	小木曾(須坂商)	2-1	田島(須坂西)	北島(須坂商)	石黒(須坂西)
40	荒井(長野工)	2-1	安藤(長野工)	三浦(須坂)	本山(長野工)
41	河野(須坂)	2-0	彦坂(長野商)	内山(須坂)	橋本(須坂)
42	佐藤(須坂商)	2-0	和田(長野)	石黒(須坂)	宮沢(須坂)
43	奈良沢(須坂商)	2-0	住田(須坂商)	和田(長野工)	小林(須坂)
44	小林(須坂商)	2-1	北田(須坂)	豊田(須坂商)	山田(長野)
45	名川(須坂)	2-1	小林(長野)	窪田(更級農)	北村(長野)
46	神津(須坂)		佐藤(須坂商)	八木沢(長野)	松橋(長野商)
47	舟本(須坂)	2-0	上崎(長野商)	内山(更級農)	曾我(須坂)
48	吉沢(更級農)	2-0	内山(須坂)	母袋(坂城)	富山(坂城)
49	宮坂(更級農)	2-0	小林(長野工)	西沢(長野商)	片山(中央)
50	小林(更級農)		大久保(須坂)	常田(中央)	小林(須坂商)
51	関谷(更級農)	2-0	中川(長野東)	峯村(長野東)	樋口(長野東)
52	矢野(中野実)	2-0	古田(中野)	井上(長野)	田中(長野東)
53	川島(長野東)		宮崎(更級農)	宮沢(更級農)	横田(中野)
54	樋口(長野)		柄沢(中央)	山浦(中央)	西沢(長野)
55	横田(中野)	2-0	伊藤(更級農)	大島(長野東)	山岸(須坂東)
56	宮崎(篠ノ井)	2-0	丸山(須坂東)	宮野尾(長野)	松本(中野)
57	鎌田(更級農)	2-0	西片(長野東)	市川(須坂)	荻原(須坂商)
58	酒井(長野商)	2-0	米山(篠ノ井)	堀口(更級農)	矢野(中野)
59	小出(坂城)	2-0	平林(長野東)	群上(中野)	浦野(中野)
60	縣(松代)	2-1	小林(中野実)	田中(中野実)	西沢(中野実)

北信高等学校秋季体育大会  
男子・シングルス

年度	1 位	記録	2 位	3 位	位
27					
28					
29					
30					
31					
32	島田(長野商)	2-1	岡本(長野)	市川(長野商)	井上(長野商)
33	木沢(長野)	2-0	後藤(長野)	北村(屋代東)	岡沢(屋代東)
34	山岸(長野)	2-0	霜鳥(長野)	藤井(須坂西)	塩入(須坂西)
35	小林(長野)		亀田(長野商)	中野(長野商)	山上(長野定)
36	小林(長野)	2-0	小山(須坂西)	鷹野(長野)	
37	小林(須坂西)		西片(長野)	二村(長野)	三富(須坂西)
38	大久保(長野)	2-0	内藤(長野)	高橋(長野商)	田島(須坂西)
39	牧野(長野)		三浦(須坂)	風間(長野)	清水(長野定)
40	安藤(長野工)		内山(須坂)	飯島(長野工)	清水(長野)
41	石黒(須坂)	2-0	佐藤(須坂)	中沢(中央)	坂上(須坂商)
42	奈良沢(須坂商)	2-0	和田(長野工)	小林(須坂)	小山(須坂)
43	北田(須坂)		小林(須坂商)	竹腰(長野工)	持田(須坂商)
44	名川(須坂)	2-0	島田(中央)	田仲(中央)	久保田(更級農)
45	西野入(更級農)		窪田(更級農)	久保田(更級農)	北沢(更級農)
46	渡辺(長野)		舟木(長野)	若林(長野)	竹前(須坂商)
47	内山(更級農)	2-0	五十嵐(長野商)	内山(須坂)	籠沢(長野商)
48	吉沢(更級農)	2-1	母袋(坂城)	北沢(長野商)	水多(中央)
49	宮城(更級農)	2-0	伊藤(更級農)	飯森(坂城)	福島(中央)
50	小林(更級農)		高坂(更級農)	関谷(更級農)	常田(中央)
51	井上(長野)	2-1	加藤(屋代)	井上(更級農)	中村(長野)
52	川島(長野東)	2-1	宮崎(更級農)	坂上(長野)	宮沢(更級農)
53	樋口(長野)	2-0	柄沢(中央)	春日(長野)	西沢(長野)
54	横田(中野)	2-0	大島(長野東)	北島(中央)	山岸(須坂東)
55	宮野尾(長野)	2-0	宮嶋(篠ノ井)	久保(中野)	鶴田(更級農)
56	鎌田(更級農)	2-0	西片(長野東)	金井(篠ノ井)	市川(須坂)
57	酒井(長野商)	2-0	米山(篠ノ井)	堀口(更級農)	矢野(中野)
58	小出(坂城)	2-0	平林(長野東)	中島(更級農)	飯森(長野商)
59	懸(松代)	2-0	西沢(中野実)	内山(長野東)	波切(須坂東)
60	佐藤(更級農)	2-0	加藤(長野南)	宮島(更級農)	亘(長野南)

北信高等学校春季総合体育大会

女子・団体

年度	1 位	記 録	2 位	3 位	
27					
28					
29					
30					
31					
32					
33					
34	長野西	3-2	篠ノ井	長野女子	長野市立
35	篠ノ井	3-2	長野西	長野市立	長野女子
36	長野西		篠ノ井	長野女子	長野西(定)
37	長野西		篠ノ井	長野女子	長野西(定)
38	長野西	3-0	篠ノ井	長野女子	長野市立
39	長野西	3-0	長野女子	長野市立	篠ノ井
40	長野西	3-1	篠ノ井	長野市立	長野文化
41	長野西	3-0	篠ノ井	長野女子	長野市立
42	長野西	3-0	市立二		
43	長野西	3-1	長野文化	早 月	更級農業
44	長野西	3-0	更級農業	長野文化	早 月
45	長野西	3-0	篠ノ井	長野文化	早 月
46	長野文化		篠ノ井	長野西	早 月
47	長野西	3-1	長野文化	篠ノ井	更級農業
48	長野文化	3-0	長野女子	篠ノ井	長野商業
49	長野西	3-1	篠ノ井	長野文化	長野女子
50	篠ノ井		長野文化	長野商業	更級農業
51	須坂東	3-0	更級農業	長野東	中 野
52	中 野	3-0	篠ノ井	須坂東	更級農業
53	中 野		長野中央	須坂東	須 坂
54	須坂東		長野文化	早 月	中 野
55	須坂東	2-1	中 野	早 月	長野東
56	早 月	2-0	須 坂	須坂東	中 野
57	中 野	2-1	須坂東	長野中央	更級農業
58	須坂東	2-1	中 野	長野西	中野実業
59	須坂東	2-0	中 野	中野実業	長野西
60	須坂東	2-0	更級農業	長野西	須 坂

北信高等学校秋季体育大会

女子・団体

年度	1 位	記 録	2 位	3 位	
27					
28					
29					
30					
31					
32					
33	篠ノ井	3-0	長野西	長野市立	長野女子
34	篠ノ井	3-1	長野西	長野市立	長野西(定)
35	長野西		篠ノ井	長野市立	長野女子
36	篠ノ井	3-0	長野西	長野市立	長野女子
37	長野西		篠ノ井	長野女子	
38	長野西		篠ノ井	更級農業	
39	長野西		篠ノ井	長野文化	
40	長野西		長野文化	長野市立	
41	長野西		長野文化	篠ノ井	
42					
43					
44	長野西		長野文化	篠ノ井	
45	長野文化		長野女子	篠ノ井	
46	長野文化		長野西	篠ノ井	
47					
48					
49	篠ノ井	3-0	長野西	須坂商業	早 月
50	須坂東		中 野	更級農業	早 月
51	中 野		須坂東	篠ノ井	早 月
52	長野中央		中 野	須 坂	須坂東
53	長野文化	2-0	須坂東	中 野	早 月
54	須坂東	2-1	中 野	早 月	長野東
55	早 月	2-0	更級農業	長野東	中野実業
56	中 野	2-1	須坂東	早 月	篠ノ井
57	須坂東	2-0	中 野	更級農業	中野実業
58	須坂東	3-0	中 野	長野東	長野西
59	須坂東	3-0	更級農業	須 坂	長野西
60	長野南	2-1	篠ノ井	長野中央	須坂東

北信高等学校春季総合体育大会  
女子・ダブルス

年度	1 位	記録	2 位	3 位
27				
28				
29				
30				
31				
32	久保田山(篠ノ井)	2-0	横北井(篠ノ井)	松山坂崎(篠ノ井)
33	小田島中(篠ノ井)	2-0	舎戸川谷(市立)	近内藤藤(市立)
34	松福永島(長野西)	2-1	寺宮島坂(篠ノ井)	徳花永岡(市立)
35	久保田貝(長野西)	2-0	善柴財田(長野西)	中竹村内(市立)
36	中柴村田(長野西)		中関村(篠ノ井)	石浦崎野(長野西)
37	大須賀本坂(長野西)		原小(長野西)	山田西矢(篠ノ井)
38	山丸本山(長野西)	2-0	柴山野崎(長野西)	北西村(篠ノ井)
39	下塚平田(長野西)	2-0	三宮森沢(長野西)	二本松(市立)
40	宮中沢(長野西)	2-0	丸山藤(長野西)	宮坂(篠ノ井)
41	酒山井口(長野西)	2-0	伴松野村(長野西)	中藤村(文化)
42	原塩田川(長野西)	2-0	小田林原(長野西)	小黑山岩(文化)
43	林村(長野西)	2-1	宮高本橋(長野西)	長山田(文化)
44	宮若下林(長野西)	2-0	下坂川本(篠ノ井)	和田田(文化)
45	上小条林(長野西)	2-1	西宮村島(長野西)	緑根川石(篠ノ井)
46	北鈴沢(文化)		飯竹島内(長野西)	町白石(長野西)
47	柄外沢谷(長野西)	2-0	米沢田山(文化)	若西野林(更級農)
48	小内山山(文化)	2-0	上佐野島(篠ノ井)	小浦井(須坂商)
49	矢籠野沢(文化)	2-1	飯北沢(長野西)	星宮沢崎(長野西)
50	小林林部(篠ノ井)		植山木田(須坂商)	石清水(文化)
51	関小(中野)	2-1	宮山沢(須坂商)	丸山井(長野東)
52	田中山(須坂東)	2-1	武田田(中野)	小佐々木林(中野)
53	山田上(中野)		広塚田(長野東)	清水水口(中央)
54	岡二ツ柳村(文化)		小太林田(須坂東)	長横山田(須坂東)
55	池小田林(中野)		佐中藤山(須坂東)	横山井(須坂東)
56	久萩保原(須坂東)	2-1	高宮橋(須坂東)	赤須井(須坂東)
57	鹿勝山(須坂東)	2-0	井山浦崎(須坂東)	米藤沢(中野)
58	荒宮井崎(須坂東)	2-0	田黒沢(中野)	武湯田(中野)
59	山神本田(須坂東)	2-1	藤沢崎(須坂東)	武高田(中野)
60	関宮(須坂東)	2-0	白井橋(更級農)	内依山田(中野西)

北信高等学校秋季体育大会  
女子・ダブルス

年度	1 位	記録	2 位	3 位
27				
28				
29				
30				
31				
32	柳町井(篠ノ井)	2-0	久保田崎(篠ノ井)	赤山沼田(市立)
33	寺岡島田(長野西)	2-1	福島貴(長野西)	関坂(篠ノ井)
34	松福永島(長野西)		寺宮島坂(篠ノ井)	富島(篠ノ井)
35	久保田貝(長野西)		小石出沢(長野西)	佐小藤林(長野西)
36	北水村野(篠ノ井)	2-0	坂大須賀本(長野西)	竹吉本沢(長野西)
37	大須賀本坂(長野西)		原竹(長野西)	田小林(長野西)
38	山丸本山(長野西)	2-1	山柴崎野(長野西)	北西村(篠ノ井)
39	宮足沢(長野西)	2-0	丸山山(長野西)	荒北井沢(篠ノ井)
40	中宮沢(長野西)		丸山井(長野西)	中藤村(文化)
41	山原口田(長野西)	2-0	伴小野林(長野西)	中藤村(文化)
42	原林(長野西)	2-0	字今田井(文化)	西塚沢(長野西)
43	宮下(長野西)		宮高本橋(長野西)	樋宮口沢(須坂)
44	西若村林(長野西)		金佐子(更級農)	中大沢(文化)
45	堀田大日方(文化)		若林(篠ノ井)	森久保田(文化)
46	北鈴沢(文化)		町柄田沢(長野西)	丸伊藤(篠ノ井)
47	柄戸沢谷(長野西)	2-1	米沢山田(文化)	若西野林(更級農)
48	内小山山(文化)		矢太島田(文化)	山黒口岩(長野西)
49	矢籠野沢(文化)	2-0	風佐々木(長野高)	保木野下(篠ノ井)
50	石清水(文化)		南須沢(屋代)	山佐岸(須坂東)
51	田中山(須坂東)	2-1	武田田(中野)	滝宮沢(篠ノ井)
52	丸山岸(長野)	2-0	清水水口(中央)	田塩中人(文化)
53	岡二ツ柳村(文化)	2-0	小大田(須坂東)	表横田(須坂東)
54	牛外山谷(須坂東)	2-0	齊山藤岸(長野西)	小山林崎(長野東)
55	久萩保原(須坂東)	2-1	高竹橋(須坂東)	廣須田(須坂東)
56	滝勝沢山(須坂東)	2-0	井山浦崎(須坂東)	藤沢(中野)
57	荒宮井崎(須坂東)	2-0	齊山藤崎(須坂東)	寺中島(篠ノ井)
58	山神本田(須坂東)		藤沢崎(須坂東)	村小林(長野西)
59	山関(須坂東)	2-0	林依高田(長野西)	駒原(須坂東)
60	宮中崎村(長野南)	2-0	渡辺山(篠ノ井)	朝丸日山(松代)

北信高等学校春季総合体育大会  
女子・シングルス

年度	1 位	記録	2 位	3 位
27				
28				
29				
30				
31				
32	久保田(篠ノ井) 2-0		横井(篠ノ井)	小林(長野西) 内田(長野西)
33	小島(篠ノ井) 2-0		近藤(長野西)	近藤(市立) 小林(長野西)
34	横井(篠ノ井) 2-0		河本(篠ノ井)	宮沢(長野西) 徳永(市立)
35	内山(篠ノ井) 2-0		伝田(長野女)	小林(長野西) 山本(篠ノ井)
36	善財(長野西)		水野(篠ノ井)	松井(篠ノ井) 北村(篠ノ井)
37	大須賀(長野西)		小林(長野西)	原(長野西) 山西(篠ノ井)
38	山本(長野西) 2-0		丸山(長野西)	山崎(長野西) 柴野(長野西)
39	下平(長野西) 2-0		二本松(市立)	新井(市立) 中村(長野女)
40	中沢(長野西) 2-0		丸山(長野西)	上原(市立) 宮沢(長野西)
41	酒井(長野西) 2-0		松村(長野西)	伴野(長野西) 北島(篠ノ井)
42	原田(長野西) 2-0		堀川(長野西)	小池(長野西) 小林(長野西)
43	峯村(長野西) 2-1		林(長野西)	宮本(長野西) 徳竹(長野女)
44	宮下(長野西) 2-0		下川(長野西)	小林(長野西) 佐藤(更級農)
45	根石(篠ノ井)		酒井(篠ノ井)	宮島(長野西) 堀内(文化)
46	北沢(文化)		若林(篠ノ井)	飯島(長野西) 鈴木(文化)
47	沢山(文化) 2-0		外谷(長野西)	米田(長野文) 柄沢(長野西)
48	大橋(篠ノ井) 2-0		内山(文化)	上田(篠ノ井) 佐野(篠ノ井)
49	保木野(篠ノ井) 2-0		飯島(長野西)	風間(長野高) 松橋(篠ノ井)
50	北原(長野高)		林部(篠ノ井)	山田(須坂高) 小林(篠ノ井)
51	関(中野) 2-0		内山(更級農)	玉井(長野東) 内山(長野東)
52	小林(中野) 2-0		中山(須坂東)	武田(中野) 武田(中野)
53	広田(長野東)		山田(中野)	田文(文化) 山岸(長野)
54	宮城(篠ノ井)		ニツ柳(文化)	北村(中野) 町田(中野)
55	池田(中野) 2-0		斉藤(長野西)	甲田(篠ノ井) 勝山(須坂東)
56	畠山(中野) 2-0		南沢(更級農)	北沢(文化) 木曾(須坂)
57	吉岡(更級農) 2-1		小宮山(篠ノ井)	原田(更級農) 滝沢(須坂東)
58	東山(須坂東) 2-0		鈴木(須坂東)	武田(中野) 荒井(須坂東)
59	村山(長野西) 2-0		山崎(中野)	中村(須坂東) 小沢(長野西)
60	山崎(須坂東)		白井(更級農)	関野(須坂東) 原(須坂)

北信高等学校秋季体育大会  
女子・シングルス

年度	1 位	記録	2 位	3 位
27				
28				
29				
30				
31				
32	久保田(篠ノ井) 2-0		横井(篠ノ井)	柳町(篠ノ井) 松本(長野西)
33	小出(長野西) 2-1		関(篠ノ井)	宮坂(篠ノ井) 小林(市立)
34	河本(篠ノ井)		宮沢(長野西)	岡村(長野西) 倉石(市立)
35	小林(長野西)		内山(篠ノ井)	山本(篠ノ井) 竹内(市立)
36	中村(長野西) 2-1		小林(長野西)	浦野(長野女) 小林(長野女)
37	大須賀(長野西)		坂本(長野西)	山西(篠ノ井) 原(長野西)
38	山崎(長野西) 2-0		山本(長野西)	柴野(長野西) 松井(長野西)
39	宮沢(長野西)		丸山(長野西)	中沢(長野西) 足立(長野西)
40	宮沢(長野西)		中沢(長野西)	酒井(長野西) 中沢(市立)
41	原田(長野西) 2-1		中村(文化)	松沢(文化) 北島(篠ノ井)
42	原田(長野西) 2-0		小林(長野西)	坂田(市立二) 塚田(長野女)
43	峯村(長野西)		林(長野西)	倉田(篠ノ井) 徳竹(長野女)
44	宮下(長野西)		若林(長野西)	正村(篠ノ井) 中沢(文化)
45	堀内(文化)		望月(長野女)	大日方(文化) 酒井(篠ノ井)
46	北沢(文化)		沼田(長野西)	鈴木(文化) 沢山(文化)
47	柄沢(長野西) 2-1		外谷(長野西)	沢山(文化) 米田(文化)
48	内山(文化)		矢島(文化)	坂本(文化) 阿部(長野女)
49	矢野(文化) 2-0		宮尾(篠ノ井)	保木野(篠ノ井) 滝沢(文化)
50	石川(文化)		清水(文化)	柴田(須坂) 藤原(文化)
51	田中(須坂東) 2-1		武田(中野)	滝沢(篠ノ井) 松本(長野西)
52	広田(長野東) 2-0		山田(中野)	丸山(長野) 山岸(長野)
53	ニツ柳(文化) 2-1		岡村(文化)	長田(須坂東) 青木(須坂東)
54	池田(中野) 2-1		小林(中野)	横山(皐月) 勝山(須坂東)
55	竹内(皐月) 2-0		北沢(文化)	小口(長野西) 宮沢(皐月)
56	滝沢(須坂東) 2-0		藤沢(須坂)	吉岡(更級農) 竹節(中野)
57	東山(須坂東) 2-0		湯本(中野)	大川(長野) 田沢(中野)
58	村山(長野西) 2-0		山本(須坂東)	小野(長野西) 小林(長野西)
59	山崎(須坂東) 2-0		原(須坂)	市川(松代) 宮崎(須坂東)
60	市川(長野西) 2-0		渡辺(篠ノ井)	佐藤(更級農) 宮崎(長野南)

北信高等学校秋季体育大会  
男子・ダブルスB

年度	1 位	記録	2 位	3 位
52	宮小 沢池(長野)	2-0	今岡 井須(須坂)	春西 日島(長野) 越永 井(須坂)
53	上山 野岸(須坂東)	2-1	横野 田上(中野)	今池 井田(長野商) 桜井 井口(長野)
54	小宮 林野尾(長野)	2-1	石坂 坂原(中央)	中近 沢藤(長野商) 久松 松本(中野)
55	鎌中 田沢(更級農)	2-0	渡中 辺林(中野)	金井 原(中野実) 小林 大日野(屋代)
56	酒井 井柳(長野商)	2-1	白井 井内(長野商)	宮渡 島邊(長野東) 宮鈴 崎木(長野東)
57	浦野 野上(中野)	2-0	池山 田田(中野実)	想香 田山(更級農) 竹塚 内田(須坂商)
58	小清 林水(中央)	2-0	渡黒 辺田(須坂東)	柳沢 井坂(坂城) 村丸 山山(吉田)
59	加加 藤藤(長野南)	2-0	山宮 岸下(長野南)	板原 本山(長野) 宮佐 島藤(更級農)
60	高田 清水(中央)	2-0	松手 下敷(長野工)	山波 田沢(北部) 鈴木 木田(坂城)

北信高等学校秋季体育大会  
男子・シングルスB

年度	1 位	記録	2 位	3 位
52	西沢(長野)		樋口(長野)	竹中(長野東) 山浦(中央)
53	横田(中野)	2-0	大島(長野東)	山岸(須坂東) 伊藤(更級農)
54	宮野尾(長野)	11-0 1セットのみ	松倉(吉田)	海野(中央) 内山(藤ノ井)
55	竹節(中野)	2-0	角田(須坂東)	保谷(須坂東) 呉羽(中野)
56	酒井(長野商)	2-0	米山(藤ノ井)	宮島(長野東) 樋口(中央)
57	小出(坂城)	2-1	想田(更級農)	池田(中野実) 伝田(長野商)
58	西沢(長野)	2-0	渡辺(須坂東)	田中(中野実) 高橋(中央)
59	山岸(長野南)	2-1	亘(長野南)	宮島(更級農) 高木(北部)
60	会田(坂城)		酒井(長野西)	片山(藤ノ井) 乙黒(中央)

北信高等学校秋季体育大会  
女子・ダブルスB

年度	1 位	記録	2 位	3 位
52	岡村 柳(文化)	2-0	小太 林田(須坂東)	小林 轟(阜月) 塩島 田(中野)
53	齊山 藤岸(長野西)	2-1	中佐 山藤(須坂東)	小岸 林田(中野) 佐藤 藤森(更級農)
54	久萩 保原(阜月)	2-0	宮高 沢橋(阜月)	小南 林沢(更級農) 赤塩 塩井(須坂)
55	吉岡 岡田(更級農)	2-1	鹿山 沢崎(須坂東)	木市 内川(須坂東) 藤沢 沢(中野)
56	寺中 島村(藤ノ井)	2-1	湯中 本沢(中野実)	荒齊 井藤(須坂東) 鈴宮 木崎(須坂東)
57	藤岩 沢崎(須坂東)	2-0	太小 田林(長野西)	市藤 村岡(長野西) 鶴江 田口(須坂)
58	山駒 岸津(須坂東)	2-0	宮高 下沢(阜月)	田小 中林(長野東) 宮奥 沢村(長野西)
59	峰清 村水(長野商)	2-1	橋伊 倉野(長野南)	北河 島野(長野西) 内山 宇都宮(藤ノ井)
60	藤清 森水(長野西)	2-0	傳村 田山(長野西)	下北 平尾根(更級農) 常野 田上(中野実)

北信高等学校秋季体育大会  
女子・シングルスB

年度	1 位	記録	2 位	3 位
52	岡村(文化)	2-1	二ツ柳(文化)	徳永(中野) 長田(須坂東)
53	池田(中野)	2-0	佐藤(須坂東)	中山(須坂東) 宮尾(藤ノ井)
54	齊藤(吉田)	2-1	竹内(阜月)	朝日(屋代) 湯本(中野)
55	竹節(中野)	2-0	角田(須坂東)	呉羽(中野) 保谷(須坂東)
56	湯本(中野実)	2-0	齊藤(須坂東)	小野(長野) 荒井(須坂東)
57	山本(須坂東)	2-1	玉井(須坂東)	峯村(中央) 村山(長野西)
58	清水(藤ノ井)	2-0	毛利(長野)	許淵(藤ノ井) 片桐(須坂商)
59	丸山(松代)	2-0	市川(長野西)	星沢(長野商) 小出(坂城)
60	藤森(長野西)	2-1	中村(藤ノ井)	喜久川(中野実) 玉沖(中央)



## 卓 球

高校の特別教育活動としての卓球は、第2次大戦後旧制中学校の終期にスタートした。

昭和22年全国中等卓球大会の予選を兼ねた北信地区大会が行われたが、学制改革により昭和24年から北信高校球技大会となり、学校対抗(5シングル・5人で編成)で長野北が長野工業を3-0で破って初優勝しているが、この頃は長野地区が強く、県大会で優勝し、国体選手としても活躍している。

当時は終戦直後でありすべての物資に欠けていたが、卓球用具類も全く同じであった。卓球台は適当な大きさの手作りであり、ボールもラケットも調達に苦労し、ユニフォームも白い丸首のシャツを紺染めにした質素なものであったが、平和な中で実に楽しく活動した。

大会は始め軟式であったがすぐに硬式にかわり、会場は照明不足の各高校の講堂や体操場が使用された。また、組合せは会場に模造紙で掲示されるだけであった。

春季大会は学校対抗(4ダブルス・1シングルの5点・最低4人編成)と個人戦はシングルのみで、大会は1日のみ、男女別々の会場であった。昭和34年から個人戦にダブルスが加わると大会も2日となったが、会場は依然として男女別であり、各高校を利用していた。

昭和48年からは、各市町村が体育施設を充実するようになったので、学校会場をやめ市の体育館を借用して今日に至っているが、最初の5年は国体会場となった須坂市民体育館を、その後は長野市総合体育館で実施している。秋季大会は国体の予選を兼ね、シングルのみ8月中旬に1日で実施したが団体優勝もあった。これは学校毎に出場した全選手の勝数を合計して順位を決めるもので、上位に多くの選手が進出した高校程有利であった。

昭和52年からは国体予選と切り離され、翌53年からは学校対抗とシングルスにBの部(1年生のみ出場)が設けられ、大会日程も2日間となった。この大会は当初から男女同一会場で行われてきたが、北

信地区内の各高校が会場となり、中条、犀峽高校など会場校は卓球台の準備に大童だったし、選手の輸送にバスの増発、貸切りを配慮するなど大変な苦労をして下さったが今となれば懐しい思い出となっている。そして昭和47年の松代高校を最後に、春季大会同様市の体育館を借用するようになった。

学校対抗は全国大会の関係で、昭和42年から世界選手権方式が採用されることになったが、本県は独自路線を採っている。

男子は5シングルスでそれも3人で5点(2人が2回出場)という変則で行い、女子は今迄通りであったが、昭和46年から男女とも6シングルス、1ダブルスの7点となり、5~7人で編成され、ダブルスと最後のシングルスに出場する者は2回出場も許され、時間も長くかかるようになったため春季大会は3日間となった。

昭和57年から2日間に戻したが、出場校増加のため、又昭和60年からは秋季と同じく3日間となっている。

なお、現在の形式は4シングルス・1ダブルスの5点であるが、5人で編成され、1人がダブルスとシングルスに出場できることになっている。

(文責 湯本 誠)

北信高等学校春季総合体育大会

男子・団体

年 度	1 位	ス コ ア	2 位	3 位	3 位
22					
23					
24	長 野 北	3 - 0	長 野 工	須 坂 農	
25					
26					
27					
28					
29	須 坂 西	3 - 0	須 坂 商	中 条 農	松 代
30	須 坂 西		須 坂 商	更 級 農	中 条
31	須 坂 西	3 - 0	須 坂 商	長 野 北	中 条
32	須 坂 西	3 - 0	須 坂 商	長 野 北	中 条
33	須 坂 商	3 - 1	須 坂 西	須 坂 園	中 条
34	須 坂 商	3 - 1	更 級 農	長 野 商	松 代
35	須 坂 商	3 - 0	更 級 農	長 野 商	松 代
36	須 坂 西	3 - 2	長 野 北	更 級 農	屋 代 東
37	犀 峡	3 - 0	更 級 農	長 野 商	須 坂 商
38	中 野 実	3 - 1	長 野 工	飯 山 北	長 野 商
39	長 野 工	3 - 2	中 野 実	長 野 商	須 坂 西
40	長 野 商	3 - 2	長 野 工	須 坂 園	須 坂 商
41	須 坂 商	3 - 0	下 高 井 農	中 野 実	長 野 工
42	更 級 農	3 - 0	須 坂 商	下 高 井 農	須 坂 園
43	須 坂 商	3 - 0	須 坂 園	更 級 農	須 坂 園
44	長 野 中 央	3 - 2	須 坂 園	坂 城	長 野 吉 田
45	篠ノ井 旭	3 - 0	松 代	長 野 吉 田	坂 城
46	須 坂 商	4 - 1	篠ノ井 旭	須 坂 園	更 級 農
47	須 坂 商	4 - 3	篠ノ井 旭	更 級 農	坂 城
48	長 野 工	4 - 0	松 代	篠ノ井 旭	飯 山 北
49	長 野 工	4 - 3	須 坂 園	須 坂 園	長 野 吉 田
50	須 坂 商	4 - 3	坂 城	長 野 工	松 代
51	須 坂 園	4 - 3	長 野 工	長 野 吉 田	長 野 東
52	須 坂 園	4 - 0	飯 山 北	長 野 吉 田	須 坂 園
53	長 野 吉 田	4 - 2	長 野 商	長 野 工	須 坂 園
54	長 野 工	4 - 2	長 野 吉 田	須 坂 商	長 野 中 央
55	須 坂 園	4 - 1	中 野 実	須 坂 商	篠ノ井 旭
56	須 坂 園	4 - 0	篠ノ井 旭	松 代	屋 代 東
57	須 坂 商	4 - 2	長 野 吉 田	照 丘	飯 山 北
58	須 坂 商	4 - 1	飯 山 北	飯 山 南	長 野 工
59	須 坂 商	3 - 2	須 坂 商	飯 山 北	中 野
60	須 坂 商	3 - 2	須 坂 商	飯 山 北	中 野

男子・ダブルス

年度	1 位		スコア	2 位		3 位		3 位	
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
31									
32									
33									
34	川橋・三木	須坂西	2-1	坂上・六瀬	須坂	笹川・湊	須坂商	中沢・甲野	長野
35	市村・北原	須坂西	2-0	湯沢・和田	長野商	呉羽・清水	須坂商	宮沢・柳沢	屋代東
36	川浦・小古井	須坂西	2-1	仁科・熊井	長野	宇野女・吉沢	中条	小野沢・及川	中野実
37	小山・小山	更級農	2-0	北島・関谷	長野	吉沢・吉原	犀峽	市川・鈴木	更級農
38	神田・水上	須坂商	2-1	小笹・小淵	飯山北	中村・水島	中野実	松本・織田	長野商
39	松井・田中	中野実	2-0	金子・宮島	長野	青木・涌井	須坂園	酒井・溝口	須坂西
40	三島・山崎	長野工	2-0	櫃原・戸谷	須坂				
41	北沢・高森	須坂商	2-1	手塚・早川	更級農	滝沢・中村	犀峽	牛沢・近藤	松代
42	呉羽・藤牧	須坂商	2-0	竹内・中島	須坂園				
43	渡辺・湯本	須坂園	2-0	松本・中沢	松代	市川・山崎	犀峽	大日方・宮崎	下高農
44	竹内・早川	更級農	2-0	宮前・町田	須坂商	玉井・柳沢	吉田	安藤・上野	坂城
45	半田・近藤	旭	2-0	高松・鈴木	坂城				
46	湯本・中村	須坂園	2-1	柴本・小山	飯山北	中村・小池	坂城	金子・村石	須坂園
47	峯村・樋村	松代	2-0	村石・木村	須坂園	塩崎・山岸	須坂	山田・大峽	中野実
48	花石・南沢	屋代	2-1	瀬下・柳沢	旭	湯本・熊田	須坂園	北沢・宮尾	旭
49	野崎・青木	須坂園	2-0	奥原・小出	松代	藤沢・山崎	須坂商	森山・小林	中野実
50	山崎・荻原	須坂商	2-1	太田・中村	坂城	竹前・堀米	須坂	富沢・吉池	長野工
51	山本・今井	長野工	2-0	佐相・片桐	須坂商	北沢・穂刈	須坂	加藤・滝沢	長野東
52	玉井・森山	須坂	2-1	上沢・西方	須坂	児玉・山岸	長野工	宮沢・中村	須坂商
53	原・関取	須坂	2-1	新井・根石	長野商	加藤・宮崎	長野商	黒岩・鶴田	中野
54	松井・関沢	松代	2-0	石沢・宮本	飯山北	清水・窪田	吉田	小橋・大日方	飯山北
55	小林・下田	須坂	2-0	上沢・勝山	須坂	原・丸山	須坂	滝沢・松本	須坂商
56	丸山・田中	須坂	2-1	中村・中村	屋代	下田・佐藤	須坂	宮坂・塚田	坂城
57	井出・斉藤	飯山北	2-1	和田・柄木田	松代	服部・中沢	飯山北	大平・若林	松代
58	豊岡・高坂	須坂	2-0	佐藤・米沢	長野工	北村・宮島	須坂	斉藤・高見沢	飯山北
59	小林・武田	中野実	2-1	酒井・寺島	長野工	大島・小林	須坂商	井上・兵藤	須坂
60	青木・中嶋	須坂商	2-0	武田・柳沢	中野実	福沢・宮前	須坂	小林・竹内	須坂

男子・シングルス

年度	1 位		スコア	2 位		3 位		3 位	
22									
23									
24	中 沢	長野北	2 - 1	長 谷 川	長野北	竹 内	長野商		
25			2 - 0						
26			2 - 1						
27			2 - 0						
28	倉 田	須坂西	2 - 1	宮 崎	須坂西	吉 岡	須坂西	小 林	中野実
29	前 坂	須坂西	2 - 0	岩 佐	更級農	山 本	長野北	黒 岩	須坂西
30	土 屋	須坂商	2 - 0	高 橋	須坂商	田 島	須坂商		
31	外 谷	須坂西	2 - 0	吉 岡	須坂西	井 出	須坂西	伊 藤	須坂西
32	新 井	須坂西	2 - 0	北 原	須坂西	田 幸	須坂商	勝 山	須坂西
33	宮 崎	須坂西	2 - 1	田 中	須坂南	宮 崎	須坂商	竹 内	須坂西
34	市 川	更級農	2 - 0	坂 田	須坂商	荒 井	須坂商	更 級	松 代
35	市 村	須坂西	2 - 1	呉 羽	須坂商	吉 原	長野商	宮 尾	中 条
36	神 林	須坂西	2 - 0	小 古 井	須 坂	小 野 沢	中野実	及 川	中野実
37	小 山	更級農	2 - 1	吉 沢	犀 峽	小 山	更級農	土 屋	長野商
38	花 岡	中野実	2 - 0	神 田	須坂商	山 崎	下高農	原	須坂西
39	松 井	中野実	2 - 1	宮 下	長野工	原 田	長野工	原	須坂西
40	山 崎	長野工	2 - 1	藤 沢	須坂園	中 島	長野商	西 貝	須坂商
41	北 沢	須坂商	2 - 0	青 木	須坂園	手 塚	更級農	松 沢	飯山北
42	早 川	更級農	2 - 0	中 島	飯山北	古 畠	更級農	呉 羽	須坂商
43	牛 沢	更級農	2 - 1	丸 山	須坂商	藤 沢	須坂園	館 林	須坂園
44	中 村	須坂園	2 - 0	安 藤	坂 城	玉 井	吉 田	早 川	更級農
45	高 松	坂 城	2 - 1	神 戸	松 代	近 藤	旭	高 野	屋 代
46	竹 内	須坂商	2 - 1	小 林	須坂商	一 色	須坂商	中 村	坂 城
47	峯 村	松 代	2 - 0	永 井	須坂商	仙 田	長野商	高 島	下高農
48	山 岸	須 坂	2 - 0	南 沢	屋 代	堀 内	中 央	田 中	吉 田
49	青 木	須坂園	2 - 0	小 林	下高農	塚 田	中野実	藤 沢	須坂商
50	塩 入	須 坂	2 - 1	藤 原	長 野	堀 米	須 坂	中 村	坂 城
51	佐 相	須坂商	2 - 0	北 沢	須 坂	加 藤	長野東	今 井	長野工
52	宮 沢	須坂商	2 - 1	森 山	飯山北	佐 々 木	須 坂	西 方	須 坂
53	黒 岩	中 野	2 - 1	原	須 坂	宮 崎	長野商	牧	須坂商
54	岡 沢	松 代	2 - 1	清 水	吉 田	近 藤	長野工	千 野	篠ノ井
55	仲 山	飯山北	2 - 1	勝 山	須 坂	原	須 坂	上 沢	須 坂
56	丸 山	須 坂	2 - 1	田 中	須 坂	塚 田	坂 城	小 林	中野実
57	篠 原	吉 田	2 - 1	和 田	松 代	服 部	飯山北	大 平	松 代
58	高 坂	須 坂	2 - 0	湯 本	長野工	宮 之 本	屋 代	高 見 沢	飯山北
59	西 沢	飯山北	2 - 0	小 林	中野実	石 坂	篠ノ井	山 崎	須坂商
60	武 田	中野実	2 - 1	小 林	須 坂	竹 内	須 坂	宮 前	須 坂

北信高等学校春季総合体育大会

女子・団体

年 度	1 位	ス コ ア	2 位	3 位	3 位
22					
23					
24					
25					
26	長 野 西	3 - 1	中 野	長 野 商	
27					
28					
29	中 条		中 野	須 坂 東	須 坂 商
30	長 野 市 立	3 - 2	須 坂 商	松 代	中 条
31	飯 山 南	3 - 0	篠 ノ 井	松 代	中 野
32	中 野	3 - 1	須 坂 東	屋 代 南	長 野 市 立
33	長 野 西	3 - 1	須 坂 東	中 条	屋 代 南
34	篠 ノ 井	3 - 1	屋 代 南	長 野 市 立	長 野 西
35	長 野 西	3 - 0	中 条	屋 代 南	長 野 市 立
36	長 野 西	3 - 1	中 条	長 野 女 子	屋 代 南
37	長 野 西	3 - 1	須 坂 東	屋 代 南	中 条
38	長 野 西	3 - 2	中 野	長 野 商	須 坂 東
39	長 野 西	3 - 0	長 野 商	篠 ノ 井	中 野
40	長 野 西	3 - 2	篠 ノ 井	長 野 文 化	長 野 市 立
41	篠 ノ 井	3 - 1	中 野	須 坂 東	下 高 井 農
42	篠 ノ 井	3 - 1	中 野	長 野 西	長 野 商
43	篠 ノ 井	3 - 1	長 野 西	長 野 商	中 野
44	須 坂 園	3 - 1	下 高 井 農	阜 月	長 野 西
45	篠 ノ 井 旭	3 - 2	下 高 井 農	長 野 西	長 野 商
46	長 野 西	4 - 1	篠 ノ 井 旭	屋 代 南	長 野 女 子
47	長 野 西	4 - 3	篠 ノ 井 旭	阜 月	下 高 井 農
48	長 野 西	4 - 0	中 野	篠 ノ 井	長 野 女 子
49	中 野	4 - 2	須 坂 園	篠 ノ 井	長 野 西
50	中 野	4 - 3	長 野 西	須 坂 東	篠 ノ 井
51	中 野	4 - 0	長 野 西	篠 ノ 井	須 坂 東
52	篠 ノ 井	4 - 2	長 野 西	須 坂 東	須 坂 東
53	篠 ノ 井	4 - 1	更 級 農	須 坂 東	屋 代 南
54	篠 ノ 井	4 - 0	長 野 西	犀 峽	飯 山 南
55	犀 峽	4 - 2	屋 代 南	長 野 西	阜 月
56	阜 月	4 - 2	須 坂 東	中 野 実	長 野 西
57	長 野 商	4 - 3	須 坂 東	中 野	長 野 西
58	須 坂 東	4 - 2	長 野 商	松 代	長 野 西
59	中 野	3 - 0	飯 山 南	須 坂 東	須 坂 商
50	飯 山 南	3 - 2	長 野 商	長 野	飯 山 北

女子・ダブルス

年 度	1 位		ス コ ア	2 位		3 位		3 位	
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
31									
32									
33									
34	宮下・鎌林	篠ノ井	2-1	久保田・池田	長野西	丸山・小山	飯山南	阿部・七尾	篠ノ井
35	宮沢・小林	中条	2-0	米沢・三井	篠ノ井	馬場・関	中野	青木・北山	長野西
36	原田・酒井	長野西	2-0	清水・高野	女子	松本・清水	中条	三井・土屋	篠ノ井
37	野沢・宮川	篠ノ井	2-0	竹沢・矢島	須坂東	山崎・清水	長野西	渡辺・河上	中野
38	北山・内田	長野西	2-1	池田・須田	篠ノ井	芦田・伊東	長野商	矢島・常田	須坂東
39	松崎・北村	篠ノ井	2-0	山崎・笠井	長野商	市川・黒岩	須坂東	山崎・布施	長野西
40	米沢・塚田	篠ノ井	2-0	内山・清水	須坂東	荒木・徳竹	長市立	梅松・丸山	中野実
41	三橋・野本	長野西	2-1	斉藤・佐々木	長野商	石川・小島	篠ノ井	千野・成沢	屋代南
42	大野・高野	屋代南	2-1	羽生田・田中	須坂東				
43	広田・新井	長野西	2-0	大木・丸山	文化	中村・上原	篠ノ井	小林・小松	更級農
44	佐藤・佐藤	下高農	2-0	黒岩・山崎	須坂園	小松・山崎	更級農	小林・牧野	須坂東
45	滝沢・竹内	長野商	2-0	唐沢・唐木	屋代南				
46	森山・勝山	長野西	2-0	伊東・花岡	長野西	西沢・町田	篠ノ井	小林・武田	中野
47	野崎・千野	旭	2-0	徳竹・本田	旭	佐藤・小林	下高農	花岡・北村	長野西
48	北村・山岸	長野西	2-0	春日・宮尾	旭	田村・笠原	中野	長谷川・小林	下高農
49	神戸・風間	篠ノ井	2-1	岡村・神林	篠ノ井	中沢・関口	長野西	小林・佐藤	中野実
50	北沢・徳竹	篠ノ井	2-1	山崎・宮坂	篠ノ井	小沢・増田	須坂東	宮尾・小見山	長野西
51	山岸・田中	長野西	2-0	小山・小林	長野商	柴本・小林	中野	中村・高橋	中野
52	田中・小林	長野西	2-1	宮沢・太田	篠ノ井	長門・滝沢	篠ノ井	町田・松本	長野西
53	篠原・石林	更級農	2-0	合津・岡本	長野商	曾根原・松本	長野商	吉原・窪田	篠ノ井
54	高野・窪田	篠ノ井	2-0	小笠原・藤沢	篠ノ井	西沢・池田	長野商	田尻・常田	飯山北
55	宮沢・中村	屋代南	2-0	高野・徳武	須坂	佐藤・丸山	須坂東	清道・篠塚	阜月
56	青木・吉池	中野実	2-0	樋口・市川	須坂	樋口・上石	長野商	島津・田中	須坂東
57	坂田・藤森	須坂	2-0	矢島・丸山	中野実	本道・綿貫	長野西	別所・山崎	須坂東
58	樋口・高野	中野実	2-0	牧・遠藤	須坂	渡部・宮下	長野西	小田切・久保田	長野西
59	堀内・西山	中野	2-0	駒村・山崎	須坂商	山崎・黒岩	長野商	倉島・清道	篠ノ井
60	小山・宮沢	須坂商	2-0	岡田・小林	飯山南	広瀬・高橋	飯山南	岡田・小林	飯山南

女子・シングルス

年度	1 位		スコア	2 位		3 位		3 位	
22									
23									
24									
25	寺 沢	長野西	2 - 0	近 藤	長野西	金 井	長野西	山 下	松 代
26									
27	塩 崎	中 野	2 - 0	吉 沢	犀 峡	常 盤	長野西	小 林	中野実
28									
29	橋 詰	須坂商	2 - 1	宮 尾	中 条	塩 崎	中野実	手 塚	須坂商
30	宮 尾	中 条	2 - 0	三 沢	中 野	丸 山	松 代	町 田	長市立
31	桜 沢	中 野	2 - 0	今 井	松 代	小 林	中 野	峯 村	飯山南
32	小 林	中 野	2 - 1	早 川	屋代南	坂 田	屋代南	田 中	中 野
33	村 瀬	須坂東	2 - 0	村 越	飯山南	田 中	須坂東	高 橋	中実定
34	丸 山	飯山南	2 - 0	池 田	長野西	西 村	屋代南	太 田	屋代南
35	小 日 向	長野西	2 - 0	金 子	長野西	小 林	中 野	金 丸	長野西
36	松 本	中 条	2 - 1	平 井	屋代南	原 田	長野西	酒 井	長野西
37	竹 沢	須坂東	2 - 0	西 沢	犀 峡	田 中	長野西	宮 川	篠ノ井
38	内 田	長野西	2 - 1	内 山	長野西	矢 島	須坂東	池 田	篠ノ井
39	山 崎	長野商		和 田	須坂東	黒 岩	須坂東	布 施	長野西
40	荒 木	長市立	2 - 0	轟	篠ノ井	織 田	長野西	和 田	長野西
41	佐 藤	須坂東	2 - 1	斉 藤	長野商	宮 原	篠ノ井	小 島	篠ノ井
42	飯 島	篠ノ井	2 - 1	三 井	市立第二	渡 辺	下高農	竹 節	中 野
43	樋 本	篠ノ井	2 - 0	峰 村	臯 月	小 林	長野商	大 内	篠ノ井
44	小 松	更級農	2 - 1	黒 岩	須坂園	山 崎	須坂園	小 林	須坂東
45	春 原	篠ノ井	2 - 1	丸 山	下高農	長 谷 部	旭	勝 山	長野西
46	勝 山	長野西	2 - 0	森 山	長野西	小 林	旭	高 山	下高農
47	宮 下	長野商	2 - 1	千 野	旭	北 村	長野西	田 中	下高農
48	山 岸	長野西	2 - 1	月 岡	篠ノ井	西 沢	長野西	池 田	女 子
49	風 間	篠ノ井	2 - 0	駒 村	須坂商	池 田	中 野	橋 詰	長野西
50	山 崎	長野西	2 - 0	渡 辺	中 野	徳 竹	中 野	佐 々 木	中 野
51	小 見 山	長野西	2 - 1	山 岸	長野西	小 林	長野西	堀 越	須坂東
52	田 中	長野西	2 - 1	長 門	篠ノ井	滝 沢	篠ノ井	本 多	中 野
53	篠 原	更級農	2 - 0	竹 内	中 野	関	篠ノ井	柳 沢	篠ノ井
54	小 笠 原	篠ノ井	2 - 0	高 野	篠ノ井	窪 田	篠ノ井	藤 沢	篠ノ井
55	岸 田	飯山北	2 - 1	竹 内	屋代南	間 藤	犀 峡	市 川	飯山北
56	樋 口	長野商	2 - 1	朝 比 奈	臯 月	青 木	中野実	市 川	須坂東
57	高 木	中 野	2 - 1	小 林	中 野	水 上	長野西	滝 沢	犀 峡
58	山 岸	須坂東	2 - 0	渡 辺	長野西	宮 下	長野西	山 岸	松 代
59	池 田	中 野	2 - 0	高 山	中 野	小 山	須坂商	広 瀬	飯山南
60	小 山	須坂商	2 - 0	広 瀬	飯山南	鹿 住	長 野	竹 内	須坂東

北信高等学校秋季体育大会

男子・団体

年度	1 位	スコア	2 位	3 位	3 位
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29	須坂西			長野北	
30	須坂商			長野北	
31	須坂西				
32	須坂西				
33	須坂商				
34	須坂西		長野商	須坂商	
35	須坂西		飯山北	松代	
36	須坂西		中条	長野商	
37	更級農				
38	中野実		須坂西	須坂園	
39	須坂西				
40	長野工				
41	須坂園		更級農	下高井農	
42	須坂商				
43	更級農				
44	須坂園		須坂商	坂城	
45	篠ノ井旭				
46	須坂商				
47	松代		篠ノ井旭	須坂商	下高井農
48	篠ノ井旭				
49	須坂園				
50	須坂商		坂城		
51	飯山北		長野工	須坂	須坂商
52	中野		長野西	屋代南	
53	長野工	4 - 2	長野吉田	中野実	飯山北
54	中野実	4 - 3	須坂	篠ノ井	長野吉田
55	飯山北	4 - 3	須坂	中野実	篠ノ井
56	須坂商	4 - 2	飯山北	長野工	松代
57	飯山北	4 - 1	須坂	中野実	長野工
58	須坂	3 - 1	飯山北	須坂商	屋代
59	飯山北	3 - 1	屋代	須坂	中野実

男子・A

年度	1 位		スコア	2 位		3 位		3 位	
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29	黒 岩	須坂西	2 - 1	宮 前	須坂西	若 林	松 代	宮 尾	須坂西
30	田 島	須坂商	2 - 0	春 原	長野北	外 谷	須坂西		
31									
32	新 井	須坂西	2 - 1	北 原	須坂西	勝 山	須坂西	高 橋	須坂商
33	宮 崎	須坂西		宮 崎	須坂商				
34	川 橋	須坂西	2 - 0	中 沢	長野商	六 瀬	須坂西	坂 上	須坂西
35	市 村	須坂西	2 - 0	伊 東	松 代	宮 沢	屋 代	清 水	飯山北
36	神 林	須坂西	2 - 0	小 古 井	須坂西	及 川	中野実	吉 沢	中 条
37	小 山	更級農	2 - 0	北 島	長 野	小 林	中野実	宮 尾	犀 峡
38	水 島	中野実	2 - 1	田 幸	須坂西	花 岡	中野実	原	須坂西
39	宮 崎	長野商	2 - 0	山 崎	須坂西	溝 口	須坂西	戸 谷	須坂西
40	山 崎	長野工	2 - 1	手 塚	更級農	塚 田	長野工	藤 沢	須坂園
41	青 木	須坂園	2 - 0	手 塚	更級農	関	下高農	保 科	須坂園
42	藤 牧	須坂商	2 - 0	早 川	更級農	塩 入	旭	呉 羽	須坂商
43	牛 沢	更級農	2 - 0	市 川	犀 峡	中 沢	松 代	岡 川	更級農
44	涌 井	須坂商	2 - 1	関	須坂園	中 村	須坂園	大 久 保	長野工
45	近 藤	旭	2 - 1	半 田	旭	神 戸	松 代	黒 光	須坂園
46	竹 内	須坂商	2 - 1	川 島	須坂園	中 島	須坂商	後 藤	長野商
47	永 井	須坂商	2 - 0	峯 村	松 代	宮 川	長野工	石 谷	旭
48	阿 部	下高農		堀 内	中 央	綿 貫	長野工	安 藤	屋 代
49	青 木	須坂園	2 - 0	小 林	下高農	藤 沢	須坂商	大 峡	須坂園
50	山 崎	須坂商	2 - 0	太 田	坂 城	本 山	下高農	中 村	坂 城
51	佐 相	須坂商	2 - 1	滝 沢	飯山北	今 井	長野工	山 岸	長野工
52	原	須 坂	2 - 1	黒 岩	中 野	牧	須坂商	加 藤	長野商
53	小 橋	飯山北	2 - 0	窪 田	吉 田	深 沢	坂 城	西 沢	犀 峡
54	上 沢	須 坂	2 - 0	仲 山	飯山北	高 沢	中野実	原	須 坂
55	田 中	須 坂	2 - 0	下 田	須 坂	森 山	飯山北	河 田	中 央
56	久 保	須坂商	2 - 0	江 部	須坂商	小 林	須 坂	篠 原	吉 田
57	斉 藤	飯山北	2 - 0	宮 之 本	屋 代	塚 田	篠ノ井	佐 藤	長野工
58	宮 之 本	屋 代	2 - 0	西 沢	飯山北	石 沢	飯山南	酒 井	長野工
59	西 沢	飯山北	2 - 1	武 田	中野実	中 村	屋 代	竹 内	須 坂

男子・B

年度	1 位			2 位		3 位		3 位	
53	原	須坂	2 - 0	小林	吉田	高沢	中野実	中沢	須坂商
54	中村	屋代	2 - 1	市村	長野工	宮坂	坂城	笠井	長野商
55	服部	飯山北	2 - 0	内山	長野工	江部	須坂商	佐藤	中野
56	小林	飯山北	2 - 0	豊岡	須坂	斉藤	飯山北	小林	中野
57	桜沢	飯山北	2 - 0	上地	須坂	秋元	中野	赤木	旭
58	竹内	須坂	2 - 1	宮前	須坂	近藤	松代	大日方	長野工
59	滝沢	松代	2 - 0	鹿田	屋代	山岸	須坂	長沢	照丘

女子・団体

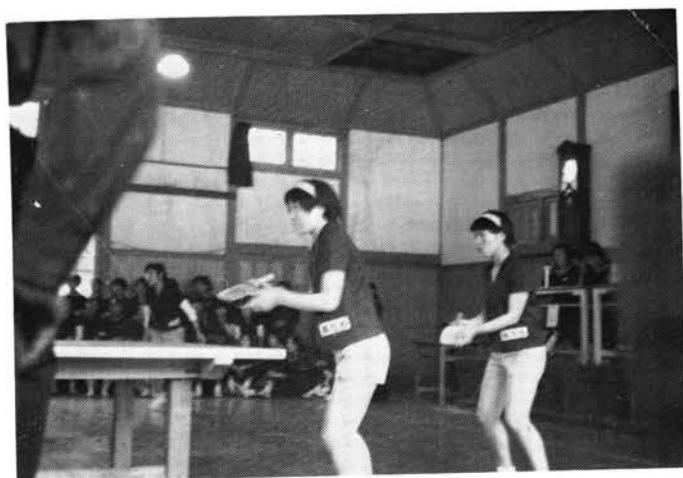
年度	1 位	スコア	2 位	3 位	3 位
34	長野西		屋代南	篠ノ井	
35	長野西				
36	長野西		中条	屋代南	
37	長野西				
38	長野西		篠ノ井	須坂東	
39	篠ノ井				
40	長野市立				
41	篠ノ井		長野商	須坂東	
42	市立第二				
43	篠ノ井				
44	須坂園		皐月	中野実	
45	中野				
46	篠ノ井旭				
47	篠ノ井旭		下高井農	長野商	長野西
48	中野実				
49	中野				
50	中野				
51	長野西		篠ノ井	須坂	飯山北
52	須坂		須坂商	中野	長野商
53	篠ノ井	4 - 1	長野西	飯山南	中野
54	犀峽	4 - 1	屋代南	須坂東	長野西
55	中野実	4 - 1	長野西	須坂東	篠ノ井
56	中野	4 - 2	篠ノ井	長野西	屋代南
57	須坂東	4 - 2	長野商	中野	長野西
58	中野	3 - 2	飯山南	長野商	須坂商
59	飯山南	3 - 0	須坂	飯山北	須坂商

女子・A

年度	1 位		スコア	2 位		3 位		3 位	
22									
23									
24									
25									
26	寺 沢	長野西	2 - 0	山 崎	長市立	塩 崎	中 野	近 藤	長野西
27									
28									
29									
30									
31									
32	早 川	屋代南	2 - 0	坂 口	屋代南	中 山	長野西	酒 井	中 条
33	村 瀬	須坂東		村 越	飯山南	宮 下	篠ノ井	飯 島	屋代南
34	池 田	長野西	2 - 1	大 日 向	長野西	鎌 林	篠ノ井	西 野	屋代南
35	小 日 向	長野西	2 - 0	小 林	中 野	白 井	屋代南	松 本	中 条
36	原 田	長野西	2 - 1	三 井	篠ノ井	平 井	屋代南	松 本	中 条
37	中 島	長野西	2 - 1	山 崎	長野西	渡 辺	中 野	田 中	長野西
38	内 田	長野西	2 - 0	内 山	長野西	池 田	篠ノ井	矢 島	須坂東
39	塚 田	篠ノ井	2 - 1	轟	篠ノ井	佐々木	犀 峡	米 沢	篠ノ井
40	米 沢	篠ノ井	2 - 1	荒 木	長市立	下 村	犀 峡	吉 沢	犀 峡
41	町 田	篠ノ井	2 - 0	渡 辺	下高農	石 川	篠ノ井	宮 原	篠ノ井
42	飯 島	篠ノ井	2 - 1	三 ツ 井	長市二	宮 下	長市二	山 本	中 野
43	小 林	更級農	2 - 0	鳥 羽	篠ノ井	樋 本	篠ノ井	峯 村	皐 月
44	黒 岩	須坂園	2 - 0	真 篠	中野実	富 井	飯山南	山 崎	須坂園
45	西 沢	篠ノ井	2 - 1	丸 山	下高農	小 林	中 野	長 谷 部	旭
46	野 崎 旭	旭	2 - 1	本 田 旭	中 野	長 野 西	矢 島	女 子	
47	野 崎 旭	旭	2 - 1	千 野 旭	佐 藤	下高農	本 田	旭	
48	山 崎	中野実	—	山 本	中 野	杉 原	旭	齊 藤	中 野
49	阪 田	須 坂	2 - 0	関	中 野	池 田	中 野	堀 内	須坂園
50	佐々木	中 野	2 - 0	宮 尾	長野西	小 見 山	長野西	橘 田	屋代南
51	宮 沢	長野西	2 - 0	竹 前	長野西	藤 沢	長野西	小 林	長野西
52	本 間	中 野	2 - 0	竹 内	中 野	町 田	長野西	金 井	屋代南
53	小 笠 原	篠ノ井	2 - 0	藤 沢	篠ノ井	窪 田	篠ノ井	高 野	篠ノ井
54	間 藤	犀 峡	2 - 1	田 中	犀 峡	前 沢	犀 峡	勝 山	須坂東
55	竹 内	犀 峡	2 - 0	吉 池	中野実	樋 口	須 坂	大 草	篠ノ井
56	小 池	屋代南	2 - 1	上 原	松 代	綿 貫	長野西	矢 島	中野実
57	山 岸	須坂東	2 - 0	遠 藤	須坂東	山 室	飯山南	小 田 切	長野西
58	池 田	中 野	2 - 0	高 山	中 野	広 瀬	飯山南	小 山	須坂商
59	小 山	須坂商	2 - 0	篠 塚	須坂商	高 沢	須 坂	小 橋	飯山南

女子・B

年度	1 位		スコア	2 位		3 位		3 位	
53	竹 内	屋代南	2 - 0	田 中	犀 峽	原	中 野	池 田	犀 峽
54	三 橋	長野西	2 - 0	樋 口	須 坂	竹 内	犀 峽	細 田	長野西
55	本 道	長野西	2 - 1	矢 嶋	中野実	平 林	犀 峽	宮 川	屋 代
56	山 崎	須坂東	2 - 0	宮 本	照 丘	春 日	皐 月	窪 田	犀 峽
57	山 崎	長野商	2 - 1	伊 藤	長野商	駒 村	須坂商	高 橋	女 子
58	小 市	照 丘	2 - 0	油 科	照 丘	小 林	犀 峽	坂 戸	犀 峽
59	竹 内	須坂東	2 - 1	鈴 木	飯山南	藤 木	照 丘	嶋 田	照 丘



昭和30年代 長野西講堂



## バレーボール

昭和24年、高等学校体育連盟が発足した。当初は球技大会としてバレーボールも大会が持たれた。大会は全種目を一日で終了し充分でない会場作り、審判、役員を先生方は兼ね大変なご苦勞であった。昭和27年頃よりチーム数も増え、二日間の大会日程が必要となったが会場がアウトコートであり、雨天を心配しながらの大会運営であった。

当時のチームは、現在のような用具は揃わず、ボールはチューブ入り縫いボールで、皮ヒモでチューブの入口をしめるというもので、チューブに穴をあけると直ぐ修理し、長く使用しているとサッカーのようなボールになってしまったが、数が10個ぐらいしかないので生徒は大切に使用した。ボールは木の柱であり、ネットはボロボロを修理し、校庭のすみのコートで炎天下泥まみれになり練習に励んだ。

昭和35年より高体連組織も充実され、各々の種目は専門部となり、バレーボール競技も用具が改良された。特にバレーボールは今までの9人制から6人制へと移行され、昭和37年度より高校生も6人制が採用され、競技場も屋外から屋内コートとなり、体育館使用が始まった。

昭和41年、北信越ブロックで全国高等学校総合体育大会が持たれ、長野市では男子バレーボール競技が開催された。このような大きな全国大会開催は北信地区としては始めてであり、北信高体連、北信高体連バレーボール専門部の先生方は、一年間程毎日準備に忙しい日々であった。会場は長野清泉女学院をメインコートとし、長野吉田、皐月高校の三体育館で行われ、大会は大成功であった。この大会を契機にして長野県のバレーボール技術は向上し、昭和43年岩手国体では長野吉田高校がベスト8に入る活躍をした。

昭和51年、全国高校総体が長野県で開催され、高校生は選手として、又補助員として大活躍をした。須坂市では男子バレーボールが実施され、北信地区高体連をはじめ、専門部、須坂地区の生徒には



昭和36年秋季男子決勝(須坂西対長野中央)

大変なご協力をお願いした。このようなレベルの高い大会を契機にし、北信地区高校生のバレーボール熱と技術は急激に進歩し、53年福島インターハイには長野西が出場した。その後県下でも男女共に上位を占めるような結果をみた。

昭和57年、全国選抜優勝大会には、男子須坂、女子須坂東両校が県代表として出場、又インターハイには長野中央高校が出場し活躍をした。

昭和58年、インターハイでは男子須坂、女子須坂東両校が活躍をした。このようにしてここ数年間は北信勢が県下高校バレー界のリーダーとなって活躍をしている。しかし、今後まだ多くの課題を専門部は持っており、尚、一層の努力をしなければなりません。

(文責 三井 晋)

## 北信高等学校春季総合体育大会

## 北信高等学校春季総合体育大会

## (男子)

年度	1 位	記 録	2 位	3 位	
26	長野商業	2-1	長野市立		
27	長野北	2-1	長野工業	飯山北	更級農業
28					
29	長野北	2-0	長野商業	飯山北	更級農業
30	長野北	2-1	飯山北	須坂西	長野商業
31	長野北	2-0	飯山北	長野工業	長野商業
32	長野	2-0	飯山北	長野工業	長野商業
33	長野	2-1	長野商業	松代	長野工業
34	長野商業	2-1	須坂西	長野	長野工業
35	長野工業	2-1	長野	長野商業	須坂西
36	長野商業	2-0	長野工業	飯山北	中野実業
37	長野中央	2-1	長野工業	長野商業	長野
38	長野	2-0	須坂西	長野中央	長野商業
39	長野商業	2-1	長野	須坂西	
40	長野商業	2-0	長野	長野中央	長野吉田
41	長野	2-0	長野商業	中条	飯山北
42	長野	2-0	長野工業	中条	長野商業
43	長野吉田	2-0	長野商業	長野工業	坂城
44	長野吉田	2-0	長野商業	篠ノ井旭	坂城
45	長野吉田		篠ノ井旭	長野商業	
46	篠ノ井旭		長野吉田	長野商業	
47	長野吉田	2-0	篠ノ井旭	長野商業	松代
48	長野吉田	2-0	松代	篠ノ井旭	須坂
49	長野吉田	2-1	篠ノ井旭	長野中央	須坂
50	篠ノ井旭	2-0	長野工業	飯山南	須坂
51	長野吉田	2-0	松代	須坂	長野中央
52	須坂	2-1	長野中央	長野吉田	飯山北
53	須坂		飯山北	長野東	中野
54	須坂		飯山北	長野中央	長野東
55	須坂		飯山北	屋代	長野吉田
56	須坂	2-1	長野中央	長野吉田	飯山北
57	長野中央	2-1	須坂	長野	長野吉田
58	須坂	2-0	長野中央	長野	長野吉田
59	長野吉田	2-0	長野中央	屋代	須坂
60	長野工業	2-0	長野吉田	中条	長野中央

## (女子)

年度	1 位	記 録	2 位	3 位	
26	長野商業	2-1	長野市立		
27					
28					
29	須坂東	2-0	篠ノ井	飯山南	坂城
30	篠ノ井	2-1	飯山南	須坂東	中条
31	飯山南	2-0	屋代南	長野西	長野商業
32	飯山南	2-0	須坂東	松代	篠ノ井
33	長野西	2-0	篠ノ井	屋代南	飯山南
34	長野西	2-0	篠ノ井	須坂東	飯山南
35	長野西	2-0	中条	中野	長野文化
36	長野西	2-1	長野文化	須坂東	屋代南
37	長野西	2-1	須坂東	長野市立	篠ノ井
38	長野西	2-1	長野文化	屋代南	中野
39	長野文化	2-0	長野市立	松代	
40	長野西	2-1	長野文化	長野市立	篠ノ井
41	長野西	2-0	長野市立	長野文化	須坂東
42	須坂東	2-0	長野市立	長野西	市立第二
43	須坂東	2-0	長野西	屋代南	篠ノ井
44	皐月	2-1	屋代南	篠ノ井	須坂東
45	屋代南		長野文化	須坂東	
46	屋代南		長野文化	篠ノ井	
47	中野	2-1	篠ノ井	須坂東	長野文化
48	中野	2-0	篠ノ井	長野西	更級農業
49	篠ノ井	2-1	中野	長野西	更級農業
50	須坂	2-0	飯山南	中野実業	
51	長野西	2-0	長野商業	須坂東	屋代南
52	長野西	2-0	屋代南	長野商業	須坂東
53	長野西		中野	須坂東	長野商業
54	長野西		中野	長野商業	長野文化
55	須坂		長野西	長野文化	中野
56	須坂東	2-0	長野文化	長野西	中野
57	須坂東	2-0	長野西	須坂	中野
58	須坂東	2-0	長野西	須坂	中条
59	須坂東	2-0	須坂	長野西	篠ノ井
60	須坂東	2-0	須坂	長野商業	篠ノ井

## 北信高等学校秋季体育大会

## 北信高等学校秋季体育大会

(男子)

年度	1 位	記 録	2 位	3 位	
26					
27	長野北	2-1	長野工業	飯山北	更級農業
28	長野北	2-1	長野商業	飯山北	屋代東
29	長野北	2-0	屋代東	飯山北	須坂商業
30	長野商業	2-0	長野工業	長野北	須坂商業
31	長野北	2-0	飯山北	長野商業	長野工業
32	長野	2-0	飯山北	長野商業	松代
33	長野商業	2-1	長野	須坂西	長野工業
34	長野	2-1	長野商業	長野工業	須坂西
35	長野工業	2-0	長野商業	松代	長野
36	須坂西	2-0	長野中央	長野工業	飯山北
37	長野中央		長野工業	長野商業	
38	長野	2-1	須坂西	長野工業	長野商業
39	長野	2-1	長野商業	中条	須坂商業
40	長野商業		長野	長野中央	長野吉田
41	長野商業				
42	犀 峽	2-0	坂 城	長野商業	須坂商業
43	長野吉田		坂 城	長野商業	須坂商業
44	篠ノ井旭	2-1	長野吉田	松代	長野商業
45	長野吉田	2-1	篠ノ井旭	長野商業	松代
46	篠ノ井旭		長野商業	長野吉田	須坂
47	長野吉田		長野工業	上水内北部	更級農業
48	篠ノ井旭				
49	長野吉田	2-0	篠ノ井旭	須坂	飯山北
50	長野吉田				
51	長野吉田	2-0	屋代	長野中央	飯山北
52	須坂	2-0	長野吉田	屋代	須坂商業
53	須坂	2-0	長野中央	飯山北	須坂商業
54	長野吉田	2-0	須坂	飯山北	長野中央
55	須坂		長野中央	長野吉田	飯山北
56	長野中央	2-0	須坂	長野吉田	長野
57	長野中央	2-1	須坂	中野	長野
58	須坂	2-0	長野工業	篠ノ井	長野吉田
59	長野中央	2-1	中条	長野工業	長野
60	長野東	2-0	屋代	須坂	長野工業

(女子)

年度	1 位	記 録	2 位	3 位	
26					
27				長野市立	長野商業
28	篠ノ井	2-0	須坂東	中野	長野商業
29	須坂東	2-0	篠ノ井	中野	飯山南
30	飯山南	2-1	篠ノ井	中条	須坂東
31	飯山南	2-0	篠ノ井	須坂東	長野商業
32	飯山南	2-0	長野西	屋代南	松代
33	長野西	2-0	飯山南	屋代南	須坂東
34	長野西	2-0	須坂東	篠ノ井	飯山南
35	長野西	2-0	中野	篠ノ井	中条
36	長野西	2-0	長野文化	長野市立	中野
37	長野西		長野清泉	飯山北	
38	長野西	2-0	中野	長野市立	須坂東
39	長野文化	2-0	長野市立	松代	長野西
40					
41					
42	須坂東	2-1	長野市立	市立第二	長野西
43	屋代南		皐月	須坂東	篠ノ井
44	皐月	2-0	屋代南	篠ノ井	須坂東
45	長野文化	2-0	篠ノ井	屋代南	須坂東
46	篠ノ井		屋代	須坂東	長野文化
47	中野		長野女子	須坂東	長野文化
48	長野文化		皐月	須坂東	長野西
49	篠ノ井	2-0	長野西	長野商業	須坂東
50					
51	屋代南	2-0	長野商業	長野西	飯山南
52	長野西	2-1	中野	屋代南	須坂東
53	長野西	2-1	中野	長野商業	長野文化
54	須坂東	2-1	長野西	長野文化	篠ノ井
55	須坂東		長野西	長野文化	須坂
56	須坂東	2-0	長野文化	長野西	中野
57	須坂東	2-0	長野西	須坂	中条
58	須坂東	2-1	須坂	長野西	篠ノ井
59	須坂東	2-0	須坂	長野商業	篠ノ井
60	須坂東	2-0	須坂	中野西	松代



## 軟 式 庭 球

昭和20年8月15日、焦土と化した日本に平和の光と希望の日がやってきた。食糧増産の一翼を担って中等学校・小学校のテニスコートは勿論のこと、準公営のコートもすべて芋畑や野菜畑となっていたがいち早く生徒等によって中等学校のコートが整備され、敗戦の20年はコート復活の年で対外試合は行われなかったようである。21年には、長野市内中等学校リーグ戦（長中・長野市中・長商・長工と時々須商が参加）が復活し、25年より長野市高校庭球連盟が発足、高体連・市・県軟協大会の充実に伴い28年発展的解消するまでの活動と存在の意義は極めて大きい。

22年に第1回県選手権兼東日本予選会が開催された他は、23年も中等学校の組織化された大会は開催されていない。24年に全国・県・北信の高体連が発足し北信高校球技大会、軟式庭球大会が屋代南高校コートで開催されたものと思う……………と宮下睦夫先生は語っている。復活期当初の悩みは、衣服・用具・コートの極度な不足であった。21年頃白色の衣服・ラケット・ボール・シューズの調達が困難で先輩から借りられた人は良い方であって、中には地下足袋姿や練習ボールは自転車のパンク修理のように修繕して用いた程であった。22年には、県より若干のボールと長ズボンの配給があり、抽せんで分け合うといった状態であった。コートの数も少なく、男子は21年より34年までは長商コートを主にして長工特設コートなどを利用し、女子は長野市立校、須坂東などが大会場となったが、参加数が多い年は2回戦まで5回ゲームとするなど便宜的処置による苦心が多かった。27年城山に市営コート3面が新設され、秋季大会（兼国体予選）は長商と市営コートで開催されるようになった。

その後35年より長商・市営・長西校コートが使用され、45年頃より清泉女学院前のバレーコートがテニス兼用となって、市営8面・長西・清泉女コートで男女が殆んど一会場に近い状態で開催されるようになった。52年秋より現在の運動公園庭球場で開催され、大会運営が容易になると共に今迄にない大会の盛りあがりが見られた。参加数は、28年春季男子の個人は69組、団体17校、29年春季男子は個人64組、女子個人47組、秋季男子は個人67組であったが、58年春季男子は個人121組、団体22校、女子は、個人157組、団体29校（個人は1校男・女各々6組以内）となり、普及発展振りがここに窺われるのである。会場の確保は年々難しくなると同時に、参加数の増加によって2日間では競技を消化できなくなっているのが現状である。また、最大の敵は降雨であり、これにはいつも泣かされる。30年頃までは大会運営や審判など全般に亘って市軟協の協力により開催されてきたが、次第に軟庭に堪能な顧問教師が多くなり、30年頃よりひとりだちして名実共に高体連主管の大会となった。高体連発足から42年まで秋季大会は国体予選を兼ねていたが、北信高体連では他地区高体連より1年早い43年国体予選と分離して、第1回北信高校新人軟庭大会として秋季大会が開催されたが、その意義は大きく、特に平栗寛二先生はその実現に大変な尽力をされた。翌43年には、第1回県高校新人軟式大会が実現し、51年には団体戦も実施されるに至って高体連は大きく飛躍したのである。20年代の揺籃期、30年代コート増加の普及期から40年代の新人大会誕生による高体連の独自性の発揚期、そして50年代は充実飛躍たらしめることが今日的課題である。

（文責 小林喜運治）

北信高等学校春季総合体育大会

男子・団体

年度	1 位	記 録	2 位	3 位	3 位
24					
25					
26					
27					
28	松 代		須 坂 西	長 野 商	須 坂 商
29	長 野 商		須 坂 西	長 野 工	松 代
30	長 野 商	2 - 1	須 坂 西	長 野 北	松 代
31	飯 山 北	2 - 1	長 野 工	須 坂 西	長 野 商
32	長 野 商	3 - 0	飯 山 北	中 条	須 坂 西
33	長 野 商	3 - 0	長 野	須 坂 西	長 野 工
34					
35	長 野	2 - 0	長 野 商	須 坂 西	屋 代 東
36	長 野 商	2 - 1	長 野	長 野 工	須 坂 西
37	長 野 商		松 代	須 坂 西	犀 峽
38	長 野 工	2 - 1	長 野	長 野 商	須 坂 西
39	長 野 商	2 - 0	長 野	長 野 工	中 野 実
40	長 野 商	2 - 1	長 野	須 坂	長 野 中央
41	長 野 商	2 - 1	須 坂	長 野 工	長 野
42	長 野 商		須 坂	須 坂 園	長 野 中央
43	須 坂		長 野 中央	長 野 商	犀 峽
44	長 野 中央		長 野	長 野 工	長 野 商
45	長 野 中央		屋 代	長 野 吉田	須 坂
46	長 野 吉田	2 - 1	飯 山 北	長 野 商	須 坂
47	長 野 中央	2 - 0	長 野 商	須 坂	長 野
48	坂 城	2 - 0	長 野	長 野 中央	長 野 商
49	長 野 商	2 - 1	松 代	長 野 中央	長 野
50	須 坂	2 - 0	屋 代	長 野 中央	長 野 商
51	須 坂	2 - 0	長 野 中央	長 野 商	屋 代
52	長 野 東	2 - 1	須 坂	長 野	長 野 中央
53	長 野 吉田	2 - 0	長 野 工	長 野 商	上水内北部
54	長 野 商	2 - 0	須 坂	長 野	長 野 東
55	長 野 商	2 - 1	須 坂	長 野	上水内北部
56	長 野 吉田	2 - 0	須 坂 東	長 野 商	須 坂
57	長 野 吉田	2 - 1	長 野	須 坂	長 野 東
58	長 野	2 - 1	長 野 吉田	上水内北部	須 坂
59	須 坂	2 - 0	長 野 商	長 野	屋 代
60	須 坂	2 - 0	長 野 商	長 野 東	長 野

北信高等学校春季総合体育大会

男子・個人

年度	1 位		記 録	2 位		3 位		3 位	
24	東山・坂口	長野工		大塚・中沢	長野工				
25	雨天で中止								
26									
27	増田・伝田	長野商	4-3	宮坂・岡川	屋代東				
28	太田・中村	松 代		下 ・坂本	長野商				
29	山崎・久保田	長野商	4-1						
30	塚田・原山	長野商		金井・中沢	長野商	磯谷・和田	長野商	遠藤・江村	須 坂
31	倉石・岡田	長野商	4-2	鷲沢・宇野	長野工	真篠・両角	飯山北	松本・久保田	中 条
32	新井・山口	長 野	4-0	佐藤・中原	飯山北	山岸・中田	須坂西	堀内・高橋	長野商
33	山崎・武田	長野商	4-3	轟 ・若林	長 野				
34	轟 ・平栗	長 野	4-3	山崎・北村	長野商	阿部・熊谷	屋代東	宮崎・松沢	長 野
35	杉原・金子	長 野	4-1	我妻・清水	飯山北	内山・西沢	犀 峡	小林・津金	松 代
36	笠原・園原	長野商	4-3	沢田・北川	長野商	玉野井・横山	長野工	安部・小林	長野商
37	伝田・坂井	長 野	4-2	佐藤・山本	長 野	鳥居・酒田	長野商	相原・高山	松 代
38	石川・渡辺	長 野	4-0	鳥居・坂田	長野商	山本・立岩	長野工	海野・木谷	屋 代
39	坂口・関谷	長 野	4-1	返町・大庭	長 野	伊藤・丸山	須坂西	渡辺・宮崎	長 野
40	竹中・村松	長野商	4-2	原 ・小林	長 野	中俣・阿部	長野商	和田・金井	屋 代
41									
42	池田・早川	長野商	4-0	滝沢・平坂	長野商	清水・両角	須 坂	近藤・山崎	犀 峡
43	古田・内田	長野商	4-3	今井・滝沢	吉 田	藤森・田尻	須 坂	井上・若林	中 央
44	田野口・笠原	長野商	4-0	宮沢・岩田	中 央	今井・常田	長 野	小林・三井	須 坂
45	小川・神津	須 坂		竹村・峯村	長野商				
46	鎌田・柳沢	長野工	4-3	宮沢・上条	中 条	越 ・松崎	長野工	吉沢・高野	犀 峡
47	加加井・池田	長野商	4-2	斉藤・新井	中 央	島田・中条	更級農	松沢・松山	須 坂
48	池田・松橋	長 野	4-3	中条・山崎	坂 城	清水・神尾	屋 代	宮沢・山崎	長野商
49	中村紀・中村	長野工	4-2	中村・清水	中 央	松本・小山	長野商	松島・倉島	松 代
50	竹内・中牧	長野商	4-3	中沢・今井	長野商	塩入・竹内	屋 代	保科・越	屋 代
51	上村・林	長 野	4-0	関 ・太田	坂 城	新井・小宮山	中 央	中沢・今井	長野商
52	跡部・北村	中 央	4-3	橋本・宮沢	屋 代	小池・花井	須 坂	坂田・武田	須 坂
53	小池・花井	須 坂	4-0	矢野・轟	吉 田	永井・依田	長野工	久保田・松島	吉 田
54	菅原・野本	長野商	4-2	伝田・轟	吉 田	黒岩・境	須 坂	池田・飯島	長野商
55	正田・田村	長野商	4-1	渋谷・丸田	長野商	和田・山口	吉 田	黒岩・町田	須 坂
56	田中・丸田	長野商	4-1	原 ・駒村	須坂東	大内・増田	吉 田	中島・鈴木	須 坂
57	広田・宮嶋	吉 田	4-3	田中・松木	長野商	戸井・大谷	長 野	上原・浜埜	長 野
58	竹内・佐藤	須 坂	4-3	高橋・宮沢	北 部	柄沢・宮島	吉 田	上原・浜埜	長 野
59	黒岩・中嶋	須 坂	4-1	若林・片桐	須 坂	竹内・佐藤	須 坂	滝沢・小河原	長 野
60	黒岩・中嶋	須 坂	4-1	大矢・佐藤	須 坂	大峽・立岩	須 坂	羽田・尾形	吉 田

北信高等学校春季総合体育大会

女子・団体

年度	1 位	記 録	2 位	3 位	3 位
24					
25					
26					
27					
28					
29	篠ノ井		屋代南	長野西	松代
30	松代	2 - 1	中野	須坂東	屋代南
31	長野西	3 - 0	屋代南	飯山南	篠ノ井
32	長野西	3 - 0	屋代南	飯山南	松代
33	須坂東	2 - 1	長野西	犀峽	長野市立
34	長野西				
35	長野西	2 - 0	松代	中野	屋代南
36	長野西	2 - 0	篠ノ井	松代	屋代東
37	長野西		篠ノ井	松代	屋代南
38	長野西	2 - 1	篠ノ井	長野商	松代
39	長野西	2 - 1	長野商	篠ノ井	須坂園
40	長野西	3 - 0	長野商	篠ノ井	屋代南
41				長野西	長野商
42	長野西	リーグ戦	須坂東	長野市立	長野商
43	篠ノ井	リーグ戦	長野西	須坂東	須坂商
44	篠ノ井		長野西	須坂東	屋代南
45	皐月		飯山南	清泉	長野西
46	長野西	2 - 0	犀峽	長野商	屋代南
47	長野商	2 - 0	中野	犀峽	長野西
48	屋代南	2 - 1	長野商	篠ノ井	長野西
49	篠ノ井	2 - 0	長野西	松代	屋代南
50	篠ノ井	2 - 0	長野商	須坂東	長野西
51	長野商	2 - 1	長野西	須坂東	松代
52	篠ノ井	2 - 0	須坂	長野西	長野商
53	篠ノ井	2 - 1	長野商	長野西	更級農
54	篠ノ井	2 - 1	長野商	屋代	須坂
55	長野商	2 - 0	篠ノ井	屋代	屋代南
56	篠ノ井	2 - 1	長野商	須坂東	屋代
57	長野	2 - 0	須坂	篠ノ井	長野商
58	長野西	2 - 1	須坂	皐月	長野商
59	長野西	2 - 0	須坂	長野商	皐月
60	長野西	2 - 1	長野商	須坂東	須坂

北信高等学校春季総合体育大会

女子・個人

年度	1 位		記 録	2 位		3 位		3 位	
24									
25									
26	池田・五明	篠ノ井	4-0	吉池・吉原	松代				
27									
28									
29									
30	山下 西村	松代		田中・高松	屋代南	東山・米山	長野西	高橋・土屋	篠ノ井
31	笠井・落合	長野西	4-3	小山・北島	松代	川上・滝沢	屋代南	桜井・笠原	長野西
32	大塚・木下	長野西	4-2	長田・花岡	長野西	金井・平林	屋代南	大沢・松本	長野西
33	大沢・松本	長野西	4-2	宮入・茂原	長野西	松沢・高沢	須坂東	土屋・笠井	篠ノ井
34									
35	関川 滝沢	長野西	4-2	山口・荒井	長野西	村松・渡辺	松代	高橋・横田	屋代南
36	北山・児島	長野西	4-3	高橋・横田	屋代南	宮下・吉田	長野西	手塚・西沢	篠ノ井
37	橋本・湯本	長野西		倉田・酒井	松代				
38	中沢・河野	長野西	4-2	小林愛・小山	長野西	小林和・横山	長野西	吉田・大庭	篠ノ井
39	石井・高橋	長野商	4-3	山岸・轟	長野西	斉藤・宮沢	長野西	宮下・尾身	長野西
40	宮下・尾身	長野西	4-2	御所窪・玉野井	長野商	藤本・市川	須坂園	竹本・岡本	長野商
41									
42	栗田・王	長野西	4-2	小野・永岡	篠ノ井	高野・山口	長野西	原・高橋	長野商
43	小宮山・竹内	屋代南	4-1	大久保・藤原	篠ノ井	宮下・矢島	篠ノ井	安部・柄沢	長野商
44	小林・石井	長野西	4-1	山際・中村	長野商	花岡・倉石	清 泉	酒井・根津	長野商
45	室賀・小林	長野西		町田・竹内	皐 月				
46	竹節・小林	中 野	4-0	前原・本田	須坂東	橋沢・田中	屋代南	寺元・峯村	須坂東
47	伊藤・山崎	屋代南	4-3	西沢・加藤	長野商	渡辺・伊東	屋代南	西村・夏目	長野西
48	西沢・加藤	長野商	4-3	小平・高橋	屋代南	今井・塩入	長野商	小森・水越	松代
49	吉里・中村	篠ノ井	4-1	岡沢・田中	篠ノ井	伊東・青木	長野西	大沢・大倉	篠ノ井
50	滝沢・伊熊	長野商	4-3	大久保・大蔵	篠ノ井	近藤・竹内	篠ノ井	佐藤・宮川	長 野
51	太田・青木	長野西	4-2	山下・野沢	松代	中村・竹内	篠ノ井	滝沢・伊熊	長野商
52	坂井・宮坂	篠ノ井	4-2	中村・竹内	篠ノ井	寺沢・清水	長野商	高井・中村	篠ノ井
53	竹内・小松	篠ノ井	4-1	渡島・池田	篠ノ井	宮坂・寺沢	屋代	袴津・塚田	篠ノ井
54	竹内・矢島	篠ノ井	4-1	寺沢・清水	長野商	高波・関野	須坂	中村・五明	篠ノ井
55	関・小出	長野商	4-1	菱田・柴田	屋代	小林・中村	須坂東	前山・酒井	長野西
56	高橋・島田	長野商	4-0	菱田・丸山	屋代	宮坂・竹内	屋代南	村松・中村	篠ノ井
57	内藤・朝倉	長野商	4-0	柳沢・小林	須坂	宮坂・竹内	屋代南	小田切・五明	篠ノ井
58	塩入・松本	長野商	4-2	堀内・内山	長野西	小松・中村	屋代	石橋・依田	女 子
59	太田・青沼	長野西	4-2	丸山・長田	長野西	大内・笹沢	長野西	堀内・斉藤	須坂
60	丸山・青沼	長野西	4-1	柳沢・渡辺	長野商	堀内・大倉	須坂	竹内・稲葉	須坂東

北信高等学校秋季体育大会

男子・団体

年度	1 位	記 録	2 位	3 位	3 位
51	長野 東	2 - 1	長野 工	須 坂	長野
52	長野	2 - 1	須 坂	長野 東	長野 工
53	長野 吉田	2 - 1	長野 商	長野 中央	須 坂
54	須 坂	2 - 1	長野 商	長野 吉田	長野 東
55	長野 商	2 - 0	須 坂	長野 吉田	長野
56	須 坂	2 - 1	長野	長野 商	長野 吉田
57	須 坂	2 - 0	長野 吉田	長野 商	長野
58	須 坂	2 - 1	長野 商	長野	長野 工
59	須 坂	2 - 0	長野 吉田	長野 東	長野 商
60	須 坂	2 - 0	長野	長野 吉田	長野 商

北信高等学校秋季体育大会

女子・団体

年度	1 位	記 録	2 位	3 位	3 位
51	篠ノ井	2 - 0	長野 西	長野 商	須 坂
52	長野 西	2 - 1	須 坂 東	長野 商	屋代 南
53	篠ノ井	2 - 1	屋代 南	長野 商	屋代
54	屋代	2 - 1	長野 商	篠ノ井	屋代 南
55	篠ノ井	2 - 0	須 坂 東	長野 女子	長野 商
56	長野 商	2 - 1	屋代	篠ノ井	屋代 南
57	長野 西	2 - 0	須 坂 東	須 坂	屋代 南
58	長野 西	2 - 1	須 坂 東	長野 商	須 坂
59	長野 西	2 - 1	長野 商	須 坂	須 坂 東
60	長野 西	2 - 0	須 坂	篠ノ井	長野 商



昭和五十八年

北信高等学校秋季体育大会

男子・個人

年度	1 位		記 録	2 位		3 位		3 位	
24	東山・坂口	長野工							
25	大塚・中沢	長野工		山下・竹村	長野北	佐藤・北沢	屋代東		
26	柳原・竹内	屋代東		松岡・高野	長野北	小松・杉本	松 代	小林・土屋	飯山北
27	増田・伝田	長野商	4-3	宮坂・岡川	屋代東	栗田・上野	飯山北	飯島・駒村	松 代
28									
29	山崎・久保田	長野商	4-1	上松・鷺野	飯山北	金井・中沢	長野商	生駒・杵淵	須坂西
30	塚田・原山	長野商	4-0	金井・中沢	長野商	藤本・久保	長野商	藤井・宮沢	長野工
31	小山・北島	松 代	4-3	小池・小林	飯山北	小山・大久保	篠ノ井	大塚・木下	長 野
32	小林・武田	長野商	4-1	手塚・内山	長野商	井川・小林	飯山北	堀内・高橋	長野商
33									
34	横谷・北村	長野商	4-3	轟 ・平栗	長 野	宮崎・松沢	長野商	山岸・佐藤	須坂西
35	内山・西沢	犀 峡	4-0	丸野・久保	屋代東	小林・津金	松 代	山岸・小林	須坂西
36	沢田・北川	長野商	4-3	笠原・園原	長野商	疋田・関沢	長野商	小林・児林	中 条
37									
38									
39	竹中・村松	長野商	4-2	和田・金井	屋 代	島村・山田	長野商	宮崎・山田	須坂西
40	島村・山田	長野商	4-3	竹中・村松	長野商	村松・丸山	長 野	仲俣・阿部	長野商
41	長野・中村	須 坂	4-0	松沢・西村	長 野	宮下・仲沢	坂 城	浦沢・田中	長野商
42	池田・早川	長野商	4-1	小岩・玉木	吉 田	長田・竹内	長野商	近藤・山崎	犀 峡
43	今井・滝沢	吉 田		吉田・内田	長野商	井上・若林	中 央	玉井・宮崎	長野工
44	鈴木・清水	飯山北	4-2	金井・青沼	長野工	佐相・吉田	中 央	有賀・塚田	長野商
45	竹村・峯村	長野商		丸山・山口	須坂商				
46	中村・村山	吉 田	4-1	上野・新井	中 央	鎌田・松沢	長野工	市川・寺島	松 代
47	斉藤・新井	中 央	4-3	加賀井・池田	長野商	小林・西沢	長野商	宮沢・山崎	長野商
48	中村・清水	中 央	4-3	唐沢・佐藤	中 央	東沢・山崎	長野工	岡田・小林	松 代
49	竹内・中牧	長野商	4-3	九島・栗原	坂 城	塚田・小林	長野商	中条・若林	坂 城
50	中沢・今井	長野商	4-2	竹内・中牧	長野商	斉藤・本藤	中 央	原 ・上野	長野東
51									
52									
53	菅平・野本	長野商	4-0	伝田・ 轟	吉 田	池田・渋沢	長野商	山田・飯島	長野商
54	黒岩・町田	須 坂	4-2	正田・田村	長野商	和田・山口	吉 田	中原・千葉	長 野
55	山浦・若槻	北 部	4-1	中島・鈴木	須 坂	村松・小林	長 野	竹村・山口	吉 田
56	小山・柴草	須 坂	4-3	田中・松木	長野商	広田・宮嶋	吉 田	戸井・大草	長 野
57	上原・浜埜	長 野	4-2	斉藤・山田	長 野	関口・ 堀	長 野	玉川・藤村	長野東
58	黒岩・中嶋	須 坂	4-1	若林・片桐	須 坂	八田・油田	長野東	深沢・田中	長 野
59	黒岩・中嶋	須 坂	4-3	根岸・高橋	長野商	日野・青木	長野東	大矢・佐藤	須 坂
60	羽田・堀内	吉 田	4-3	大峽・佐藤	須 坂	富沢・山本	長野工	柄沢・秋山	長野商

北信高等学校秋季体育大会

女子・個人

年度	1 位		記 録	2 位		3 位		3 位	
24									
25									
26	岩崎・海野	長野西		町田・橋詰	屋代南	唐木田・朝日	屋代南	丸山・青木	須坂東
27	岩崎・海野	長野西		柄木田・吉原	屋代南	町田・水沢	松代	森・白井	飯山南
28									
29									
30	田中・高松	屋代南	4-0	山下・西林	松代	東山・米山	長野西	高橋・土屋	篠ノ井
31									
32	大塚・木下	長野西	4-3	金井・平川	屋代南	大沢・松本	長野西	長田・花岡	長野西
33									
34	山口・滝沢	長野西	4-2	関川・高森	長野西	湯本・荒井	長野西	古岩井・仁科	長野西
35	関川・滝沢	長野西	4-1	湯本・仁科	長野西	山口・尾沢	長野西	高橋・横田	屋代南
36	北山・児島	長野西	4-3	宮下・吉田	長野西	峰村・宮沢	長野西	高橋・横田	屋代南
37	小木・小木	長野商		内田・長井	長野工				
38									
39	和田・三沢	長野西	4-1	山崎・村松	篠ノ井	横幕・飯島	篠ノ井	竹本・岡本	長野商
40	玉野井・御所窪	長野商		伊藤・白川	長野西	宮下・尾身	長野西	柄沢・小枯	長野商
41	大日方・阿部	篠ノ井	4-1	湯本・小田	長野西	伊藤・白川	長野西	三井・市川	屋代南
42	小野・永岡	篠ノ井	4-0	高野・山口	長野西	中村・岡本	屋代南	原・高橋	長野商
43	宮下・矢島	篠ノ井		安部・柄沢	長野商	柄沢・小山	篠ノ井	大久保・佐藤	篠ノ井
44	山際・中村	長野商	4-2	中村・佐藤	篠ノ井	花岡・倉石	清 泉	荒井・丸山	篠ノ井
45	小野・古沢	篠ノ井		内藤・坂東	飯山北				
46	塚田・赤沼	篠ノ井	4-2	田口・宮坂	篠ノ井	橋辺・田中	屋代南	小林・田村	女 子
47	小平・高橋	屋代南	4-2	西沢・加藤	長野商	内野・橋詰	長野商	保谷・中沢	長野商
48	小山・高橋	屋代南	4-3	西沢・加藤	長野商	宮島・池田	長野商	西村・山浦	長野西
49	吉里・中村	篠ノ井	4-2	岡沢・田中	篠ノ井	松尾・倉田	篠ノ井	佐藤・村山	長野商
50	滝沢・伊熊	長野商	4-0	山下・野沢	松代	太田・青木	長野西	近藤・竹内	篠ノ井
51									
52									
53	高波・関野	須坂	4-3	寺沢・清水	長野商	小林・竹内	更級農	中村・五明	篠ノ井
54	関・小出	長野商	4-2	西沢・滝沢	屋代南	村松・矢島	篠ノ井	沢辺・丸山	屋代
55	若林・西宮	清 泉	4-0	内藤・朝倉	長野商	伊藤・佐藤	須坂東	鈴木・鈴木	須坂東
56	宮坂・竹内	屋代南	4-2	内藤・朝倉	長野商	宮崎・山口	篠ノ井	小田切・五明	篠ノ井
57	長崎・高見沢	長 野	4-3	小松・中村	屋代	堀内・内山	長野西	竹内・依田	須坂
58	丸山・笹沢	長野西	4-3	太田・五十嵐	長野西	山崎・小宮山	屋代南	神林・柳沢	須坂東
59	竹内・稲葉	須坂東	4-3	丸山・佐々木	長野西	武田・長田	長野西	羽生・青沼	長野西
60	武田・山田	長野西	4-3	羽生・青木	長野西	雪入・茂手木	須坂	黒岩・金子	須坂



## 剣道

剣道は、大太平洋戦争後、軍国主義に利用されたとして教育界はもとより一般の人々の間からも追放されていた。しかし、その後も剣道愛好者たちは熱心にその再興を願いつつ稽古を重ねていたのである。長野県においても例外ではなく、終戦後、直ちに千葉、木村（飯山北）、山ノ内（長野市）、西沢（中野）の各先生方を中心にして愛好家が集まり、着々と再興の機を窺っており、全日本剣道連盟の発足（昭和27年）と時を同じくして長野県剣道連盟も活動を開始したのである。

さて、北信高体連の剣道部はどうであったか 記録をみると、昭和32年に千葉九吾、木村良光（飯山北）、上野貞親（北部）、中野進（中実）らの先生を中心に発足したと記されている。その頃、未だ軍国主義に繋がるとの考えからクラブとして活動する学校は少なかったが、剣道を受する教師と生徒たちによって地道な稽古への努力が続けられた。

このように、今日ある剣道もひたすら剣道を受し続けてきた人々に支えられて発展してきたと言っても過言ではない。ふり返れば、北信高体連の剣道部は、30年代は飯山北高を中心として在ったと言ってもよい。「飯山に千葉道場あり。」と各地の選手から恐れられていたものである。40年代に入ると剣道部を作る学校が徐々に増えてきた。現在、北信32校中剣道部のないのは2校だけとなり、飛躍的な発展を遂げている。なかでも、剣道の歴史上一番変わったのが女性剣士の出現であろう。剣道は男だけのものと思っていたが、35、36年頃より道場に女性の姿が見られるようになり、38年にはもう全国大会で女子の部（個人戦）が発足するに至ったのである。本県でも第1回こそ出場しなかったものの、翌年（静岡インターハイ）には飯山北の小林由美子を送りこみ、「見事、準決勝まで勝ち進む快進撃をみせた。」と、当時の顧問であった木村良光先生は懐古するのである。



昭和37年に高校、38年には中学校にと相ついで体育の授業に取り入れられることによって剣道は一層の発展をみることとなった。身体の花康はもとより心を鍛えるという意味において大いに評価を受けたのである。そして小、中学校におけるクラブ活動の増加。スポーツ少年団、育成会など地域における取り組み、と剣道発展の要因は数多い。

しかし、底辺は拡大したものの果して今日、本県高校生の全国大会での活躍はどうであろうか。私見を述べさせてもらえば、まだまだ頑張らなくてはと思われる。特に男子において「勝つ剣道」から見ると厳しい状態である。その点女子は男子に比べるるとやや上回っているかなと思わせる点がいくつかある。なぜなら北信越大会、全国大会を見ても女子は立派な成績を挙げている。たとえば、北信越大会団体優勝（52年蓼科高、53年長野商）個人優勝（45、47、50、52年）し、全国大会でもベスト8まで勝ち上ったチームがある。

このように、常に全国で活躍するには、指導者の不足、小・中・高の一貫した指導体制、そして剣道を志す本人の意気込み等々、まだまだ問題点は多いが今日、現在指導に当たっているわれわれが、心機一転発奮し頑張らなくてはと思っている。

（文責 依田和武）

北信高等学校春季総合体育大会

男子・団体

年度	1 位	2 位	3 位	位
32	飯山北	長野商業	中野実業	長野
33	長野工業	飯山北	中野実業	
34	飯山北	長野商業	長野工業	
35	飯山北	中野商業	長野工A	長野工B
36	飯山北	長野工業	長野商業	
37	飯山北B	飯山北A	長野商業	
38	飯山北A	飯山北B	長野工業	中野実業
39	飯山北	長野商業	長野工業	
40	飯山北	長野工業	長野商業	
41	長野商業	飯山北	長野工業	長野
42	飯山北A	長野商A	北部	長野工業
43	飯山北A	長野A	中野実A	
44	長野工業	松代	長野商業	北部
45	須坂園芸	飯山北	松代	長野工業
46	長野工業	長野中央	松代	埴生
47	飯山北	須坂	松代	長野工業
48	松代	飯山北	長野工業	
49	松代	飯山北	長野工業	北部
50	飯山北	坂城	松代	屋代
51	須坂	飯山北	屋代	
52	須坂	飯山北	長野商業	松代
53	須坂	松代	坂城	屋代
54	須坂	長野	中野実業	坂城
55	長野工業	長野中央	長野商業	長野吉田
56	屋代	長野工業	長野吉田	坂城
57	長野吉田	坂城	須坂	長野中央
58	長野	長野中央	長野工業	長野商業
59	長野吉田	須坂	長野工業	長野商業
60	長野南	須坂	長野中央	

男子・個人

年度	1 位	2 位	3 位	位
32	徳竹(飯北)	石黒(長野)	渡辺(長商)	
33	村松(飯北)	島田(長工)	山田(飯北)	
34	前沢(長工)	岩崎(飯北)	村松(飯北)	阿部(飯北)
35	丸山(飯北)	北村(長工)	山田(長工)	杉原(長工)
36	島田(飯北)	鷺沢(飯北)	倉沢(長工)	
37	芋川(飯北)	荒井(長商)	田中(長野)	
38	江本(飯北)	永井(飯北)	佐藤(長工)	久保田(飯北)
39	村松(屋代)	河野(飯北)	松下(長商)	
40	宮沢(中実)	栗林(屋代)		
41	高橋(中実)	村松(長工)	轟(長商)	児玉(飯北)
42	拜野(長商)	中村(長工)	山田(飯北)	安藤(松代)
43	石坂(北部)	宮沢(長工)	丸山(飯北)	近藤(屋代)
44	大熊(飯北)	滝沢(長工)	西沢(長工)	坂井(飯北)
45	鈴木(松代)	小林(北部)	原山(松代)	浦山(下農)
46	白川(飯北)	竹内(長工)	久保(長工)	
47	田中(屋代)	市場(長商)	佐藤(坂城)	寺島(北部)
48	岩佐(坂城)	稲田(北部)	星沢(松代)	丸山(長工)
49	岩佐(坂城)	近藤(飯北)	倉田(須坂)	高橋(須坂)
50	白石(飯北)	倉石(中央)	谷口(松代)	小山(飯北)
51	塩入(長工)	中村(松代)	草川(長東)	宮島(坂城)
52	堀(松代)	坪根(飯北)	南沢(吉田)	山岸(屋代)
53	草川(長東)	堀(松代)	宮坂(屋代)	清水(長商)
54	岩崎(長工)	中島(長北)	小出(坂城)	丸山(中実)
55	本多(中央)	佐藤(中代)	大井(坂城)	青柳(長工)
56	中沢(須坂)	青木(長野)	酒井(坂城)	太田(長商)
57	岡村(飯北)	小林(須坂)	木村(中央)	飯森(坂城)
58	小林(中央)	徳竹(中実)	上原(須坂)	荒城(屋代)
59	慶本(須坂)	山岸(須坂)	田本(長南)	笠原(中央)
60	田本(長南)	富坂(長野)	神林(長野)	脇坂(長商)

女子・団体

年度	1 位	2 位	3 位	
43	飯山北	松代	飯山南	
44	松代	飯山南		
45	松代	飯山南	飯山北	
46	飯山南	下高農林		
47	飯山南	北部		
48	北部	飯山南		
49	飯山南	飯山北	中野実業	
50	飯山北	飯山南	中野北部	
51	飯山北	飯山南	松代	
52	飯山南	長野商業	須坂	松代
53	長野商業	須坂	坂城	飯山北
54	長野吉田	長野商業	飯山北	松代
55	長野商業	長野吉田	飯山北	須坂
56	屋代南	長野	長野吉田	長野西
57	須坂	坂城	屋代南	飯山北
58	屋代南	長野	坂城	須坂
59	坂城	長野	須坂	屋代
60	坂城	屋代南	長野商業	

女子・個人

年度	1 位	2 位	3 位	
43	山岸(飯北)	市川(飯北)	小出(飯北)	片桐(飯北)
44	山口(松代)	市川(飯北)	斉藤(飯南)	丸山(松代)
45	芳川(飯北)	丸山(松代)	斉藤(松代)	松村(飯南)
46	芳川(飯北)	徳武(松代)	鈴木(松代)	
47	保坂(飯南)	駒村(北部)	杉原(女子)	八重田(飯南)
48	大川(北部)	小林(北部)	鳥居(松代)	桑原(飯北)
49	大川(北部)	小林(長商)	坂口(松代)	徳永(長商)
50	秋山(飯北)	山崎(飯北)	塩野(飯北)	滝沢(飯北)
51	高橋(飯北)	滝沢(飯北)	小林(飯南)	駒村(松代)
52	池田(須坂)	駒村(松代)	北村(坂城)	山田(飯南)
53	丸山(中央)	塩川(須坂)	田沢(長商)	北村(坂城)
54	杉原(長商)	袴津(飯北)	宮入(松代)	北村(坂城)
55	春日(長西)	小林(長野)	中島(坂城)	正治(飯北)
56	小松(長商)	宮入(松代)	小林(長商)	矢沢(清泉)
57	母袋(坂城)	平沢(須坂)	湯本(飯北)	高沢(須坂)
58	石坂(中央)	海野(長野)	湯本(飯北)	宮下(屋代)
59	宮下(坂城)	金井(坂城)	田中(長商)	石坂(中央)
60	小池(長野)	徳武(長商)	小沢(篠井)	保科(坂城)

北信高等学校秋季体育大会

男子・団体

年度	1 位	2 位	3 位	位
32	飯山北	長野商業	中野実業	
33	長野工業	飯山北		
34	飯山北A	長野商業	飯山北B	長野工A
35	飯山北	長野工業	長野商業	長野
36				
37				
38	飯山北A	飯山北B	屋代	
39				
40	飯山北	長野工A		
41				
42	飯山北A	長野商B	長野工A	中野実A
43	飯山北	長野工業	中野実業	長野
44	長野工業	飯山北	須坂園芸	北部
45	須坂園芸	飯山北	松代	
46	松代	飯山北	屋代	坂城
47	飯山北	北部	松代	飯山照丘
48	松代	飯山北	坂城	殖生
49	松代	坂城	北部	
50	屋代	飯山北	長野中央	長野
51	長野商業	屋代	長野吉田	
52	屋代	坂城	松代	長野工業
53	長野中央	松代	長野工業	北部
54	長野商業	長野	坂城	篠ノ井
55	長野吉田	坂城	屋代	長野工業
56	長野中央	長野吉田	坂城	中野実業
57	長野	長野中央	長野吉田	須坂
58	長野吉田	屋代	長野商業	長野中央
59	長野中央	長野工業	中野実業	須坂
60	長野南	長野中央	中野実業	長野工業

男子・個人

年度	1 位	2 位	3 位	位
32	小林(飯北)	井上(長商)	高橋(飯北)	栗林
33	島田(長工)	村松(飯北)	三井(長工)	栗林(長工)
34				
35	月岡(飯北)	佐藤(長工)	島田(飯北)	大川(北部)
36				
37				
38				
39				
40				
41				
42				
43				
44				
45				
46				
47				
48				
49				
50				
51				
52				
53				
54	高山(中央)	本多(中央)	太田(長商)	保科(須坂)
55	青柳(長工)	青木(長野)	樋口(長工)	宮入(坂城)
56				
57	中平(長野)	大草(長野)	荒屋(屋代)	三沢(長工)
58	酒井(吉田)	塩崎(吉田)	大日方(長工)	田本(長南)
59	小川(吉田)	田本(長南)	高橋(中央)	脇坂(長商)
60	北沢(長南)	金井(吉田)	小林(須坂)	高橋(長野)

女子・団体

年度	1 位	2 位	3 位	
43				
44				
45	飯山南	松代	下高農林	
46	飯山南	松代 A	北部	松代 B
47	北部	飯山南	松代	飯山照丘
48				
49	飯山北	長野商業	長野西	
50	飯山北	松代	飯山南	
51	須坂	飯山北	松代	
52	須坂	飯山北	坂城	長野商業
53	飯山北	坂城	長野商業	飯山南
54	長野商業	長野	飯山北	須坂
55	長野西	屋代南	飯山北	長野
56	坂城	飯山北	中野実業	長野
57	坂城	須坂	長野西	屋代南
58	坂城	長野商業	屋代南	長野
59	須坂	長野商業	坂城	長野
60	長野	篠ノ井	屋代南	坂城

女子・個人

年度	1 位	2 位	3 位	
43				
44				
45				
46				
47				
48	寺島(北部)	小板橋(北部)	高橋(飯南)	桑原(飯北)
49				
50				
51				
52				
53				
54	杉原(長商)	長田(吉田)	藤沢(文化)	小林(長商)
55	小林(長商)	小松(長商)	矢沢(清泉)	徳永(清泉)
56				
57	湯本(飯北)	石坂(中央)	田中(屋代)	金井(坂城)
58	金井(坂城)	宮崎(長商)	宮下(屋代)	石坂(中央)
59	宮入(坂城)	小野(坂城)	宮崎(長商)	田中(長商)
60	浅野(長南)	滝沢(中実)	町田(長南)	市川(須坂)



## サ ッ カ ー

サッカーの県大会は、専門部ができる昭和42年までオープン参加であった。しかし、昭和39年の東京オリンピックや昭和38年の高校総体がテレビ放映されたこともあり、県内の高校のクラブ活動でサッカーが盛んになり、従前通りオープン参加で大会を開催することが困難となった。

しかし、北信高体連には、それまで専門部がなかったため、理事長の宮崎荘造先生に相談し、理事会及び評議員会へサッカー部設立についての理由書を提出、その理由が認められ、昭和42年4月に専門部が発足し現在にいたっている。

発足当時のチーム数は5チーム（須坂、長野、埴生、中野実業、飯山北）、専門委員は一人であった。大会の組合せ抽選等は、事務局の先生方に協力していただいたことを覚えている。また、審判員も私と当時中野実業の上田道男先生、長野高校の監督水崎亮氏（長野市役所）の3名で、ラインズマンは各学校の部員の協力を得て実施した。

その後、毎年チーム数が増加し、昭和42年秋には長野工業。昭和44年には松代、長野吉田。昭和45年には須坂園芸、長野工専。昭和46年には長野中央。昭和48年には坂城、更級農業、屋代。この年に工専大会ができたので長野工専参加せず。昭和50年には中野、篠ノ井、中条、長野東。この年より埴生参加せず。昭和52年には須坂東、上水内北部、飯山南。昭和54年には屋代南。昭和56年には飯山照丘、昭和57年には篠ノ井旭。昭和58年には長野南。この年飯山照丘参加せず。この17年間に参加校は南信地区と同数の23チームまでになった。

大会期間は発足当初5チームであり1日ですんだが、昭和43年から昭和49年までは2日間。昭和50年は3日間。昭和51年から生徒の健康面とチーム数の増加により4日間で実施している。

チーム数は増加したが審判員は不足していたので、昭和44年から昭和48年まで東信高体連の理事長であった丸山登一郎先生におねがいをして、当時上田千曲高校の小野沢先生と上田高校の菱田宏先生にご協力いただいたことはたいへん大きな力となった。その他、中学の先生方、安川彰一（当時東北中学）望月幸雄（当時柳町中学）、清水 真（当時常盤中学）の各先生方にも協力していただいた。そして、少数ではあるが、OBや顧問の先生方に三級、四級の審判資格を取っていただいて現在にいたっている。これまでは、主審を三試合あるいは四試合、ある時は自分のチームが試合をしている隣のコートで審判をしていたこともあった。

会場は、発足から昭和45～46年までは、春季大会と秋季大会を須坂高校と長野高校のグラウンドを交互に使って実施した。新人大会を須坂高校で行なった時、朝霧が濃くてボールがよく見えなかったことや、雨でグラウンドの状態が悪く遅くなった時、定時制用の照明を使って実施したこともあった。昭和48年よりチーム数が多くなり一会場では試合が消化できなくなり、二会場で行うことになった。ちょうど須坂市に県民グラウンドが出来たので、昭和48年春より現在まで二会場で行なっている。

この17年間には、いろいろなことがあったが、今までに専門委員となっていた先生方、会場校の顧問の先生方、補助員の生徒諸君、審判員として協力応援していただいた先生方、協会の方々に、あらためて感謝いたします。

（文責 江尻耕導）



昭和51年全国高校総体出場(新潟県) 須坂高校チーム

北信高等学校春季総合体育大会

年度	1 位	記録	2 位	3 位	
42	須坂	1-0	中野実業	長野	飯山北
43	須坂	1-0	中野実業	長野	飯山北
44	長野	1-1 (抽選)	須坂	中野実業	長野吉田
45	長野	3-0	須坂	長野吉田	松代
46	須坂	4-2	中野実業	飯山北	長野
47	長野工業	3-1	須坂	長野	中野実業
48	須坂	5-1	飯山北	長野	長野工業
49	長野	1-0	須坂	屋代	長野工業
50	須坂	1-0	長野工業	長野中央	屋代
51	長野工業	5-1	長野中央	長野	須坂
52	長野工業	2-1	長野	須坂	長野中央
53	長野	1-0	長野工業	屋代	須坂東
54	屋代	1-0	長野中央	須坂	長野工業
55	須坂	3-0	長野工業	須坂東	坂城
56	長野吉田	1-0	長野	須坂東	中野実業
57	長野	2-2 PK 0-0 (PK3-2)	須坂	長野工業	長野中央
58	須坂東	0-0 (PK3-2)	須坂	長野	屋代
59	須坂	2-0	須坂東	長野工業	長野東
60	須坂	1-0	長野東	長野	長野工業

北信高等学校秋季体育大会

年度	1 位	記録	2 位	3 位	
42	須坂	1-0	中野実業	長野	長野工業
43	長野		須坂		
44	長野	10-0	松代	中野実業	須坂
45	須坂	3-2	長野	長野工業	松代
46	長野工業	2-1	長野	飯山北	須坂
47	長野工業	5-0	中野実業	長野	須坂
48	須坂	3-2	長野	長野中央	飯山北
49	長野中央	3-0	長野工業	長野	須坂
50	長野工業	4-0	屋代		
51	長野工業	9-0	長野中央	須坂	屋代
52	長野工業	須坂	決勝戦実施せず	長野	長野中央
53	長野中央	2-1	屋代	須坂東	中野
54	長野工業	3-1	須坂	長野	長野中央
55	長野	3-3 (PK3-0)	須坂	須坂東	長野工業
56	長野	1-0	屋代	長野吉田	飯山北
57	長野工業	1-1 (PK4-2)	長野	長野吉田	須坂
58	須坂	1-0	須坂東	長野吉田	長野工業
59	長野	1-1 (PK4-3)	長野東	長野工業	須坂東
60	長野	1-0	長野南	屋代	須坂東



# 柔 道

## 1. 終戦後の柔道と今日に至る経過、変遷について

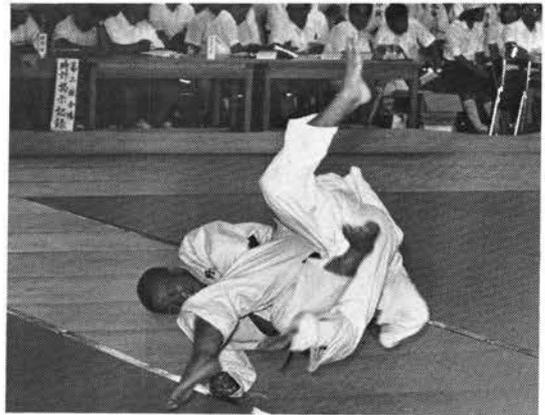
昭和25年10月学校関係での柔道実施が許可され、新しいスポーツとしての発展の道が開かれた。翌26年1月文部省はその趣旨徹底のため講習会と指導者養成を図った。柔道が中学校、高等学校正課教材となったのは昭和37・38年であるが、これに関連して文部省は指導者講習会を計画的に開催し、県教委としてもその都度代表を派遣して指導者養成に努めた。

次に施設についてであるが、部、班、クラブ等が活動を始めた頃に多くの学校では校内施設の一部利用警察署、刑務所、個人道場等学校外施設の借用等によって修行された。当時の練習は道場がなくとも苦勞されて、あちらこちら柔道場を借りて歩かれたそうである。昭和36年スポーツ振興法による施設の充実対策や、昭和37、38年体育教材への取り入れ等を契機として、施設の充実は一層急速に進められ現在では格技室として独立した施設は新築を含めてほとんど全般に及んでいる。

## 2. 各大会および競技連盟等の関係について

昭和26年早々に近接校間や一般等との合同練習や練習試合が行なわれるようになったが、国民体育大会柔道競技に昭和26年から高等学校の部が設けられその県の予選会がおこなわれ、また翌27年から全国

高等学校柔道選手権大会が開催され、その予選会がおこなわれた。それらと地区的大会を含めて各種大会の数が増すにつれて、参加生徒の安全、資格、制限、選出方法その他大会運営全般についての適正化等が必要となり、県教育委員会、体育協会、高等学校体育連盟、各高等学校、柔道連盟、関係各団体間の緊密な連携の協力のもとに各種大会は開催されるようになった。



## 3. 北信高体連柔道専門委員会の経過

数多くある競技の中で30有余年にわたり今日まで育ててくれた功績は大きく、次の先生方であるが北沢生吉（長野高）先生は昭和44年より県高体連理事長に、清水泰雄（屋代）先生は昭和48年より51総体長野県高校総体総務委員長に推挙されて、同時に専門委員も変更された。

（○委員長）

昭27～41年	○北沢生吉	清水泰雄	青木国作	長浦音吉	齊藤元之助
昭42～48年	○清水泰雄	北沢生吉	石田和増	笹井計知	
昭49～51年	○石田和増	清水泰雄	笹井計知	中村一幸	百瀬一彦
昭52～56年	○石田和増	清水泰雄	笹井計知	中村一幸	
昭57～	○石田和増	笹井計知	中村一幸	滝沢啓郎	

（文責 石田和増）

北信高等学校春季総合体育大会

北信高等学校秋季体育大会

団 体

年度	1 位	記 録	2 位	3 位	位
27	長野商業	抽 選 勝	長野北A	須 坂 西	飯 山 北
28	長野商業	2 - 2 代 表	長野北A	須坂商業	長野商B
29	長野商業	2 - 1	屋 代 東	須 坂 農	更級農業
30	長野商業		長野北定	長野工業	
31	長野商業	3 - 0	屋 代 東	飯 山 北	長野工業
32	長野商業	2 - 0	長 野	飯 山 北	屋 代 東
33	長 野	1 - 0	長野商業	飯 山 北	
34	長 野		屋 代 東	長野商業	
35	長野商業	1 - 0	長 野	長野工業	屋 代 東
36	長 野	1 - 0	長野商業	屋 代 東	更級農業
37	長 野	3 - 0	長野商業	中野実業	
38	中野実業	2 - 0	長野工業	更級農業	長 野
39	屋 代	2 - 0	長野工業	長 野	
40	屋 代		長 野		
41	屋 代	3 - 0	長 野	長野工業	長野中央
42	須 坂	1 - 0	屋 代	長野中央	長野商業
43	屋 代	① - 1	上水内北部	長野工業	更級農業
44	屋 代	2 - 0	長野商業	長野中央	更級農業
45	屋 代	3 - 0	犀 峽	長 野	飯 山 北
46	屋 代		中 条	犀 峽	
47	屋 代	2 - 0	長野工業	長野吉田	長野中央
48	中 条	② - 2	屋 代	中野実業	長野工業
49	長野中央	4 - 1	屋 代	飯 山 北	長野工業
50	中野実業	3 - 1	中 条	飯 山 北	長野工業
51	中野実業		長野吉田	坂 城	屋 代
52	中野実業	4 - 0	長野吉田	長野中央	屋 代
53	中野実業		屋 代	長野吉田	長 野
54	中野実業		飯 山 北	長野工業	長野吉田
55	中野実業		長野吉田	飯 山 北	長野中央
56	中野実業		長野吉田	上水内北部	飯 山 北
57	中野実業	3 - 0	長野吉田	上水内北部	屋 代
58	中野実業		上水内北部	長野吉田	屋 代
59	上水内北部	2 - 1	屋 代	中野実業	長 野 南
60	屋 代	2 - 0	中野実業	長 野 南	長野吉田

団 体

年度	1 位	記 録	2 位	3 位	位
27					
28	長野商業	5 - 0	須 坂 農	屋 代 東	更級農業
29	長野商業		長野北定	更級農業	須坂商業
30	長野商業				
31	長野商業			長 野 北	
32	長野商業		長 野	飯 山 北	
33	長野商業		長野工業		
34	長 野	抽 選 勝	長野商業	屋 代 東	長野工業
35	長 野	2 - 1	長野商業	更級農業	長野工業
36	長 野		長野商業	屋 代 東	長野吉田
37	中野実業		長 野	長野商業	長野工業
38	屋 代		須坂園芸	長 野	長野商業
39	屋 代			長野中央	長 野
40	飯 山 北		屋 代	長野工業	長 野
41	屋 代		長野工業		
42	屋 代		須 坂		
43	旭		須 坂	屋 代	松 代
44	屋 代				
45	中野実業		屋 代	下高井農林	中野実業
46	中 条		屋 代	下高井農林	中野実業
47	屋 代		中 条	長野吉田	長野工業
48	屋 代		長野中央	中野実業	飯 山 北
49	1年中野実業 2年中野実業	1 - 0 4 - 0	坂 城 長野工業	中 条 長 野	松 代 飯 山 北
50	中野実業	3 - 0	長野工業	屋 代	長野吉田
51	1年飯山北 2年中野実業	② - 2 4 - 1	中野実業 長野吉田	屋 代 長野中央	長野吉田 長野工業
52	中野実業	2 - 1	屋 代	飯 山 北	長野吉田
53	中野実業	5 - 0	長野工業	飯 山 北	長野吉田
54	中野実業	4 - 0	飯 山 北	長野吉田	長野工業
55	中野実業		長野吉田	長野中央	屋 代
56	長野吉田		中野実業	上水内北部	屋 代
57	中野実業	4 人 残	長野吉田	上水内北部	屋 代
58	屋 代	1 人 残	上 水 内 北 部	中野実業	長 野 南
59	中野実業		屋 代	長 野 南	長野吉田
60	屋 代	3 人 残	更級農業	中野実業	長野吉田

## 北信高等学校春季総合体育大会

## 北信高等学校秋季体育大会

## 重 量 級

年度	1 位	記録	2 位	3 位	
27	梅沢(長商)		安藤(屋東)	佃(長北)	水野(飯北)
28	井上(長北)				
29	西沢(須農)		山岸(長商)	矢口(長農)	宮島(長農)
30	渡辺(長商)		石川(長商)	米沢(長工)	
31					
32					
33					
34	星沢(長野)				小林(長野)
35					
36	碓井(長野)		渡辺(長野)	野口(飯北)	中沢(長商)
37	山口(長野)		浦野(飯北)		
38	武田(中実)		金子(須西)	青木(長野)	菱田(長工)
39	石川(屋代)		長田(長商)		
40	野田(長野)				
41	塚田(長野)		吉谷(中実)	堤(中央)	金子(屋代)
42	堤(中央)		村松(屋代)	佐藤(中実)	百瀬(須坂)
43	小池(長商)		清水(屋代)	竹村(屋代)	越(長工)
44	水沢(中央)		市川(屋代)	滝沢(長商)	芳川(下農)
45	竹内(下農)		水崎(須坂)	芳川(下農)	
46	高橋(長商)		宮坂(屋代)	坂内(中条)	
47	西沢(長商)		赤沼(長商)	南沢(屋代)	佐藤(中実)
48	北沢(屋代)		堀内(中条)	竹下(中条)	山本(中実)
49	松橋(屋代)		宮ノ内(長商)	小田切(長野)	小林(中実)
50	市川(中実)		小田切(長野)	渋川(中実)	佐藤(長工)
51	山崎(中実)		河野(中実)	黒川(中実)	小山(中実)
52	吉沢(中実)		山崎(中実)	佐藤(中実)	堀内(中実)
53	堀内(中実)		湯本(中実)	三石(長野)	坂本(長野)
54	島津(中実)		中沢(中実)	大井(中央)	大塚(飯北)
55	中沢(中実)		黒鳥(中実)	森山(中実)	大塚(飯北)
56	黒鳥(中実)		鹿島(中実)	山本(中実)	西村(吉田)
57	山本(中実)		岡沢(中実)	蟻川(中野)	竹内(中野)
58	山本(中実)		渡辺(中実)	小島(北部)	高野(中実)
59	清水(中実)		稲玉(屋代)	布施谷(中実)	小池(吉田)
60	布施谷(中実)		堀口(長南)	相沢(更農)	池田(吉田)

年度	1 位	記録	2 位	3 位	
27	梅沢(長商)		安藤(屋東)	佃(長北)	水野(飯北)
28	井上(長北)		矢口(長商)	高橋(長商)	近藤(長北)
29	西沢(須農)		山岸(長商)	矢口(長農)	宮島(長農)
30					
31	轟(長商)		高橋(下農)	福島(屋東)	石川(長商)
32	小林(長商)		倉科(長野)	檀原(長商)	曲淵(長商)
33					
34	星沢(長野)		滝沢(屋東)	中村(更農)	小林(長野)
35	坂本(長商)		小林(長野)	徳永(長商)	奥村(屋東)
36	宮崎(長商)		福島(長野)	中沢(長商)	渡辺(長野)
37	国本(長商)		和田(長工)	檜本(長工)	
38					
39					
40	長谷川(中央)		朝場(中央)	河本(長野)	
41					
42					
43	竹村(屋代)		清水(屋代)	小池(長商)	越(長工)
44					
45	高橋(長商)		竹ノ内(下農)	芳川(下農)	轟見(長商)
46	佐藤(下農)		堀内(中条)	宮原(屋代)	山口(長工)
47	堀内(中条)		北沢(屋代)	水野(長工)	山本(中実)
48	宮ノ内(長商)		沢田(下農)	須田(旭)	清水(屋代)
49	1年山崎(中央) 2年小田切(長野)		佐藤(長工) 市川(中実)	竹村(中条) 金井(飯北)	丸山(長野) 島田(屋代)
50	山崎(中実)		河野(中実)	竹内(中条)	佐藤(長工)
51	1年堀内(中実) 2年山崎(中実)		高野(中央) 原田(長野)	佐藤(飯北) 竹節(中央)	岩崎(松代) 小山(吉田)
52	堀内(中実)		三石(長野)	上原(中央)	大井(中央)
53	島津(中実)		中沢(中実)	大塚(飯北)	大井(中央)
54	中沢(中実)		大塚(飯北)	黒鳥(中実)	坂本(北部)
55	黒鳥(中実)		鹿島(中実)	西村(吉田)	羽田(長商)
56	山本(中実)		岡沢(中実)	中根(長商)	蟻川(中野)
57	山本(中実)		渡辺(中実)	高野(中実)	稲玉(屋代)
58	清水(中実)		稲王(屋代)	布施谷(中実)	小池(吉田)
59	布施谷(中実)		横田(中央)	山本(中央)	堀口(長南)
60	中村(屋代)		相沢(更農)	山本(中央)	小山(更農)

## 北信高等学校春季総合体育大会

## 北信高等学校秋季体育大会

## 軽重量級

年度	1 位	記録	2 位	3 位	
52					
53	松橋(中実)		村上(吉田)	中島(中実)	竹原(飯北)
54	近藤(中実)		矢野(吉田)	山本(中実)	竹原(飯北)
55	山本(中実)		矢野(吉田)	中浜(吉田)	中野(長野)
56	井出(吉田)		外谷(中実)	中野(長野)	北沢(屋代)
57	竹内(吉田)		原山(中実)	渡辺(中実)	中野(長野)
58	北村(北部)		佐藤(中実)	池上(中実)	徳武(中実)
59	阿部(北部)		相沢(屋代)	小川(屋代)	中村(須坂)
60	中村(屋代)		小川(屋代)	藻谷(中実)	鎌林(屋代)

年度	1 位	記録	2 位	3 位	
52	松橋(中実)		高野(中央)	佐藤(飯北)	大平(飯北)
53	竹原(飯北)		近藤(中実)	大田(長工)	矢野(吉田)
54	山本(中実)		矢野(吉田)	中浜(吉田)	森山(中実)
55	中野(長野)		宮崎(飯北)	外谷(中実)	北沢(屋代)
56	原山(中実)		中野(長野)	徳武(中実)	武田(長工)
57	徳武(中実)		池上(中実)	佐藤(中実)	久保田(吉田)
58	相沢(屋代)		阿部(北部)	土倉(北部)	小川(屋代)
59	小川(屋代)		北島(屋代)	藻谷(中実)	岩谷(長南)
60	鎌林(屋代)		山本(北部)	小河原(屋代)	佐藤(照丘)

## 中量級

年度	1 位	記録	2 位	3 位	
39	久保田(中央)		小野(屋代)		
40	宮崎(屋代)		小島(長工)		
41	丸山(飯北)		小島(長工)	鳥羽(更農)	宮沢(屋代)
42	宮沢(須園)		小林(須商)	竹腰(須坂)	加藤(長工)
43	佐藤(長商)		宮坂(屋代)	宮崎(長工)	小林(北部)
44	鳥羽(屋代)		上原(更農)	丸山(更農)	竹村(中央)
45	佐藤(下農)		和田(屋代)	轟見(長商)	
46	下崎(屋代)		青木(中条)	佐藤(下農)	
47	宮原(屋代)		熊谷(屋代)	嘉藤(須商)	手塚(中条)
48	藤田(長商)		松橋(屋代)	北沢(中条)	丸山(長工)
49	藤田(長商)		小林(中実)	樽井(吉田)	水沢(中央)
50	高橋(中実)		宮沢(中実)	山崎(飯北)	荻原(長工)
51	関(中実)		成田(吉田)	石沢(飯北)	田中(吉田)
52	町田(吉田)		小山(屋代)	近藤(中実)	千村(中央)
53	小山(屋代)		田中(松代)	近藤(中実)	大平(飯北)
54	金子(飯北)		徳竹(中実)	和田(屋代)	近藤(飯北)
55	徳竹(中実)		竹内(吉田)	手塚(中実)	石野(飯北)
56	八木(北部)		手塚(中実)	竹内(吉田)	小沢(犀峽)
57	八木(北部)		渋沢(吉田)	塩入(北部)	井出(吉田)
58	高野(吉田)		塩入(北部)	今井(北部)	涌井(須坂)
59	酒井(屋代)		高井(長工)	松橋(北部)	牧島(北部)
60	酒井(屋代)		牧島(北部)	徳武(中実)	宮崎(吉田)

年度	1 位	記録	2 位	3 位	
39					
40					
41					
42					
43					
44					
45					
46					
47	松橋(屋代)		清水(吉田)	松阪(長商)	酒井(中条)
48	松橋(屋代)		藤田(長商)	小林(中実)	樽井(吉田)
49	1年 柏原(飯城) 2年 高橋(中実)		関(中実) 花形(屋代)	丸野(長工) 塚田(長野)	西夫(中条) 荻原(長工)
50	石沢(飯北)		水井(屋代)	高木(飯北)	渡辺(中央)
51	1年 村上(吉田) 2年 町田(吉田)		大平(飯北) 千村(中央)	小山(屋代) 藤沢(飯北)	宮沢(長工) 堀内(屋代)
52	近藤(中実)		小山(屋代)	田中(松代)	北山(飯北)
53	和田(屋代)		金子(飯北)	吉池(松代)	馬場(長工)
54	徳竹(中実)		近藤(飯北)	上野(中実)	徳武(中実)
55	手塚(中実)		尾沢(犀峽)	八木(北部)	風間(屋代)
56	八木(北部)		竹内(吉田)	渋沢(吉田)	岩下(長野)
57	塩入(北部)		北村(北部)	高野(吉田)	今井(北部)
58	酒井(屋代)		和田(北部)	武田(須坂)	真島(長工)
59	酒井(屋代)		牧島(北部)	徳武(中実)	宮川(長工)
60	養田(中実)		土屋(須坂)	横井(更農)	児玉(中西)

## 北信高等学校春季総合体育大会

## 北信高等学校秋季体育大会

## 軽 量 級

年度	1 位	記録	2 位	3 位	位
27					
28					
29					
30					
31					
32					
33					
34					
35					
36					
37	小林(長工)		武田(長野)		
38	割田(中実)		若林(長高)	湯本(長工)	前沢(飯北)
39	中村(中実)		吉池(長工)		
40					
41	中村(中央)		鈴木(飯北)	溝口(長工)	中村(更農)
42	山口(長工)		小笹(飯北)	湯本(須坂)	塚川(中央)
43	村沢(屋代)		有賀(屋代)	夏目(中央)	森(長野)
44	岩草(中央)		田中(犀峽)	吉村(屋代)	久保(旭)
45	小林(長高)		曾根(中央)	宮入(屋代)	
46	遠藤(屋代)		池田(犀峽)	吉村(犀峽)	
47	小林(中実)		伊藤(屋代)	鈴木(中央)	関(中央)
48	高野(屋代)		大沼(飯北)	宮沢(下農)	宮沢(長高)
49	石川(吉田)		花沢(吉田)	小市(長工)	曾根(長工)
50	水井(屋代)		田中(犀峽)	馬場(中実)	北沢(屋代)
51	金井(吉田)		関(屋代)	若月(吉田)	上沢(須坂)
52	寺内(中実)		佐藤(吉田)	寺島(吉田)	関(屋代)
53	寺内(中実)		阿部(飯北)	宮崎(長野)	湯本(中央)
54	宮崎(長野)		諏訪(屋代)	松本(中野)	宮崎(吉田)
55	中村(吉田)		諏訪(屋代)	田中(中実)	内山(犀峽)
56	高橋(吉田)		渋沢(吉田)	稲田(中実)	宮尾(犀峽)
57	今井(北部)		高橋(吉田)	上野(飯北)	小林(中実)
58	佐藤(北部)		高木(中実)	岩崎(北部)	浜(長工)
59	涌井(須坂)		中條(中実)	浜(長工)	小林(須坂)
60	涌井(須坂)		中條(中実)	三谷(須坂)	井上(吉田)

年度	1 位	記録	2 位	3 位	位
27					
28					
29					
30					
31					
32					
33					
34					
35					
36					
37					
38					
39					
40					
41					
42					
43					
44					
45					
46					
47	大沼(飯北)		武田(中央)	土屋(中実)	高野(屋代)
48	小市(長工)		木内(松代)	石川(吉田)	三井(中条)
49	1年清水(飯城) 2年竹田(飯北)		水井(屋代) 北沢(屋代)	徳竹(中条) 吉沢(犀峽)	丸山(中央) 水島(中条)
50	上倉(中実)		若月(吉田)	金井(吉田)	関(屋代)
51	1年寺内(中実) 2年久野(飯北)		阿部(飯北) 上沢(須坂)	折井(屋代) 寺島(吉田)	関崎(犀峽) 和田(長工)
52	阿部(飯北)		宮崎(長野)	関(吉田)	木原(長工)
53	宮崎(長野)		小山(須坂)	松本(中野)	諏訪(屋代)
54	田中(中実)		中村(吉田)	尾沢(飯北)	岡村(須坂)
55	高橋(吉田)		稲田(中実)	内山(犀峽)	宮川(長工)
56	高橋(吉田)		今井(北部)	涌井(須坂)	小林(中実)
57	佐藤(北部)		高木(中実)	風間(飯北)	涌井(須坂)
58	徳武(中実)		浜(長工)	涌井(須坂)	中條(中実)
59	涌井(須坂)		中條(中実)	谷村(中実)	宇都宮(更農)
60	三谷(須坂)		小林(中実)	小林(須坂)	塩入(更農)



# ソフトボール

日本ソフトボール協会の誕生は、昭和24年に軟式野球連盟より独立し設立された。

長野県高体連ソフトボール専門部は、昭和25年に長野工業高校内に事務局を置いて初代会長に西村文雄氏、理事長に刈間今朝雄氏がなられ、同校内に長野県ソフトボール協会も生まれ、スタートした。その後、昭和26年より専門委員長に宮本金作氏（現長野商業高）がなられ、続いて昭和32年より昭和36年まで専門委員長に若林貞良氏、昭和37年より山田正俊（現中条高）がなる。長野県ソフトボール協会は、昭和32年に伊那市役所の中に協会の事務局が移った。

## 1. ソフトボールの普及

昭和25年に北信高体連に専門部が誕生するや今日に至るまで忽ち燎原の火の燃え上がる勢いで全国に普及、高校女子から男子に至るまでに発展し国民大衆のスポーツとして普及発展して来ている。高校生から一般社会の男女と共に壮年層の家庭婦人に至るまで、他のスポーツに見られる種目と同じように広く愛されてきている。

現代の文化生活では、衣食住すべて事足りているから良いでは済まされない。どうしてもスポーツが生活の一部に加えることが必要である。

正しい競技姿勢—規則—作法の遵守は勿論のこと、技術の向上の外に相手チームの尊重と競技の向上充実が益々大切な時期に来ているのではないか。

## 2. 現在までの原動力

高体連ソフトボールの専門部が誕生してまもない昭和26年8月、兵庫県（西宮市）で行なわれた全国

大会で豊科高校が優勝した。

これは輝かしい1ページであろう。北信高体連では昭和47年に篠ノ井高校が長野県代表として福島県郡山市で行なわれた全国大会に北信高体連として初めて参加した。その後、昭和60年には長野県代表として長野西高が全国大会に参加している。昭和51年上田市で全国高校総体が開かれた。須坂東高、文化高（現、文大附属高）、皐月高などは高校総体の県大会で決勝に敗れて涙をのんで来ている。これらは淋しい限りであった。

一つの競技を始めるということは大変な苦勞のつみ重によって生まれる。ソフトボールは、スピードと技術の調和がいかにむずかしいか、又ピッチャーの投球速度が100 km/H以上のものが女子にも生れて来ている。スピーディな試合運びは、現段階に於ては昔と大きく変わりつつあるのは、日本チームも世界大会へ出場し、優勝又は上位入賞をし、その技術が導入されているからであろう。

北信高体連ソフトボール専門部も技術講習会を開き年々向上していることは喜ばしいことです。今では県大会での上位をしめるチームが、数えられることは、諸先生方のお力添えがあったらこそ、と感謝申し上げます。特にソフトボール競技は、グラウンドのために雨天等の場合に早朝より専門委員の先生方、又は審判員の皆様方の献身的な御助力をお願いしており、日頃の御苦勞に心より感謝申し上げます。

（文責 山田 正俊）

## 北信高等学校春季総合体育大会

（男子）

年度	1 位	記 録	2 位	3 位	位
51					
52	須坂東	10-2	長野	中野	戸隠
53	須坂東		長野	—	—
54	須坂東		長野	—	—
55	須坂東	13-2	長野	—	—
56	須坂東	—	飯山北	長野	
57	長野		須坂東	飯山北	
58	長野	13-6	飯山北	—	
59	飯山北	13-0	長野	—	
60	長野	9-2	飯山北	—	

## 北信高等学校秋季体育大会

（男子）

年度	1 位	記 録	2 位	3 位	位
51	長野	3-1	須坂東		
52	須坂東	—	長野	中野	
53	長野	16-15	須坂東		
54	須坂東	14-13	長野		
55	—		—		
56	須坂東		飯山北	長野	
57	—		—		
58	飯山北	11-6	長野		
59	飯山北	7-6	長野		
60	長野	10-3	飯山北		

## 北信高等学校春季総合体育大会

(女子)

年度	1 位	記 録	2 位	3 位	位
26	長野西		篠ノ井	須坂東	
27	須坂東	2-1	長野市立	飯山南	
28					
29	須坂東	2-0	長野市立	篠ノ井	屋代南
30	須坂東		長野市立	屋代南	飯山南
31	須坂東	10-0	屋代南	長野市立	篠ノ井
32	屋代南	10-3	長野西	飯山南	須坂東
33	篠ノ井	9-3	長野市立	屋代南	須坂東
34					
35	篠ノ井	8-4	須坂東	長野西	屋代南
36	須坂東	3-2	篠ノ井	長野西	屋代南
37	長野西	10-5	須坂東	篠ノ井	飯山南
38	須坂東	10-4	篠ノ井	長野西	飯山南
39	須坂東	8-6	篠ノ井	長野市立	長野西
40	須坂東	7-4	篠ノ井		
41	篠ノ井	6-1	須坂東	中 野	屋代南
42	篠ノ井	9-2	長野市立		
43	篠ノ井	1-0	長野西	須坂東	皐 月
44	篠ノ井	12-1	長野西	長野文化	須坂東
45	篠ノ井	10-5	長野文化	皐 月	屋代南
46	長野文化	10-3	篠ノ井	長野女子	中 野
47	篠ノ井	2-0	長野文化	長野女子	皐 月
48	篠ノ井	7-2	皐 月	須坂東	長野女子
49	篠ノ井	6-3	須坂東	長野西	屋代南
50	須坂東	9-2	長野西	皐 月	篠ノ井
51	篠ノ井	5-2	長野西	皐 月	中 野
52	長野西	5-4	篠ノ井	中 野	屋代南
53	中 野	4-2	長野女子	皐 月	須坂東
54	中 野	6-3	篠ノ井	屋代南	長野西
55	中 野	3-1	篠ノ井	長野西	皐 月
56	長野西	6-0	中 野	皐 月	須坂東
57	皐 月	1-0	長野西	須坂東	中 野
58	長野西	5-1	皐 月	須坂東	中 野
59	長野西	5-0	飯山北	飯山南	中 野
60	長野西	7-2	皐 月	中野西	飯山北

## 北信高等学校秋季体育大会

(女子)

年度	1 位	記 録	2 位	3 位	位
26					
27	須坂東	2-1	長野市立	篠ノ井	
28	長野市立	6-5	篠ノ井	須坂東	
29					
30					
31	須坂東	12-5	屋代南	篠ノ井	
32	須坂東	5-2	篠ノ井	長野西	
33	篠ノ井	13-4	須坂東	長野西	
34	須坂東	8-4	長野西	篠ノ井	
35	篠ノ井	5-3	須坂東	長野西	
36	須坂東	18-8	長野西	長野市立	
37	須坂東		長野西		
38	須坂東	12-2	篠ノ井	長野西	
39	須坂東	13-11	長野市立	屋代南	
40	須坂東	5-3	篠ノ井		
41	屋代南	7-6	須坂東		
42	篠ノ井	6-3	長野西		
43	須坂東	15-1	皐 月	長野西	中 野
44	篠ノ井	6-1	長野西	長野文化	
45	長野文化	6-3	篠ノ井	皐 月	須坂東
46	長野文化	3-2	篠ノ井	皐 月	長野女子
47	皐 月	3-2	長野文化	篠ノ井	
48	須坂東			長野女子	
49	篠ノ井	7-5	長野女子	中 野	
50	篠ノ井	4-2	皐 月		
51	中 野	11-5	長野女子	長野西	
52	中 野	10-3	篠ノ井	須坂東	長野女子
53	中 野	9-5	皐 月	須坂東	
54	篠ノ井	11-0	中 野	長野西	皐 月
55	皐 月	8-2	中 野	篠ノ井	須坂東
56	皐 月	2-0	長野西	長野文化	
57	皐 月	3-0	長野西	中 野	須坂東
58	長野西	12-3	飯山北	須坂東	
59	皐 月	8-3	飯山北	文大長野	篠ノ井
60	皐 月	2-1	長野西	中 野	篠ノ井



## 弓 道

発足は昭和33年である。戦後、禁止されていた学校武道が28年に復活を許されたが、本県の高校弓道の再発足は全国的には遅いほうである。しかし、県内では北信地区が最初であった。

当時は、施設不足にあわせて学校内での指導者は皆無に等しかった。したがって一般愛好者の尽力によるところが大であった。すなわち、飯山北高において古沢博氏（飯山市在住範士8段）が、また長野商業高校において小林岩男氏（長野市在住教士7段）が多額の犠牲をはらって部を設立して下さった。これに呼応するかのように唯一の校内指導者である屋代高の暮沼一馬氏も部を設立した。この3校が中心となって北信高校弓道大会がスタートしたのである。会場は、善光寺弓道場、信大弓道場、長商弓道場などと転々としたもようである。現在、会場は、長野市営弓道場に固定し参加選手数ものべ数百名におよぶようになった。まさに昔日の感無量といったところである。それだけに、その後20有余年にわたって努力し育成して下さった旧篠ノ井高の宮崎今朝一氏の功績は多大である。心より感謝の意を表したい。

技術面の変遷も大きかった。弓道は、型を作ることに後に内的な技術が育成されていくものである。ところが、その型が不統一で各校まちまちであった。それ故に、型を見れば「あれは、どこそこの学校」と判断ができた。したがって、的にあたる率も低く3、4割位であった。採（あづち=的をかけてある盛土のこと）に矢がとどけば良い方であるというチームも少なくなかった。中には的前審判の控えている看的所の防矢板に矢を当てて、審判員がおどろいて飛び出したというエピソードもあった。

歳月を経て現在に至った北信高体連弓道の競技成績は一大飛躍をなした。

すなわち、国体弓道では、38年飯山北高男子の近的



優勝、52年、北信選抜女子の遠的3位、53年全県選抜女子の遠近両種目の優勝、54年篠ノ井高女子の遠的2位などがあり、また高校総体では長野中央男子の団体、個人の両種目や飯山南高女子団体の上位入賞等多くの好成績を残したのである。そしてこれからの発展も確実に約束ができる。

かように技術、競技両面にわたっての好成績をあげられた一因として、校内指導者の増加と指導技術の向上があげられる。

つまり、教士、錬士の称号受有者および有段者をあわせると20名近くに至っている。また弓道人口も発足当時の10倍にもおよんでいる。

しかし、北信地区全高校が弓道を実施している訳ではない。まだ10数校の未実施校がある。それだけに発展途上の専門部ともいえる。

関係者一同、結束して今後の向上に務める所存である。

（文責 斎藤節朗）

## 北信高等学校春季総合体育大会

### (男子・団体)

年度	1 位	2 位	3 位
37	飯山北 A	屋代東 B	屋代東 A
38	飯山北 A	長野 C	飯山北 B
39	埴生 B	屋代 C	長野商 C
40	屋代	埴生 B	飯山北 C
41	屋代 A	長野商 C	長野商 A
42	埴生 A	長野 A	屋代 A
43	飯山北 A	飯山照丘 C	埴生 A
44	飯山北	屋代	飯山照丘
45	坂城 A	長野商 B	長野中央 B
46	須坂	飯山北	飯山照丘
47	屋代 B	須坂 B	飯山北 B
48	長野商	長野中央	長野
49	長野中央	屋代	長野 A
50	長野中央	篠ノ井	飯山北
51	長野中央	飯山北	長野
52	篠ノ井 A	飯山北 A	長野中央
53	長野中央	長野商	須坂
54	長野 B	屋代 A	須坂 A
55	須坂 A	長野 B	屋代 A
56	長野 A	飯山北 A	長野中央 A
57	須坂 A	篠ノ井 B	飯山北 A
58	飯山北 B	須坂 B	長野中央 A
59	長野吉田 B	長野中央 B	須坂東
60	長野吉田 B	長野吉田 A	須坂 B

### (男子・個人)

年度	1 位	2 位	3 位
37			
38			
39			
40			
41			
42			
43			
44			
45	吉越(飯山北)	山崎(照丘)	高坂(長野)
46	新井(飯山北)	林(長野)	永江(長野)
47	新井(飯山北)	渡辺(屋代)	金原(長野)
48	坂口(屋代)	町田(飯山北)	片桐(長野)
49	荒井(中央)	新井(北部)	田川(長野)
50	阿部(北部)	石黒(長野)	小林(長野商)
51	宮沢(飯山北)	矢島(屋代)	小山(長野)
52	齊藤(飯山北)	新井(飯山北)	山辺(長野)
53	北村(北部)	町田(長野商)	佐藤(飯山北)
54	篠原(須坂)	四方田(篠ノ井)	宮沢(屋代)
55	山田(長野東)	橋本(飯山南)	前島(長野東)
56	佐藤(飯山北)	丸山(飯山北)	嶋田(飯山北)
57	高沢(篠ノ井)	木下(長野商)	小林(北部)
58	笹岡(須坂)	竹内(吉田)	伊藤(篠ノ井)
59	岡本(飯山北)	浅野(長野商)	清水(吉田)
60	小林(北部)	鳥羽(篠ノ井)	北島(屋代)

### (女子・団体)

年度	1 位	2 位	3 位
40	飯山南 A	飯山南 C	飯山南 B
41	飯山南 B	篠ノ井 A	篠ノ井 B
42	篠ノ井 C	長野商 B	埴生 B
43	飯山南 B	篠ノ井 A	篠ノ井 C
44	篠ノ井 B	篠ノ井 C	長野商 B
45	長野商	篠ノ井 A	篠ノ井 B
46	篠ノ井	飯山南	長野商
47	長野商 B	飯山北	長野商 A
48	篠ノ井	飯山北	飯山南
49	篠ノ井 A	飯山南 A	長野商 A
50	篠ノ井	長野西	上水内北部
51	篠ノ井	飯山北	長野商
52	篠ノ井	飯山南	長野西
53	篠ノ井	飯山南	篠ノ井 B
54	飯山南 A	篠ノ井 A	長野商 A
55	長野商 A	長野商 B	飯山南 B
56	長野西 A	飯山北 A	篠ノ井 A
57	長野商 B	長野西 B	長野吉田 B
58	須坂東 A	篠ノ井 B	篠ノ井 A
59	長野西 A	篠ノ井 B	篠ノ井 A
60	長野西 A	長野商 A	須坂東 B

### (女子・個人)

年度	1 位	2 位	3 位
40			
41			
42			
43			
44			
45	神田(飯山南)	春日(篠ノ井)	松尾(長野商)
46	西沢(篠ノ井)	滝沢(照丘)	太田(篠ノ井)
47	中村(篠ノ井)	笠井(篠ノ井)	宮入(篠ノ井)
48	飯島(篠ノ井)	上野(北部)	両角(篠ノ井)
49	竹内(飯山北)	宮崎(篠ノ井)	宮下(篠ノ井)
50	倉田(篠ノ井)	竹井(飯山北)	和田(屋代)
51	関(中野実)	成田(吉田)	石沢(飯山北)
52	春原(長野西)	大原(飯山北)	土屋(篠ノ井)
53	風間(篠ノ井)	西村(篠ノ井)	佐藤(飯山北)
54	唐木(篠ノ井)	滝沢(篠ノ井)	小林(長野商)
55	唐木(篠ノ井)	鈴木(長野)	鈴木(須坂)
56	高村(篠ノ井)	小林(長野東)	和田(長野西)
57	古谷(須坂東)	池田(長野商)	三井(須坂)
58	湯本(飯山北)	丸山(飯山北)	富井(飯山南)
59	丸山(飯山北)	豊田(飯山北)	湯本(須坂東)
60	石坂(長野)	坂本(吉田)	窪田(屋代)

## 北信高等学校秋季体育大会

### (男子・団体)

年度	1 位	2 位	3 位
37	飯山北 A	長 野	長野商 A
38	飯山北	屋代東	長 野
39	屋代 A	飯山北 A	長野商 B
40			屋 代
41	飯山北		
42	屋 代		屋 代
43	屋代 A	埴生 A	埴生 B
44	埴生 A	屋代 C	埴生 B
45	長野商 A	飯山北 A	埴生 A
46	飯山北	長野中央	埴 生
47	飯山北	飯山照丘	屋 代
48	長野中央	屋 代	飯山北
49	長野商 A	飯山北 A	長野中央
50	長野中央	篠ノ井	埴 生
51	篠ノ井	飯山北	長野商業
52	須坂	篠ノ井	長野中央
53	屋代 A	長 野 B	須坂 B
54	長 野 B	篠ノ井 A	須坂 B
55	須坂 A	篠ノ井 A	飯山南
56	長野商 A	篠ノ井 A	須坂 A
57	飯山北 A	屋代 B	須坂 A
58	屋代 B	上水内北部	長野吉田
59	飯山北 B	須坂東 A	長野吉田
60	北部 A	屋代 B	須坂 B

### (男子・個人)

年度	1 位	2 位	3 位
37	小林(飯山北)	佐藤(長 野)	山田(長野商)
38			
39			
40			
41			
42			
43	桜井(屋代)	丸山(屋代)	江村(照丘)
44			
45			
46			
47			
48			
49			
50			
51			
52	浦野(須坂)	本道(屋代)	酒井(篠ノ井)
53	月岡(中央)	武井(北部)	永藤(須坂)
54	宮沢(長野商)	水庫(長 野)	新井(長 野)
55	渋沢(飯山北)	本道(中央)	藤井(篠ノ井)
56	渋沢(飯山北)	内藤(屋代)	常田(飯山南)
57	幸川(飯山北)	水井(屋代)	小林(飯山北)
58	八田(北部)	小林(屋代)	下倉(屋代)
59	吉田(中央)	大路(飯山北)	小林(須坂東)
60	吉川(北部)	宮沢(須坂東)	湯原(屋代)

### (女子・団体)

年度	1 位	2 位	3 位
43	長野商業	飯山照丘	篠ノ井
44	篠ノ井 A	篠ノ井 C	飯山南 B
45	篠ノ井 B	篠ノ井 A	飯山南 C
46	篠ノ井 A	飯山南	篠ノ井 B
47	飯山南 B	篠ノ井	飯山南 C
48	篠ノ井	長野商業	飯山南
49	篠ノ井 A	篠ノ井 B	飯山北 A
50	篠ノ井	長 野 西	長野商業
51	篠ノ井	長野西 B	長野西 A
52	篠ノ井 A	篠ノ井 B	飯山南
53	篠ノ井 A	篠ノ井 B	長野商 A
54	篠ノ井 A	篠ノ井 B	飯山南 B
55	飯山北 A	篠ノ井 B	長野吉田
56	長野西 B	長野商 B	篠ノ井 A
57	長 野 B	長野西 B	篠ノ井 A
58	屋代 B	篠ノ井 B	長野西 A
59	篠ノ井 A	飯山北 B	屋代 A
60	須坂東 A	飯山北 B	篠ノ井 B

### (女子・個人)

年度	1 位	2 位	3 位
43	上野(篠ノ井)	芳川(飯山南)	三田村(長野商)
44			
45			
46			
47			
48			
49			
50			
51			
52	市川(篠ノ井)	堀(篠ノ井)	小橋(飯山北)
53	田中(長野商)	小田切(篠ノ井)	佐藤(北部)
54	唐木(篠ノ井)	小林(篠ノ井)	小林(篠ノ井)
55	宮本(飯山北)	岩間(篠ノ井)	池田(北部)
56	小山(篠ノ井)	大野(長野西)	宮入(長野商)
57	市川(篠ノ井)	中条(長野西)	土倉(長野商)
58	岡沢(篠ノ井)	宮沢(屋代)	伝田(屋代)
59	島田(篠ノ井)	小山(篠ノ井)	塩入(屋代)
60	藤田(篠ノ井)	小林(須坂東)	宇原(須坂東)



## 水 泳

北信高体連発足当初は、水泳クラブを持っている学校が少なく水泳専門部を設けることになっても、専門委員の構成ができず、専門委員長一人だけの専門部でした。

当時クラブを持っている学校は、現在の長野高校、長野商業高校、長野工業高校、須坂高校、飯山北高校であり、女子では長野西高校位でした。

大会は、高体連発足以前から野尻湖遊泳協会主催で行なわれており、北信高体連主催といっても委員長一人では何もできないので実際の大会運営は野尻湖遊泳協会中心で行なわれ、水泳専門部はおんぶした状態で、数年間行なわなければならない状況でした。

また、当時は現在のような四地区で大会を開くだけの参加校がなく、東・北信大会、中・南信大会と大きく二つに分れて大会は行なわれました。東・北信大会では、当時東信地区で、現在の山王小学校と野沢北高校だけで、数年間行なわれておりましたが、そのうち年々参加校も多くなり、東・北信大会は運営上無理となり解散し、現在の姿になった次第です。参加校が多くなっても審判の出来る先生がなく、北信地区の大会は、相変わらず野尻湖遊泳協会中心で行なわれました。

当時大会の出来るプールは、現在山王小学校の校庭になっている場所に、50mプールと飛び込みプールがあり、大会はすべてこのプールで行なわれました。

また、高校総体の出場権を得るには、当時水泳だけが、関東ブロックの所属になっており、県大会を経てブロック大会に参加しても強敵ばかりで、高校総体に出れる選手は一人もなかったものです。

その後、昭和43年に、全国ブロックを組み変えて、他の種目と同様に北信越ブロック所属として参加することになり現在に至っています。

北信越ブロックに参加する頃から、各高校にプー



ルが出来るようになって、参加校の増加をみました。したがって、その頃から高校総体に出場する選手もふえることになり、北信地区のレベルは向上して参りました。

(文責 斉藤重夫)

## 北信高等学校春季総合体育大会

(男子)

年度	100 m 自由形			200 m 自由形		
	1 位	2 位	3 位	1 位	2 位	3 位
24	1'09"8 北沢 兼吉(須西)	中村(長商)	小林(須西)	2'35"4 藤家 衛(松尾)	中村(長商)	北沢(須西)
25	1'07"4 藤家 衛(松尾)	高坂(屋代)	北沢(須西)	2'34"0 藤家 衛(松尾)	北沢(須西)	伴野(野北)
26	1'08"2 伴野 武也(野北)	古谷(須西)	中村(長商)	2'37"4 伴野 武也(野北)	古谷(須西)	中村(長商)
27	1'08"8 古谷 俊二(須西)	大川(須西)	山口(長工)	2'33"2 大川 良夫(須西)	古谷(須西)	山口(長工)
28	1'08"4 大川 義雄(須西)	色部(長商)	細尾(長北)	2'36"4 大川 義雄(須西)	色部(長商)	大川(長北)
29	1'07"4 大川 義雄(須西)	北沢(長北)	荻原(野北)	2'31"6 大川 良雄(須西)	辻(野北)	田子(須西)
30						
31						
32	1'11"6 久保 隆顕(須西)	宮原(屋東)	竜野(長野)	2'43"8 久保 隆顕(須西)	久保田(長野)	清水(松尾)
33	1'10"6 久保 隆顕(須西)	穂刈(長工)	井浦(長工)定	2'33"4 河野 洋一(長野)定	久保(須西)	三沢(須西)
34	1'05"0 河野 洋一(長野)定	金井(須西)	清水(上田)定	2'25"8 河野 洋一(長野)定	石田(吉田)	金井(須西)
35	1'07"4 金井 啓二(須西)	斉藤(丸子実)	池田(長野)	2'34"8 金井 啓二(須西)	羽田(長野)定	風間(屋東)
36	1'10"2 小山 明彦(長商)	大沢(長野)	水上(長商)	2'44"0 小山 明彦(長商)	飯島(須西)定	水上(長商)
37	1'07"5 原田 則行(長商)	山口(屋東)	伊藤(長商)	2'28"8 原田 則行(長商)	小山(中央)	伊藤(長商)
38	1'04"8 原田 則行(長商)	伊藤(長商)	山岸(須西)	2'27"1 原田 則行(長商)	伊藤(長商)	山岸(須西)
39	1'03"7 原田 則行(長商)					
40	1'06"6 荻原 憲司(野北)	清水(千曲)	桜井(千曲)	2'29"8 角田 博(旭)	荻原(野北)	柴本(須坂)
41	1'08"8 清水 正司(千曲)	片山(長商)	小山(須坂)	2'30"0 富井 寛(中央)	清水(千曲)	小山(須坂)
42	1'06"0 片山 実(長商)	山崎(上田)	佐々木(長野)	2'29"9 片山 実(長商)	三戸部(中央)	山崎(上田)
43	1'06"0 斉藤 重夫(長商)	大沢(中央)	伊藤(中央)	2'27"0 伊藤 康正(中央)	大沢(中央)	斉藤(長商)
44	1'03"5 大沢 久雄(中央)	斉藤(長商)	河野(中実)	2'21"0 大沢 久雄(中央)	斉藤(長商)	瀬下(中実)
45	1'03"8 大沢 久雄(中央)	本井(須坂)	戸谷(長工)	2'23"7 大沢 久雄(中央)	藤沢(中央)	本井(須坂)
46	1'07"4 中島 政昭(屋代)	戸谷(長工)	藤沢(中実)	2'28"6 西沢 克芳(中央)	中島(屋代)	金子(須坂)
47	1'07"6 金子 正人(須坂)	戸谷(長工)	小林(中央)	2'32"8 戸谷 衛(長工)	小林(中央)	金子(須坂)
48	1'05"0 小林 朗(中央)	高山(長野)	永井(長工)	2'27"5 今井 誠(吉田)	小林(中央)	丸山(長商)
49	1'05"7 原 真治(長野)	小島(中央)	高山(長野)	2'28"1 山岸 文範(長野)	原(長野)	高山(長野)
50	1'05"8 北沢 進(須坂)	瀬在(中央)	稲玉(中央)	2'24"9 瀬在 良和(中央)	稲玉(中央)	北沢(須坂)
51	1'01"9 松井 敦典(屋代)	北沢(須坂)	倉島(屋代)	2'19"1 瀬在 良和(中央)	松井(屋代)	北沢(須坂)
52	1'02"2 松井 敦典(屋代)	有坂(中央)	堀内(須東)	2'17"7 松井 敦典(屋代)	有坂(中央)	堀内(須東)
53	1'01"85 永井 孝(長東)	中沢(屋代)	竹田(須坂)	2'19"95 中沢 毅一(屋代)	竹田(須坂)	笹沼(須東)
54	59"29 武田 浩(須坂)			2'15"89 武田 浩(須坂)		
55						
56	58"9 西沢 正樹(中央)	島田(屋代)	佐々木(中央)	2'12"0 西沢 正樹(中央)	佐々木(中央)	牧(中央)
57	57"9 西沢 正樹(中央)	杉崎(中央)	倉石(須東)	2'10"3 西沢 正樹(中央)	倉石(須東)	杉崎(中央)
58	59"4 倉石 誠(須東)	北野(中央)	本藤(長東)	2'14"4 西沢 浩文(須東)	倉石(須東)	笹沼(須東)
59	1'01"3 西島 宏之(中央)	宮原(屋代)	小池(吉田)	2'13"4 西沢 浩文(須東)	西島(中央)	山中(須東)
60	1'01"8 西沢 秀幸(中央)	山中(須東)	保谷(中央)	2'17"1 西沢 秀幸(中央)	山中(須東)	滝沢(屋代)

○昭和42年まで東北信高校水上大会、43年から北信高校水泳大会となる。

## (男子)

年度	400 m 自由形			1500 m 自由形		
	1 位	2 位	3 位	1 位	2 位	3 位
24	5'43" 2 藤家 衛(松尾)	松坂(長商)	山岸(須西)			
25	5'54" 0 荻原 (松尾)	伴野(野北)	佐藤(野北)	24'04" 2 佐藤 仁(野北)	石和(松尾)	西沢(松尾)
26	5'54" 0 山下 修(須西)	堀内(須西)	佐藤(野北)	23'34" 0 佐藤 仁(野北)	山下(須西)	桜井(野北)
27	5'37" 4 山下 修(須西)	桜井(野北)	佐々木(須西)			
28	5'42" 6 佐々木 登(須西)	中村(屋東)	小池(野北)	23'11" 0 佐々木 登(須西)	小池(野北)	小林(須西)
29	6'14" 0 小林 高晴(須西)	辻(野北)	宮尾(長北)	山下 修(須西)	桃井(野北)	佐々木(須西)
30						
31						
32	6'03" 3 河野 洋一(長野定)	丹野(野北)	清水(松屋)	24'24" 8 河野 洋一(長野定)	本井(長商)	島田(須西)
33	5'33" 2 河野 洋一(長野定)	清水(上田定)	丹野(野北)	23'37" 2 清水 伸(上田定)	丹野(野北)	片桐(飯北)
34	5'59" 2 三沢 守(須西)	石田(吉田)	西部(長商)	24'31" 8 西部 政則(長商)	三沢(須西)	清水(上田)
35	5'50" 0 原田 政志(長商)	中村(屋東)	高橋(屋東)	23'45" 8 原田 政志(長商)	中村(屋東)	高橋(屋東)
36	5'55" 4 原田 政志(長商)	原田(長商)	飯塚(須西定)	24'08" 6 原田 政志(長商)	原田(長商)	高橋(屋東)
37	5'46" 5 小山 澄(中央)	山崎(長商)	塚川(長商)	23'28" 8 塚川 孝幸(長商)	山崎(長商)	浦田(長商)
38	5'39" 4 小林 靖利(須西)	北野(須西)	笹岡(長野)	22'20" 3 北野 雄三(須西)	塚川(長商)	小林(須西)
39						
40	5'38" 1 角田 博(旭)	返町(長商)	善財(須坂)	22'30" 2 返町 芳男(長商)	宮島(中央)	市谷(長商)
41	5'29" 3 富井 寛(中央)	宮島(中央)	返町(長商)	21'50" 8 返町 芳男(長商)	宮島(中央)	中沢(屋代)
42	5'33" 2 富井 寛(中央)	清水(千曲)	坂口(中央)	22'11" 0 富井 寛(中央)	坂口(中央)	清水(千曲)
43	5'18" 0 三戸部正明(中央)	坂口(中央)	富井(飯北)	20'42" 5 三戸部正明(中央)	片山(長商)	坂口(中央)
44	5'07" 1 三戸部正明(中央)	永山(中央)	池田(中実)	19'48" 5 三戸部正明(中央)	永山(中央)	片桐(下農)
45	5'11" 1 伊藤 清(中央)	池田(中実)	永井(中央)	21'08" 1 伊藤 清(中央)	池田(中実)	永井(中央)
46	5'15" 3 伊藤 清(中央)	西沢(中央)	池田(中実)	21'27" 7 伊藤 清(中央)	池田(中実)	佐藤(中実)
47	5'29" 8 富井 博文(下農)	佐藤(中実)	今井(吉田)	21'55" 2 佐藤 清和(中央)	富井(下農)	原(長野)
48	5'21" 8 今井 誠(吉田)	角谷(中央)	原(長野)	21'39" 3 角谷 博一(中央)	浦壁(中央)	原(長野)
49	5'26" 7 角谷 博一(中央)	高橋(中央)	北沢(松代)	21'24" 3 角谷 博一(中央)	高橋(中央)	北沢(松代)
50	5'20" 5 高橋 浩一(中央)	平出(長商)	北沢(松代)	21'06" 4 高橋 浩二(中央)	平出(長商)	北沢(松代)
51	5'04" 4 高橋 浩一(中央)	有坂(長商)	丸山(吉田)	20'24" 5 高橋 浩二(中央)	有坂(中央)	丸山(吉田)
52						
53	5'10" 8 丸山 基志(吉田)			20'47" 37 丸山 基志(吉田)	桶田(長工)	若狭(屋代)
54	5'15" 48 南 信次( )			22'24" 81 佐々木 正仁(中央)		
55						
56	4'47" 8 笹沼 裕孝(須東)	牧(中央)	堅物(須東)	20'16" 7 笹沼 裕孝(須東)	堅物(須東)	塚田(中央)
57	4'52" 7 笹沼 裕孝(須東)	塚田(中央)	西島(中央)	19'00" 8 笹沼 裕孝(須東)	塚田(中央)	堅物(須東)
58	4'40" 7 笹沼 裕孝(須東)	塚田(中央)	小出(長南)	18'53" 6 塚田 政彦(中央)	小出(長南)	長沼(中央)
59	4'40" 6 西沢 浩文(須東)	小出(長南)	青沼(長野)	18'52" 8 小出 和仁(長南)	木内(中央)	青沼(長野)
60	4'42" 9 青沼陽一郎(長野)	小出(長南)	木内(中央)	18'40" 0 小出 和仁(長南)	木内(中央)	青沼(長野)

## (男子)

年度	100 m 平 泳 ぎ			200 m 平 泳 ぎ		
	1 位	2 位	3 位	1 位	2 位	3 位
24	1'23" 8 熊谷 久(須西)	林(上田松尾)	竹原(須西)	3'04" 0 熊谷 久(須西)	林(松尾)	綿貫(長農)
25				3'03" 0 熊谷 久(須西)	林(松尾)	辰野(長商)
26				3'13" 0 辻 松寿(野北)	辰野(長商)	石田(野北)
27				3'09" 6 伊藤 邦夫(長北)	小平(野北)	五明(長商)
28				3'12" 0 矢沢 正美(須西)	北村(須西)	辻(野北)
29	1'29" 8 矢沢 正美(須西)	木下(長工)	宮入(松尾)	3'17" 8 矢沢 正美(須西)	木下(長工)	五明(長商)
30						
31						
32	1'25" 6 小林 公幸(須西)	吉松(長商)	桜井(野北)	3'06" 6 小林 公幸(須西)	吉松(長商)	桜井(野北)
33	1'22" 4 吉松 雄一(長商)	小林(須西)	古川(長商)	3'06" 2 小林 公幸(須西)	吉松(長商)	滝沢(屋東)
34	1'27" 6 池田 隆(吉田)	佐藤(長工)	金沢(長商)	3'12" 2 佐藤 信孝(長野)	荻原(野北)	市川(須西)
35	1'25" 8 浦野 太郎(須西)	永井(長野 <sup>①</sup> )	佐藤(屋東)	3'04" 6 浦野 太郎(須西)	永井(長野 <sup>①</sup> )	平坂(長野)
36	1'25" 6 浦野 太郎(須西)	轟(長商)	佐藤(屋東)	3'09" 0 浦野 太郎(須西)	轟(長商)	平坂(長野)
37	1'27" 7 篠宮 俊昭(長商)	倉島(長商)	河野(野北)	3'12" 1 倉島 重利(長商)	篠宮(長商)	河野(野北)
38	1'24" 0 河野 亘(長商)	久保田(飯北)	森(下農)	3'02" 1 河野 亘(長商)	久保田(飯北)	森(下農)
39						
40	1'25" 4 山崎 盛雄(吉田)	岡本(千曲)	古谷(須坂)	3'02" 4 山崎 盛雄(吉田)	神田(須坂)	広瀬(長商)
41	1'22" 8 吉田 富造(中央)	広瀬(長商)	中村(長野)	3'03" 9 広瀬 秀樹(長商)	山崎(吉田)	吉田(中中)
42	1'22" 1 吉田 富造(中央)	広瀬(長商)	片桐(飯南)	2'59" 3 片桐 幸一(飯南)	吉田(中央)	矢田(屋代)
43	1'19" 6 片桐 幸市(照丘)	小川(吉田)	宮沢(須坂)	2'54" 7 片桐 幸市(照丘)	小川(吉田)	矢田(屋代)
44	1'19" 8 片桐 幸市(照丘)	竹井(下農)	山口(長工)	2'55" 0 片桐 幸市(照丘)	竹井(下農)	山口(長工)
45	1'19" 4 石井 孝男(中央)	竹井(下農)	町田(長商)	2'55" 1 竹井 正充(下農)	石井(中央)	町田(長商)
46	1'20" 4 石井 孝男(中央)	竹井(下農)	山崎(長工)	2'52" 9 石井 孝男(中央)	竹井(下農)	高木(屋代)
47	1'18" 3 石井 孝男(中央)	佐々木(中央)	北沢(須坂)	2'55" 0 石井 孝男(中央)	酒井(吉田)	佐々木(中央)
48	1'20" 8 佐々木正志(中央)	塚田(長商 <sup>①</sup> )	堀内(屋代)	2'55" 0 佐々木 正志(中央)	塚田(長商 <sup>①</sup> )	堀内(屋代)
49	1'17" 6 佐々木正志(中央)	岸本(中央)	北沢(須坂)	2'48" 1 佐々木 正志(中央)	徳武(中央)	岸本(中央)
50	1'19" 0 徳武 正俊(中央)	塚田(長商 <sup>①</sup> )	吉沢(屋代)	2'52" 4 徳武 正俊(中央)	吉沢(屋代)	関原(吉田)
51	1'17" 2 徳武 正俊(中央)	吉池(中央)	吉沢(屋代)	2'49" 7 吉沢 茂(屋代)	吉池(中央)	徳武(中央)
52	1'15" 4 吉池 秀之(中央)			吉池 秀之(中央)		
53	1'17" 25 小柳 利夫(中央)			2'52" 22 工藤 浩一(屋代)	清水(須東)	小柳(中央)
54	1'17" 86 宮沢 博(須坂)			2'54" 61 清水 治良(須坂)		
55						
56	1'20" 1 湯本 泉(須坂)	小古井(須坂)	井上(須坂)	2'56" 6 井上 繁樹(須坂)	小古井(須坂)	田島(屋代)
57	1'16" 8 粟谷 和弘(中央)	小林(長野)	竹内(須坂)	2'43" 3 粟谷 和弘(中央)	井上(須坂)	小林(長野)
58	1'16" 8 川田 勇一(屋代)	菅谷(中央)	菅谷(屋代)	2'48" 6 粟谷 和弘(中央)	菅谷(屋代)	宮本(長東)
59	1'15" 1 川田 勇一(屋代)	菅谷(屋代)	粟谷(中央)	2'46" 5 川田 勇一(屋代)	菅谷(屋代)	粟谷(中央)
60	1'14" 2 河西 篤(中央)	菅谷(屋代)	西島(中央)	2'40" 9 河西 篤(中央)	西島(中央)	神戸(長東)

## (男子)

年度	100m バタフライ			200m バタフライ		
	1位	2位	3位	1位	2位	3位
24						
25						
26						
27						
28						
29						
30						
31						
32	1'22" 4 角田 政男(長野定)	若山(松尾)	土屋(須西)	3'17" 7 土屋 明夫(須西)	田島(野北)	若山(松尾)
33	1'21" 2 角田 政男(長野定)	竜野(長野)	辻(野北)	3'14" 6 竹内 裕信(須西)	竜野(長野)	堀内(野北)
34	1'15" 6 池田 忠明(下農)	小林(長商)	北沢(長商定)	3'02" 4 小林 忠明(長商)	辻(野北)	北沢(長商定)
35	1'17" 6 北沢 慎二(長商定)	竹村(須西)	辻(野北)	3'14" 6 辻 武志(野北)	毛呂(長商)	竹村(須西)
36	1'16" 0 北沢 慎二(長商定)	水野(野北)	毛呂(長商)	3'09" 2 木村 俊雄(須西)	毛呂(長商)	北沢(長商定)
37	1'16" 8 水野 忠之(野北)	岩佐(長商)	山岸(須西)	3'11" 0 岩佐 義彦(長商)	水野(野北)	山岸(須西)
38	1'12" 3 岩佐 義彦(長商)	若林(長野)	大津(野北)	2'45" 4 岩佐 義彦(長商)	大津(野北)	善財(須西)
39						
40	1'12" 8 上野 国久(中央)	杉山(飯北)	水野(野北)	2'51" 6 杉山 博基(飯北)	上野(中央)	瀬在(中央)
41	1'12" 6 上野 国久(中央)	杉山(飯北)	大野(千曲)	2'49" 8 杉山 博基(飯北)	上野(中央)	大野(中央)
42	1'16" 5 白田 行孝(野北)	塩野入(屋代)	西沢(長商)	2'56" 1 塩野入 正(屋代)	西沢(長商)	白田(野北)
43	1'13" 9 塩野入 正(屋代)	河野(中実)	三田村(長野)	2'47" 6 塩野入 正(屋代)	三田村(長野)	唐沢(吉田)
44	1'12" 5 河野 晴樹(中実)	畔上(照丘)	唐沢(吉田)	2'58" 1 畔上 新一(照丘)	唐沢(吉田)	松内(屋代)
45	1'13" 2 河野 晴樹(中実)	塚川(中央)	宮下(屋代)	2'51" 4 竹井 昇(下農)	塚川(中央)	宮下(屋代)
46	1'12" 9 原 政弘(中央)	松内(屋代)	宮下(屋代)	2'46" 9 原 政弘(中央)	松内(屋代)	鎌田(中央)
47	1'13" 4 原 政弘(中央)	片桐(飯北)	宮下(屋代)	2'49" 1 原 政弘(中央)	片桐(飯北)	大塚(中央)
48	1'11" 2 大塚 一弘(中央)	片桐(飯北)	竹内(中央)	2'46" 6 大塚 一弘(中央)	片桐(飯北)	竹内(中央)
49	1'07" 2 大塚 一弘(中央)	片桐(飯北)	竹内(中央)	2'30" 3 大塚 一弘(中央)	片桐(飯北)	竹内(中央)
50	1'09" 4 竹内 央(中央)	斉藤(屋代)	宮下(中央)	2'38" 7 竹内 央(中央)	斉藤(屋代)	宮下(中央)
51	1'09" 5 斉藤 憲造(屋代)	上野(飯北)	宮下(中央)	2'38" 0 斉藤 憲造(屋代)	上野(飯北)	宮下(中央)
52				2'34" 8 上野 正夫(飯北)	小林(須坂)	増田(長工)
53	1'05" 91 上野 正夫(飯北)	増田(長工)	岡部(須坂)	2'30" 0 上野 正夫(飯北)	増田(長工)	藤巻(長野)
54	1'07" 89 増田 誠(長工)			2'42" 4 増田 誠(長工)		
55						
56	1'05" 2 吉沢 薫(中央)	内山(中央)	金井(中央)	2'25" 4 内山 博幸(中央)	吉沢(中央)	杉崎(中央)
57	1'02" 1 吉沢 薫(中央)	内山(中央)	福井(屋代)	2'15" 5 吉沢 薫(中央)	内山(中央)	福井(屋代)
58	1'01" 8 吉沢 薫(中央)	湯本(須坂)	福井(屋代)	2'15" 6 吉沢 薫(中央)	福井(屋代)	湯本(須坂)
59	1'07" 1 青木 修一(須東)	福井(屋代)	竹内(屋代)	2'40" 8 細谷 司(須東)	青木(須東)	竹内(屋代)
60	1'03" 9 青木 修一(須東)	星野(中央)	窪田(長野)	2'21" 4 星野 英明(中央)	青木(須東)	細谷(須東)

## (男子)

年度	100 m 背 泳 ぎ			500 m 背 泳 ぎ		
	1 位	2 位	3 位	1 位	2 位	3 位
24	1'22" 8 中村 理一(須西)	高橋(須西)	細尾(屋東)	(36" 6) 高橋 丈夫(須西)	中村(須西)	金井(長農)
25	1'27" 6 春原 滋(長北)	金井(須西)	関口(野北)	(38" 4) 春原 滋(長北)	関口(野北)	金井(須西)
26	1'26" 8 小野沢 洋(松尾)	金井(須西)	長田(須西)	(38" 4) 山岸 道弘(松尾)	小野沢(松尾)	金井(須西)
27	1'29" 6 胡桃 和夫(長商)	桃井(野北)	近藤(長工)	3'18" 4 佐藤 昌(長北)	桃井(野北)	胡桃(長商)
28	1'29" 6 佐藤 昌(長北)	近藤(長工)	石谷(長北)	3'13" 8 高橋 一雄(長工)	佐藤(長北)	石谷(長北)
29	1'24" 8 滝沢 武(松尾)	佐藤(長北)	高橋(長工)	3'08" 0 滝沢 武(松尾)	佐藤(長北)	高橋(長工)
30						
31						
32	1'25" 8 黒沢 清治(野北)	岡谷(吉田)	滝沢(上田)	3'11" 8 岡谷 重徳(吉田)	黒沢(野北)	大日方(長野)
33	1'24" 6 黒沢 清治(野北)	宮沢(吉田)	大日方(長野)	3'06" 0 倉石進次郎(須西)	吉沢(上田)	大日方(長野)
34	1'22" 8 倉石進次郎(須西)	宮沢(吉田)	金沢(須西)	2'58" 0 倉石進次郎(須西)	宮尾(長野)	宮沢(吉田)
35	1'19" 0 倉石進次郎(須西)	山崎(屋東)	小池(須西)	2'49" 0 倉石進次郎(須西)	東山(野北)	山崎(屋東)
36	1'23" 0 小池五十二(須西)	中村(上田)	小林(須西)	3'00" 2 小池五十二(須西)	中村(上田)	小林(須西)
37	1'19" 5 神田 栄司(須西)	丸山(長商)	浅沼(野北)	2'59" 0 神田 栄司(須西)	丸山(長商)	浅沼(野北)
38	清水 栄二(長商)	浅沼(野北)	山川(北部)	2'51" 9 清水 栄二(長商)	浅沼(野北)	風間(長工)
39						
40	1'20" 0 柳沢 光(野北)	青木(長商)	江口(須坂)	2'51" 6 柳沢 光(野北)	望月(飯北)	青木(長商)
41	1'18" 7 青木 博(長商)	江口(須坂)	望月(飯北)	2'50" 9 望月 喜好(飯北)	青木(長商)	江口(須坂)
42	1'19" 5 丸田 進(千曲)	望月(飯北)	富井(埴生)	2'49" 2 望月 喜好(飯北)	富井(埴生)	富井(下農)
43	1'20" 1 市川美壽男(屋代)	富井(埴生)	杉山(屋代)	2'52" 4 富井 和明(埴生)	神林(中央)	富井(照丘)
44	1'15" 1 長田 孝男(中央)	酒井(屋代)	神林(中央)	2'41" 5 長田 孝雄(中央)	神林(中央)	酒井(屋代)
45	1'11" 3 長田 孝男(中央)	佐藤(中央)	酒井(屋代)	2'37" 2 長田 孝雄(中央)	佐藤(中央)	酒井(屋代)
46	1'18" 1 酒井 肇(屋代)	門脇(中実)	五明(中央)	2'48" 6 門脇誠一郎(中実)	五明(中央)	酒井(屋代)
47	1'15" 0 五明 浩之(中央)	北原(中央)	笠原(屋代)	2'35" 0 五明 浩之(中央)	北原(中央)	笠井(屋代)
48	1'17" 0 北原 隆(中央)	笠井(屋代)	竹村(長商)	2'47" 7 北原 隆(中央)	笠井(屋代)	竹村(長商)
49	1'12" 9 芳賀 正人(中央)	上野(飯北)	寺沢(松代)	2'38" 6 芳賀 正人(中央)	上野(飯北)	笠井(屋代)
50	1'11" 3 芳賀 正人(中央)	上野(飯北)	吉村(中実)	2'34" 0 芳賀 正人(中央)	上野(飯北)	吉村(中央)
51	1'12" 4 芳賀 正人(中央)	上野(飯北)	小山(中央)	2'37" 5 芳賀 正人(中央)	上野(飯北)	小山(中央)
52				2'40" 5 小山 正文(中央)	香山(中央)	宮坂(屋代)
53	1'11" 84 香山 弘幸(中央)			2'37" 88 香山 弘幸(中央)	宮坂(屋代)	島田(屋代)
54	1'15" 94 津神 達行(中央)			2'48" 69 津神 達行(中央)		
55						
56	1'07" 5 津神 達行(中央)	河原田(中央)	武江(中央)	2'29" 6 津神 達行(中央)	河原田(中央)	武江(中央)
57	1'07" 6 河原田信彦(中央)	武江(中央)	中島(吉田)	2'33" 1 河原田信彦(中央)	武江(中央)	児玉(須坂)
58	1'09" 7 武江二三八(中央)	一由(中央)	児玉(須坂)	2'32" 6 武江二三八(中央)	一由(中央)	児玉(須坂)
59	1'09" 9 児玉 基昭(須坂)	一由(中央)	窪田(長野)	2'31" 7 一由 和宏(中央)	杉浦(中央)	畑田(長商)
60	1'08" 3 一由 和宏(中央)	杉浦(中央)	小林(中央)	2'27" 3 一由 和宏(中央)	杉浦(中央)	小林(中央)

## (男子)

年度	200 m 個人メドレー			400 m 個人メドレー		
	1 位	2 位	3 位	1 位	2 位	3 位
24						
25						
26						
27						
28						
29						
30						
31						
32						
33						
34						
35						
36						
37				6'55" 1 若林 雅彦(長野)	中野(長商)	飯塚(須西(定))
38				6'19" 2 伊藤 一男(長商)	若林(長野)	浦田(長商)
39						
40	2'56" 8 河野 次郎(飯北)	神田(須坂)	腰原(城南)	6'37" 2 河野 次郎(飯北)	腰原(城南)	小山(長商)
41	2'56" 5 柴本 仁志(須坂)	寺沢(長野)	腰原(城南)	6'34" 2 柴本 仁志(須坂)	寺沢(長野)	腰原(城南)
42	2'58" 5 藤原 正明(城南)	森山(千曲)	佐藤(長野)	6'29" 6 藤原 正明(城南)	森山(千曲)	西沢(中央)
43	2'55" 9 河野 晴樹(中実)	片桐(中央)	西沢(中央)	6'30" 9 西沢久仁夫(中央)	片桐(中央)	堀内(屋代)
44	2'45" 2 小林 健治(中央)	塚川(中央)	小林(吉田)	6'03" 6 小林 健治(中央)	塚川(中央)	堀内(屋代)
45	2'42" 9 小林 健治(中央)	竹井(下農)	丸山(中央)	5'43" 6 小林 健治(中央)	丸山(中央)	金井(中実)
46	2'38" 2 小林 健治(中央)	竹井(下農)	鎌田(中央)	5'41" 2 小林 健治(中央)	竹井(下農)	藤沢(飯北)
47	2'45" 7 竹井 昇(下農)	藤沢(飯北)	松本(長工)	5'53" 3 竹井 昇(下農)	藤沢(飯北)	松本(長工)
48	2'45" 3 岡沢 茂(須坂)	小島(中央)	小林(須坂)	5'52" 7 岡沢 茂(須坂)	小島(中央)	松本(松代)
49	2'36" 4 岡沢 茂(須坂)	稲玉(中央)	小浜(長野)	5'33" 9 岡沢 茂(須坂)	稲玉(中央)	小浜(長野)
50	2'39" 4 岡沢 茂(須坂)	湯本(飯北)	倉島(屋代)	5'42" 1 岡沢 茂(須坂)	羽田(屋代)	湯本(飯北)
51	2'44" 1 小林 崇男(須坂)	北沢(松代)	加藤(坂城)	6'01" 0 加藤 秀之(坂城)	野本(屋代)	山上(屋代)
52	2'42" 2 渡辺 茂充(須坂)	羽田(屋代)	山上(屋代)			
53	2'32" 69 渡辺 茂充(須坂)	梅木(中央)	永井(長東)	5'39" 14 渡辺 茂充(須坂)		
54	2'37" 45 梅木 伸二(中央)			5'43" 32 梅木 伸二(中央)		
55						
56	2'37" 1 角田 幸繁(中央)	本道(長東)	松川(長東)	5'37" 2 角田 幸繁(中央)	高野(長東)	竹井(飯北)
57	2'30" 5 角田 幸繁(中央)	西原(須東)	高野(長東)	5'22" 3 角田 幸繁(中央)	西原(須東)	高野(長東)
58	2'29" 7 角田 幸繁(中央)	西原(須東)	高野(長東)	5'17" 8 角田 幸繁(中央)	西原(須東)	川田(屋代)
59	2'32" 3 西原 良一(須東)	岩崎(中央)	慶本(須坂)	5'33" 6 西原 良一(須東)	岩崎(中央)	前田(屋代)
60	2'32" 8 岩崎 仁(中央)	増田(中央)	山口(中央)	5'25" 9 岩崎 仁(中央)	増田(中央)	前田(屋代)

## (男子)

年度	(200) 400)m リレー			800 m リレー		
	1 位	2 位	3 位	1 位	2 位	3 位
24	(2'08"0) 須坂西	上田松尾	長野商			
25	(2'06"0) 須坂西	上田松尾	屋代東			
26	(2'07"8) 須坂西	屋代東	長野北			
27	(2'07"0) 須坂西	長野北	長野商			
28	(2'05"2) 長野北	須坂西	長野商			
29	(2'09"0) 須坂西	長野農	長野北			
30						
31						
32				11'48"4 須坂西	長野野	野沢北
33				11'35"0 須坂西	野沢北	屋代東
34				11'17"0 須坂西	長野商	屋代東
35				11'24"2 須坂西	屋代東	長野商
36	4'55"6 長野商	屋代東	長野	11'08"0 長野商	屋代東	長野
37	4'44"1 長野商	屋代東	須坂西	11'03"6 長野商	長野	屋代東
38	4'36"9 長野商	須坂西	長野	10'30"9 長野商	須坂西	長野
39						
40	4'50"3 上田千曲	長野商	須坂	10'55"9 長野商	中央	須坂
41	4'45"6 長野中央	長野商	屋代	10'45"6 長野中央	須坂	長野商
42	4'36"8 長野中央	上田	屋代	10'32"9 長野中央	屋代	長野商
43	4'34"0 長野中央	長野商	飯山北	10'17"0 長野中央	長野商	飯山北
44	4'36"2 長野中央	長野商	飯山北	9'59"5 長野中央	長野商	須坂
45	4'35"9 中野実	中央	屋代	9'58"0 長野中央	屋代	長野商
46	4'25"5 長野中央	中野実	屋代	10'05"9 長野中央	屋代	須坂
47	4'37"6 長野中央	長野	長野工	10'27"0 長野中央	長野工	長野
48	4'36"0 長野中央	長野工	長野	10'25"1 長野中央	長野商	須坂
49	4'31"0 長野中央	須坂	長野工	10'18"7 長野中央	長野	須坂
50	4'25"4 須坂	中央	屋代	9'56"4 長野中央	須坂	屋代
51	4'19"6 長野中央	須坂	屋代	9'36"4 長野中央	屋代	須坂
52	4'18"4 須坂	屋代	長野商			
53	4'24"31 屋代	須坂東	須坂	9'54"69 屋代		
54	4'23"93 長野中央			9'45"68 長野中央		
55						
56	3'59"4 長野中央	長野東	屋代	9'10"6 長野中央	長野東	屋代
57	4'03"7 長野中央	須坂東	長野東	9'01"6 長野中央	須坂東	長野東
58	4'04"4 長野中央	須坂東	屋代	8'51"2 須坂東	中央	屋代
59	4'09"8 須坂東	中央	長野	9'14"4 須坂東	中央	屋代
60	4'11"0 長野中央	長野	須坂東	9'13"7 長野中央	須坂東	屋代

## (男子)

## (女子)

北信春季大会(女子)

年度	(300/400)m メドレーリレー			100m 自由形		
	1位	2位	3位	1位	2位	3位
24	(3'59"6) 須坂西	上田松尾	長野工			
25	(4'01"8) 須坂西	上田松尾	屋代東	1'44"0 田村英子(市立)	丸山(市立)	中村(市立)
26	(4'08"0) 須坂西	長野商	野沢北	1'33"0 竹花順子(長商)	丸山(市立)	中村(長西)
27	(4'09"0) 須坂西	長野北	長野工	1'38"0 荒井けさ子(長西)	山口(家政)	守各(長西)
28	(4'08"0) 須坂西	長野北	長野工	1'40"8 宮崎多加子(長西)	清水(長西)	—
29	(4'07"8) 須坂西	長野北	長野工	1'40"2 宮崎多加子(長西)	清水(長西)	—
30						
31						
32	5'46"5 須坂西	野沢北	上田松尾	1'27"8 佐藤優子(北部)	片桐(飯南)	岡村(須商)
33	5'32"0 須坂西	長野	野沢北	1'46"8 宮沢和子(長西)	小出(長西)	飯島(長西)
34	5'30"6 須坂西	長野商	長野	1'44"8 横谷節子(長西)	難波(女子)	富井(飯南)
35	5'19"8 須坂西	長野商	野沢北	1'42"6 横谷節子(長西)	荒川(長西)	青沼(飯南)
36	5'31"8 須坂西	長野	屋代東	1'31"6 片山千恵(長西)	長田(女子)	—
37	5'21"5 長野商	須坂西	野沢北	1'29"0 鈴木はるみ(長商)	河野(飯南)	滝沢(千曲)
38	5'08"0 長野商	須坂西	長野	1'26"4 河野敦子(飯南)	倉科(長商)	滝沢(千曲)
39	5'05"6 長野中央	照丘	屋代			
40	5'17"2 野沢北	須坂中	中央	1'21"1 山崎房子(飯北)	凜(千曲)	栗田(長商)
41	5'10"5 須坂中	中央	長野商	1'22"3 松原千寿子(文化)	凜(千曲)	久保田(長商)
42	5'15"5 屋代	長野商	野沢北	1'19"2 松原千寿子(文化)	凜(千曲)	高橋(文化)
43	5'12"0 屋代	中央	吉田	1'15"5 松原千寿子(文化)	本藤(皐月)	大日方(長西)
44				1'07"0 本藤いち子(皐月)	根岸(長西)	大日方(長西)
45	4'44"3 長野中央	屋代	中野実	1'17"2 本藤いち子(皐月)	上野(長西)	根岸(長西)
46	4'57"0 長野中央	屋代	下高農	1'17"8 宮下玲子(長西)	上沢(文化)	宮下(文化)
47	4'56"7 長野中央	飯山北	屋代	1'16"0 西洋子(皐月)	宮下(文化)	上沢(文化)
48	5'05"9 長野中央	須坂	長野	1'15"4 武居宏子(皐月)	宮下(文化)	吉原(長西)
49	4'51"4 長野中央	須坂	屋代	1'14"0 武居宏子(皐月)	山田(皐月)	吉原(長西)
50	4'49"9 長野中央	須坂	屋代	1'08"9 武居宏子(皐月)	山下(屋代)	宮沢(松代)
51	4'48"4 長野中央	飯山北	屋代	1'15"1 山下智子(屋代)	霜村(皐月)	掛川(須東)
52	4'47"7 屋代	中央	須坂	1'10"9 山下智子(屋代)	片桐(須坂)	渡部(皐月)
53	4'49"84 長野中央	須坂	長野東	1'06"58 三井久仁子(中央)	北原(長東)	渡部(皐月)
54	4'52"95 長野中央			1'06"55 吉池美香(中央)		
55						
56	4'42"0 長野中央	長野東	屋代	1'16"4 岸千寿子(飯北)	宮下(長東)	柳沢(須東)
57	4'33"8 長野中央	長野東	須坂	1'09"0 箕輪仁恵(中央)	小林(文化)	柳沢(須東)
58	4'27"7 長野中央	須坂	屋代	1'08"1 土屋和代(中央)	山下(須東)	内藤(中央)
59	4'39"5 長野中央	屋代	須坂東	1'06"1 上松好江(中央)	山下(須東)	箕輪(中央)
60	4'34"2 長野中央	屋代	長野東	1'05"3 上松好江(中央)	吉沢(長東)	北野(須東)

## (女子)

年度	200 m 自由形			400 m 自由形		
	1 位	2 位	3 位	1 位	2 位	3 位
24						
25						
26						
27						
28						
29				8'22" 8 清水 秀子(長西)	宮崎(長西)	—
30						
31						
32				7'25" 2 片桐 知子(飯南)	—	—
33	3'28" 6 片桐 知子(飯南)	飯島(飯南)	—	7'13" 8 片桐 知子(飯南)	—	—
34	3'28" 4 片桐 知子(飯南)	富井(飯南)	西尾(長西)	7'14" 6 片桐 知子(飯南)	—	—
35	3'44" 6 西尾 道(長西)	横谷(長西)	中村(長西)	8'06" 4 西尾 道(長西)	中村(長西)	—
36				7'34" 2 片山 千恵(長西)	—	—
37	3'25" 5 鈴木はるみ(長商)	河野(飯南)	滝沢(千曲)	7'28" 4 片山 千恵(長西)	倉科(長商)	小日方(長商)
38	3'12" 2 河野 敦子(飯南)	河野(飯南)	倉科(長商)	7'00" 2 河野二三子(飯南)	鈴木(長商)	滝沢(千曲)
39						
40	2'57" 3 山崎 房子(飯北)	河野(飯南)	栗田(長商)	7'05" 8 河野 敦子(飯南)	玉井(長商)	山崎(長西)
41	3'08" 4 松原千寿子(文化)	湊(千曲)	野崎(飯南)	6'12" 7 山崎 房子(飯北)	玉井(長商)	野崎(飯南)
42	3'19" 4 湊 みづえ(千曲)	高橋(文化)	野崎(飯南)	6'10" 6 山崎 房子(飯北)	松原(文化)	大日方(長西)
43	3'06" 4 本藤いち子(皐月)	田崎(長西)	間間(文化)	6'49" 7 田崎枝見子(長西)	宮坂(文化)	中沢(長西)
44	2'58" 3 本藤いち子(皐月)	田崎(長西)	宮下(長西)	6'36" 9 田崎枝見子(長西)	町田(長西)	小山(長商)
45	2'59" 9 本藤いち子(皐月)	高橋(飯南)	根岸(長西)	6'26" 9 町田 和美(長西)	宮下(長西)	畔上(飯北)
46	2'58" 0 宮下 玲子(長西)	六川(皐月)	河野(中実)	6'34" 6 掛川美奈子(文化)	林(皐月)	長嶺(飯南)
47	2'53" 0 宮下 道子(文化)	西(皐月)	宮崎(飯北)	6'16" 8 宮崎佐和子(飯北)	六川(皐月)	掛川(文化)
48	2'48" 7 武居 宏子(皐月)	宮下(文化)	吉原(長西)	6'04" 3 宮崎佐和子(飯北)	宮原(皐月)	中沢(松代)
49	2'43" 1 武居 宏子(皐月)	山田(皐月)	高木(飯北)	6'18" 7 片桐 裕子(飯北)	掛川(須東)	中沢(松代)
50	2'33" 6 武居 宏子(皐月)	掛川(須東)	山下(屋代)	5'53" 9 黒岩 寿代(須東)	小宮山(皐月)	霜村(皐月)
51	2'50" 1 霜村 一江(皐月)	掛川(須東)	山下(屋代)	5'31" 5 小林さとみ(長商)	小宮山(皐月)	緑川(屋代)
52	2'36" 7 山下 智子(屋代)	三井(中央)	渡部(皐月)	5'27" 4 小林さとみ(長商)	小宮山(皐月)	緑川(屋代)
53	2'29" 8 三井久仁子(中央)	新井(皐月)	田中(中央)	5'23" 14 吉池 美香(中央)	小出(篠ノ井)	湯本(中央)
54	2'25" 94 三井久仁子(中央)	湯本(中央)	田中(中央)	5'13" 79 吉池 美香(中央)	湯本(中央)	小池(篠ノ井)
55						
56	2'33" 4 植原満貴子(中央)	小畑(須東)	村松(松代)	5'47" 6 村松みどり(松代)	小田(須坂)	小出(屋代)
57	2'31" 1 箕輪 仁恵(中央)	小林(文化)	柳沢(須東)	5'00" 6 山崎美代子(須東)	内藤(中央)	小出(篠ノ井)
58	2'24" 6 土屋 和代(中央)	内藤(中央)	柳沢(須東)	5'09" 9 山崎美代子(須東)	小出(篠ノ井)	柳沢(須東)
59	2'24" 2 上松 好江(中央)	箕輪(中央)	北野(須東)	4'55" 1 山崎美代子(須東)	内藤(中央)	小出(篠ノ井)
60	2'22" 3 上松 好江(中央)	吉沢(長東)	北野(須東)	5'30" 2 南 麻里(須坂)	永田(須東)	柳沢(須東)

## (女子)

年度	(50) 800 m 自由形			100 m 平泳ぎ		
	1 位	2 位	3 位	1 位	2 位	3 位
24						
25	(41*2) 田村 英子(市立)	丸山(市立)	荒井(長西)			
26	(41*0) 竹花 順子(長商)	荒井(長西)	上野(長西)	1'56*8 宮沢 準子(市立)	湯田(長西)	清水(長商)
27	(41*2) 荒井けさ子(長西)	丸山(市立)	霜村(市立)	飯吉 久子(長家政)	北原(須東)	仁科(長家政)
28	(53*8) 岡村 雪江(長西)	横山(長西)	—			
29	(48*0) 佐藤 道子(長西)	野口(長西)	—	1'55*4 野口 京子(長西)	上野(松尾)	阿部(長商)
30						
31						
32	(39*4) 佐藤 俊子(北部)	岡村(須商)	飯島(長西)	2'21*0 青木 恵子(女子)	石丸(長西)	山田(長西)
33	(43*0) 宮沢 和子(長西)	難波(女子)	横谷(長西)	2'04*0 石丸 市子(長西)	高橋(女子)	土谷(長西)
34	(44*6) 西尾 道(長西)	難波(女子)	中村(長西)	1'56*0 富井 弘子(飯南)	河野(飯南)	宮島(長西)
35	(47*0) 荒川 隆子(長西)	青沼(長西)	坂口(女子)	1'52*0 河野 文江(飯北)	堀内(長野)	倉石(長西)
36	(59*5) 長田 友子(女子)	—	—	1'41*0 堀内 勇子(長野)	名倉(長西)	高橋(長西)
37	15'26*0 片山 千恵(長西)	倉科(長商)	小日方(長商)	1'42*9 河野 光子(飯南)	篠原(長商)	藤沢(長西)
38	15'26*1 鈴木はるみ(長商)	小日方(長商)	—	1'40*2 松林みどり(長商(定))	小島(長商)	篠原(長商)
39						
40	15'52*2 玉井 敬子(長商)	西村(長西)	柳沢(長西)	1'37*4 小島高洋子(長西)	佐藤(飯北)	—
41	12'29*5 山崎 房子(飯北)	山崎(長西)	玉井(長商)	1'35*5 佐藤 高子(飯北)	富井(下農)	鈴木(長西)
42	12'50*9 山崎 房子(飯北)	山崎(長西)	野崎(飯南)	1'37*6 大森恵美子(千曲)	竹腰(文化)	鈴木(長西)
43	12'46*9 松原千寿子(文化)	大日方(長西)	町田(長西)	1'36*7 杉山 典子(飯北)	鈴木(長西)	桜井(長西)
44	13'43*4 町田 和美(長西)	高橋(飯南)	江守(皐月)	1'37*6 吉田 範子(長商)	東沢(長西)	真島(長西)
45	13'17*0 高橋 恵子(飯南)	町田(長西)	畔上(飯北)	1'39*5 東沢 幸子(長西)	長沢(文化)	坂口(長西)
46	13'30*6 掛川美奈子(文化)	林(皐月)	藤枝(長商)	1'36*3 倉科かず子(長商)	長沢(文化)	東沢(長西)
47	13'01*1 六川とし子(皐月)	掛川(文化)	長嶺(飯南)	1'35*5 堀込 道子(皐月)	中村(松代)	畑田(皐月)
48	12'37*3 宮崎佐和子(飯北)	宮原(皐月)	中沢(松代)	1'34*3 畑田 光子(皐月)	中村(松代)	千野(皐月)
49	12'56*0 片桐 裕子(飯北)	中沢(松代)	山上(松代)	1'29*9 平林 百栄(文化)	中村(松代)	竹内(皐月)
50	12'04*2 黒岩 寿代(須東)	小宮山(皐月)	緑川(屋代)	1'27*6 平林 百栄(文化)	土肥(皐月)	宮沢(長商)
51	11'20*8 小林さとみ(長商)	小宮山(皐月)	内堀(須東)	1'27*6 土肥婦久美(皐月)	宮沢(長商)	日野(長商)
52	11'04*9 小林さとみ(長商)	小宮山(皐月)	緑川(屋代)	1'36*6 金田あつ子(皐月)	松本(長東)	中村(長商)
53	11'05*90 吉池 美香(中央)	湯本(中央)	小出(篠ノ井)	1'30*25 大友まゆみ(屋代)	牧(須東)	重田(文化)
54	11'15*03 小出栄美子(篠ノ井)	檀原(中央)	中牧(皐月)	1'28*40 牧 恵美子(須東)	大友(屋代)	松山(屋代)
55						
56	11'22*8 吉原 節子(須東)	木下(須東)	小出(屋代)	1'24*3 井原いずみ(須東)	松山(屋代)	笠原(中央)
57	9'52*7 山崎美代子(須東)	内藤(中央)	小出(篠ノ井)	1'21*1 増田 玲子(中央)	井原(須東)	宮川(篠ノ井)
58	10'49*9 山崎美代子(須東)	小出(篠ノ井)	湯沢(須東)	1'22*1 増田 玲子(中央)	井原(須東)	高見沢(中央)
59	9'52*2 山崎美代子(須東)	内藤(中央)	小出(篠ノ井)	1'22*3 増田 玲子(中央)	高見沢(中央)	県(吉田)
60	10'57*0 角田まゆみ(中央)	丸山(中央)	永田(須東)	1'23*5 高見沢映子(中央)	県(吉田)	宮沢(長野)

## (女子)

年度	200 m 平 泳 ぎ			100 m バタフライ		
	1 位	2 位	3 位	1 位	2 位	3 位
24						
25						
26						
27						
28						
29	4'16"6 野口 京子(長西)	上野(松尾)	阿部(長商)			
30						
31						
32	5'36"6 青木 恵子(女子)	—	—			
33	4'31"2 石丸 市子(長西)	—	—			
34	4'11"2 河野 孝子(飯南)	宮島(長西)	富井(長西)	2'10"0 河野 文江(飯北)	—	—
35	4'26"8 堀内 勇子(長野)	高橋(女子)	倉石(長西)	—	—	—
36	3'42"5 堀内 勇子(長野)	—	—	2'03"9 河野ふみ子(飯南)	—	—
37	3'39"8 河野 光子(飯南)	篠原(長商)	名倉(長西)	1'45"5 小林球美子(飯北)	西方(飯南C辺)	—
38	3'36"0 松林みどり(長商)	篠原(長商)	藤沢(長西)	1'54"5 小林球美子(飯北)	—	—
39						
40	3'29"6 佐藤 高子(飯北)	小島(長西)	半田(長西)	1'56"1 小川 晴美(長商)	片桐(下農)	西沢(長西)
41	3'18"8 佐藤 高子(飯北)	関(長西)	富井(下農)	1'42"3 片桐 知子(下農)	西村(長西)	畔上(飯南)
42	3'29"5 大森恵美子(千曲)	竹腰(文化)	桜井(長西)	1'45"2 片桐 知子(下農)	関(長西)	玉井(長商)
43	3'27"9 杉山 典子(飯北)	鈴木(長西)	桜井(長西)	1'47"2 山根 久代(照丘)	高橋(長商)	関(長西)
44	3'30"3 吉田 範子(長商)	東沢(長西)	長沢(文化)	1'42"7 山根 久代(照丘)	高橋(長商)	宮本(長西)
45	3'30"7 東沢 幸子(長西)	長沢(文化)	坂口(長西)	1'37"7 高橋りえ子(長商)	山根(照丘)	宮本(長西)
46	3'24"6 長沢千恵子(文化)	東沢(長西)	倉科(長商)	1'27"7 岩島あき江(長西)	武田(皐月)	宮沢(皐月)
47	3'24"8 堀込 道子(皐月)	中村(松代)	千野(皐月)	1'25"0 武田己根子(皐月)	上屋(皐月)	宮沢(皐月)
48	3'19"0 千野 雅子(皐月)	中村(松代)	平林(文化)	1'30"3 土屋 光子(皐月)	河野(下農)	正村(長西)
49	3'12"4 平林 百栄(文化)	中村(松代)	千野(皐月)	1'27"8 土屋 光子(皐月)	金箱(松代)	吉原(皐月)
50	3'13"1 平林 百栄(文化)	土肥(皐月)	宮沢(長商)	1'23"5 成田すわみ(長西)	伝田(長東)	塚田(皐月)
51	3'15"3 土肥婦久美(皐月)	宮沢(長商)	日野(長商)	1'24"5 成田すわみ(長西)	山田(皐月)	伝田(長東)
52	3'25"4 金田あつ子(皐月)	松本(長東)	黒岩(屋代)	1'29"9 池田 礼子(須東)	湯本(皐月)	吉沢(須東)
53	3'15"48 大友まゆみ(屋代)	牧(須東)	金田(皐月)	1'27"52 中島 明美(皐月)	吉沢(須東)	湯本(須東)
54	3'09"64 牧 恵美子(須東)	大友(屋代)	松山(屋代)	1'28"55 湯本 光江(皐月)	田村(長西)	酒井(松代)
55						
56	2'59"1 井原いずみ(須東)	松山(屋代)	笠原(中央)	1'15"4 中野 浩子(文化)	宮下(長東)	町田(皐月)
57	2'54"8 井原いずみ(須東)	増田(中央)	宮川(篠井)	1'16"5 井出 雅子(長野)	中野(文化)	中村(須東)
58	2'54"5 増田 玲子(中央)	井原(須東)	高見沢(中央)	1'15"7 井出 雅子(長野)	中村(須東)	山崎(松代)
59	2'55"6 高見沢映子(中央)	増田(中央)	布施谷(中央)	1'10"5 宮沢 宏枝(中央)	井出(長野)	西沢(長野)
60	2'55"5 高見沢映子(中央)	県(吉田)	湯本(須東)	1'08"5 宮沢 宏枝(中央)	大羽(須東)	高野(中央)

## (女子)

年度	200 m バタフライ			100 m 背泳ぎ		
	1 位	2 位	3 位	1 位	2 位	3 位
24						
25				(53 <sup>o</sup> 2) 池田 (市立)	長崎 (市立)	
26				(52 <sup>o</sup> 0) 松下壽代子 (市立)	守屋 (守屋)	中村 (長西)
27				(53 <sup>o</sup> 0) 丸山 良子 (市立)	成沢 (須東)	守屋 (長西)
28				(51 <sup>o</sup> 8) 庄村 芳子 (長西)	—	—
29						
30						
31						
32				(49 <sup>o</sup> 8) 野田 節子 (長西)	宮下 (長商)	小日向 (北部)
33				1'50 <sup>o</sup> 2 野田 節子 (長西)	渡辺 (長西)	小日向 (北部)
34				1'59 <sup>o</sup> 6 原田 光子 (文化)	長坂 (長西)	田中 (文化)
35				1'56 <sup>o</sup> 2 原田 光子 (文化)	塚田 (長西)	浅川 (女子)
36				1'51 <sup>o</sup> 2 池田 紀子 (飯南)	浅川 (女子)	原田 (文化)
37	4'08 <sup>o</sup> 0 小林球美子 (飯北)	—	—	1'41 <sup>o</sup> 8 北沢 正子 (長商)	池田 (飯南)	—
38	4'06 <sup>o</sup> 2 小林球美子 (飯北)	—	—	1'38 <sup>o</sup> 6 北沢 正子 (長商)	鈴木 (長西)	池田 (飯南)
39						
40	4'33 <sup>o</sup> 8 小川 晴美 (長商)	—	—	1'36 <sup>o</sup> 1 鈴木 桂子 (長西)	内田 (下農)	倉沢 (千曲)
41	3'49 <sup>o</sup> 5 片桐 知子 (下農)	西村 (長西)	—	1'39 <sup>o</sup> 6 宮内 伸子 (長商)	富井 (下農)	倉沢 (千曲)
42	4'02 <sup>o</sup> 5 片桐 知子 (下農)	富井 (飯南)	玉井 (長商)	1'42 <sup>o</sup> 2 宗 則江 (千曲)	塚田 (文化)	富井 (下農)
43	4'02 <sup>o</sup> 5 山根 久代 (照丘)	高橋 (長商)	富井 (照丘)	1'37 <sup>o</sup> 4 片桐美由紀 (飯南)	塚田 (文化)	田中 (長西)
44	3'49 <sup>o</sup> 2 高橋りえ子 (長商)	宮本 (長西)	山根 (照丘)	1'35 <sup>o</sup> 9 内山真理子 (文化)	堂下 (長西)	吉田 (長商)
45	3'36 <sup>o</sup> 0 高橋りえ子 (長商)	宮本 (長西)	山根 (照丘)	1'27 <sup>o</sup> 3 西 洋子 (皐月)	関川 (皐月)	鈴木 (長西)
46	3'17 <sup>o</sup> 6 武田己根子 (皐月)	宮沢 (皐月)	岩島 (長西)	1'23 <sup>o</sup> 2 関川 朗子 (皐月)	西 (皐月)	正村 (長西)
47	3'16 <sup>o</sup> 4 武田己根子 (皐月)	宮沢 (皐月)	清水 (長西)	1'25 <sup>o</sup> 1 関川 朗子 (皐月)	石坂 (長商)	藤井 (飯北)
48	3'29 <sup>o</sup> 4 土屋 光子 (皐月)	河野 (皐月)	塚田 (長西)	1'27 <sup>o</sup> 0 小林由美子 (松代)	藤井 (飯北)	轟 (吉田)
49	3'25 <sup>o</sup> 5 吉原えい子 (皐月)	土屋 (皐月)	塚田 (長西)	1'27 <sup>o</sup> 1 小林由美子 (松代)	藤井 (飯北)	石坂 (長商)
50	3'14 <sup>o</sup> 7 成田すわみ (長西)	塚田 (長西)	伝田 (長東)	1'29 <sup>o</sup> 7 高木 尚子 (飯北)	原 (須東)	池田 (皐月)
51	3'14 <sup>o</sup> 6 成田すわみ (長西)	山田 (皐月)	伝田 (長東)	1'25 <sup>o</sup> 3 島田 優子 (文北)	百瀬 (長商)	桑原 (文化)
52	3'28 <sup>o</sup> 4 湯本 光江 (皐月)	中島 (皐月)	吉沢 (須東)	1'27 <sup>o</sup> 4 山崎 永子 (飯北)	嶋田 (文化)	荻原 (飯北)
53	3'24 <sup>o</sup> 77 湯本 光江 (皐月)	中島 (皐月)	吉沢 (須東)	1'23 <sup>o</sup> 18 清水 洋美 (飯南)	嶋田 (文化)	荻原 (飯北)
54	3'14 <sup>o</sup> 89 湯本 光江 (皐月)	田村 (長西)	酒井 (松代)	1'23 <sup>o</sup> 62 木下きつき (須東)	竹内 (皐月)	野川 (皐月)
55						
56	3'41 <sup>o</sup> 89 町田久美子 (皐月)			1'17 <sup>o</sup> 6 土屋 和代 (中央)	武江 (長東)	中野 (文化)
57	2'47 <sup>o</sup> 8 井出 雅子 (長野)	中野 (文化)	中村 (須東)	1'15 <sup>o</sup> 7 齊藤 浩恵 (中央)	土屋 (中央)	宮島 (松代)
58	2'42 <sup>o</sup> 2 井出 雅子 (長野)	中村 (須東)	山崎 (松代)	1'15 <sup>o</sup> 7 齊藤 浩恵 (中央)	小林 (長野)	宮島 (松代)
59	2'31 <sup>o</sup> 6 宮沢 宏枝 (中央)	井出 (長野)	湯沢 (須東)	1'14 <sup>o</sup> 0 齊藤 浩恵 (中央)	小林 (長野)	松下 (豊代)
60	2'26 <sup>o</sup> 6 宮沢 宏枝 (中央)	大羽 (須東)		1'20 <sup>o</sup> 6 島崎 理恵 (中央)	戸谷 (清泉)	高野 (中央)

## (女子)

年度	200 m 背 泳 ぎ			200 m 個人メドレー		
	1 位	2 位	3 位	1 位	2 位	3 位
24						
25						
26						
27						
28						
29						
30						
31						
32						
33						
34						
35						
36						
37	3'41" 4 北沢 正子(長商)	池田(飯南)	—			
38	3'33" 3 北沢 正子(長商)	鈴木(長西)	池田(飯南)			
39						
40	3'28" 3 鈴木 桂子(長西)	内田(下農)	宮内(長商)	4'37" 2 畔上 秀子(飯南)	—	—
41	3'32" 8 宮内 伸子(長商)	内田(下農)	富井(下農)	3'38" 5 内田 豊子(下農)	関(長西)	畔上(飯南)
42	3'40" 0 宗 則江(千曲)	塚田(文化)	富井(下農)	3'41" 8 関間恵美子(文化)	東沢(長西)	風間(長西)
43	3'29" 1 片桐美由紀(飯南)	塚田(文化)	松村(飯南)	3'57" 9 風間 淳子(長西)	関(長商)	
44	3'29" 8 堂下美枝子(長西)	片桐(飯南)	吉田(長商)	3'24" 7 風間 淳子(長西)	関間(文化)	東沢(長西)
45	3'09" 9 西 洋子(皐月)	関川(皐月)	鈴木(長商)	3'32" 6 片桐美由紀(飯商)	江守(皐月)	君島(長西)
46	2'58" 6 関川 朗子(皐月)	西(皐月)	正村(長西)	3'32" 1 高野 好江(長商)	小林(長西)	堀内(長西)
47	3'03" 5 関川 朗子(皐月)	藤井(飯北)	赤沼(皐月)	3'26" 4 勝山けさみ(文化)	高野(長商)	片桐(飯北)
48	3'02" 3 小林由美子(松代)	藤井(飯北)	石坂(長商)	3'11" 1 正村寿満子(長西)	金箱(松代)	松原(長西)
49	3'01" 8 小林由美子(松代)	藤井(飯北)	石坂(長商)	3'07" 7 宮原 睦子(皐月)	金箱(松代)	鈴木(須坂)
50	3'03" 1 小林由美子(松代)	高木(飯北)	池田(皐月)	3'01" 7 宮原 睦子(皐月)	檀原(須東)	鈴木(須坂)
51	3'06" 6 島田 優子(文化)	百瀬(長商)	藤沢(長東)	3'01" 5 岡部美衣子(皐月)	土田(長東)	山崎(飯南)
52	3'12" 5 吉村 裕美(皐月)	嶋田(文化)	荻原(飯北)	3'01" 7 岡部美衣子(皐月)	馬場(長西)	山崎(飯南)
53	3'01" 99 清水 洋美(飯南)	荻原(飯北)	嶋田(文化)	3'10" 26 池田 礼子(須東)	小林(文化)	丸山(須東)
54	3'04" 81 竹内富貴子(皐月)	野川(皐月)	山中(須東)	3'06" 85 小林まゆみ(須東)	湯本(長西)	丸山(須東)
55						
56	2'44" 4 土屋 和代(中央)	武江(長東)	宮島(松代)	2'36" 9 西沢 敏江(須東)	木下(須東)	檀原(中央)
57	2'43" 5 斉藤 浩恵(中央)	土屋(中央)	宮島(松代)	2'37" 7 西沢 敏江(須東)	水吉(中央)	丸山(屋代)
58	2'40" 0 斉藤 浩恵(中央)	小林(長野)	宮島(松代)	2'36" 2 西沢 敏江(須東)	水吉(中央)	吉沢(長東)
59	2'39" 3 斉藤 浩恵(中央)	小林(長野)	須田(長南)	2'41" 9 水吉 則子(中央)	吉沢(長東)	須田(長南)
60	2'51" 4 高野 茂子(中央)	戸谷(清泉)	島崎(中央)	2'45" 2 角田まゆみ(中央)	須田(長南)	佐藤(須東)

## (女子)

年度	400 m 個人メドレー			(200) 400 m リレー		
	1 位	2 位	3 位	1 位	2 位	3 位
24				(2'57"8) 長野市立	—	
25				(3'12"4) 長野西	長野家政	長野市立
26				(3'32"2) 長野西	—	—
27				(3'10"0) 長野西 A	長野西 B	—
28						
29						
30						
31						
32				8'02"6 北 部	長野西	—
33				7'46"2 長野西	女子	—
34				7'24"8 飯山南	長野西	—
35				7'14"8 長野西	女子	—
36				7'52"4 長野西	—	—
37				6'35"7 長野商	長野西	—
38				6'18"6 長野商	飯山南	—
39						
40				6'14"6 長野商	千 曲	下 高 農
41				6'19"4 下 高 農	長野西	長野商
42	7'39"7 関 けい子(長西)	—	—	5'43"1 文 化	長野西	千 曲
43	8'06"2 東沢恵美子(長西)	—	—	5'34"6 文 化	長野西	長野商
44	7'33"5 風間 淳子(長西)	東沢(長西)	—	5'24"0 長野西	皐 月	長野商
45	7'51"5 河野 真澄(中実)	君島(長西)	中村(松代)	5'23"5 長野西	皐 月	飯山南
46				5'29"6 皐 月	長野西	文 化
47	7'27"6 片桐 裕子(飯北)	勝山(文化)	堀内(長西)	5'25"8 皐 月	文 化	長野西
48	7'03"6 金箱 秀子(松代)	松原(長西)	塚田(皐月)	5'16"1 皐 月	文 化	長野西
49	宮原 睦子(皐月)	松原(長西)	半田(長商)	5'09"2 皐 月	長野西	飯山北
50	6'30"8 宮原 睦子(皐月)	半田(長商)	富井(飯北)	5'04"5 皐 月	須 坂 東	長野西
51	6'36"3 岡部美衣子(皐月)	土田(長東)	馬場(長西)	5'07"5 皐 月	須 坂 東	長野東
52	6'33"8 岡部美衣子(皐月)	馬場(長西)		4'59"2 屋 代	皐 月	須 坂 東
53	6'48"40 小林まゆみ(文化)	湯本(長西)	吉村(皐月)	4'46"82 長野中央	須 坂 東	皐 月
54	6'34"50 小林まゆみ(文化)	湯本(長西)	小日向(皐月)	4'33"13 長野中央	皐 月	長野西
55						
56	5'38"0 西沢 敏江(須東)	丸山(屋代)	丸山(松代)	5'01"7 須 坂 東		
57	5'39"5 西沢 敏江(須東)	水吉(屋代)	丸山(屋代)	4'35"1 長野中央	須 坂 東	文 化
58	5'50"0 西沢 敏江(須東)	水吉(屋代)	小林(文化)	4'30"7 須 坂 東	中 央	屋 代
59	5'46"9 水吉 則子(屋代)	吉沢(長東)	小池(長南)	4'27"4 長野中央	須 坂 東	屋 代
60	6'06"7 高野 靖子(中央)	佐藤(須東)	山崎(松代)	4'34"7 長野中央	須 坂 東	屋 代

## (女子)

年度	400mメドレーリレー			学校対抗男子			学校対抗女子		
	1位	2位	3位	1位	2位	3位	1位	2位	3位
24				83点 須坂西	上田	長野商			
25				57 上田	須坂西	野沢北	55点市立	長野西	
26				73 須坂西	野沢北	長野商	40 長野西	市立	長野商
27				須坂西	長野北	長野工	39 長野西	家政	市立
28				74 須坂西	長野北		38 長野西		
29				83 須坂西	長野北	野沢北	84 長野西	長野商	上田
30				96 須坂西	野沢北	屋代東	58 長野西	北部	上田
31							長野西		
32	9'04"8 北 部	—	—	71 須坂西	野沢北	長野	44 長野西	北 部	女 子
33	—	—	—	71 須坂西	野沢北	長野	93 長野西	女 子	飯山南
34	—	—	—	70 須坂西	長野商	長野	71 長野西	飯山南	女 子
35	9'52"4 女 子	—	—	75 須坂西	屋代東	長野商	90 長野西	女 子	飯山北
36	—	—	—	85 長野商	須坂西	長野	38 長野西	飯山南	女 子
37	8'14"4 長野西	—	—	122 長野商	須坂西	野沢北	63 長野商	長野西	飯山南
38	8'47"4 長野商	飯山南	長野西	118 長野商	須坂西	長野	78 長野商	飯山南	長野西
39									
40	6'45"0 長野商	下高井農	—	62 長野商	須坂西	野沢北	73 長野商	長野西	下高農
41	6'36"2 下高井農	長野西	長野商						
42	6'35"2 千 曲	文 化	長野西	76 中 央	長野商	屋 代	75 文 化	長野西	千 曲
43	6'41"5 長野西	長野商	文 化	97 中 央	屋 代	長野商	90 長野西	文 化	長野商
44	6'21"3 長野商	長野西	文 化	121 中 央	屋 代	飯南照丘	128 長野西	長野商	皐 月
45	6'07"3 長野西	皐 月	長野商	150 中 央	屋 代	中野実	109 長野西	皐 月	長野商
46	5'45"7 皐 月	長野西	文 化	121 中 央	屋 代	中野実	93 皐 月	長野西	文 化
47	5'44"8 皐 月	長野西	長野商	107 中 央	長野工	屋 代	127 皐 月	文 化	長野西
48	5'53"2 皐 月	飯山北	松 代	116 中 央	長野	屋 代	110 皐 月	松 代	長野西
49	5'46"3 皐 月	松 代	飯山北	131 中 央	長野	須坂	101 皐 月	松 代	飯山北
50	5'47"7 皐 月	須坂東	長野西	117 中 央	屋 代	須坂	88 皐 月	須坂東	長野商
51	5'45"3 皐 月	長野西	長野東	121 中 央	屋 代	須坂	79 皐 月	長野商	長野東
52	5'46"5 皐 月	須坂東	長野商	屋 代	須坂	中 央	96 皐 月	屋 代	須坂東
53	5'55"3 須坂東		皐 月	80 屋 代	中 央	須坂	61 皐 月	須坂東	中 央
54	5'51"3 須坂東	皐 月	文 化	83 中 央	須坂	長野工	56 皐 月	中 央	須坂東
55				中 央	屋 代	長野工	中 央	須坂東	皐 月
56	5'12"0 須坂東	松 代	屋 代	138 中 央	長野東	須坂	78 須坂東	松 代	屋 代
57	5'04"7 長野中央	須坂東	文 化	139 中 央	須坂東	長野東	86 中 央	須坂東	文 化
58	5'06"1 長野中央	須坂東	長 野	125 中 央	須坂東	屋 代	93 須坂東	中 央	長 野
59	4'50"6 長野中央	長 野	須坂東	89 中 央	須坂東	屋 代	120 中 央	須坂東	長 野
60	5'04"9 長野中央	須坂東	屋 代	161 中 央	屋 代	須坂東	108 中 央	須坂東	屋 代

## 北信高等学校秋季体育大会

### (男子) 優勝者のみ

年次	100 m 自由形	200 m 自由形	400 m 自由形	800 (1500)m 自由形	100 m 平泳ぎ
24	1'08"8 藤家 衛(松尾)	3'34"6 藤家 衛(松尾)	6'02"4 宮入 佑佐(屋東)		
25					
26					
27					
28	1'08"0 大川 良雄(須西)	2'34"8 大川 良雄(須西)	6'05"2 小林 高晴(須西)		1'31"0 矢沢 正美(須西)
29	1'11"8 北沢栄一郎(長北)	2'42"0 北沢栄一郎(長北)	6'00"0 山岸 (須西)		1'30"6 高木 (須西)
30	北沢栄一郎(長北)	北沢栄一郎(長北)			
31					
32	1'08"8 清水 伸(上田)	2'43"5 久保 隆顕(須西)	河野 洋一(長北)	11'35"0 清水 伸(上田)	1'22"0 吉松 雄一(長商)
33	1'04"4 河野 洋一(長野)	2'23"6 河野 洋一(長野)	5'42"8 清水 伸(上田)	12'15"8 石田 健郎(吉田)	1'26"1 金沢 雅二(長商)
34	1'07"2 金井 啓二(須西)	2'32"0 金井 啓二(須西)	5'50"6 石田 健郎(吉田)	12'07"8 石田 健郎(吉田)	1'25"6 池田 孝(吉田)
35	1'10"4 大沢 影(長野)	2'38"6 梅木 一男(吉田)	5'45"0 原田 政志(長商)	11'56"8 原田 政志(長商)	1'22"0 轟 修(長商)
36	1'08"3 小山 澄(中央)	2'34"6 斉藤 充弘(丸子)	5'39"0 山崎 尚人(長商)	11'46"6 山崎 尚人(長商)	1'25"7 倉島 重利(長商)
37		2'32"7 角田 博(旭)	5'28"2 宮島 正二(中央)		
38	1'03"1 原田 則行(長商)	2'27"0 原田 則行(長商)	5'25"5 伊藤 一男(長商)	11'24"8 塚川 孝幸(長商)	1'22"6 峰村 (吉田)
39	1'07"5 梶原 携扶(上田)			11'34"2 宮島 正二(中央)	1'22"9 川久保 孝(屋代)
40	1'06"3 清水 正司(千曲)	2'28"5 小山 健(須坂)	5'28"5 宮島 正二(中央)	11'13"8 宮島 正二(中央)	1'21"5 吉田 富造(中央)
41					
42	1'06"6 斉藤 重夫(長商)	2'27"7 三戸部正明(中央)	5'20"5 片山 実(長商)	11'15"7 片山 実(長商)	1'18"7 片桐 幸市(照丘)
43					
44	1'06"2 長谷川敏夫(上田)	2'33"6 瀬下 真(中央)	5'23"2 大沢 久雄(中央)	11'15"7 大沢 久雄(中央)	1'12"9 長田 孝雄(中央)
45	1'04"6 神林 義典(上田)	2'24"5 西沢 克秀(中央)	5'01"8 伊藤 清(中央)	11'31"4 伊藤 清(中央)	1'07"9 竹井 正充(下農)
46	1'06"0 戸谷 衛(長工)	2'28"0 戸谷 衛(長工)	5'17"0 伊藤 清(中央)	11'33"7 伊藤 清(中央)	1'17"0 石井 孝男(中央)
47	1'04"3 小林 一朗(中央)	2'23"3 小林 一朗(中央)	5'12"8 今井 誠(中央)	10'51"7 今井 誠(吉田)	1'19"0 佐々木正志(中央)
48	原 真治(長野)	岡沢 茂(須坂)	角谷 博一(中央)	角谷 博一	佐々木正志(中央)
49	1'05"0 越 卓郎(吉田)	2'27"5 松木 利昭(吉田)	5'01"2 北沢 寛(松代)	10'26"6 高橋 浩二(中央)	1'16"2 徳武 正俊(中央)
50					
51	1'00"5 松井 敦典(屋代)	2'16"1 松井 敦典(屋代)	4'56"8 有坂 敏明(中央)	10'16"8 有坂 敏明(中央)	1'14"8 吉池 秀之(中央)
52	1'01"2 中沢 毅一(屋代)	2'17"0 中沢 毅一(屋代)	5'03"7 丸山 基志(吉田)	10'23"8 丸山 基志(吉田)	1'15"6 工藤 造一(屋代)
53	中 止				
54	1'03"0 桶田 昌利(長工)	2'21"1 島田 一貴(屋代)	5'16"4 島田 一貴(屋代)	10'45"7 松永 護(中央)	1'18"1 富沢 博(須坂)
55	59"2 佐々木正仁(中央)	2'14"4 佐々木正仁(中央)	5'05"2 松永 護(中央)	10'54"6 松永 護(中央)	1'21"2 小古井英雄(須坂)
56	1'00"9 本藤 秀紀(長東)	2'18"9 高野 賢二(長東)	4'53"6 塚田 政彦(中央)	10'15"5 塚田 政彦(中央)	1'17"0 小古井英雄(須坂)
57	1'01"0 宮下 直久(長野)	2'16"5 西沢 浩文(須東)	4'42"3 塚田 政彦(中央)	9'56"9 塚田 政彦(中央)	1'15"1 竹内 智彦(須坂)
58	1'00"6 山崎 洋一(長東)	2'12"6 西沢 浩文(須東)	4'40"6 西沢 浩文(須東)		1'15"2 菅谷 佳樹(屋代)
59	1'02"6 松本 雅明(長野)	2'14"0 青木 修一(須東)	4'43"3 小出 和仁(長南)		1'13"6 菅谷 佳樹(屋代)
60	1'01"1 西沢 秀幸(中央)	2'15"4 西沢 秀幸(中央)	4'53"1 五味 道仁(中央)	10'21"4 五味 道仁(中央)	1'17"2 西島 鶏太(中央)

○ 昭和45年まで東北信高校水上大会、46年から北信高校水泳大会となる。

## (男子)

年度	200m 平泳ぎ	100m バタフライ	200m バタフライ	100m 背泳ぎ	200m 背泳ぎ
24	3'17"0 林 哲夫(松尾)			1'29"6 金井六三郎(須西)	
25					
26					
27					
28	3'13"8 矢沢 正美(須西)			1'24"2 滝沢 武(松尾)	
29	3'16"0 高木 (須西)	1'30"0 辻 武志(野北)		1'31"0 長坂 (野北)	
30					
31					
32	2'59"6 吉松 雄一(長商)	1'17"8 角田 政男(長商)	3'09"8 角田 政男(長野)	1'20"8 黒沢 清治(野北)	2'59"4 黒沢 清治(野北)
33	3'07"0 佐藤 信孝(長野)	1'17"2 小林 忠勝(長商)	3'09"4 小林 忠勝(長商)	1'21"8 宮尾 隆夫(長野)	2'55"2 倉石進次郎(須西)
34	3'03"8 永井 智己(長野)	1'21"4 北沢 慎二(長商)	3'12"8 辻 武志(野北)	1'21"0 倉石進次郎(須西)	2'55"8 倉石進次郎(須西)
35	3'02"2 轟 修(長商)	1'16"4 北沢 慎二(長商)	3'07"6 木村 俊隆(須西)	1'19"0 小池五十二(須西)	2'54"0 小池五十二(須西)
36	3'05"9 倉島 重利(長商)	1'18"6 水野 忠之(野北)	3'04"6 水野 忠之(野北)	1'22"0 神田 栄司(須西)	2'57"6 神田 栄司(須西)
37					
38	3'04"4 峰村 (吉田)	1'14"0 岩佐 義彦(長商)	2'46"2 岩佐 義彦(長商)	1'16"1 清水 (長商)	2'44"0 清水 (長商)
39	3'01"7 神田 稔(須西)	1'17"8 上野 国久(中央)	2'54"0 杉山 博基(飯北)	1'21"5 柳沢 勇雄(野北)	2'54"0 柳沢 勇雄(野北)
40	2'55"9 広瀬 秀樹(長商)	1'11"4 上野 国久(中央)	2'51"6 杉山 博基(飯北)	1'16"2 江口 共雄(須坂)	2'45"0 江口 共雄(須坂)
41					
42	2'54"7 片桐 幸市(照丘)	1'15"3 塩野入 正(屋代)	2'52"0 塩野入 正(屋代)	1'19"5 丸田 進(千曲)	2'51"3 富井 和明(埴生)
43					
44	2'56"2 竹井 正充(下農)	1'09"3 小林 健治(中央)	2'44"2 宮下 啓三(上田)	1'12"9 長田 孝雄(中央)	2'41"1 長田 孝雄(中央)
45	2'47"2 竹井 正充(下農)	1'10"6 小林 健治(中央)	2'56"5 鎌田 行夫(中央)	1'11"7 佐藤 愛史(中央)	2'33"7 佐藤 愛史(中央)
46	2'50"3 石井 孝男(中央)	1'15"5 原 政弘(中央)	3'01"4 原 政弘(中央)	1'14"2 五明 浩之(中央)	2'37"2 五明 浩之(中央)
47	2'52"3 佐々木正志(中央)	1'13"8 大塚 一弘(中央)	2'46"1 片桐 泉(飯北)	1'13"6 北原 隆(中央)	2'41"5 北原 誠(中央)
48	佐々木正志(中央)	大塚 一弘(中央)	大塚 一弘(中央)	竹村 俊治(長商)	笠井 輝光(屋代)
49	2'41"5 徳武 正俊(中央)	1'09"1 岡沢 茂(須坂)	2'33"6 竹内 (中央)	1'09"4 芳賀 正人(中央)	2'33"6 芳賀 正人(中央)
50					
51	2'45"4 吉池 秀之(中央)	1'07"0 上野 正夫(飯北)	2'30"0 上野 正夫(飯北)	1'13"7 小山 正文(中央)	2'38"7 永井 孝(長東)
52	2'46"9 工藤 浩一(屋代)	1'07"3 渡辺 茂充(須坂)	2'36"0 上野 正夫(飯北)	1'11"0 香山 広幸(中央)	2'33"2 香山 広幸(中央)
53					
54	2'53"6 富沢 博(須坂)	1'24"0 鎌 秀樹(吉田)	3'30"3 倉沢 和良(長工)	1'13"8 津神 達行(中央)	2'39"6 香掛 真夫(篠井)
55	3'00"2 小林 正典(長野)	1'10"0 内山 博幸(中央)	2'43"0 内山 博行(中央)	1'09"0 津神 達行(中央)	2'30"3 津神 達行(中央)
56	2'52"7 藤本 博久(屋代)	1'10"3 杉崎 元彦(中央)	2'36"1 杉崎 元彦(中央)	1'09"0 河原田信彦(中央)	2'32"4 河原田信彦(中央)
57	2'50"8 井上 繁樹(須坂)	1'12"5 湯本 泉(須坂)	2'45"6 福井 秀樹(屋代)	1'09"0 武江二三八(中央)	2'32"9 武江二三八(中央)
58	2'47"1 栗屋 和弘(中央)	1'06"7 小口 恒樹(中央)	2'26"2 小口 恒樹(中央)	1'09"5 一由 和弘(中央)	2'33"5 一由 和弘(中央)
59	2'40"6 西島 鶏太(中央)	1'05"7 青木 修一(須坂)	2'36"3 細谷 司(須東)	1'08"5 一由 和弘(中央)	2'31"0 一由 和弘(中央)
60	2'44"3 西島 鶏太(中央)	1'04"5 岩崎 仁(中央)	2'25"2 岩崎 仁(中央)	1'12"9 小林 秀一(中央)	2'37"8 小林 秀一(中央)

## (男子)

年度	200m 個人メドレー	400m 個人メドレー	400m リレー	(200) 800m リレー	400m メドレリレー
24				(2'11"2) 須坂西	
25				( ) 長野北	
26					
27					
28				(2'14"0) 須坂西	
29				(2'09"0) 須坂西	5'51"6 須坂西
30					
31					
32				(2'12"3) 長野	5'31"0 野沢北
33				(2'07"2) 長野	5'30"2 吉田
34				( ) 須坂西	5'28"8 須坂西
35				(2'08"6) 屋代東	5'23"6 須坂西
36			4'52"0 屋代東	(2'08"0) 長野中央	5'32"6 須坂西
37					
38			4'35"3 長野商	10'26"1 長野商	5'02"2 長野商
39				10'53"4 須坂西	5'23"5 長野中央
40	2'54"8 腰原 正明(城南)	6'26"8 腰原 正明(城南)	4'44"5 長野中央	10'36"5 須坂西	5'03"2 須坂
41					
42	2'55"8 森山 学(千曲)	6'13"5 森山 学(千曲)	4'37"1 長野中央	10'19"5 長野中央	5'10"1 屋代
43					
44	2'45"2 小林 健治(中央)		4'30"2 長野中央		5'03"2 長野中央
45		5'40"4 小林 健治(中央)	4'24"0 長野中央	9'39"8 長野中央	4'50"9 長野中央
46		6'12"1 藤沢 和義(飯北)	4'32"5 長野中央		長野中央
47		6'09"3 松本二三男(長工)	4'30"0 長野中央		4'55"2 長野中央
48		岡沢 茂(須坂)	長野中央		長野中央
49		5'28"4 岡沢 茂(須坂)	4'30"6 須坂		長野中央
50					
51		5'43"0 野本 仁(屋代)	4'18"3 屋代		4'46"2 屋代
52		5'33"7 渡辺 茂充(須坂)	4'15"2 屋代		4'47"0 須坂
53					
54		5'49"6 牧 宏行(中央)	4'20"2 長野中央		5'09"4 屋代
55		6'14"7 高沢 和寛(長野)	4'03"0 長野中央		4'46"4 長野中央
56		5'50"1 藤本 博久(屋代)	4'08"1 長野東		4'51"0 長野中央
57		5'55"5 川田 勇一(屋代)	4'09"4 長野中央		4'44"2 長野中央
58	2'26"9 西原 良一(須東)	5'17"4 西原 良一(須東)	4'12"7 須坂東	9'10"4 須坂東	4'35"0 長野中央
59	2'32"6 岩崎 仁(中央)	5'30"0 岩崎 仁(中央)	4'15"8 長野中央	9'21"0 須坂東	4'34"9 長野中央
60	2'33"3 窪田 昌春(長野)	5'35"1 増田 順一(中央)	4'07"6 長野中央	9'10"7 長野中央	4'38"5 長野中央

## (女子)

年度	100 m 自由形	200 m 自由形	400 m 自由形	(50/800)m 自由形	100 m 平泳ぎ
24	1'49"2 田村 英子(市立)			(48"0)池田美津子(長商)	2'11"0 田村 英子(市立)
25					
26					
27					
28	1'48"4 清水 秀子(長西)			(40"0)宮崎多加子(長西)	2'30"0 野口 京子(長西)
29	1'31"6 佐藤 (北部)	3'38"2 佐藤 (北部)		(42"2)佐藤 (長西)	1'52"4 上野 (松尾)
30					
31					
32	1'38"4 飯島 典子(長西)			(40"0)飯島 典子(長西)	2'05"2 石丸 市子(長西)
33	1'26"8 片桐 知子(飯南)	3'08"2 片桐 知子(飯南)		(41"6)横谷 節子(長西)	1'51"8 富井 弘子(飯南)
34	1'31"2 西尾 道(長西)	3'23"4 西尾 道(長西)		(40"0)横谷 節子(長西)	1'48"0 宮島 馨(長西)
35	1'29"4 片山 千恵(長西)	3'25"4 片山 千恵(長西)		(50"0)真鍋 稲子(長野)	1'46"8 堀内 勇子(長野)
36	1'31"2 河野二三子(飯南)	3'06"4 片山 千恵(長西)	6'42"7 片山 千恵(長西)		1'38"9 堀内 勇子(長野)
37					
38	1'23"4 滝沢 (千曲)	3'12"5 河野 敦子(飯南)			1'38"1 小島嘉代子(長商)
39	1'20"3 河野 敦子(飯南)	2'59"3 河野 敦子(飯南)	7'47"5 西沢 茂子(長西)		1'34"8 小島嘉代子(長商)
40	1'17"3 山崎 房子(飯北)	3'21"4 泉 ( )	6'00"8 山崎 房子(飯北)		1'34"1 佐藤 高子(飯北)
41					
42	1'12"8 松原知寿子(文化)	3'01"5 間間恵美子(文化)	5'57"8 松原知寿子(文化)		1'30"3 大森恵美子(千曲)
43					
44	1'12"9 本藤いち子(皐月)	2'48"5 本藤いち子(皐月)	6'26"6 町田 和美(長西)		1'36"4 長沢千恵子(文化)
45	1'13"8 宮下 玲子(長西)	2'53"4 根岸千枝子(長西)	6'12"3 宮下 玲子(長西)		1'34"9 長沢千恵子(文化)
46	1'15"0 西 洋子(皐月)	2'43"0 西 洋子(皐月)	5'54"5 宮崎佐知子(飯北)		1'34"2 堀込 道子(皐月)
47	1'17"9 宮下 道子(文化)	2'53"0 宮下 道子(文化)	5'59"1 宮崎佐知子(飯北)		1'32"1 畑田 光子(皐月)
48	武居 宏子(皐月)	武居 宏子(皐月)	宮原 睦子(皐月)		平林 百栄(文化)
49	1'09"5 武居 宏子(皐月)	2'30"0 武居 宏子(皐月)	5'51"1 宮原 睦子(皐月)		1'24"1 平林 百栄(文化)
50					
51	1'12"2 山下 智子(屋代)	2'38"5 小林さとみ(長商)	5'21"8 小林さとみ(長商)		1'32"0 重田 知子(文化)
52	1'08"1 三井久仁子(中央)	2'32"1 三井久仁子(中央)	5'22"5 小林さとみ(長商)		1'33"9 金田あつ子(皐月)
53					
54	1'12"6 小出栄美子(篠井)	2'41"7 村松みどり(松代)	5'22"5 小出栄美子(篠井)		1'29"5 牧 恵美子(須東)
55	1'10"0 小畑 靖子(須東)	2'32"5 村松みどり(松代)	5'21"6 村松みどり(松代)		1'34"2 松山 純子(屋代)
56	1'12"3 柳沢加代子(須東)	2'36"1 柳沢加代子(須東)	5'48"4 小出奈穂美(屋代)		1'31"5 丸山香代子(屋代)
57	1'07"8 山下はるか(須東)	2'26"4 小出 泉(篠井)	5'09"9 小出 泉(篠井)		1'24"5 宮川 里恵(篠井)
58	1'06"3 内藤しのぶ(中央)	2'29"8 山下はるか(須東)	5'13"4 小出 泉(篠井)	10'41"3 小出 泉(篠井)	1'22"0 増田 玲子(中央)
59	1'10"0 北野 洋枝(須東)	2'31"0 北野 洋枝(須東)	5'02"6 上松 好江(中央)	10'25"5 上松 好江(中央)	1'24"4 高見沢映子(中央)
60	1'11"9 桜井由香里(篠井)	2'35"4 大羽 敦子(須東)	5'24"9 丸山更絵子(中央)	11'09"5 丸山更絵子(中央)	1'33"2 湯本千奈美(須東)

## (女子)

年度	(50)m 平泳ぎ	100m バタフライ	200m バタフライ	100m 背泳ぎ	200m 背泳ぎ
24					
25					
26					
27					
28					
29	(52*4) 上野 (松尾)			1'50*0 森山加代子(長西)	
30					
31					
32	(56*2) 石丸 市子(長西)			1'48*0 野田 節子(長西)	
33	(51*0) 富井 弘子(飯南)			1'48*0 渡辺由紀枝(長西)	
34	(50*4) 宮島 馨(長西)			1'52*1 長坂高代子(長西)	
35	(48*0) 堀内 勇子(長野)			1'46*8 小林 薫栄(長西)	
36	3'30*0 堀内 勇子(長野)	1'42*4 小林 球美(飯北)		1'46*2 池田 純子(飯南)	3'53*6 小林 薫栄(長西)
37					
38	3'32*0 小島高代子(長商)	1'50*0 鈴木 (長商)	5'09*0 河野ふみ子(飯南)	1'34*1 鈴木 桂子(長西)	3'30*0 鈴木 桂子(長西)
39	3'31*2 小島高代子(長商)	2'01*5 小川 晴美(長商)		1'36*5 鈴木 桂子(長西)	3'25*7 鈴木 桂子(長西)
40	3'17*4 佐藤 高子(飯北)	1'42*9 片桐 知子(下農)	3'56*8 片桐 知子(下農)	1'38*2 宮内 伸子(長商)	3'35*2 内田 豊子(下農)
41					
42	3'12*3 大森恵美子(千曲)	1'50*6 富井 正子(照丘)	4'04*3 富井 正子(照丘)	1'39*8 東沢恵美子(長西)	3'31*1 塚田 恵子(文化)
43					
44	3'26*3 長沢千恵子(文化)	1'39*1 高橋りえ子(長商)	3'41*1 高橋りえ子(長商)	1'30*7 池田 一子(千曲)	3'13*4 池田 一子(千曲)
45	3'23*6 長沢千恵子(文化)	1'29*3 武田己根子(皐月)	3'25*5 武田己根子(皐月)	1'22*5 西 洋子(皐月)	3'01*5 関川 朗子(皐月)
46	3'19*8 堀込 道子(皐月)	1'27*0 武田己根子(皐月)	3'11*3 武田己根子(皐月)	1'21*7 関川 朗子(皐月)	2'58*8 関川 朗子(皐月)
47	3'15*6 千野 雅子(皐月)	1'29*0 土屋 光子(皐月)	3'33*6 土屋 光子(皐月)	1'27*0 藤井 久恵(飯北)	3'02*5 藤井 久恵(飯北)
48	平林 百栄(文化)	金箱 秀子(皐月)	土屋 光子(皐月)	藤井 久恵(飯北)	藤井 久恵(飯北)
49	3'00*3 平林 百栄(文化)	1'25*4 成田すわみ(長西)	3'16*4 成田すわみ(長西)	1'27*3 高木 尚子(飯北)	3'05*6 高木 尚子(飯北)
50	土肥婦久美(皐月)				
51	3'20*3 重田 知子(皐月)	1'28*3 岡部美衣子(皐月)	3'35*3 吉沢由美子(須東)	1'25*0 嶋田 優子(文化)	3'07*2 嶋田 優子(文化)
52	3'19*2 金田あつ子(皐月)	1'29*6 吉沢由美子(須東)	3'10*0 湯本 光江(皐月)	1'23*5 清水 洋美(飯南)	3'04*7 嶋田 優子(文化)
53					
54	3'13*0 牧 恵美子(須東)	1'37*2 水上千代子(皐月)	3'44*7 酒井 芳江(松代)	1'24*5 木下さつき(須東)	3'04*5 竹内富貴子(皐月)
55	3'21*9 松山 純子(屋代)	1'20*2 中野 浩子(文化)	3'03*7 後藤 真紀(須坂)	1'21*1 木下さつき(須東)	2'56*1 武江奈美枝(長東)
56	3'17*7 笠原 洋子(中央)	1'19*4 中野 浩子(文化)	2'58*2 中野 浩子(文化)	1'25*1 田中さゆり(松代)	3'03*2 宮島美智江(松代)
57	2'59*9 宮川 里恵(藤井)	1'14*5 井出 雅子(長野)	2'58*7 中村 美香(須東)	1'25*4 宮島美智江(松代)	3'02*0 宮島美智江(松代)
58	2'52*8 高見沢映子(中央)	1'15*5 井出 雅子(長野)	2'45*0 井出 雅子(長野)	1'14*2 斉藤 浩恵(中央)	2'40*0 斉藤 浩恵(中央)
59	2'58*5 高見沢映子(中央)	1'09*0 宮沢 宏枝(中央)	2'30*5 宮沢 宏枝(中央)	1'22*5 戸谷 昌代(清泉)	2'56*8 戸谷 昌代(清泉)
60	3'21*5 湯本千奈美(須東)	1'17*5 高野 靖子(中央)	2'42*5 大羽 敦子(須東)	1'19*8 島崎 理恵(中央)	2'46*8 島崎 理恵(中央)

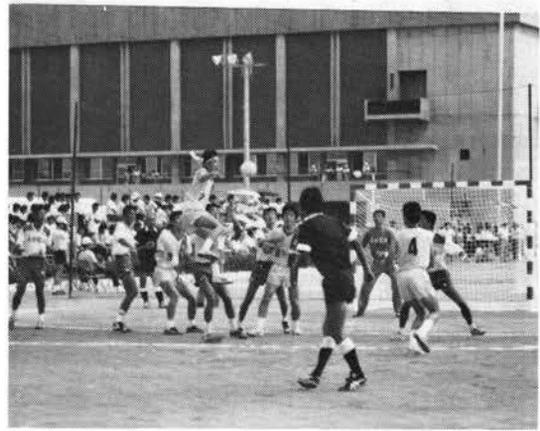
## (女子)

本 番	200 m 個人メドレー	400 m 個人メドレー	(200) 400 m リレー	400 m メドレリレー	学校対抗 男子	学校対抗 女子
24			(4'00"0) 長 野 市 立		須 坂 西	長 野 市 立
25					野 沢 北	
26						
27						
28			(3'28"8) 長 野 西		須 坂 西	長 野 西
29			(3'09"4) 長 野 西		須 坂 西	長 野 西
30						
31			(3'07"6) 長 野 西			
32			(2'50"0) 長 野 西		野 沢 北	長 野 西
33			(2'51"0) 長 野 西		長 野 商	長 野 西
34			(3'07"8) 長 野 西		須 坂 西	長 野 西
35			(2'50"8) 長 野 西		長 野 商	長 野 西
36				7'08"8 長 野 西	須 坂 西	長 野 西
37						
38			6'16"5 長 野 商	7'04"2 長 野 西	長 野 商	長 野 西
39			6'24"6 長 野 商	6'32"4 長 野 商	長 野 中 央	長 野 商
40	3'46"7 関 けい子(長西)		6'12"0 長 野 商	6'40"3 下 高 井 農	長 野 中 央	長 野 西
41					長 野 中 央	
42	3'27"3 風間 淳子(長西)		5'29"0 長 野 文 化	6'15"9 長 野 文 化	長 野 中 央	長 野 西
43					長 野 中 央	
44	3'30"4 野崎 正子(飯南)		5'21"6 長 野 西	6'14"1 長 野 西	長 野 中 央	長 野 西
45	3'14"4 柳沢 尚江(丸子実)		5'08"9 長 野 西	5'47"9 長 野 西	長 野 中 央	
46	3'20"0 勝山けさみ(文化)		5'23"1 皐 月	5'35"9 皐 月	長 野 中 央	皐 月
47	3'10"7 正村寿満子(長西)		5'26"5 長 野 文 化	6'03"6 皐 月	長 野 中 央	皐 月
48	金箱 正子(皐月)		皐 月	皐 月	長 野 中 央	皐 月
49	2'59"4 宮原 睦子(皐月)		5'11"8 皐 月	5'44"1 皐 月		
50			皐 月	皐 月		皐 月
51	2'58"1 岡部美衣子(皐月)		5'00"4 皐 月	5'49"6 皐 月		
52	3'06"9 池田 礼子(須東)		5'04"9 皐 月	5'42"7 皐 月	屋 代	皐 月
53						
54	3'02"5 大友まゆみ(屋代)		5'22"4 皐 月	5'59"7 皐 月	長 野 中 央	皐 月
55	2'55"9 木下さつき(須東)		5'10"1 須 坂 東	5'50"3 須 坂 東	長 野 中 央	須 坂 東
56	3'00"5 丸山香代子(屋代)		5'09"8 屋 代	5'44"6 屋 代	長 野 東	屋 代
57	2'59"8 小林紀世美(文化)		4'43"4 須 坂 東	5'32"2 須 坂 東	長 野 中 央	松 代
58	2'40"0 水吉 則子(中央)	5'39"7 山崎美代子(須東)	4'31"1 長 野 中 央	5'02"8 長 野 中 央	長 野 中 央	長 野 中 央
59	2'54"4 吉沢栄里子(長東)	6'09"2 吉沢栄里子(長東)	4'48"8 須 坂 東	5'40"8 須 坂 東	長 野 中 央	須 坂 東
60	2'59"9 高野 茂子(中央)	6'25"1 高野 茂子(中央)	4'54"0 長 野 中 央	5'29"6 長 野 中 央	長 野 中 央	須 坂 東



## ハンドボール

まずハンドボール部が余りにも少なく、従って一部高校の校史的になることをお許し願いたい。さて少数精鋭を自負しながら勇気を持って北信の地に初めてハンドボール部を誕生させたのが去る昭和26年、屋代高校である。当時はサッカーと同じ人数の11人制で同じグラウンドを使用した。昭和38年から7人制に統一されたが、それ以前は11人制でオフサイドの反則もありフォワードとバックにわかれ、フォワードが攻めフルバックは守りハーフバックが攻めたり守ったりの役目をしてきた。雨が降ってグラウンドがどんなに悪い状態でも行なわれた。そんな訳で雨の日は、わざわざ水がたまった場所でセービングの練習をした。勿論、現在はセービングは反則になっている。また運動靴とてまともな物がなく地下足袋をはいて奮戦した。ボールの手入れも相当きつく毎日新聞紙で磨いた。空気の入れ方、ボールの口紐のとじ方も次第に上手になったものだ。ゴールポストにしても現在の高さ2 m横3 mのものとは違いサッカーと同じものを使用した。時に破損していたので予算もなく直接材木屋に交渉して安く角材を取り寄せ倒れないように十字に下の方を組み土の中へ埋め込んだ。白いペンキも当然私達が塗ったわけだが、練習の済んだ後にやるので、周囲もすぐに暗闇につつまれ人の顔も識別しにくい状況であった。気合いをかけながら生徒達が交代で自転車のペダルを踏んで明るくして作業をした。広々としたコート作りからすべて当初は一人でこなした。指導者もごく僅かで県内大会では3ゲーム連続で審判を務めた。とにかくハンドボール部があるのは屋代高校だけだったので、東信地区の諸校へたびたび出掛け、技術の習得をした。地区内での組合わせの会議等に参加しても専門部がただ一人だったので淋しい思いをした。しかしそんなことも生徒達と接する時、どこかへすっとなでいってしまった。



昭和25年に第1回全日本高等学校ハンドボール選手権大会が開催されてから本年は33回目を迎えるが、その間屋代高校が昭和30年に駒沢で行なわれた第6回大会、翌31年に藤井寺での第7回大会、1年おいて33年に函館での第9回大会、37年に小倉での第13回大会、48年に四日市での24回大会、57年に隼人町での33回大会と58年豊田市での34回大会と7回を数え、また後にハンドボール部ができた坂城高校が44年に富岡での20回大会、50年に塩山での26回大会、51年に氷見での27回大会と3回の出場を果たしている。現在上記2校の他、長野東高校も頑張っている。

女子も屋代高校が創部4年目にして全国高校大会へ出場した。

昭和39年には上田市が会場となり第15回大会が行なわれたが、最近では昭和54年のやまびこ国体で屋代高校が主会場となり、大いにその真価を発揮した。大会運営には全校生徒職員が一丸となって当たり好評を博した。また競技面でもハンドボール総合優勝の原動力となるなど素晴らしく貢献した。ではここでハンドボールに携った人々をあげると、創設当初は県高体連の理事長の刈間今朝雄（当時長野工）、2年間ではあったが油井孝一郎（当時長野工）、30年間にわたっての中沢正巳（当時屋代：現在上田）、

25年一筋の青木崇(坂城→屋代)の諸先生方に負う  
ところが大きい。そして屋代高校、坂城高校の卒業

生諸君達の努力も見逃すことはできない。

### 北信高等学校春季総合体育大会

年度	1 位	記 録	2 位	3 位
42	屋 代	15-12	坂 城	
43	坂 城	14-13	屋 代	
44	坂 城	20-13	屋 代	
45	坂 城	12-10	屋 代	
46	屋 代	3-2	坂 城	
47	坂 城	2-0	屋 代	
48	屋 代	10-6	坂 城	
49	坂 城		屋 代	
50	坂 城		屋 代	
51	坂 城		屋 代	
52	坂 城	21-10	屋 代	長 野 東
53	坂 城		屋 代	長 野 東
54	坂 城	21-10	屋 代	長 野 東
55	坂 城	22-17	屋 代	長 野 東
56	屋 代		坂 城	長 野 東
57	屋 代	25-9	坂 城	長 野 東
58	屋 代		長野東	坂 野 城
59	屋 代	30-8	坂 城	長 野 東
60	屋 代	26-13	坂 城	上水内北部

### 北信高等学校秋季体育大会

年度	1 位	記 録	2 位	3 位
42				
43	坂 城		屋 代	
44	坂 城	23-10	屋 代	
45	屋 代		坂 城	
46	屋 代		坂 城	
47	屋 代	18-5	坂 城	
48	坂 城	13-12	屋 代	
49	坂 城		屋 代	
50	坂 城		屋 代	
51	坂 城		屋 代	
52	坂 城		屋 代	長 野 東
53	坂 城		屋 代	長 野 東
54	坂 城		屋 代	長 野 東
55	屋 代	16-8	坂 城	長 野 東
56	坂 城	15-13	屋 代	長 野 東
57	屋 代	28-9	長野東	
58	屋 代	24-9	坂 城	
59	屋 代	23-16	坂 城	
60	屋 代	35-20	坂 城	上水内北部



## テ ニ ス

テニスの参加校は、かつて、東信の上田、中信の深志・松商など、県下で数校にすぎなかったが、今では40チームを超え、男女で90に及ぶクラブが誕生した。北信での同好会発足は、屋代南が必修クラブに取り入れだした頃、その延長というかたちで始められたのが昭和48年であり、それが同好会の始まりである。昭和50年には、松代高校に同好会が発足した。そして、北信地区へのテニス普及のため、各校へクラブ発足の呼びかけを行なった。同時に、テニスの専門部設置の運動も進めなければならなかった。それには実績をつくるのが第一と考え、テニス愛好者を増し、レベルの向上をはかるべく励んだのである。幸いにも、昭和51年北信代表として県高校総体に出場した松代が、男子団体戦で初優勝しインターハイに出場、一回戦で敗れはしたが、全国との差を痛感し、たいへん勉強になった。その後は中央の技術を積極的に取り入れることにより、かなりの成果が上ってきた。また、昭和53年に国体が長野県で開催されることもあって、念願の専門部結成がようやく話題となったのである。しかし、専門部発足についての会議では、時期尚早、各校の施設の問題、軟式テニスとの関係等の理由で春の会議では発足できず、再度秋の理事会上に提案し、ようやく専門部の設立が認められた。

専門部発足の当初は、参加校も少なく、専門部ができたとはいえ予算も少なく、専門委員も二人であった。大会では、選手である生徒を動員し、審判、補助員と協力を得なければならなかった。会場を借りる予算もなく、須坂の富士通総合グランドテニスコートを利用させていただいた。そうした事情から、大会も無理な運営にならざるをえず、コートも少ないため3ゲームマッチで行なうなど、選手も十分なゲームができず、番狂わせもおこった。そんな中で、松代が昭和51年から昭和53年まで県高校総体において3年連続優勝したことは、専門部にとっても、また、数少ない各校のテニス同好会にとっても、目標になり、はげみになったと思う。

全国高校総体での成績は、初出場の昭和51年一回

戦敗退、昭和52年二回戦敗退、昭和53年には、一回戦沖縄の首里を3-0、二回戦では岡山の岡山工業を2-1で破り、三回戦で高知に惜敗したが、長野県のチームとしては初めて三回戦に進出、ベスト16入りを果たした。これ以来、北信全体のレベル向上に弾みがついた。昭和55年には、長野東が県高校総体に優勝し、全国高校総体に出場、一回戦で敗れはしたが善戦した。このように、全国大会ではもう一步北信越においては、なんとしても優勝することができず、何とか北信越で優勝、全国大会でも上位入賞できないものかと昭和55年度より三年計画で強力チームをめざし、松代男子チームの強化をはじめた。その結果、昭和56年県新人大会優勝、全国選抜高校総体選手権北信越予選に優勝し、また、同全国大会では、男子団体で三回戦へ進出、ベスト16入りを果たす活躍だった。昭和57年、チーム作りから3年目、県高校総体に優勝、北信越総体でも優勝、ようやく念願がかなえられた。北信越での優勝は10年ぶりであった。しかし、全国高校総体では、No.2の西村選手の故障で、男子団体では二回選進出にとどまったが、個人戦シングルスでは、松代・岡田選手が、長野県初めての四回戦進出、ベスト16入りを果たし、全国高校ランキング14位という素晴らしい活躍をした。いずれにしても、全国高校ランキング、日本総協協会ランキングに北信地区の選手が出たことは、たいへん喜ばしいことであった。また、女子の方は、昭和57、58、59年と北信代表の松代が、県高校総体で3年連続優勝を遂げ、全国高校総体に出場、昭和57年、昭和59年は二回戦まで勝ち進み、昭和58年には全国高校総体全国高校選抜大会共に三回戦まで進出し、ベスト16入りした。また、松代は北信大会で男女共6季連続優勝を果している。

学校のクラブ活動を通して、専門部の果たす役割と顧問の指導いかんで、無限の可能性を持つ生徒が、いろいろな面で成長し、社会に巣立って活躍する姿を見るにつけ、指導者は、教えることに喜びを感じ、勝った感激も負けた口惜しさも一緒に味わってこそ、



昭和56年 団体で全国選抜大会三回戦進出(ベスト16)、昭和57年北信総体優勝、全国高校総体二回戦へ進出した松代高校男子チーム。

生きがいがあるのではないだろうか。高校時代は身心共に成熟期にあり、その点からも、放課後のクラブ活動は大切な時間であり、自主的な活動とはいえ顧問の果す役割は大きいと思う。また、部員達が互いに張り合い、励まし合って練習していく中にこそクラブ活動の価値がみいだされるものと思う。そうした活動を通して、技も磨かれ、体力や精神力も養われ、誠合に勝つことができ、また、非行防止のた

めにもなり、人間として生きる自信にもつながってくるものと思う。テニスのクラブを指導するねらいは、テニスのすばらしさを部員達に伝えてやり、一人でも多く生涯スポーツとしてテニスをやる仲間を増やしていくことであり、また、社会に出てから技術的にも、理論的にも、また、生き方の上からも、自信をもって人に教えられるテニスを学ばせたいということである。一昨年、松代高校の生徒を対象に実施した生涯スポーツについての調査では、年代別に生涯スポーツとしてどんなスポーツをしていきたいかという質問に対して、10代では一番がスキー、二番テニス、20代では一番テニス、二番スキー、30代でも一番テニス、二番はゴルフ、40代で一番ゴルフ、二番テニス、50代一番ゴルフ、60代一番ゲートボールであった。生涯スポーツとしてテニスは手軽でスポーツ寿命も永いので一人でも多くの生徒に経験させ、教えていきたいものである。これからの社会では、スポーツがますます盛んになっていくであろう。そうしたスポーツ社会に対応できる人間の育成という立場からも、高校におけるクラブ活動が大きな役割をもってくるものと確信し期待するものである。(文責 遠藤六郎)

## 北信高等学校春季総合体育大会

### 男子・団体

年度	1 位	スコア	2 位	3 位	
52	松 代		長 野 東	須 坂	長 野 吉 田
53	松 代	3 - 0	屋 代	長 野 東	長 野 工 業
54	松 代	2 - 0	屋 代 南	須 坂	長 野
55	長 野 東	2 - 1	長 野	松 代	屋 代
56	松 代	2 - 0	須 坂	長 野 東	長 野
57	松 代	2 - 0	長 野 東	屋 代	屋 代 南
58	松 代	2 - 0	須 坂	長 野 吉 田	長 野 東
59	松 代	2 - 1	長 野	須 坂	屋 代
60	松 代	2 - 1	須 坂	屋 代 南	長 野 南

### 男子・シングルス

年度	1 位	スコア	2 位	3 位	
51	町 田(松 代)	2 - 0	宮 本(松 代)	近 藤(松 代)	北 村(松 代)
52	北 村(松 代)	6 - 3	山 崎(松 代)	上 沢(松 代)	宮 沢(長 野)
53	竹 内(松 代)	6 - 2	柄 木 田(松 代)	上 沢(松 代)	宮 沢(長 野)
54	岡 田(屋代南)	6 - 4	柄 木 田(松 代)	岡 沢(松 代)	海 野(須 坂)
55	岡 田(松 代)	6 - 2	岡 田(長野東)	西 村(松 代)	北 村(長 野)
56	青 沼(松 代)	6 - 3	岡 田(松 代)	村 田(松 代)	西 村(松 代)
57	小 林(長野東)	6 - 2	和 田(松 代)	村 田(松 代)	川 口(長野東)
58	村 田(松 代)	6 - 5	横 山 健(松 代)	宮 入(松 代)	横 山(松 代)
59	宮 尾(松 代)	6 - 0	北 沢(松 代)	山 崎(長 野)	滝 沢(須 坂)
60	宮 原(屋 代)	6 - 4	山 本(須 坂)	東 福 寺(松 代)	関 (須 坂)

### 男子・ダブルス

年度	1 位	スコア	2 位	3 位	
51	町田・宮本(松 代)	2 - 0	北村・近藤(松 代)	柳町・山崎(松 代)	笠原・北原(長野東)
52	北村・竹内(松 代)	6 - 2	山崎・宮沢(松 代)	宮沢・山内(長 野)	坂口・佐藤(長野東)
53	竹内・上沢(松 代)	6 - 2	柄木田・寺沢(松 代)	宮沢・山内(長 野)	坂口・佐藤(長野東)
54	柄木田・岡沢(松 代)	6 - 2	内田・内山(屋代南)	倉田・桑原(松 代)	滝沢・山田(長 野)
55	岡田・西村(松 代)	6 - 4	北村・柄沢(長 野)	山口・志津(屋 代)	岡田・田島(長野東)
56	岡田・西村(松 代)	6 - 3	川口・小林(長野東)	青沼・村田(松 代)	外谷・宮沢(長野東)
57	小林・川口(長野東)	6 - 1	北沢・鈴木(松 代)	横山・清水(松 代)	和田・横山(松 代)
58	横山・宮入(松 代)	7 - 6	荻野・清水(松 代)	村田・横山(松 代)	滝沢・中曾根(屋代南)
59	北沢・宮尾(松 代)	6 - 3	村山・池田(松 代)	平林・井出(長 野)	北沢・湯本(松 代)
60	東福寺・寺内(松 代)	6 - 1	奥井・山本(須 坂)	三浦・杉本(長野東)	真島・須坂(屋 代)

北信高等学校春季総合体育大会

女子・団体

年度	1 位	スコア	2 位	3 位	
51					
52	屋代南		皐月	長野東	長野西
53	長野東	3 - 0	屋代南	長野東	長野吉田
54	長野	2 - 1	屋代南	長野東	
55	長野	3 - 0	屋代南	長野女子	長野東
56	須坂	2 - 0	長野	坂城	松代
57	松代	2 - 1	長野女子	屋代	須坂
58	松代	2 - 0	須坂	屋代	長野女子
59	松代	2 - 0	長野女子	長野南	長野吉田
60	長野女子	2 - 0	松代	長野東	長野南

女子・シングルス

年度	1 位	スコア	2 位	3 位	
51	前田(長野)	2 - 1	米沢(皐月)	芳沢(長野西)	松井(皐月)
52	前田(長野)	6 - 1	米沢(皐月)	西沢(吉田)	田中(長野東)
53	宮沢(長野女)	6 - 3	栗原(長野)	宮入(屋代南)	田中(長野東)
54	栗原(長野)	6 - 2	中沢(長野)	今井(屋代南)	柳沢(屋代南)
55	中沢(長野)	6 - 2	下里(長野)	柳町(屋代南)	小林(長野)
56	河島(松代)	6 - 1	竹内(松代)	鈴木(長野東)	番場(須坂)
57	竹内(松代)	7 - 5	川島(松代)	相沢(松代)	保科(長野女)
58	竹内(松代)	6 - 4	保科(長野女)	青木(松代)	川島(松代)
59	相沢(松代)	6 - 0	大塚(松代)	稲玉(松代)	若林(松代)
60	村田(長野女)	6 - 3	亘(松代)	金井(松代)	古岩井(長野女)

女子・ダブルス

年度	1 位	スコア	2 位	3 位	
51	米沢・松井(皐月)	2 - 0	永井・宮下(屋代南)	毛利・清道(屋代南)	大日方・河島(屋代南)
52	前田・栗原(長野)	6 - 1	吉原・竹内(屋代南)	米沢・松井(皐月)	清道・朝日(屋代南)
53	西原・宮沢(長野女)	6 - 2	今井・丸山(屋代南)	中沢・関田(屋代南)	塚田・寺坂(屋代南)
54	栗原・中沢(長野)	7 - 6	早川・池田(長野東)	今井・丸山(屋代南)	倉島・矢島(屋代南)
55	中沢・下里(長野)	6 - 2	山形・竹内(坂城)	柳町・倉島(屋代南)	滝沢・小林(長野)
56	掛川・番場(須坂)	7 - 6	鈴木・北村(長野東)	宮尾・今井(長野)	竹村・鈴木(坂城)
57	川島・竹村(松代)	7 - 5	滝沢・保科(長野女)	相沢・竹内(松代)	有賀・小根沢(長野女)
58	竹内・川島(松代)	6 - 1	青木・今井(松代)	相沢・大塚(松代)	保科・磯野(長野女)
59	相沢・大塚(松代)	6 - 2	村田・古岩井(長野女)	中里・西村(屋代)	稲玉・若林(松代)
60	金井・神田(松代)	6 - 3	村田・古岩井(長野女)	山口・前田(長野女)	丸山・亘(松代)

## 北信高等学校秋季体育大会

### 男子・団体

年度	1 位	スコア	2 位	3 位	
54	松 代	2 - 1	長 野	長 野 東	屋 代
55	松 代	2 - 0	須 坂	長 野	長 野 東
56	松 代	2 - 0	屋 代	長 野 東	長 野
57	松 代	2 - 1	長 野	長 野 吉 田	長 野 東
58	松 代	2 - 0	長 野	屋 代	長 野 南
59	長 野 南	2 - 1	長 野 東	松 代	須 坂
60	松 代	2 - 1	須 坂	坂 城	長 野

### 男子・シングルス

年度	1 位	スコア	2 位	3 位	
51	町 田(松 代)	6 - 2	山 崎(松 代)	竹 内(松 代)	宮 沢(長 野)
52	宮 沢(長 野)	6 - 4	上 沢(松 代)	柄 木 田(松 代)	竹 内(松 代)
53	柄 木 田(松 代)	6 - 4	岡 田(屋代南)	岡 沢(松 代)	海 野(須 坂)
54	桑 原(松 代)	6 - 4	岡 田(松 代)	山 崎(松 代)	西 村(松 代)
55	岡 田(松 代)	6 - 3	青 沼(松 代)	西 村(松 代)	村 田(松 代)
56	和 田(松 代)	6 - 4	小 林(屋 代)	宮 入(松 代)	北 沢(松 代)
57	村 田(松 代)	6 - 2	横 山 覚(松 代)	横 山(松 代)	宮 入(松 代)
58	宮 尾(松 代)	6 - 3	北 沢 正(松 代)	北 沢 進(松 代)	池 田(松 代)
59	東 福 寺(松 代)	6 - 4	滝 沢(松 代)	福 水(長 野)	三 浦(長野東)
60	宇 原(長 野)		松 本(長 野)	北 村(長野東)	深 瀬(長 野)

### 男子・ダブルス

年度	1 位	スコア	2 位	3 位	
52	上沢・竹内(松 代)	6 - 3	坂口・佐藤(長野東)	岡島・堀内(長野東)	柄木田・丸山(松 代)
53	柄木田・岡沢(松 代)	6 - 4	岡田・内山(屋代南)	山田・滝沢(長 野)	倉田・桑原(松 代)
54	北村・勝田(長 野)	6 - 4	田島・岡田(長野東)	桑原・山崎(松 代)	山口・志津(屋 代)
55	岡田・西村(松 代)	6 - 0	柄沢・藤井(長 野)	和田・徳光(長 野)	徳武・小林(長野東)
56	浅川・奥村(長 野)	6 - 4	小林・丸田(屋 代)	平出・北沢(松 代)	和田・鈴木(松 代)
57	横山・村田(松 代)	6 - 3	宮入・横山(松 代)	清水・荻野(松 代)	伊東・石坂(吉 田)
58	宮尾・北沢正(松 代)	6 - 2	北沢進・池田(松 代)	山崎・小林(長 野)	中条・小林(屋 代)
59	倉島・堀口(長野南)	6 - 3	東福寺・寺内(松 代)	三浦・松本(長野東)	関・手塚(須 坂)
60	宇原・松本(長 野)		横山・平沢(須 坂)	関沢・小林(長野東)	久保・轟(長野東)

## 北信高等学校秋季体育大会

### 女子・団体

年度	1 位	スコア	2 位	3 位	
53					
54	屋代南	2 - 1	長野女子	長野東	長野
55	長野	2 - 0	屋代南	松代	長野東
56	松代	2 - 1	長野女子	長野	須坂
57	松代	2 - 1	長野女子	須坂	屋代
58	松代	2 - 0	長野女子	須坂	長野
59	長野女子	2 - 0	松代	長野南	須坂
60	松代	2 - 0	長野東	須坂	長野南

### 女子・シングルス

年度	1 位	スコア	2 位	3 位	
52	中沢(屋代南)	6 - 1	早川(長野東)	田中(長野東)	栗原(長野)
53	西原(長野女)	6 - 2	早川(長野東)	宮沢(長野女)	栗原(長野)
54	中沢(長野)	6 - 3	小宮山(屋代南)	柳町(屋代南)	笠井(長野東)
55	下里(長野)	7 - 5	小宮山(屋代南)	小林(長野)	河島(松代)
56	相沢(松代)	6 - 3	竹村(松代)	川島(松代)	小根沢(長野女)
57	保科(長野女)	6 - 2	竹内(松代)	川島(松代)	青木(松代)
58	相沢(松代)	6 - 2	大塚(松代)	若林(松代)	村田(長野女)
59	村田(長野女)	7 - 5	古岩井(長野女)	若林(長野南)	山口(長野女)
60	金井(松代)	6 - 1	神田(松代)	宮本(松代)	高津(長野東)

### 女子・ダブルス

年度	1 位	スコア	2 位	3 位	
52	田中・島田(長野東)	関田・中沢(屋代南)	(時間の都合で決勝戦中止)	宮原・宮沢(長野女)	九貫・柄沢(長野東)
53	宮沢・西原(長野女)	6 - 4	今井・丸山(屋代南)	栗原・細井(長野)	早川・吉原(長野東)
54	中沢・下里(長野)	6 - 4	山形・竹村(坂城)	太田・滝沢(長野女)	宮沢・根岸(長野女)
55	宮尾・今井(長野)	6 - 2	鈴木・木村(長野東)	小宮山・原田(屋代南)	下里・小林(長野)
56	川島・竹村(松代)	6 - 2	滝沢・保科(長野女)	相沢・竹内(松代)	有賀・小根沢(長野女)
57	竹内・川島(松代)	6 - 3	青木・今井(松代)	小林・池田(松代)	小林・山越(松代)
58	相沢・大塚(松代)	6 - 1	稲玉・若林(松代)	白井・成田(須坂)	村田・古岩井(長野女)
59	村田・小岩井(長野女)	6 - 1	前田・山口(長野女)	清水・三浦(松代)	丸山・亘(松代)
60	金井・神田(松代)	7 - 5	宮本・長田(松代)	高津・西沢(長野東)	樽田・保科(長野商)



## 登

## 山

長野県高体連登山部の発足は、全国でも遅い方である。昭和51年長野県においてインターハイが開催されることになり、そのために大会の数年前から組織づくりが始められたとあってよい。したがって、北信高体連登山部もこの時（昭和47年）にスタートしたわけで、他の専門部よりもはるかに歴史は浅い。

全国大会運営のために専門部活動を早期に軌道に乗せる必要があり、発足当時の役員は、組織づくり、大会運営などでたいへんな苦勞をしている。専門部の体制づくりでは、ベテランの山岳部顧問の先生方にお願ひし、協力していただくことになった。大会は、春は県大会のみ、秋に地区大会を行うことになった。

第一回大会は、戸隠牧場を中心に、一日目は講師を招いての研修、夜はキャンプファイアを囲んでの交流、二日目は戸隠山の登山という内容を計画した。準備もさることながら、現在のように大会が一般化しておらず、登山には大会や競技はそぐわないという考えが強く、大会参加者があるかどうか心配された。しかし、各高校へ参加を呼びかけたところ50名を超える参加者をえて、にぎやかな大会となった。

以後、会場を一年ごとに東飯綱高原と戸隠牧場に変えながら、今日に至っている。

この間、高校生の登山活動にも大きな変化がみられる。登山大会についての考え方が、大会を通じ技術交流ができ、親睦が深められる機会だというように変わり、参加に対する抵抗感もなくなってきている。登山に対する姿勢も、山好きの集まりというイメージから、クラブ活動を楽しむ集団という感じになってきている。もちろん、用具も大きく変化している。これらの変化への対応も、当然必要になってきている。登山専門部の課題とあってよいだろう。

十数年の間に、インターハイ、国体などの全国大会があり、登山部としても協力してきた。また、山岳部顧問会も開催されている。全国大会では、インターハイにおいて長野工業高校（昭和55年・高知県・種目男子）と長野西高校（昭和57年・鹿児島県・

団体女子）が、また、国体では長野工業高校（昭和53年・長野県）と須坂高校（昭和58年・島根県）が一位に相当する優秀な成績を残している。

（文責 宮本義彦）



飯綱山合同登山風景



# ス キ ー

昭和30年に発足したスキー専門部が最初に手がけたことは、昭和23年より飯山市で行なわれていた県高校大会への協力であった。当時、県高校大会は、飯山市の神明ヶ丘スキー場を中心に実施されていた。そして、昭和32年飯山市で開催されたインターハイを境に、アルペン種目は黒岩スキー場（現在の信濃平スキー場）へ移った。その後、昭和53年の第30回まで飯山市を中心に開催されてきた。地元飯山市スキークラブの皆様方の絶大なご協力のもと、地元高校生（飯山北、飯山南、飯山照丘、下高井農林）及び四校の先生が授業を振り替えて大会運営に協力した。機械を導入した現在の大会運営と比べると大変な労力のもとで大会が実施されていた。この県高校大会も、昭和54年からは、「長野県スキー大会週間」に組み込まれ、県内各地で開催されるようになった。

また、スキー専門部では、昭和40年頃から基礎スキーの実技講習会を開催し、生徒・職員のスキー技術向上に役立ってきた。経済の高度成長とともにスキーも年々普及発展し、用具・服装等も著しく変化すると同時に、スキー技術も急速の進歩をとげてきた。昭和45年には、県教職員スキー研修会が発足、翌年の講習会は両者の共催で木島平スキー場において開催された。その後は双方の独自性を重んじ別々に講習会を実施したが、昭和50年代に入り高体連主催の講習会への参加者は減少の一途をたどり、昭和55年より講習会はスキー研修会へお願いし、専門部は競技選手養成への道をより一層強める方向へと切りかえた。

インターハイは飯山市（昭和32年・45年の2回）と、志賀高原（昭和40年）で開催された。専門部では、昭和40年頃よりインターハイ選手団へ毎年1～2名の代表者を送り、県選手団の競技力向上につとめた。インターハイでの成績は以下の通りである。長野県の種目優勝は、アルペン31回、クロスカントリー6回、ジャンプ（含複合）2回、リレー4回である。男子総合では、下高井農林1回（昭和27年）、

飯山北3回（昭和30年、昭和41年、昭和50年）の優勝を、女子総合では、飯山南が7連勝（昭和41年～昭和48年、昭和47年雪不足で中止）、その後2連勝（昭和52年、昭和53年）し、更に昭和60年と合計10回の総合優勝を遂げている。更に、これらの栄光を基に、冬期オリンピックスキー競技では10名にのぼる選手が選ばれ活躍している。

現在北信高体連スキー部加盟校は20校と1分校を数え、生徒数は下記のとおりである。アルペン長野

種 目	男子	女子
アルペン	198名	44名
クロスカントリー	28名	14名
ジャンプ	13名	

（昭和58年5月1日現在）

を象徴するかのよう  
に多数のアルペン陣を擁しているが、クロスカントリー、ジャンプ陣が手

薄になっているのは寂しい。しかし、選手達は、長野県スキー連盟のご協力を得て、北信高体連各校の諸先生方の指導のもと全国制覇へ向けて連日きびしいトレーニングに励んでいる。

（文責 吉沢金蔵）



昭和60年全国高校総体（福島県・猪苗代）  
大回転・回転に優勝 2冠と同時に10回目  
の女子総合優勝を決めた 富井真紀子  
（飯山南）



## スケート

スケート王国長野県でありながら長野市をはじめとして北信地方のスケート人口は、冬の降雪、気温等の条件により、東・南信地方と比べると皆無であった。

昭和の初期、長野市郊外の田子池でオリンピック候補選手が数名で合宿を行なったことにより地元の子供達がスケートに興味をもちはじめた。当時のスケートは、ほとんど下駄スケートで靴スケートを持っている人はほんの数人であった。

その頃の農山村地では、冬、これといったスポーツもなく、1年に1回行なわれる田子池スケート大会が何よりの楽しみであった。競技の内容は、スケートだけでなく、長靴競走、みかん拾い等だれでも参加できるレクリエーション的なものも盛り込まれていた。当日は近郷近在から大勢の見物客が集まり、祭り以上のにぎわいであった。

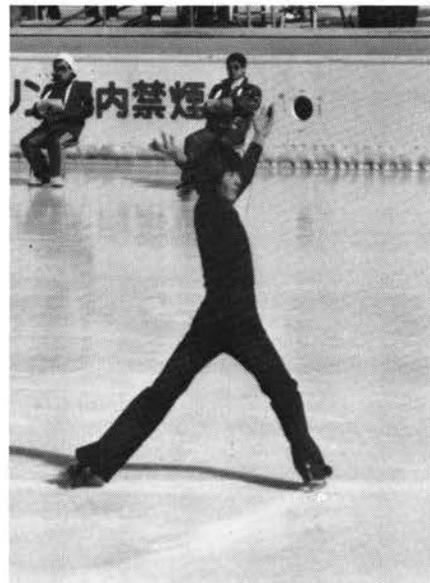
フィギアのオリンピック選手稲田悦子さんが特別参加、可憐な演技を披露し観衆を魅了させた。また、スピード競技では、県内の高校生が参加し、北信地区で開催された大会はこれが最初であった。昭和27年頃だったと思う。その後、昭和41年10月、長野市に室内の長野スケートセンターがオープンし、また、翌年1月には、長野市郊外の飯縄湖で、北信地方では初めての国体県予選が行なわれた。これを期に、長野市周辺では、スケート熱が急速に高まってきた。

しかし、小学生の場合は、学校単位で体育の時間等でスケートセンターを利用していたので選手の育成も可能であったが、中学生・高校生の場合はクラブが結成されるまでに至らず、選手の育成には困難があった。また、指導者も少なく、佐久・諏訪地方でスケートをされ転動してこられた先生方をたよりに小学生を主体としたクラブを結成し、曲りなりにも選手育成の第一歩を踏み出した。しかし、伝統も実績も持たない地域で、高校生を県大会へ出場させるだけの実力をつけるには、小学校・中学校・高校と一貫した指導を行ない、かつ、本人の自覚もなければ無理である。指導者は、これが一番の頭痛の種であった。

指導者により年間のスケジュールを組立て実行に入った。特に、スケート競技では、オフの期間が長いので、この間のトレーニングが指導者の一番の苦勞となった。このようなたゆまぬ指導者の努力と陰で声援を送っていただいた皆様により、クラブ結成5年後にして初めて長野市で育った選手が少数ではあるがインターハイ・国体に出場し、現在では入賞する選手もあらわれている。

だれにも負けない不屈の忍耐力を持って社会人として巣立つ日をまちながら、今日もきびしい寒さの中で自分の体力の限界まで挑戦できる体力を養うため、陸上トレーニングに励んでいる高校生がたのもし。

(文責 尾田美恵子)



昭和56年全国高校総体(山梨)  
フィギュア5位 山崎弘雄(吉田)

# 空 手 道

## ・活動の経過

県下高校の空手界は、昭和55年、各校のクラブ活動等の実状を把握し、相互の交流を図ろうと実態調査をすることから始った。そして、2年後の昭和57年の5月に、

- イ 県及び各地区高体連へ加盟の働きかけ
- ロ 大会の開催
- ハ 全国高空連（現高体連空手道部）への加盟及び全国大会参加

ニ 技術講習会・審判講習会の開催

等を目的に、「長野県高等学校空手道連絡会」の名称で8校の加盟により発足した。

昭和58年度、第1回の県大会を6月12日長野吉田高校において開催、7校から男子32名・女子8名の参加で団体戦・個人戦7種目に覇を競い、その代表が神戸市において開催された第10回全国大会に初出場した。

昭和59年度には、第1回北信越大会が開催され、女子個人型の部の優勝をはじめ多数の入賞者が生まれた。そして、昭和60年2月、念願であった県高体連への加盟が承認され新たなスタートをきった。

昭和60年度は北信高体連への加盟も承認され、5月11日第1回の北信大会を開催。5校より男子28名、女子6名が参加し、組手・型の個人戦に熱戦を展開した。6月には県大会を開催、その上位者が石川県での北信越大会、沖縄県での全国大会に出場した。

## ・現況と今後の課題

昭和58年度第1回の県大会は7校の参加であったが、今年度は14校に増加、また、北信地区においても4校から8校へと盛況になってきた。しかし、全体的にみてもまだまだクラブ活動として行なっている学校は少ないのが現状である。また、道場へ通って練習しているが、学校にクラブがないため大会に参加できない生徒も多数いる。そして、指導者不足の解消、技術の向上等今後の課題は数多くあるが、

他の専門部の実態を参考にしながら1つ1つ課題を克服し、組織の充実・強化を図ってきたい。

（文責 根橋 寛）

## 昭和60年 北信高等学校春季総合体育大会

	男 子		女 子	
	組手個人	型 個人	組手個人	型 個人
1位	大島(長野)	大嶋(長野)	北村(北部)	北村(北部)
2位	中牧(北部)	江守(北部)	倉科(北部)	倉科(北部)
3位	河口(屋代)	上原(北部)		

## 昭和60年 北信高等学校秋季体育大会

	男 子		女 子	
	学校対抗	個 人	学校対抗	個 人
1位	屋 代	鈴木 (須坂東)	/	北村 (長野南)
2位	上水内北部	高野(吉田)		宮沢 (須坂東)
3位	長 野 南	江守(北部)		倉科(北部)





## ラ ク ビ ー

ラクビーフットボール専門部は、昭和60年4月19日、篠ノ井高校で開催された北信高体連の理事会・評議員会で発足が認められ、今年度より活動がはじまったばかりの新しい部である。

現在、県下には12校が登録されており、そのうち4校は北信である。昭和24年南信の飯田高校でクラブとしての活動がはじまり、北信においては、長野工業高校で昭和43年から活動が始まった。2校目の誕生をみる昭和57年までの約15年程の間、長野工業高校が唯一の活動校として県高体連に加盟し、厳しい環境の中で顧問・生徒の努力によりラクビーの活動・精神を継承してきた。昭和56年秋、長野高校に同好会が発足、翌年には班昇格が認められた。同年須坂園芸高校に同好会が発足、翌年には正式な班としての活動が始まる。また、昭和58年新設の長野南高校にも開校と同時にラクビー班の活動が始まった。尚、長野高校は昭和25年から昭和27年の3ケ年活動の歴史があり、正確には30年振りの復活ということになる。現在同好会発足に向けて準備中の学校もあり、今後加盟校は増加していくものと思われる。

1校が2校へ、2校が3・4校へと加盟校が増加していく中で、練習法の講習会、練習試合、また、高体連の専門部、県ラクビー協会による技術やルール・レフェリング伝達講習会等が盛んに行なわれるようになり、そんな中で北信高体連にも是非専門部を設置したいとの声が高まり、関係の先生方のご指導により昭和60年度発足のはこびとなった。

現在の社会の中で、高校生がとかくひ弱になりつつある昨今、大地にかえり、泥にまみれて、体でぶつかりあうこのスポーツは、激しく苦しいものであることは確かだが、この苦しさを通して、きっと将来への何かが生れるものと信じている。顧問の先生方も生徒の熱意に応えるべく、日々研鑽を重ね、生徒と一体となって活発に活動していく中で、普及・強化をはかっていこうと誓い合っている。発足して間もない専門部であり、試行錯誤していくことが多

く、関係の先生方にはご迷惑をおかけすることもあろうかと思いますが、今後共よろしくご指導の程お願い申し上げます。

(文責 宮下喜光)



# 定 通

昭和45年まで高体連未加入であった。それまでは、北信定通体育大会という名称で、バレーボール・バスケットボール・卓球の三種目を実施、種目別と総合を競ってきた。また、大会は、定通関係の先生で運営された。しかし、しだいに規模も大きくなり、運営に支障も出、他地区の動向も考慮し、一刻も早く高体連へ加入することが望ましいという定通関係者の考えから、当時、更級農業高校で前高体連理事長の丸山保彦先生、および、北信定通主事会議の御尽力を得て、当時の高体連理事長・宮崎荘造先生(元長野高校教諭)にはたらきかけていただき、昭和46年、ようやく定通の独立採算を条件に加盟が認められた。初代責任者に菊地光雄先生(元長野高校)になり、加盟のスタートを切った。昭和47年、高体連事務局が長野西高校、理事長、宮本迪彦先生(長野西高校)に代わり、定通の責任者も飽田次雄先生(元長野西高校)、荒井龍衛先生(元長野西高校)、牛村一雄(元長野西高校)と代わった。昭和52年、高体連事務局が長野吉田高校に移り、定通責任者は引き続き牛村一雄(長野吉田高校)で、昭和57年から現在まで岡村新一先生(須坂高校)となっている。現在は責任者から専門委員長と呼称がかわっている。またその間、いくつかの変化・変革があった。

まず第一は、加盟当時より15校の定通高校は、時代の変化によって、5校が廃止、合併になり、現在は、中野実業高校、須坂高校、上水内北部信濃町分校、長野西通信制、長野工業高校、長野商業高校、長野高校、長野吉田戸隠分校、篠ノ井高校、松代高校の10校で、実態も、生徒減により、団体種目に出場できない学校も数校に及んでいる。そうした学校の実態から、運動会形式のように一堂に会して盛大に体育祭をやったらどうかと研究された時期もあったが、結局、春・秋の2回の大会を実施。その内、春は、県大会、北信越大会、全国大会につながる予選とし、秋は、未加入時代からの意義を尊重し、親睦を深めるためという目的の大会とし、毎年、専門委員会で各校の実態をみて種目を決定することとした。

第二に、昭和46年、高体連加盟と同時に、運営面で、高体連各種目専門委員長の協力を得た(要項作



北信越4連勝の長野工業高校  
バスケットボールチーム

成・組合せ・大会当日の責任者等)。その後、現在まで大会当日の役員は、全日制・定時制の区別なく、高体連として運営されている。また、昭和56年、理事長の渡辺伊八先生(長野吉田高校)の御尽力により、定通専門部という位置づけと予算、その他全日制・定通制の区別のない高体連加盟が実現した。特に、予算面では、同じ高校生として定通制のみが独立採算制であってはならないという考え方と、年々無理がくるのではないかという懸念が定通代表会議で討議され、所定の手続きに従って理事会・評議員会で認められ、区別のない状態(分担金・登録料・参加料は全日制と全く同様)になったことは、今後の発展のために喜ばしい限りである。ただし、通信制も特殊ではあるが同等になった。

第三に、定通専門部の出場できる大会は、前述の年2回他に、インターハイ予選と新人大会に飯水地区、須高地区、長水地区、更埴地区の各代表1チームだけが出場できる。

第四に、各校の活躍は、他地区と比較してすばらしいものがある。年々、生徒減で大変なことではあるが、今後、益々の活躍を期待したい。

最後に、今日までのこの発展に多大な御尽力、御協力をいただいた高体連関係者、及び関係諸先生方に、心から感謝を申し上げ、今後も見守っていただきたくお願い申し上げます。(文責 牛村一雄)

46年度・第3回北信定通体育大会

47年度・第4回

			バスケットボール	バレーボール
男	春	1		
		2		
		3		
子	秋	1		
		2		
		3		
女	春	1		
		2		
		3		
子	秋	1	長野西定	
		2	須坂園	
		3	須坂・更級農	

			バスケットボール	バレーボール
男	春	1		
		2		
		3		
子	秋	1	長野工業	須坂
		2	長野商業	長野工業
		3	須坂・長野吉田	長野商業・坂城
女	春	1		
		2		
		3		
子	秋	1	長野西通	須坂
		2	須坂	長野西通
		3	須坂園・長野西通	長野西通・松代

			卓球	
			団体	シングルス
男	春	1		
		2		
		3		
子	秋	1		
		2		
		3		
女	春	1		
		2		
		3		
子	秋	1		
		2		
		3		

			卓球	
			団体	シングルス
男	春	1		
		2		
		3		
子	秋	1	松代	永井(須坂商業)
		2	長野西通	峯村(松代)
		3	篠ノ井・屋代	宮川(長野工業)
女	春	1		
		2		
		3		
子	秋	1	長野西通	野峰(旭)
		2	須坂	千野(旭)
		3	更級農・長野西通	佐藤(下高井農)

			ソフトボール	柔道	
				団体	個人
男	春	1			
		2			
		3			
子	秋	1			
		2			
		3			

			ソフトボール	柔道	
				団体	個人
男	春	1			
		2			
		3			
子	秋	1	長野西通		
		2	須坂		
		3	長野商業・中野実業		

### 48年度・第5回北信定通体育大会

		バスケットボール		バレーボール		
男	春	1		須	坂	
		2		長	野 工 業	
		3		吉	田 ・ 長 野 商 業	
子	秋	1	長 野 工 業	長 野 工 業		
		2	須	坂	須	坂
		3	長 野 西 通 ・ 長 野 商 業	長 野 ・ 松 代		
女	春	1				
		2				
		3				
子	秋	1	須	坂		
		2	長 野 西 通			
		3	坂 城 ・ 長 野 西 通			

		バドミントン			
		団 体	シングルス	ダブルス	
男	春	1			
		2			
		3			
子	秋	1			
		2			
		3			
女	春	1			
		2			
		3			
子	秋	1			
		2			
		3			

		卓 球	
		団 体	シ ン グ ル ス
男	春	1	坂 城 聖 沢 ( 松 代 )
		2	松 代 水 倉 ( 長 野 西 定 )
		3	長 野 西 通 ・ 長 野 工 業 山 崎 ( 坂 城 ) 角 ( 屋 代 )
子	秋	1	長 野 工 業
		2	松 代
		3	長 野 西 通 ・ 長 野
女	春	1	長 野 西 通 藤 沢 ( 長 野 西 定 )
		2	須 坂 清 水 ( 長 野 西 定 )
		3	松 代 小 西 ( 長 野 西 定 ) 佐 相 ( 長 野 西 通 )
子	秋	1	須 坂
		2	長 野 西 定
		3	長 野 西 通 ・ 松 代

		軟 式 庭 球	
		団 体	ダ ブ ル ス
男	春	1	
		2	
		3	
子	秋	1	
		2	
		3	
女	春	1	
		2	
		3	
子	秋	1	
		2	
		3	

		ソフトボール	柔 道	
			団 体	個 人
男	春	1	長 野 工 業	小 沢 ( 長 野 実 業 )
		2		小 林 未 ( 長 野 工 業 )
		3		石 沢 ( 長 野 商 業 )
子	秋	1	雨 天 中 止 長 野 工 業	久 保 田 ( 長 野 工 業 )
		2	長 野 商 業	小 林 ( 須 坂 )
		3	須 坂	石 沢 ( 長 野 商 ) 小 林 ( 長 野 工 )

49年度・第6回北信定通体育大会

		バスケットボール		バレーボール	
男	春	1			
		2			
		3			
子	秋	1	須坂	中野実業	業
		2	長野工業	長野工業	業
		3	長野商業・長野西通	須坂・須坂園	
女	春	1			
		2			
		3			
子	秋	1	長野西定	長野西定	
		2	須坂	須坂	
		3	須坂園・坂城	飯山南	

		団 体		シングルス	ダブルス
男	春	1	中野実業		
		2	長野工業		
		3	須坂・長野		
子	秋	1			
		2			
		3			
女	春	1	長野西定		
		2	須坂		
		3	松代		
子	秋	1			
		2			
		3			

		卓 球	
		団 体	シングルス
男	春	1	長野西通 掛川(坂城)
		2	屋代 水倉(西通)
		3	坂城・松代 真島(松代) 真杉山(長野西通)
子	秋	1	坂城
		2	屋代
		3	須坂・篠ノ井
女	春	1	須坂
		2	長野西定
		3	長野西通・坂城
子	秋	1	須坂
		2	長野西定
		3	松代・坂城

		軟 式 庭 球	
		団 体	ダブルス
男	春	1	
		2	
		3	
子	秋	1	
		2	
		3	
女	春	1	
		2	
		3	
子	秋	1	
		2	
		3	

		ソフトボール	柔 道	
			団 体	個 人
男	春	1		
		2		
		3		
子	秋	1	須坂(小布施)	久保田操治 (長野工業)
		2	長野西通	今井貞一郎 (長野商業)
		3	中野実業・ 長野工業	桜井(長野工業) 小林(長野工業)

50年度・第7回北信定通体育大会

		バスケットボール		バレーボール	
男	春	1		中野実業	
		2		長野工業	
		3		飯山南・須坂	
子	秋	1	長野工業	中野実業	
		2	長野	長野工業	
		3	須坂・長野商業	飯山南・松代	
女	春	1		須坂	
		2		飯山南	
		3		中野実業	
子	秋	1	長野西定	須坂	
		2	須坂	長野西定	
		3	長野西通・坂城	長野西通・飯山南	

		バドミントン			
		団体		シングルス	ダブルス
男	春	1			
		2			
		3			
子	秋	1			
		2			
		3			
女	春	1			
		2			
		3			
子	秋	1			
		2			
		3			

		卓球			
		団体		シングルス	
男	春	1	須坂	上原(須坂)	
		2	篠ノ井	安藤(須坂)	
		3	長野西通・坂城	田中(篠ノ井) 掛川(坂城)	
子	秋	1	須坂		
		2	長野西通		
		3	坂城・長野商業		
女	春	1	長野西定	伝田(須坂)	
		2	長野西通	福島(長野西定)	
		3	松代・坂城	田中(松代) 佐藤(坂城)	
子	秋	1	須坂		
		2	長野西定		
		3	坂城・長野商業		

		軟式庭球			
		団体		ダブルス	
男	春	1			
		2			
		3			
子	秋	1			
		2			
		3			
女	春	1			
		2			
		3			
子	秋	1			
		2			
		3			

		ソフトボール		柔道	
		団体		個人	
男	春	1		久保田栄治 (長野工)	
		2		今井貞一郎 (長野商)	
		3		小橋 静夫 (長野工)	
子	秋	1	長野工業	小橋 静夫 (長野工)	
		2	戸隠	内田 誠司 (長野工)	
		3	北部・中野実業	中村 武雄 (長野工)	

51年度・第8回北信定通体育大会

		バスケットボール		バレーボール	
男	春	1	長野工業	中野実業	
		2	長野	須坂	
		3	須坂・長野商業	長野西通・長野工	
子	秋	1	長野工業	中野実業	
		2	長野	長野工業	
		3	長野商・長野西通	戸隠・須坂	
女	春	1	長野西定	須坂	
		2	長野西通	長野西定	
		3	須坂・須坂園	飯山南	
子	秋	1	長野西定		
		2	戸隠		
		3	坂城・須坂		

		バドミントン		
		団体	シングルス	ダブルス
男	春	1		
		2		
		3		
子	秋	1	北 部 渡辺 憲一 (須坂)	村田・丸山 (北部)
		2	須 坂 村田 隆一 (北部)	渡辺・小林 (須坂)
		3	長野工業 丸山 駒村 (北部)	出野・駒村 (北部)
女	春	1		
		2		
		3		
子	秋	1	戸 隠 長谷川悦子 (須坂)	長谷川・朝日奈 (須坂)
		2	須 坂 原山つね子 (須坂)	松本・藤沢 (須坂)
		3	長野西定 南沢 黒田 (戸隠 (須坂))	曾根原・徳竹 浦野・吉田 (戸隠 (須坂))

		卓 球	
		団 体	シングルス
男	春	1	篠 ノ 井 佐藤 陽一(篠ノ井)
		2	長野西通 栗田 定(長野)
		3	坂城・須坂 引揚 岩倉 (篠ノ井 (長野西通))
子	秋	1	長野西通
		2	長野工業
		3	須坂・坂城
女	春	1	長野西定 小田 路子(長野西定)
		2	須 坂 中沢 節子(長野西定)
		3	坂城・長野西通 井浦 津野 (須 坂 (須 坂))
子	秋	1	長野西定
		2	長野西通
		3	須 坂

		軟 式 庭 球	
		団 体	ダ ブ ル ス
男	春	1	
		2	
		3	
子	秋	1	
		2	
		3	
女	春	1	
		2	
		3	
子	秋	1	
		2	
		3	

		ソフトボール	柔 道	
			団 体	個 人
男	春	1		
		2		
		3		
子	秋	1	戸 隠	
		2	長野西通	
		3	長野工業・吉田	

52年度・第9回北信定通体育大会

		バスケットボール		バレーボール	
男	春	1	長野工業	長野工業	
		2	長野商業	飯山南	
		3	長野・須坂	須坂・中野実業	
子	秋	1	長野工業	長野工業	
		2	長野商業	中野実業	
		3	須坂・長野	飯山南・須坂	
女	春	1	長野西定	長野西定	
		2	戸隠	須坂	
		3	須坂	戸隠	
子	秋	1	長野西定	長野西定	
		2	戸隠	戸隠	
		3		須坂	

		バドミントン		
		団体	シングルス	ダブルス
男	春	1		
		2		
		3		
子	秋	1	飯山南	田中(飯山南) 田中・石沢(飯山南)
		2	戸隠	石沢(飯山南) 曾根原(戸隠) 二本松
		3	北部	曾根原(戸隠) 丸山・佐藤(北部) 二本松
女	春	1		
		2		
		3		
子	秋	1	須坂	長谷川(須坂) 徳武・丸山(須坂)
		2	戸隠	小林(戸隠) 上原・聖沢(長野西)
		3	長野西	南沢(戸隠) 古平・原山(長野西) 坂城 徳武(戸隠) 須山・浦野(須坂)

		卓球	
		団体	シングルス
男	春	1	長野工業 佐藤(篠ノ井)
		2	長野 栗田(長野)
		3	篠ノ井・須坂 山村(須坂) 崎松(長野工)
子	秋	1	篠ノ井
		2	長野
		3	須坂・長野工業
女	春	1	長野西定 加藤(長西通)
		2	長野西通 花木(長西定)
		3	松代 鈴木(坂城) 中沢(長西定)
子	秋	1	長野西定
		2	長野西通
		3	坂城・須坂

		軟式庭球	
		団体	ダブルス
男	春	1	
		2	
		3	
子	秋	1	
		2	
		3	
女	春	1	
		2	
		3	
子	秋	1	
		2	
		3	

		ソフトボール	柔道	
			団体	個人
男	春	1		
		2		
		3		
子	秋	1	戸隠	
		2	長野西通	
		3	長野工業	

53年度・第10回北信定通体育大会

		バスケットボール		バレーボール	
男	春	1	長野工業	長野工業	
		2	長野商業	中野実業	
		3	戸隠・須坂	坂城・須坂	
子	秋	1	長野工業	中野実業	
		2	長野商業	長野工業	
		3	須坂	戸隠・須坂	
女	春	1	長野西定	長野西定	
		2	戸隠	戸隠	
		3			
子	秋	1	長野西定	戸隠	
		2	戸隠	長野西定	
		3	須坂	篠ノ井	

		バドミントン			
		団体	シングルス	ダブルス	
男	春	1	飯山南	宮川(戸隠)	
		2	長野	田中(飯山南)	
		3	北部	曾根原(戸隠) 石沢(飯山南)	
子	秋	1			
		2			
		3			
女	春	1	須坂	小林(戸隠)	
		2	戸隠	浦野(須坂)	
		3	長野西定	山口(須坂) 福原(飯山南)	
子	秋	1			
		2			
		3			

		卓球		
		団体	シングルス	
男	春	1	長野工業	山田(長野工)
		2	長野	北沢(長野工)
		3	篠ノ井・須坂	村松(長野工) 栗田(長野)
子	秋	1	長野工業	
		2	長野	
		3	篠ノ井・須坂	
女	春	1	長野西定	加藤(長野西通)
		2	須坂	中沢(長野西定)
		3		塚田(長野西定) 浦野(須坂)
子	秋	1		
		2		
		3		

		軟式庭球	
		団体	ダブルス
男	春	1	
		2	
		3	
子	秋	1	
		2	
		3	
女	春	1	
		2	
		3	
子	秋	1	
		2	
		3	

		ソフトボール	柔道	
			団体	個人
男	春	1	実施せず	
		2		
		3		
子	秋	1	雨天中止	
		2		
		3		

54年度・第11回北信定通体育大会

		バスケットボール		バレーボール	
男	春	1	長野工業	長野工業	
		2	須坂	中野実業	
		3	長野商業	須坂・戸隠	
子	秋	1	長野工業	中野実業	
		2	須坂	長野工業	
		3	篠ノ井・長野商業	戸隠	
女	春	1	長野西定	戸隠	
		2	長野商業	長野西定	
		3	須坂・戸隠		
子	秋	1	長野西定		
		2	須坂		
		3	戸隠		

		バドミントン		
		団体	シングルス	ダブルス
男	春	1	戸隠	宮川(戸隠) 宮沢・踏分(長野)
		2	長野	曽根原(戸隠) 坂本・増田(長野)
		3	北部・坂城	竹内(北部) 宮川・曽根原(戸隠) 田巻(篠ノ井) 原山・原山(戸隠)
子	秋	1		宮川(戸隠) 田巻・黒岩(篠ノ井)
		2		竹内(北部) 坂本・増田(長野)
		3		曽根原(戸隠) 竹内・小林(北部) 坂本(長野) 宮川・曽根原(戸隠)
女	春	1	戸隠	小林(戸隠) 小林・原山(戸隠)
		2	須坂	原山(戸隠) 佐野・山口(戸隠)
		3	長野西定 篠ノ井	浦野(須坂) 浦野・吉田(須坂) 山口(須坂) 田中・栗原(長西定)
子	秋	1		原山(戸隠) 浦野・吉田(須坂)
		2		浦野(須坂) 原山・徳重(戸隠)
		3		小林(戸隠) 小林・田中(長野西定) 高野(長野西定) 徳武・山口(戸隠)

		卓球	
		団体	シングルス
男	春	1	長野工業 北沢 (長野工)
		2	長野 神頭 (長西通)
		3	長野西通・須坂 山田 (長野工) 村松 (長野工)
子	秋	1	長野西通
		2	長野工業
		3	長野・須坂
女	春	1	長野西通 関谷 (長西定)
		2	長野西定 浦野 (須坂)
		3	須坂 関谷 (須坂) 高野 (長西定)
子	秋	1	長野西通
		2	須坂
		3	長野西定

		軟式庭球	
		団体	ダブルス
男	春	1	
		2	
		3	
子	秋	1	
		2	
		3	
女	春	1	
		2	
		3	
子	秋	1	
		2	
		3	

		ソフトボール	柔道	
			団体	個人
男	春	1		
		2		
		3		
子	秋	1		
		2		
		3		

55年度・第12回北信定通体育大会

		バスケットボール		バレーボール	
男 春	1	長野工業	中野実業		
	2	須坂	長野工業		
	3	松代・長野商業	長野・戸隠		
子 秋	1		長野工業		
	2		中野実業		
	3		須坂A・長野商業		
女 春	1	長野西定	戸隠		
	2	戸隠	長野西定		
	3	須坂			
子 秋	1		戸隠A		
	2		長野西定		
	3		戸隠B		

		バドミントン		
		団体	シングルス	ダブルス
男 春	1	戸隠	黒岩(篠ノ井)	坂本・増田(長野)
	2	長野	竹内(北部)	小林・黒岩(篠ノ井)
	3	長野西定・篠ノ井	坂本(長野) 原山(戸隠)	堀内・徳武(長西定)
子 秋	1		黒岩(篠ノ井)	
	2		坂本(長野)	
	3		増田(長野) 原山(戸隠)	
女 春	1	戸隠	原山(戸隠)	原山・小林(戸隠)
	2	長野西定	小林(戸隠)	高野・阿部(長西定)
	3	篠ノ井	徳重(戸隠) 内山(篠ノ井)	田中・栗原(長西定) 菅野・高橋(篠ノ井)
子 秋	1		原山(戸隠)	
	2		徳重(戸隠)	
	3		内山(篠ノ井) 小林(戸隠)	

		卓球	
		団体	シングルス
男 春	1	長西通	山田(長野工)
	2	長野工業	深沢(長野)
	3	長野・松代	神頭又(長西通) (長野工)
子 秋	1		神頭(長西通)
	2		鈴木(長野)
	3		深金(長野) 沢丸(長西通)
女 春	1	長野西通	加藤(長西通)
	2		深沢(長西通)
	3		東村(長西通) 西村(長西通)
子 秋	1		塚田(長西通)
	2		西村(長西通)
	3		深藤(長西通) 沢牧(松代)

		軟式庭球	
		団体	ダブルス
男 春	1	長野西通	丸山・大石(長野工)
	2	戸隠	北沢・古幡(長野西)
	3	長野工業	塚田・外山(長野西) 西・丸山(戸隠)
子 秋	1		
	2		
	3		
女 春	1	長野西通	飯島・清水(長野西)
	2	戸隠	大久保・田宮(長野西)
	3		小林・松本(戸隠) 村上・北山(戸隠)
子 秋	1		
	2		
	3		

		ソフトボール	柔道	
			団体	個人
男 春	1			
	2			
	3			
子 秋	1		長野工業	
	2		中野実業	
	3		須坂A・長野商業	

56年度・第13回北信定通体育大会

		バスケットボール		バレーボール	
男	春	1	長野工業	長野工業	
		2	松代	戸隠	
		3	長野商業	長野商業・中野実業	
子	秋	1	長野工業	長野工業	
		2	長野商業	長野商業	
		3		中野実業	
女	春	1		戸隠・1校参加	
		2			
		3			
子	秋	1			
		2			
		3			

		バドミントン			
		団体	シングルス	ダブルス	
男	春	1	長野	竹内(北部)	坂本・増田(長野)
		2	戸隠	坂本(長野)	堀内・徳武(長野)
		3	北部	増田(長野)	丸山・清水(戸隠)
子	秋	1		坂本(長野)	堀内・坂本(長野)
		2		徳武(長野)	宮本・山上(長野)
		3		原山(戸隠)	町田・宮沢(松代)
女	春	1	戸隠	徳重(戸隠)	大塚・飯島(長野商)
		2	篠ノ井	本道(篠ノ井)	田丸・田中(長野)
		3	長野商業	高橋(長野)	鎌田・矢野(篠ノ井)
子	秋	1		鎌田(篠ノ井)	本道・鎌田(篠ノ井)
		2		高橋(長野)	沢山・西(長野商)
		3		本道(篠ノ井)	西沢・大塚(長野商)

		卓球		
		団体	シングルス	
男	春	1	長野	神頭(長西通)
		2	長野西通	中村(長西通)
		3	長野工業・松代	金丸(長西通) 那木(長野工)
子	秋	1		深沢(長野)
		2		伝田(長野)
		3		中沢(長野)
女	春	1	長野西通	塚田(長西通)
		2	長野	深沢(長西通)
		3		高野(長野)
子	秋	1		高野(長野)
		2		清水(長野)
		3		小島(戸隠)

		団体	ダブルス	
男	春	1	長野工業	大石・丸山(長野工)
		2	長野西通	古幡・北村(長西通)
		3	戸隠	小林・清水(長野工) 塚田・山口(戸隠)
子	秋	1		
		2		
		3		
女	春	1		飯島・深沢(長西通)
		2		小島・木村(戸隠)
		3		石井・小林(長西通)
子	秋	1		
		2		
		3		

		ソフトボール	柔道	
			団体	個人
男	春	1		
		2		
		3		
子	秋	1	戸隠	
		2	長野	
		3	長野西通	

57年度・第14回北信定通体育大会

		バスケットボール		バレーボール	
男 春	1	長野工業	戸隠		
	2	須坂	中野実業		
	3	長野	長野商業・長野工業		
子 秋	1	長野工業	長野商業		
	2	長野商業	戸隠		
	3		長野工業・中野実業		
女 春	1	参加戸隠のみ			
	2				
	3				
子 秋	1				
	2				
	3				

		バドミントン		
		団体	シングルス	ダブルス
男 春	1	長野	坂本(長野)	坂本・増田(長野)
	2	篠ノ井	西沢(長野)	西沢・下平(長野)
	3	戸隠	増田(長野)	
子 秋	1		坂本(長野)	坂本・増田(長野)
	2		飯島(篠ノ井)	丸山・清水(戸隠)
	3		清水(戸隠) 小林(戸隠)	丸山・小林(北部) 佐藤・飯島(篠ノ井)
女 春	1	篠ノ井	本道(篠ノ井)	鎌田・本道(篠ノ井)
	2	長野商業	鎌田(篠ノ井)	大塚・西沢(長野商)
	3		飯島(長野商)	
子 秋	1		鎌田(長野)	飯島・金沢(長野商)
	2		高松(長野)	本藤・鎌田(篠ノ井)
	3		本藤(篠ノ井) 丸山(戸隠)	

		卓球	
		団体	シングルス
男 春	1	長野工業	成田(長野商)
	2	松代	広瀬(長野工)
	3	長野工業	倉石(松代)
子 秋	1		山本(長野工)
	2		広瀬(長野工)
	3		古倉 田石(須坂) 石(松代)
女 春	1		
	2		
	3		
子 秋	1		柳沢(長野)
	2		塚田(戸隠)
	3		原山(戸隠) 徳武(戸隠)

		軟式庭球	
		団体	ダブルス
男 春	1	長野西通	丸山・清水(長野工)
	2	長野工業	北村・古幡(長野西)
	3		
子 秋	1		
	2		
	3		
女 春	1	長野西通	深沢・西沢(長野西)
	2	戸隠	木村・小島(戸隠)
	3		
子 秋	1		
	2		
	3		

		ソフトボール	柔道	
			団体	個人
男 春	1		長野工業のみ	
	2			
	3			
子 秋	1			
	2			
	3			

58年度・第15回北信定通体育大会

		バスケットボール		バレーボール	
男	春	1	長野工業	戸	隠
		2	長野商業	長野商業	
		3	須坂・松代	長野工業・中野実業	
子	秋	1			
		2			
		3			
女	春	1			
		2			
		3			
子	秋	1			
		2			
		3			

		バドミントン			
		団体	シングルス	ダブルス	
男	春	1	長野	下平和雄(長野)	
		2	篠ノ井	西沢(長野)	
		3	戸北	加藤 明(戸隠) 山口(戸隠)	
子	秋	1		下平和雄(長野)	加藤・山口(戸隠)
		2		山口文利(戸隠)	小林・菊川(戸隠)
		3		加藤 明(戸隠) 小林博信(戸隠)	佐藤・小林(篠ノ井) 碓井・和田(戸隠)
女	春	1	長野	本藤美枝(篠ノ井)	
		2	篠ノ井	高橋(長野)	
		3		水上(長野) 石坂(篠ノ井)	
子	秋	1		本藤美枝(篠ノ井)	
		2		常田花恵(戸隠)	
		3		清水初美(戸隠) 丸山節子(戸隠)	

		卓球		
		団体	シングルス	
男	春	1	長野工業	山本はやと(長野工)
		2	長野商業	広瀬 健司(長野工)
		3	篠ノ井・北部	成田 勲(長野商) 駒村(松代)
子	秋	1		山本はやと(長野工)
		2		中村 正(須坂)
		3		栗田 哲夫(須坂) 広瀬 健司(長野工)
女	春	1		
		2		
		3		
子	秋	1		武井 明美(戸隠)
		2		宮川 常美(戸隠)
		3		宮下小百合(戸隠)

		軟式庭球		
		団体	ダブルス	
男	春	1	戸	坂野・宮沢(長野)
		2	長野西通	徳武・中沢(戸隠)
		3	長野工業	柄沢・竹本(長野西通) 古幡・須田(長野西通)
子	秋	1	長野工業	
		2	長野商業	
		3	須坂	
女	春	1	実施せず	深沢・西沢(長野西通)
		2		戸谷・加藤(戸隠)
		3		丸山・小森(長野西通) 小林・横山(長野西通)
子	秋	1		
		2		
		3		

		ソフトボール	柔道	
			団体	個人
男	春	1	実施せず	長野工業のみ
		2		
		3		
子	秋	1	実施せず	実施せず
		2		
		3		

59年度・第16回北信定通体育大会

		バスケットボール		バレーボール	
男	春	1	長野工業	戸隠分	
		2	須坂	長野工業	
		3	長野商業	中野実業・長野商業	
女子	秋	1	長野工業	戸隠分	
		2	須坂	中野実業	
		3		須坂・長野工業	
女	春	1	戸隠のみ	戸隠分	
		2	実施せず	須坂	
		3			
子	秋	1			
		2			
		3			

		バドミントン			
		団体	シングルス	ダブルス	
男	春	1	長野	畔上博匡(長野)	塚田・畔上(長野)
		2	戸隠分	江守好夫(長野)	碓井・和田(戸隠)
		3	篠ノ井	児玉文男(長野) 小林宏一(長野)	外山・橋本(須坂)
子	秋	1		塚田弘幸(長野)	塚田・畔上(長野)
		2		畔上博匡(長野)	碓井・和田(戸隠)
		3		菊川文人(戸隠) 外山強(須坂)	外山・橋本(須坂) 鶴田・塩入(須坂)
女	春	1		水上貴子(長野)	
		2		皆川由紀子(松代)	
		3		戸谷由美子(松代) 須田恵美子(須坂)	
子	秋	1		清水初美(戸隠)	
		2		大峽直美(須坂)	
		3		原山小百合(戸隠) 外谷由美子(松代)	

		卓球		
		団体	シングルス	
男	春	1	長野工業	山本はやと(長野工)
		2	北部	江尻英明(長野工)
		3	中野実業・篠ノ井	中村正(須坂) 栗田哲夫(須坂)
子	秋	1		栗田哲夫(須坂)
		2		中村正(須坂)
		3		江尻英明(長野工業) 塚田敬規(長野工業)
女	春	1	実施せず	
		2		
		3		
子	秋	1		原山代美子(戸隠)
		2		宮川常美(〃)
		3		武井明美(〃) 柳沢さち子(〃)

		軟式庭球		
		団体	ダブルス	
男	春	1	戸隠分	木村・西(戸隠)
		2	長野西通	徳武・中沢(戸隠)
		3		須田・石井(長野西通) 成田・小林(長野西通)
子	秋	1	実施せず	
		2		
		3		
女	春	1		戸谷・加藤(戸隠)
		2		小森・横山(長野西通)
		3		
子	秋	1		
		2		
		3		

		ソフトボール	柔道	
			団体	個人
男	春	1	長野工業のみ	
		2		
		3		
子	秋	1	松代	
		2	長野西通	
		3		

60年度・第17回北信定通体育大会

		バスケットボール		バレーボール	
男	春	1	須坂	戸隠	
		2	長野工業	長野工業	
		3	長野商業	—	
子	秋	1	須坂	戸隠	
		2	長野工業	長野工業	
		3	長野商業	—	
女	春	1	戸隠のみ	戸隠のみ	
		2			
		3			
子	秋	1	戸隠のみ	戸隠のみ	
		2			
		3			

		バトミントン			
		団体	シングルス	ダブルス	
男	春	1	長野	塚田弘幸(長野)	
		2		畔上博匡(長野)	
		3		今井幸俊(戸隠) 芋川康彦(松代)	
子	秋	1		塚田弘幸(長野)	塚田・畔上(長野)
		2		畔上博匡(長野)	菊川・今井(戸隠)
		3		塩原 太(松代)	橋本・大嶋(須坂)
女	春	1	北 部	落合加代子(篠ノ井)	
		2		加藤真由美(北部)	
		3		辻野久美(長野) 戸谷由美子(松代)	
子	秋	1		加藤真由美(北部)	
		2		原山小百合(戸隠)	
		3		原山奈緒美(戸隠)	

		卓 球	
		団 体	シングルス
男	春	1	須坂 (須坂)
		2	上水内北部 傍島 (長野工)
		3	長野工業・長野 高田(北部)・中村(須坂)
子	秋	1	中村 (須坂)
		2	堀内 (北部)
		3	傍島 (長野工)
女	春	1	下平 (長野)
		2	戸松 (長野)
		3	山岸(長野)・堀川(長野)
子	秋	1	原山 (戸隠)
		2	武井 (戸隠)
		3	常田 (戸隠)

		軟 式 庭 球	
		団 体	ダブルス (春のみシングルス)
男	春	1	戸 隠 木村 正人(戸隠)
		2	中沢 武利(戸隠)
		3	木村 藤喜(戸隠)
子	秋	1	木村・中沢(戸隠)
		2	西・佐々木(戸隠)
		3	清水・中沢(戸隠)
女	春	1	長野西通 横山 昌枝(長野西)
		2	小森カヅエ(長野西)
		3	藤沢 秀子(長野西)
子	秋	1	中沢・野池(戸隠)
		2	加藤・佐藤(長野西)
		3	藤沢・田村(長野西)

		ソフトボール	柔 道	
			団 体	個 人
男	春	1	長野工業のみ	
		2		
		3		
子	秋	1	中 止	
		2		
		3		

## 定通の思い出

牛村 一雄

私が長野西高校定時制在職中を思い出して書いてみたいと思います。私は、昭和38年より昭和49年まで在職していました。

昭和38年頃は、高体連未加入のため、各地区大会が、それぞれの地区の定時制体育の先生方の努力で行われていた。長野西高校は、長野市内定時制体育大会（バレーボール・バスケットボール・卓球）に出場していた。この当時、通信制は参加していなかったと思います。

昭和42年頃より、北信高校定通大会（バレーボール・卓球・ソフトボール）として拡大され、総合男女別の得点を競ってきました。この頃の定通制は、春と秋の全日制の大会にも参加できたので、年間三つの大会への出場が可能であった。

昭和46年より北信高体連への加盟が認められ、春季大会（バレーボール・バスケットボール・卓球）、

秋季大会（バレーボール・バスケットボール・卓球・ソフトボール）として出場でき、全日制の大会には、飯水・長水・須高、更埴の四地区代表がそれぞれチーム出場が認められました。

昭和48年より、定通振興会、教頭会との関係で、全国大会、北信越大会に出場するため、関係種目の県大会が実施されるようになった。そのため、春季大会をその予選大会として位置づけ、秋季大会を北信定通独自の大会として残し、今日に至っている。春季大会については、年度により種目数に変動があったり、記録推薦のものもある。また、秋季大会も、その後、毎年定通関係者の会議で種目が決定されるようになった。私は、バレーボールの顧問として昭和48年の第1回全国大会に生徒を東京駒沢体育館に引率、参加してきたことを印象深い思い出としてもっている。



北信越4連勝の戸隠校バレーボールチーム全国大会出場

## 調査研究委員会

以前より設立が決っていた同専門部は、昭和55年の評議員会で各地区4名 私立1名、事務局1名、計6名の委員が次のように選出され、更に総会で承認されて、実質的な活動を始めることになった。委員長・山岸重夫(長水・長商)、委員、塚田修三(飯水・飯北)、松橋昌美(須高・須商)、宮坂正篤(更埴・松代)、山際荘一(私立・女子)、石坂喜久雄(事務局・吉田)。

同年7月、第一回目の会議を開催し、委員会として今後どのような活動をすべきかについて討議をした。色々な活動の内容が考えられたが、結局、委員会で考えられる具体的な研究内容を次の五項目にまとめ、各加盟校の意見を求め、活動の方向を見いだすことにした。

(1)高体連史の発刊 (2)高体連会報の出版 (3)高体連会員の研究紀要の出版 (4)調査すべき内容 (5)研究すべき内容。

これらについて各校にアンケート調査を実施した結果、過半数の加盟校より(1)の北信高体連史の発刊についての回答があったので、委員会でも更に検討を加え、このことについて昭和56年4月理事会及び評議員会の議題として提出し、承認を得たのでいよいよ委員会として具体的な活動の方向が決定された。

さて、高体連史編集にあたり、その内容、規模など基本的な骨組を考え、更に発刊に伴いどのくらいの資金を必要とするのか、そのために毎年どのくらいの積立をしたらよいかなど予算措置をした。こうして、高体連史の名称及び具体的な内容について、再びアンケートにより加盟校の意見を集約した結果、「北信校体連35年の歩み」という正式な名称が決まり、昭和60年度発刊を目標にして編纂年次計画を作成し、これにより昭和57年2月より調査作業を開始した。北信高体連発足以来、事務局に引継がれてきた書類が大きなダンボール箱に十数個あり、実際に資料の整理をしてみると想像以上に仕事量が多かった。更に資料の不足している年度が幾つかあり、不

明な点が多かったので、専門委員1名の増員を認めていただいた。そこで、北信高体連について詳しい人ということで、清水泰雄先生(屋代)に加わっていただくことになった。

昭和57年度は年次計画に従い、5日間を費して、「歴代役員」「年次別会員数・分担金・参加料」、及び「各競技会の記録」を中心に資料の整理をした。しかし、資料の不足により調査が難航した。清水先生にも色々調査していただき、明らかになった部分も多かったが、特に競技会記録が大分欠落しているため調査方法を再検討することになった。

年度末の人事異動により山岸先生が県体育課に転出された。先生は委員会の発足時より3年間委員長として尽力され、特にこの北信高体連史編集にあたっては中心になって企画、立案、推進されていただけに、委員会としても急な異動に大変とまどった。その後任として鈴木文雄先生(長水・長野東)が加わることになった。更に、県高体連事務局移転に伴い、委員会の事務局担当が石坂先生より町田暁世先生に代ることになった。

こうして、昭和58年は新たなメンバーにより今後の編集計画を確認し、「加盟校の横顔」「専門部小史」「51総体・長野国体の思い出」「歴代会長・理事長思い出の記」などの原稿を依頼した。それと並行して、前年資料不足により完全に行きづまっていた「年次別各競技会記録」の調査について検討した。これは高体連史の中でも最も主要な部分になるので、委員会としても可能な限り調査し、完全に近いものにしたいという気持が強かった。そこで欠落した年次の競技記録の調査を各専門部に依頼することにした。しかし、専門委員長の交代などで、なかなか欲しい記録が手に入らなかった。委員会でもそれと並行して県立図書館で過去の新聞により大会の記録を調査した。当初は一日の予定であったが競技により開催日が異なるためその記録を捜すのに大変苦勞し、委員6人が2日間を費やしてようやく欠けていた記

録の大部分を調査することができた。

こうして今までに予定した資料・原稿を集めたので、今後はそれらを整理し、編集して、60年度の発刊をめざし委員会としても全力を尽し、このことを

もとにして北信高体連の一専門部として充実・発展を期すべく努力したい。

(文責 宮坂正篤)



## 51 総体の思い出

北信高等学校体育連盟会長	佐藤穂次	155
--------------	------	-----

## 51 全国高校総体特別委員長の回顧

総務特別委員長	清水泰雄	156
競技特別委員長	原哲夫	157
式典特別委員長	宮本金作	158
推進委員長	内山英雄	159

## 北信地区開催種目専門委員長の思い出

陸上競技専門委員長	山浦保	160
体操(男子)専門委員長	倉島安隆	161
〃(女子)専門委員長	香山田鶴子	162
バドミントン専門委員長	長浦音吉	163
バレーボール専門委員長	渡辺伊八	163
柔道専門委員長	石田和増	164
水泳専門委員長	中村郷見	165
水球専門委員長	櫻井次郎	166

## 5 1 総 体 の 思 い 出

北信高等学校体育連盟会長

佐 藤 穂 次  
(昭和49年～昭和51年)

先輩各位のご努力によって、昭和51年度全国高校総体を本県を中心として、北信越地区で開催することに正式内定したのが昭和48年12月であり、既に7月に発足していた県高体連の総務、式典、競技の三特別委員会の仕事も緒につき、昭和49年度を迎えるところで、会長の中村先生が現職を去られ、新たに長野西高校に県および北信高体連の事務局が設置され、心も新たに51総体開催に向け、本県高体連の総力を結集して、その準備に取り組みを始めたわけがあります。

以来、「自然と、友情と、躍進と」のテーマのもと、未来を担う若人たちの心を大切に、さわやかな体育の祭典を実現しようと、県実行委員会、長野市実行委員会を始めとして、関係市町村実行委員会、競技団体、各種団体などの皆様の温かいお力添えをいただいて、本県らしい大会創造への準備は着々と進められ、一方、高体連では、三特別委員会を中心に地道な準備が進められたわけがあります。会議につぐ会議、お互いのアイデアを出し合い、簡素な中にも実のある大会を目指し、それぞれの分野での努力はたいへんなものでした。開会式の集団演技も手づくりでということで、「信濃の詩」の作曲、振り付け、マーチングバンドの編成をはじめ、式典音楽などの指導に熱意を燃やされた先生方や、練習に一生懸命取り組んでくれた関係各校の生徒諸君の真剣な姿が今でも強く目に焼きついています。

また、主役は生徒という立場から結成された推進委員会が、協力費の拠出をはじめいろいろな立場で地味な裏方の役に徹して頑張ってくれたことは、大会成功の大きな力として高く評価されました。その他、開会式をはじめ各競技会場での補助員の活躍や神経を使う記録センターでの仕事に従事してくれた諸君など、高校生らしい若さと粘りで協力の成果を挙げてくれました。この大会のために練習を積み重ね、当日すばらしい演技を見せてくれた湯谷小学校の皆さんによる鼓隊も忘れ得ないさわやかな思い出

の一つであります。

一方、全国、北信越関係の業務も県実行委員会のご配慮で順調に進められ、気持よく各県からの協力を得ることができました。私自身は渉外的な仕事が多く、総体を皆さんの力に頼るのみで、何らなすところなく、終ってしまった感が深いわけです。こうした中で、今は亡き西沢知事と宮内庁や東宮御所に伺ったことも懐しい思い出であります。また、特に、二日目の長野東高校での皇太子・同妃両殿下のご昼食に際して共食の栄に浴したことは終生忘れ得ない感激であります。そのあと、両殿下の松本会場への行啓には、供奉の予備車にて長野駅へ、さらに、松本駅から弓道、バスケット会場へ、さらに、三日目は軟庭、ウェイトリフティング会場にお供をさせていただき、選手たちに優しくお声をかけられる両殿下のお姿を眼のあたりにし、さらに、豊科高校で、全国高体連の根津会長と共に、両殿下に行啓の御礼を言上する際、お召車の外で小雨の中を傘もささげずお立ちになって待っておられたお姿には深い感動を覚えました。

主会場である長野市陸上競技場での総合開会式は晴天に恵まれ、分刻みのスケジュールに気をもみつつも予定通り、さわやかな余韻を残して成功裡に終ることができ、それぞれに終生の思い出を胸に刻んだわけでありました。競技開始の二日目からは、あいにく雨に見舞われ、特に、屋外競技は難渋したわけですが、関係の皆様が涙ぐましい努力によって、影響を最少限に喰い止めていただいたことも、苦しくまた懐しい思い出であります。全国からの参加者が期待をもって集まった登山競技は、人命尊重の立場から強力な無線や機動力を生かして支援をいただいた自衛隊の力に負うところが大きかったです。いざれにしても全県あげての善意に満ちた心からの温い声援に支えられて全競技を無事に終ることができたのはこの上ないしあわせでありました。

特に、忘れ得ない思い出は、最後まで開催につい

で難航したヨット競技について、格別のご高配で引き受けていただいた愛知県高体連の会長上島先生をはじめ、関係の皆様からの広い心での温かいご協力を得たことであります。

なお、この大会の開催に当って、県下全高校の校長さん方から、快よく金1万円ずつのポケットマネーを拠出していただき、高校総体出場の選手に、初めて、揃いのユニフォーム姿での開会式参加を実現することができたのも感謝の気持と共に嬉しい思い出であります。

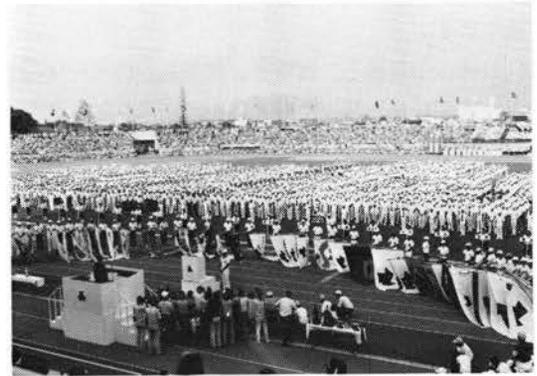
当時の生徒諸君も、今では、20数歳となり、それぞれに総体の思い出を胸に秘めながら精進されていることと思いますが、労を厭わずに頑張ってくれた青春の日の汗と涙と感激が、何等かの形でそれぞれの今後の人生に役立つことを心から願っております。

今こうして筆をとっていても、お世話になった皆様の顔が、次々と懐しく頭に浮かびます。いちいちお名前をあげる紙面の余裕がありませんが、ほんとうにありがとございました。しあわせなよい思い出を与えていただいた皆様に重ねて感謝し、今後の人生を私なりに頑張りたいと思います。

最後に、51総体直前の一学期終業式の際の駄作を思い出の一つに加えさせていただきます。

### 「全国高校総体主役は私たち」

ぜん……………全国の友	し……………自然と
ご……………ご苦労さん	ゆ……………友情と
く……………苦難を	や……………躍進と
こ……………越えて	く……………悔いを残すな
う……………嬉しい代表	は……………晴れの日
こ……………心をこめて	わ……………若人たちよ
う……………受け入れを	た……………たくましく
そ……………総力あげて	し……………試練に
う……………美しく	た……………耐えて
た……………大会盛り上げ	ち……………力の限り
い……………今日指す	



総合開会式 選手宣誓

## 51 全国高校総体特別委員長の回顧

### 51 総体の思い出

総務特別委員長 清水 泰 雄

「自然と友情と躍進と」のテーマのもと、高等学校生徒の教育の一環としての51総体が、長野県を主会場として北信越と愛知県で開催され、種々の問題はあったものの成功裡に終了したことは、誠に欣快に堪えません。

思えば昭和47年6月、51総体は長野県を中心開催県として北信越五県で実施すると決定され、県高体

連の役員段階では直ちに対策委員会を構成し、その取り組みについて種々検討を重ね、翌昭和48年7月県高体連の役員会に於て先催会に例の少ない三特別委員会（総務、式典、競技）を設置し、これが三本柱となって準備推進したいと理事長より発表され、早速その役員の選考に入ったわけであります。

さて、本県では、このような総体の開催は始めて

のことであり、三特別委員会の役員会を重ねて、先ずどのような業務があるのか、その分担はどのようにするか、またその進め方等全く五里霧中、暗中模索しながらスタートしたものです。その後、県・市町村実行委員会も設置され、それ等の機関との連絡調整等も極めて重要な仕事でした。

次に、特に印象に残った事柄について述べたいと思います。

#### ○苦しかった資金面

総体を開催するためには莫大な費用が必要であります。ところが、昭和48年突然のオイルショック以来、経済的不況と諸物価高騰により、国からの補助金が大巾にダウンし、地方財政もきびしく最悪の状態に陥った。そこで、高体連としては、このようなきびしい状況下でそれぞれ創意工夫し、簡素の中でも心情のこもったものを目標にして準備しました。しかし、高体連役員及び推進委員等の行動費が必要になってまいり、独自資金のカンパを高校職員生徒より年間1人50円。3年間で150円をお願いしましたが、僅か50円のことでもいよいよ抛出すことになれば問題も出て完全カンパにはいたりませんでした。しかし、皆さんのご支援で円滑に準備を進めることができました。

#### ○成功の原動力となった先催県の視察

先催県ではどのような方法で準備に取り組んだの

か、また、それぞれの業務内容の詳細に至るまでの事情聴取に、先ず三重県（昭和48年開催）、福岡県（昭和49年開催）へ視察にまいり多くの資料をいただいた。つづいて昭和50年開催の東京都と山梨県は、全県の推進委員の各代表等も含めて開催中に視察し、現場の活動に触れ、大いに見聞を広めることができ、51総体の参考にさせていただいた。

#### ○活躍した推進委員と補助員

県下の各校に推進委員会を設置し、「われ等が主役」をスローガンとして、花いっぱい運動、ポスター展、小道具作り、歓迎塔、友情の広場、案内所の設置をし、PR活動を推進してくれました。また、補助員は各競技の裏方役として黙々と各自の責任を果たし、大会を盛り上げてくれました。これらによって県外選手も若人の友情の輪が広まったことと思います。本当にご苦勞様でした。

#### ○結 び

51総体の開催を機に県内各地の体育施設が充実したこと、また、県民各位がスポーツに深い関心と理解をもったことは大きな収穫であった。この大会準備を担当して感ずることは、全員の協力体制と人間関係が如何に大切であるかということです。各自が不平不満を言わず、きめ細かに行動し、その分担を果たすということです。この貴重な体験は、その後の人生の中に生きつづけております。

## 51 高校 総 体 を 顧 み て

競技特別委員長 原 哲 夫

「自然と友情と躍進と」をテーマに、昭和51年8月、長野市を中心に開催された全国高校総合体育大会も懐かしい思い出となっている。本県8万余高校生の半世紀の祭典として、県、市町村、体育協会の協力を得て、長野県の体育・スポーツの発展の礎として立派に実施された。

競技特別委員会は、本大会開催4年前、昭和48年7月に、専門部の委員長を中心に、平常ペースの活動と、総合体育大会の準備に分けて設置された。最初は34名の委員構成であったが、当年度は44名であ

った。この委員会は、51高校総合体育大会に関する競技の準備、運営について、県実行委員会と県内開催14種目の開催市町村実行委員会が先ず、競技会場の調査、レイアウト、用器具の調査と整備計画から始めた。また、競技役員と補助員の養成と編成、種目別実施要項とプログラムの作成、記録収集と速報の記録センターの設置等について、具体的な項目をまとめ、原案を作成し、関係機関へ検討を依頼した。

参加選手の競技力向上計画では、この大会にできるだけ多くの選手が参加できるように、今まで実施

されていなかった未成熟種目の育成と、本大会の上位入賞を目標に、合宿、対外試合、遠征、招待試合、講習会等の事業を県、体育協会の援助を得て実施した。ちょうど49年頃よりオイルショックの不況期で、県ではすべての事業に予算減措置がとられていたが、51高校総体関係の事業には、特別な配慮で計画どおり実施できたのは、非常にありがたかった。また未成熟種目の13種目については、推進委員会、各地区高体連の協力を得て、一応、全種目が結成された。夏季大会種目28種目中未成熟種目が13種目で、この結成については、大変なことであった。北信地区では、水球、山岳、新体操男子、ソフトボール男子、バドミントン等の種目であった。本大会では、フルエントリーで参加でき、更に、53国体の少年の部として発展していった。参加選手数は、50東京総体で518人であったが、51総体では、709人と大巾に増えた。競技成績では、16位以内の進出が、50東京総体では21種類であったが、51総体では、47種類と競技力向上の成果がみられた。

今回、高校生の最高のスポーツ祭典である全国高

校総合体育大会が、長野市を中心として、北信越5県で開催されたが、これは、長野県の高校生が更に大きく飛躍する好機であると同時に、あらゆる力量を評価される機会でもあった。この大会を成功させるために、選手はもとより、県下の高校生および教職員の熱意と創意を結集し、それぞれの立場でその真価を発揮することができた。そして、この大会を契機に、本県体育スポーツの画期的振興と次代のない手として、若人の資質の伸展を期した、全国高校総体の開催は、非常に意義深いものがあった。

「自然と友情と躍進と」のテーマのもとに、美しい自然の中で、体育スポーツを通して友情を深め、将来にむかっけての躍進がみられた。

参加選手の感想をみると、次のようなものがあげられる。「総合開会式の感激は、いまだに忘れられない」「ワンポイントの重要さと勝つことのむずかしさを知った」「厳しさの中から精神的強さが育つと思った」「全国選手とくらべて、技術的差はない。ちがいは粘りだ」「やる気は感謝の気持から」等である。

## 51 高校総体総合開会式の思い出

式典特別委員長 宮 本 金 作

51高校総体が昭和47年に長野県を主会場として開催されることが決定し、それと共に県高体連に、総務・式典・競技の三特別委員会が設置され、高校総体推進の中心的役割を負うことになった。総合開会式が長野市で開催されることが決定すると共に、先催県の資料をもとに調査、研究が進められ、更に、49年、50年の高校総体を視察し、長野県に於ける総合開会式の基本線を出すと共に具体的な活動に入った。その最も基本としたものは、より多くの高校生の参加のもとに手作りの開会式を実施したいという点にありました。そのため県下各高校に「総体推進委員会」を設け、各地で実施される種目別開会式、競技の運営等各方面にわたり協力していただくことになりました。特に、総合開会式に於てはこの推進

委員会の協力態勢が、「成功」への大きな原動力となりました。また一方、北信地区各高校では式典演出として実施された男子、女子の集団演技、プラカード保持、軽体操等については日常の体育授業での創意工夫を生かし、各校のクラブ活動を中心とした355名編成の吹奏楽隊、40名編成のファンファーレ隊266名の合唱隊等、更に、これら式典演出の表舞台のみでなく、受付、接待、救護から炎天下での駐車場の係まで目に見えないところでも生徒諸君の大きな協力を得られました。特に250名編成のマーチングバンドショーは本県初の演出であり、バトントアラウ、ナショナルフラック等51総体終了後もその遺産として県内の高校に定着したことは大変意義あることであり、また、長野市立湯谷小学校児童41名に

よる標旗誘導の鼓隊の行進は大観衆に大きな感銘を与えました。

県教育委員会を中心とした長野県実行委員会、長野市実行委員会等多くの方々のご指導やご協力を得られたことも終生忘れることのできないものです。

高校総体の総合開会式は例年どの開催県でも8月1日に実施されることが恒例になっていましたが、51総体ではこの日が日曜日になっていたため県実行委員会の一部から県・市町村公務員の休日出勤に要する手当が膨大なものになること、夏季休業中の日曜日で一般観光客による国道18,19号線の混雑が予想され、役員・選手の式場輸送が混乱するのではないかとの難点を示されました。これに対し、式典特別委員会では単に前例によるのみでは何の説得力もないことであり、また、県実行委員会の立場もあり、3年有余にわたる大変な労力と経費をかけたこの式典を是非晴天の日に行いたいとの観点から過去10年間の7月25日から8月10日までの天候を長野気象台

の記録によって調査したところ8月1日については1日も雨の日がないことがわかり、このデータにより県実行委員会にお願いしたところ快よく8月1日の開催を承諾いただきました。

当日は朝から真夏の陽光が輝き、その蒼空に高らかにファンファーレが響きわたったときの感動は未だに忘れ得るものではありません。翌2日からの天候が例年になく小雨を伴う冷夏となり、屋外競技では大変苦勞されたことを思うと、記録に基づいた判断が誤りでなかったことに大きな喜びを感じると共に、驚きでもありました。

ともあれ、高校総体開催という「時の運」と「人の和」に恵まれ、この総合開会式という大きな仕事を果し「成功」の二字をご協力いただいた方々に捧げることが出来たことに深い感謝のおもいをいたすと共に、これを支えていただきました多くの人々に心からのお礼を申し上げてこの稿を終らせていただきます。

## 51 総体を回顧して

推進委員長 内山英雄

真夏の強い陽射しのもと、今年も校庭にはマリゴールドやサルビアの花が咲き乱れている。この季節になると、毎年51総体を思い出す。昭和51年8月1日、開会式当日、長野西高校生の越野恭子さんの「昔から牛に引かれて善光寺詣りといわれますが、皆様は、牛に引かれてではなく日頃の鍛練と仲間の声援により母校と郷土の期待をになって……」とつづく郷土色豊かな歓迎のことばが会場の緊張した雰囲気をやわらげてくれたのであった。大会は、「自然と友情と躍進と」をテーマに心ゆくまで競い合い幾多の成果と教訓を残し、成功のうちに終了したのである。

振り返ってみると、この大会を成功させるため、本県では高体連を基に推進委員会がつけられた。当初、この会の組織や運営内容、生徒会とのかかわり合いなど混迷することが多く、不安からの出発であ

った。しかし、総体は、高校生のスポーツ祭典であること、高校教育の一環として位置づいていること、生徒が主役であることなどを結論とし、ともかく生徒と共に考え努力することで、この不安を解消することにした。

委員会を進めていく過程では、実行委員会、各関係機関、団体の方々の温かいご理解とご協力はもとより、中でも市職員の方々の生徒とのかかわり合い、会議のもち方、盛り上げ方など、常に生徒の中から、素朴な意見や考え方、知恵を引き出し、自主的活動として働けるよう努力していただいたことは、成功への大きな力となった。

その結果、・花いっぱい運動 ・ポスター展  
・小道具づくり ・歓迎塔 ・何千人という補助員体制  
・友情の広場 ・新聞編集（PR新聞、ウェルカム新聞）・一人一役運動等々、また、大会期間

中暑い中、夏休みを返上してそれぞれの分担を主体的に受け持ち成し遂げてくれたこと、いずれをみても、総体裏方の献身的な推進活動であった。ある遠来の先生が「長野県の生徒補助員は、たずねられたことに最後まで責任をもって答えてくれました。心に残る態度です。」と話しておられた。競技会場では、日頃の練習の成果を力いっぱい発揮してスタンドの声援に応える選手達、駐車場で雨の中傘をさしながら整理をしている生徒達、清掃美化に懸命の生徒達、いずれも「我等が主役」の精神をもって行動

していた姿が今でも心に残っている。

総体終了後、総務委員会が行なったアンケート調査の結果をみても、係員・補助員として参加したことに意義を感じたという答えが77%もあったことは今後に銘記しておきたい。

スポーツの活動は純粹であり、このすばらしい高校総体が、いたずらに肥大しないように、簡素で格調高い大会として、いつまでもつづくように、そして、常に教育の一環として高体連組織の主体性をつらぬきながら発展していくことを念じている。

## 北信地区開催種目専門委員長の思い出

### 51 総体の思い出

昭和48年全国委員会で第29回全国高校総体が長野に決定した。全国陸上部長石野八百治氏の力があつたことは忘れられない。

昭和49年度は、事務局が長野市役所内に発足したが、形だけで、昭和50年4月本格的事務局を設置、千野局長を中心に数名の組織だった、長野市では、総体は開關以来の事業だ。初めて会議を持った時、陸上競技は「トビッコ」をする場所を作ればよいだろう。宿舎は宿坊を使えばよいだろうと言う事だった。第5回IHを松本で開催した事を思い啞然とした。色々の事情で半年空転した。

先催県の実情を聴視することとして、福岡の坂井氏を招き諸帳簿をお借りした。その後事務局は白熱化、猛前進を始め「天の時、地の利、人の和」を計り、「全員火の玉」をモットーに、各部組織は気の毒になる程の勉強振りで、頭の下がる思いだった。

陸上競技は、県高体連会長兼部長の佐藤穂次先生が委員会の会長となり、副委員長依田良春、伊藤利博、細田紀一各氏の陸上委員が組織に入り、各学校にはご迷惑をおかけしたが、素晴らしい力の入れ方と強烈作業の連日だった。市陸協からは、清水一郎副

陸上競技専門委員長 山 浦 保  
(昭和36年～昭和51年)

委員長、小日向佐一、高橋恒和、小口正行の各氏が家業を捨て寝食を忘れた協力を頂いた。又、北信高体連理事長宮本迪彦、事務局委員荒井滝衛の各氏、更に、高体連と学校間に入って推進委員長の大役を引き受けた内山英雄氏等の献身的なお力添えには感謝の外なかった。愈々51年8月の本番も一ヶ月前に準備完了し、いつでもこいとその日を待つ体制がととのい、これは他県に例のないフルスピードの完成だった。



200M 決勝ゴール

大会運営についてよかった点

- (1) プログラムに追加訂正が一ヶ所もなかった。立派なできばえは、流石教育県長野大会のプログラムだと評価された。
- (2) 補助員の活動が地域家族の協力を得たこと。送り迎えは父親、汚れた服は母親達がその晩に洗濯し、朝までにはきれいな服装ができ、また、予定より早い時間に集合ができて、全く北信を挙げての協力だった。
- (3) 市役所職員全員心からの援助をいただき、どんな部署に当たっても、一重に総体成功のため働いて

くれた。

- (4) 宿舎、交通はかつてない親切と山菜のご馳走、言葉の使い方や運転手さんの親切も今までになかったと好評だった。
- (5) 選手の活動については、高校日本新記録が出た。本県選手は屋代の堀内さんが走巾跳びで最初の入賞、続いて多数の入賞者を出した事は、地元の利もあったがよかった。  
幾多の経験と成果を挙げた第29回全国高校総体は無事大成功裡に終止、多くの思い出を残し、北信高体連の団結を全国に示した歴史的大会であった。

## 5.1 全国高校総体体操回顧

初めて長野市の準備事務局を訪れて以来、10年の歳月が流れた。市役所の職員と机を並べて51全国高校総体の準備である。事務局長千野和徳氏、井上課長他、体操の係職員は、柳沢、近藤の両氏、高体連関係では、倉島、香山、小宮山、そして、遠く松本から木内の各氏を加えた陣容である。

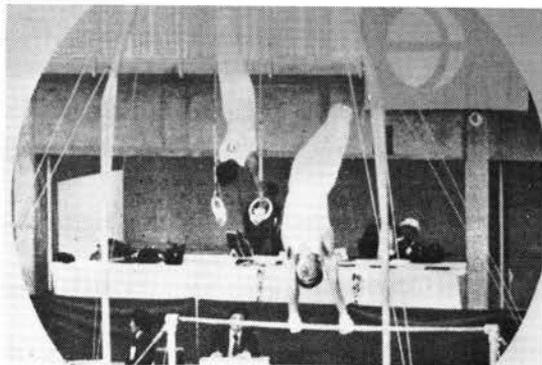
先ず、・実施要項の検討——従来のものを整理して大巾に改革を加えた。・先催県への大会視察——49年北九州市、50年東京都、何れも関係者から懇切なる御指導を戴いたことは深謝に堪えない。・練習会場探し——長野市内の大学、高校、中・小学校の体育館をくまなく見て歩いた。・役員、審判員、補助員の割り振り——県協作成の協会員名簿が偉大な力を発揮した。・役員、選手の配宿——北は北海道、南は沖縄まで一日がかりで電話合戦を繰り広げての宿泊お断り。結局、市内に収容できない新体操女子は、残雪が散見できる戸隠高原への計画輸送。・器具——県内の現有器具調べの結果、殆ど不足。主会場用には長野市から、練習会場用に県から、それぞれ認定品を購入して戴く。深謝々々。

競技会場は、従来、三会場に分散して実施されて来たが、本県では二会場とした。即ち、新体操は、皐月高校で男女時差展開とした。役員分散を無くし

体操(男子)専門委員長 倉島安隆  
(昭和49年～昭和52年)

観客動員の伸びに併せ、全校挙げての協力、生徒会による「友情の広場」での暖かい交流等、本大会成功を蔭で支えた大きな力であった。予想を裏切って平穩に終始した監督会議、また、温室のようなガラス張りの体育館での真夏の熱戦、用意した何本かの氷柱も役立たずに終えたことも天恵の幸せであった。

準備段階から10年経った今でも鮮明に思い出すのは、役員、補助員の献身的な協力、併せて、参加選手の熱戦、客席を埋めた観客の応援によって、51全国高校総体は盛り上がり、成功裡に終えることができた。長野県、長野市、関係団体の皆様に改めて深甚の敬意を表わし回顧としたい。



大会風景

## 51 総体女子体操の準備について

体操(女子)専門委員長 香山 田鶴子  
(昭和149年、昭和51年~昭和56年)

昭和48年9月21日、県庁講堂に於て、51総体の準備について初会合が行なわれました。そこで全種目の強化実施計画を立てるとともに、補助員の養成についても考え、これらの予算も計上しました。

引き続き9月25日、体操の準備具体案をたてる会議が、長野高校に於て行なわれました。女子の体操競技、跳馬、段違い平行棒、平均台、床の各種目につき1人ずつ4人の指導者を出すこと、選手は各地区より8名選出、計32名を予め選び、各顧問が第一段階として指導すること。新体操は特殊種目であり、地区の講習会では効果が少ないので、各地区2チームずつ計64名を集め、中央より一流の指導者を招き強化する。以上の計画を立て、それぞれに必要な予算の計上も行いました。

49年3月には、競技役員、審判員数、総体までの日数を考慮し、仕事の割り振りを行ない、徐々に具体化しました。7月には、体操競技、新体操の現有器具、用具を調べ、不足分を県に請求することに決定。次いで、9月10日には、賃金を含めた人員の資料を作るとともに、器具、用具の貸与規定を決め、強化初年度の人数、合宿の泊数と経費のおおよその線も決められた。内容は、合宿2泊3日を2回ぐらい、対外試合は1泊2日、講習会は1回とし、高体連からの補助を、交通費は実費(150km以上は急行可)、宿泊費は県内1泊2,500円、県外3,000円、東京他大都市3,500円、日当は450円とした。続いて、補助員の各学校への割り当て、大会要項の改定についても検討。長野市役所に設置された事務局に常時(週三日)詰める専門委員等を選出。9月19日

には、主会場(体操競技)を長野市真島の市民体育館、新体操は市立皐月高校体育館とし、練習会場として、体操競技女子は、長野西、文化、清泉、市民体育館サブ、新体操は、柳町中、湯谷小、城山小、皐月第二と決定した。同月、長野市準備委員会の初顔合せ会も開かれ、12月には、競技力向上の中間報告、及び50年度の競技力向上事業計画の作成、福岡のインターハイ視察報告等を行なった。

その後、種々の準備を行なうとともに、50年4月特別委員会を開き、総体の総てについて、更に検討を加えました。50年後半より準備の仕事に追われ、帰宅は、翌朝の2時、3時という日が続き、平常でも夜の10時というのが普通でした。今振り返ってみると、よく体が続いたものと思います。

大会は、宿泊、交通、大会運営ともうまくゆき大変褒めていただきました。競技成績も、学校対抗は上位に入ることができ、ことに、新体操の成績は立派なものでした。



体操競技会場風景 長野市市民体育館

## 51 全国高校総体について

バドミントン専門委員長 長 浦 音 吉  
(昭和43年～昭和58年)

51年全国高校総体が長野県で行なわれることになり、私は49年5月県専門委員長を受けたが、経験が浅く、この大任を無事に終了させることができるかどうか大変不安であった。

会場は、すでに長野県北端の中野市に決定されておりましたが、全国大会を開く条件としては、あらゆる面において不備でありました。まず、会場になる中野市民体育館は、当時、大きさにおいては県下随一であったが、コート8面だけで、全国大会では、試合コート24面、練習会場コート15面以上が必要であった。市内三高校にはバドミントンクラブがなく、体育授業でも扱ったことがなく、市の職員及び一般市民は、このスポーツに対してなじみがうすかった。また、この大会では、公認審判員が最少限30名、競技の内容を良く知った補助員180名が必要等、考えるだけでも気が遠くなるような状態であった。まず、このスポーツの紹介から、市内二高校には、県体育課より、ラケット、ネット、シャトルの無償貸与と指導者の配置をお願いし、学校にはクラブ、市には協会の設立を始め、折にふれてアピールに専念しました。

49年度の総体は、佐賀県嬉志野町で開催され、市の教育次長さん始め担当職員の方々に同行して大会



大会風景

状況を写真に納め、資料を持ち帰り、私は自宅から約40kmの中野市に通勤、東奔西走準備に総力をあげ50年には、全国実業団大会、北信越高校大会、県高校総体と数回のリハーサル大会を重ね、51総体にそなえました。

その結果、県勢の試合成績はあまりよくなかったものの、県教育委員会、中野市、山の内町、県協会、地元二高校、その他関係者の皆様のお蔭をもちまして、大会運営、宿泊、輸送等、すべて成功裡に終了できました。これを契機に、中野地区のバドミントンは一段と盛んになり、振興の一助ともなりました。

## 51 全国高校総体の思い出

バレーボール専門委員長 渡 辺 伊 八  
(昭和47年～昭和51年)

51年全国高校総体を北信越地区が担当し、長野県が中心となって行なわれるという話が私達の間にも話題になってきた昭和47年に、北信高体連のバレーボール専門委員長を受けた。私も長野吉田高校のバレーボール部を指導して、人には負けまいと頑張っていた頃であり、全国大会は誰かが専門委員長でやってくれるだろうという気持でチーム指導以外には

関心がなかった。それが、男女とも長野県で開催することになり、女子は岡谷市、男子は須坂市でそれぞれ実施することが決定され、男子は私が担当することになり、ついに、チーム指導と総務担当の二足のわらじを履かざるを得なくなった。

当時、須坂市は、社会教育の施設において全国的に評価されており、市民体育行事も活発に行なわれ、

医療はもちろんだが、健康な体をつくるのが大切と、スポーツの振興に力を入れていた。従って、市長以下全市民あげての協力体制ができており、大会の企画、運営等の具体的なことに専念すればよかった。準々決勝以上のラインズマンを地元の高校生が担当するか長野市内の生徒が行なうかで激論をしたこと、役員、審判員、補助員の養成事業を一回は自費参加で協力願ったこと、放課後市内の高校生数名に依頼して印刷物の袋づめ、また、長野吉田高校のマネージャーに依頼しての名札書きなどいろいろな事務局の仕事に生徒達が労を惜しまず夜まで協力してくれたことが思い出される。

推進委員会は、市内四校の生徒で編成し、花を育てて市内に配置し、水やり担当者を定め、きめ細かい推進事業に協力してくれた。

その結果、県代表の試合成績は一回戦で敗れたも

の、県、須坂市、県協会、地元高校その他多勢の皆様方のご協力により、大会運営、宿泊、輸送等すべて成功裡に終了できましたことを感謝しております。また、この大会が、バレーボールの振興はもとより、各スポーツ競技の発展の契機にもなったことと思います。



大会風景

## 51 総体柔道競技をふりかえって

柔道専門委員長 石田 和 増  
(昭和49年～昭和60年)

昭和51年8月2日午前9時、全国高校総体柔道競技大会の開会式が長野東高校体育館で始まった。ファンファーレが場内に鳴り響き、同時に、各県代表の選手達がプラカードを先頭にして入場、母校の榮譽をにない闘志を胸にして、北海道から沖縄まで50チーム(350名)、個人(200名)が会場一杯に整列した。会場は、満員で白一色、役員、観客ともに一瞬にして緊張と興奮で最高潮に高まった。全国の精鋭を長野市に迎えての大会は初めてのことである。

この日の開会式を迎えるために、我々専門部では小山富一委員長(上田)、石田和増(長野吉田)、細田寿(梓川)、福島毅(下伊那農)の四名が、主に準備に当たった。

開催地が決定して、まず苦慮したことは、四試合場が充分とれる会場がないことであった。苦心した結果、新設なった長野東高校体育館で三試合場をなんとか取れるように試合場の設計をした。あとは運営面でカバーしようと心得た。

長野東高校では、学校長以下全職員・生徒、全校をあげて大会を成功させようとの強力なバックアップがあって、狭いながらではあったが、立派な会場を作ることができた。さいわい、市実行委員会も協力的で、費用も特別に組んでいただき、役員席(100人)、観客席(400)の特設スタンドを作っていた。大会運営面では、県、市、協会、高体連四者一体になって、気持が一つになったことが、スムー



ベスト8に入賞した中野実業高校の熱戦

ズな運営ができた原因だと考えています。全国の大会役員や選手から、長野大会は立派であったと今もってお誉めの言葉をいただきます。

競技面では、白熱した好試合が続き、団体戦決勝では、天理高校が国士館高校1-0で破り七回目の優勝を果し、すばらしい試合でした。本県の代表である中野実業高校もベスト8に入賞を果し、本県戦後最高の好成績を全国大会で示してくれました。

## 51 インターハイの思い出

歳月の流れは早いもので、51インターハイが終了して7年目を迎え、この間に、屋代高校、国立乗鞍青年の家、松本青年の家専門主事と3つ目の職場での生活を送っています。

思い出は、とかく美化されがちですが、51インターハイを成功させるための3年間の準備期間と53長野国体選手団監督も務めていたこの間の5~6年間というものは、本当に苦闘の連続でした。しかし、苦しみや悩みが大きければ大きいほど、成就感も大きいものであって、自分にとっては二度と体験できない貴重な体験であったことを今更のごとく痛感しております。

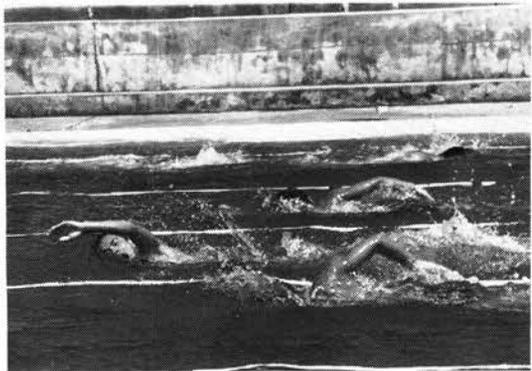
8月1日は快晴に恵まれ、総合開会式が長野市運動公園陸上競技場で行われ、各競技専門委員長も選手と一緒に入場行進を行い、スタンドを埋めつくした大観衆の中での開会式は感動の連続でした。しかし、8月2日から降り続いた雨が一向にやむ気配もなく17日の朝まで続きましたが、午後1時からの開会式には絶好の水泳日和になりました。開会式の県旗掲揚の折、スタンドをうめ尽くした観衆の歌う「信濃の国」の合唱を耳にしながらスルスルと上が

開会式後、皇太子殿下、同妃殿下、浩宮さまのご臨席を仰ぎ、約1時間に及ぶご観戦は、つい昨日のような思いです。大会の全てが成功裡に終始できましたのは、関係各位の賜物と深く感謝申し上げるとともに、その後の県の柔道の発展はもとより、各競技スポーツの発展の歴史をつくる第一歩であったことと確信しています。

水泳専門委員長 中村郷見  
(昭和49年~昭和51年)

る県旗を見つめている時、思わず胸が詰まり、目頭に熱いものがこみ上げてくるのをどうすることもできませんでした。大会中、これが私にとって一番の感激の瞬間でもありました。大会の4日間は、何ひとつアクシデントもなく、スムーズに競技を終了することができました。

長かった準備期間の中で、私が身をもって学びとったものは、「忍耐」と「和」ということでした。私はこの体験を「貴重な宝」として、現在の生活の中に生かしております。



大会風景

## 51 インターハイの思い出

水球専門委員長 櫻井次郎

8月18日 長野東高校プール

膳所高校 (近畿代表)	8	$\left. \begin{array}{l} 2 - 1 \\ 2 - 0 \\ 2 - 0 \\ 2 - 0 \end{array} \right\} 1$	長野東高校
			(北信越代表)

チーム結成が、1年前でありこの試合が公式戦として3試合目であった。10点以上の失点は覚悟しており、得点できるとは思ってもいなかった。10点以内に相手を押え、貴重な1点をあげ、敗れたとはいえよく健闘した選手の表情は、はれぼれしていた。その1点をあげた中村選手は、「どうパスを受け、どうシュートしたか全然覚えていない」と思い出を語っている。

この1点の持つ重さ、そして、その1点に込められた選手達の汗と涙を忘れることはできない。高校総体の前々年、本県には水球の出来るプールは勿論水球チームを持つ高校もなく、新設校の長野東高校が、水球に関する総ての責を負う形となった。

傍目には恵まれているように見える新設校も、プールが完成したのは大会の前年、先ず部員の確保から始まり、チームの結成はできたものの、水球競技に関して経験のある者が県内には皆無に等しい状態、大川良雄氏をコーチに迎え、厳しい練習を始めた。しかし、肝心のプール(必要な深さを持つ)もなく、水球ゴールもなかった。長野市営プール(飛込み)で私がゴールの代りになり選手のシュートを受けたことなど思い出される。

学校の立地条件が悪く、プールを借り歩きで練習をしなければならないので、それに要する時間、労力、経済的負担は勿論、継子に似て遠慮しながら使用する気苦労も大変である。

チームを作ったものの、立泳ぎもままならず、ブクブクと沈んでしまう生徒をみて、どうして試合まで……………いろいろ考えると悲しく、切なくもなってきた。その他、障壁は枚挙にいとまはないが、思い出すままにその一部を書いてみると

選手の劣る泳力の強化もだが、競技力向上のため練習相手も県内にないので、新潟に一校、福井に一校あるので、胸を借りなければならず、それに加え長野東高校のプールの完成が遅れ、完成後も水質等等のトラブルがあり、大会前にほとんど利用できず地元の利となるべきであるのに、それが生かされなかったのが残念である。選手の面倒だけ見ているのが望ましいのであるが、悲しいかな、大会運営まで計画、立案、渉外、実施……………等々、愚痴もこぼしたくなる日々を思い出します。

切なさ、悲しさは時間が解決し、忘れ去ることが多いものです。思い出多い人は幸福とか……………悪条件下での練習、遠征、試合等々、新設校で学んだ青春の日々の懐しい思い出の一頁として生徒の心に強く残り、生きつづけることと思います。



大会風景

## 53 長野国体と北信高体連

やまびこ国体の思い出 北信高等学校体育連盟理事長 渡 辺 伊 八 …… 169

北信地区開催種目専門委員長の思い出

やまびこ国体をふりかえって スキー専門委員長 隼 田 万喜雄 …… 169

53国体を顧みて ハンドボール専門委員長 中 沢 正 己 …… 170

やまびこ国体を顧みて 男子体操専門委員長 船 木 政 明 …… 171

53国体を顧みて 水泳専門委員長 西 沢 光 一 …… 172

やまびこ国体水球について 水球専門委員長 市 岡 洋 一 …… 173

53国体体操競技の思い出 女子体操専門委員長 香 山 田 鶴 子 …… 174

## やまびこ国体の思い出

北信高等学校体育連盟理事長 **渡辺 伊八**  
(昭和52年～昭和59年)

高体連の最大行事「全国高校総体」が本県で開催され、立派にその成果を修め、その感激と興奮が余韻として残る昭和52年、長野吉田高校長丸山保彦先生より事務局を担当するようにとのお話がありました。県民の英知と総力を結集しての「やまびこ国体」の前年であり、高体連も各種業務に全力をあげて協力する機運が高まっている年でした。高校総体のバレーボール専門委員長(男子)としての仕事が好き、私にとってようやく平常の自分の仕事ができると思っておりましたが、先生方の御指導と御協力を願うことで理事長を引き受けることになりました。

北信地区は5市2町5村で国体を開催し、種目数では夏季(水泳)、秋季9種目、冬季(スキー)の計11種目が行なわれました。高体連は役員・補助員の各校への依頼、市町村実行委員会との打合わせが頻繁にあり、初冬の野沢温泉村へも何度も足を運びました。このような諸会議は、大会運営をスムーズに行うためのパイプ役としての高体連の役割を鮮明にし、御協力いただく先生方や生徒諸君の立場を考慮したものでした。また各種目別高校担当者との打合わせや県実行委員会・競技専門委員会にも出席し着々と準備が調えられ、中でも総合開会式の出演者や補助員、引率職員への依頼等は高体連の協議機関で了解を得て行ない、また補助員の承諾書関係の作業も高体連が52年度中に完成させたものでした。

53年度に入り高体連会長丸山保彦先生が退任

され、新会長に栗田寛長野西高校長が就任されました。会長校と事務局校が離れているため、事務連絡や打合わせ等に何回となく足を運びましたが、県高体連理事長及び地区高体連理事長に教員の張り付けが1名付いており、たいへん行動しやすかったことをおぼえております。これも体育行事の中で最大の総体、国体の成功と日頃の高体連諸活動に対し、県実行委員会を始めとし諸機関の暖かいご理解とご協力の賜ものと感謝してやみません。

県民あげて国体を成功させようとする機運の中で、高体連は一致協力して各種業務に協力し、全国から参集された皆様には「やはり長野県の先生、生徒ですね。」と賞賛の言葉をいただきました。このことは、私にとっても生涯忘れられぬ事柄です。これも加盟高校の校長先生及び先生そして縁の下の力もちの生徒諸君の多大なご支援ご協力の賜ものです。

総体・国体が終了した今日、長野県の体育スポーツの普及発展の礎となったこれらの大会は、国体や高校総体においても着実に記録の向上がはかられ、社会体育分野においても、施設の充実やスポーツ活動の啓蒙が浸透し各市町村でもスポーツ活動を通じての健康な生活への関心を深める多大な功績を残しております。さらに教育の一環としての高体連諸行事や大会の必要性は、生涯教育の一翼を担うことであります。今後もこの責任の重さを痛感し、北信高体連の発展を念じてやみません。

## 北信地区開催種目専門委員長の思い出

### やまびこ国体をふりかえって

スキー専門委員長 **隼田 万喜雄**  
(昭和46年～昭和54年)

北海道の30連勝を阻み、天皇、皇后両杯の総合優

勝に輝やいた53国体スキーにおける長野県選手団の

勝利に湧いたあの感激は、生涯の思い出となった。少年・成年一部男子アルペンの上位独占、成年リレーの優勝等、優勝及び上位入賞種目も多く、むらのない得点がものをいったが、高校生の活躍もまた素晴らしいものがあった。また直接この大会には関係ないが、国体の前哨戦ともいべきインターハイに於ける飯山南の2連勝、9度目の総合優勝は国体の良い引き金となり、全選手の自信と闘志をいやがうえにも盛り上げた。

紙面の関係もあるので、ここではその一つひとつを取り上げずに、競技中に表われた選手達の強い精神力や勝利に対する執念といったものを少し紹介してみたい。

先ず、少年男子、大回転競技でのことだが、さきのインターハイ回転で優勝しており、当然本大会でも優勝候補であるF選手と、この選手と実力伯仲のS選手が次々とスタートし、両者共快調な滑りでゴールした。ゴール直後、F選手は大変良いタイムであったが、次々と彼を上廻るタイムが出て順位は下る一方、これでは1点にもならない、と絶望的になった時である。吹雪でかすんだコースから、ゼッケン28番の飯塚選手（飯山北）が矢のようにゴールしてきた。そしてタイムはトップに堂々とおどり出たのである。更にまた、その後10人目のゼッケン38番で同じ高校の富井選手が滑った。このスタート順ではおよそ上位は望めないはずが、なんと2位の大記録で、場内放送に耳を疑った程である。

この両選手は実力はあるものの、シーズン半ばまではもう一步調子にのれず、それまでの成績は不満



国体少年GSL 1位 飯塚(右)と2位 富井

足に終わっていたのであるが、この日は、本県頼みのF選手、S選手が相次いで敗れたことをスタート前に知り、自分がやらなければ長野は全滅、と自分に言い聞かせ、スタートからゴールまで全身全霊を打ち込み、今迄の不調を美事に振り払ったのであろう。

いずれ劣らぬ優秀選手がひしめく中での成年一部アルペンの児玉、上山、栗岩3選手の上位独占、距離王国、東北勢とデッドヒートの末優勝した成年男子リレーにおいてもしかり。また、前記のインターハイに於て「何が何でも2連勝を」という執念で、死闘の戦いを繰りひろげた飯山南高校の選手達にも劇的な場面がいくつかあった。

これらは、競技という勝負の世界にあって、一步も後へひけない土壇場に立たされ、追い込まれた時日頃鍛え抜いた実力はさることながら、勝負に対する執念ともいべき、すさまじい程の強い精神力と闘志が勝利を招いたものと言っても過言ではない。

一競技に限らず、各種の競技スポーツに励む選手だれもが、このような気迫を身に付けたいものであると願い、一筆記しました。

## 53 国体を顧みて

全国からの精鋭850名を迎え、やまびこ国体ハンドボール競技会は53年10月開催された。成年男女は屋代高校グラウンドで16日から20日まで、少年男女は16日から19日まで戸倉町野外趣味活動センターグラウンドで行なわれた。

ハンドボール専門委員長 中沢正巳  
(昭和32年～昭和54年)

県勢は健闘よく、念願の総合優勝を果たした。特に少年女子が大善戦、準決で優勝した小松市立女子と大接戦の末8対7で惜敗、成年男子が4位、成年女子、少年男子が5位であった。

華やかな競技の陰には、地元の人々の協力は勿論

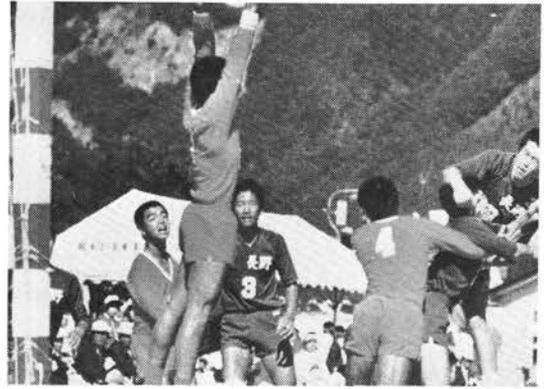
だが、実際に手となり足となって忠実に任務を遂行した屋代高校の職員生徒の努力は誠に涙ぐましいものがあった。

即ち、開催前年に国体リハーサル大会として全日本教職員大会を8月10日から13日まで屋代高校で行い、その素地を先ず作った。

補助員は1年生があたった。授業で、あるいはクラスマッチでハンドボールを実施していたので、ある程度は理解されていたが、殆んど生徒は中学時代やったことがないので、イメージ作りに苦労した。

しかし、大会後の感想で顕著だったことは、多くの選手達にその心遣いや行動が誠実だということで、大変喜ばれて嬉しかったことである。それと協調性も充分養われた。

それにしても私達が最も苦しんだことは、選手が活躍する基本の四面のコート of 整備にあった。当然ながら他にサブコート四面も合わせて行ったのである。土をせっかく入れてもらっても仲々なじまず、固まらなかったり、大小さまざまな石が混入していたり、それこそ手で拾える石という石は、どんな小さなものまで拾い、箒でくまなく掃いた。ローラーも



大会風景

かけた。こんな苦労も一言、「素晴らしいコートだ」といってくれる選手達の声にいっぺんに吹きとんだものだ。

会場が2つに分れたことで、大会運営には少なからず苦労した。総務委員長として本当に厳しい毎日であった。授業の合間と放課後は全部大会準備に忙殺された。ともかく、日本の屋根に手をつなぐスローガンが生かされ、大成功裡に終了できたことを関係者共々に喜びたい。

## やまびこ国体を顧みて

昭和51年開催の全国高校総体の体操競技と53年の国体体操競技は同じ会場で、殆んど同じスタッフで行なわれたため、準備段階においても、実施段階においても比較的容易であった。しかしその反面、選手強化にあたった人達は大変であった。過去に天皇杯得点に結びつく成績を収めたことのない本県が、競技力でどこまで得点に結びつけるか、関係者一同寝食を忘れての毎日であった。狭い長野市役所別館の国体事務局で、開催準備のための連日連夜にわたる奮闘と、そして選手強化にあたる強化部の関係者も同様に最後の調整に余念がなかった。7月に入り各県の出場順を決める抽選会が市役所で行なわれた。日本体操協会より国体担当理事の門脇氏を迎え、厳

体操(男子)専門委員長 船木政明  
(昭和43年~昭和48年 昭和57年~昭和60年)

正なる抽選に臨んだ。本県各種別の監督も緊張の面持ち、開催県が如何に有利な位置を引くかが最大関



大会風景

心事であった。箱の中からカードを抜くという方法である。私情や不正が入り込む余地は全くない。抽選係員の冷静な態度、次々と読みあげられる県名、多くの立会人が見守る中で作業は進められた。その結果何故か幸運にも本県チームはいずれも希望した場所を引き当てる事が出来たのである。

何とくじ運のよい事か。

8月20、21日の両日、最終リハーサルを兼ね県選手権大会が本番と同じ規模で実施され、一応の成功を見た。10月15日の総合開会式に読み、翌16日長い

時間と労力を費やした53長野国体体操競技大会がその幕を切って落された。超満員の観衆の見守る中、本県少年男子は18位で規定を通過した。

団体4名のうち北信勢は長野中央の大川・長野吉田の渡辺・長野の永野の3名が出場した。自由演技で惜しくも18位となったが、この国体を機に、長野県の体操が更に向上することを期待しつつ無事終了出来たことは、関係者一同大なる喜びとするところである。

## 53 国体を顧みて

第33回国民体育大会水泳競技会は53年9月10日～13日まで、長野市営総合市民プールで行なわれた。この国体は冬・夏・秋すべて県内で行なわれる完全国体であり「やまびこ国体」のテーマで、「日本の屋根に手をつなぐ」をスローガンとして、県民あげてその成功を祈って行なわれた。この市民プールは昭和51年に開催された全国高校総体の競技場であり、その経験を生かして関係者一同自信を持って行うことを決意して準備されてきた。

4月に国体運営委員会が発足され、殆んどの者が長野県水泳連盟の理事の方々と、高校側では元専門委員長の甲崎先生と私でした。

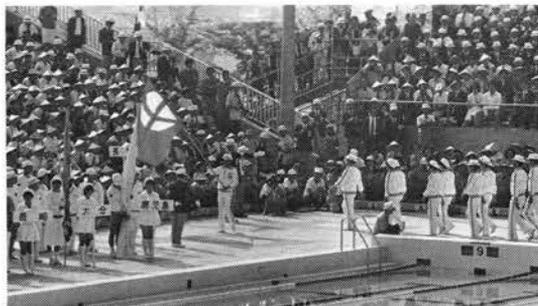
日頃、高校の水泳大会では競技役員としてお世話になっている方々で、そのため委員会は実にスムーズに運営された。

6月に入ってからは毎週一回会議が持たれ、8月25日のプロ編成会議と準備も整い、競技補助員として市内9校より、延130余名の生徒諸君の力も大変役立った。

いよいよ9月10日、開会式にふさわしい上天気。皇太子殿下、同妃殿下の御臨席をいただき、全国津々浦々から水の精鋭を迎えて大会の幕が開かれた。

本県勢の成績は、男子はあまり振わず、成年男子400米自由型で中山一司（茅野高出）が決勝9位のみであった。

水泳専門委員長 西 沢 光 一  
(昭和52年～和和54年)



水泳競技会 開 会 式

女子勢は力を発揮して、200米混合リレーで武居宏子（皐月高出）、五味美千代（茅野高）、三井久仁子（中央高）、吉池美香（中央高）選手が大活躍して決勝で3位入賞した。

その他、2名の女子が決勝進出を果し、飛び込みも含め本県は総合で8位と、まずまずの成績であった。

本大会を振り返ってみて、今更ながら他県のレベルの高さには驚かされた。しかし、本県の水泳のレベルは徐々に向上していることは事実である。開催県として、全国から集まった水の精鋭から大いに学びとり、自己を磨かなければいけない。水泳競技は孤独との闘いでもある。目標を高くもち、闘志を大いに燃して栄光をつかむよう、若人は更に励んで欲しい。

## やまびこ国体水球について

水球専門委員長 市岡洋一

本県に水球チームが発足し、本年で9年目であるが、やまびこ国体にはまだ4年目のチームであった。私自身が水球というものを知らないばかりか、選手になろうとしているメンバーですら水球のルールを知らない。

また、実際競技を見たことのない者ばかりで、国体の水球チームが出発した。

五月には連休を利用し、上林温泉プールで合宿をしたが、まず泳ぐことからはじめ、段々と泳ぐ距離を長くしていくことにしたが、仲々全員が同じスピードでは無理で、個人の指導に切り替え、初めての合宿が終るところには、成果が表われてきた。(選手の中には、スキー部員が3人居た)

その日以来、毎土、日曜日は、長野東高プールでの合宿続きであった。

六月の初旬には練習試合に出かけることになった。群馬県の前橋商業高校(この学校が一番近い所)に世話になり、何試合かを消化し、せっかく来たのだからと勢込んで、もう一試合して帰りの電車に乗ると、生徒は喋る元気もなく長野まで来てしまった。結果については言うまでもないことだった。

しかし、次の日に前橋商業高校チームが関東でトップクラスのチームであると聞くと、元気をとり戻し練習をした。

夏休みには、大学へ行って合宿することに決定し日体大へ出かけたが、練習を見ただけで選手達の顔は青ざめた。その日に帰りたいと言い出す選手もいて夜のミーティングは大変であった。それでも、ここまで来たのだからしっかりやろうとの意気が統一



大会風景

し、苦しい練習を頑張りとおした。その後、この合宿が生徒達に自信となり、何回かの合宿後に国体が行われた。皇太子夫妻の前での試合は、準優勝の岡山県と18-0というスコアであったが、翌日の敗者戦では4-3で勝ち、生徒と共に勝利の涙を流した。

しかし、今考えてみてもまだまだ人に知られていない競技だと思う。1クォーター7分で4クォーター、インターバル2分で、1チームが7人……等。

ボールゲームである以上県内に……いや北信地区にもう1チームでもあれば対外試合が出来るのだが。

一番近いところで群馬県では、本当に大変である。北信越も順調にチームが増加しつつある中で、県内でも北信にもう1チーム出来ることを是非望んでいる。

## 53 国体体操競技の思い出

体操(女子)専門委員長 香山田鶴子  
(昭和51年～昭和56年)

長野市で開催されました53国民体育大会の体操は、51高校総体に引き続き長野市役所の事務局に同じ人が詰めて準備をしました。

施設・用器具・練習会場ともに、51総体時のものを使用致しました。しかし、役員・審判員・補助員は種々の事情で変り、高体連から体協が主体的になって運営しました。

また、成年の部もあり、仕事はいろいろありましたが、総体の時と違って先が読み、気分的には割に楽であり、手順もよくいきました。

但し宿舍割り、輸送計画、弁当の注文などは特に気を配り、補助員は高校生もあまり使えず(授業日が多く)婦人会にお願いしたり、輸送計画、宿舍割りは市の係員にお願いしました。

本会場も寒い気候に向うので、ルールに定められた最低温度を保つように手配したこと。これは会場借用料の外に経費がかかります。

また、総合開会式に出ない予定(遠隔の松本市のため)が、監督会議に異議が出て急拠バス輸送の手配をして廻ったこともありました。競技期間中は各県の監督から種々の要望、注文があるため、体育館横の仮設事務局に遅くまで詰め、夕食も国体弁当の冷たいご飯にお湯をかけて食べたり、体操協会から差し入れの豆乳(豆腐屋で買ったもので青臭く美味でない)を飲んで元気を出したことが思い出されま。インタハイと違って稍お祭りのな面もあるため



大会風景

審判員も多少楽しそうに見えましたので昼休み車で小布施まで食事に出たり、りんご園に案内したりの睦まじい雰囲気も体験しました。

緑の下の力持ちで、あまり目立つ存在ではありませんでしたが、無事終了し全国大会に参加する度、他県の皆さんから、長野国体は良かった、と褒められ嬉しい思いをしております。

# 加 盟 校 の 横 顔

1	飯山照丘	177	18	長野工業	185
2	飯山北	177	19	長野清泉	186
3	飯山南	178	20	長野女子	186
4	下高井農林	178	21	文大長野	187
5	中野	179	22	長野中央	187
6	中野実業	179	23	阜月	188
7	中野西	180	24	中条	188
8	須坂商業	180	25	犀峡	189
9	須坂東	181	26	長野南	189
10	須坂	181	27	篠ノ井	190
11	須坂園芸	182	28	更級農業	190
12	上水内北部	182	29	篠ノ井旭	191
13	長野吉田	183	30	松代	191
14	長野	183	31	屋代	192
15	長野西	184	32	屋代南	192
16	長野商業	184	33	坂城	193
17	長野東	185	34	埴生	193



長野県 飯山照丘高等学校

所在地 飯山市大字照里 808

校長 斎藤 和夫

創立 昭和49年1月1日



千曲川が県境の山峡に流れこむ手前、北信濃の長峰の丘陵にたつ近代的な校舎はまさに雄大。春夏は晴れやかに、冬は雪をかき分けて300名の生徒(学級数9)が通ってくる。昭和49年に飯山南高校照丘分校より独立して、「健康で自主性のある、心豊かな生徒を育てる」の教育方針のもと、勉学に特活にといそしんでいる。運動部は、柔道・剣道・弓道・卓球・バレー・バスケット・サッカー・スキーと、昭和57年約17,000㎡のグラウンドが完成して、軟式野球・軟式テニスが誕生し、活動している。全校の半数以上が運動部に所属して、活発に連日練習している。かつて、スキー部は県大会優勝の実績をもち、最近卓球が個人戦で県大会、スキー部がインターハイへ出場している。本校は、魅力ある高校づくり推進校として、課外活動の活発化を目指しているが、今後さらに、部活動を充実させて、意気さかんな活気あふれる学園とすることが、職員・生徒の願いである。



長野県 飯山北高等学校

所在地 飯山市大字飯山 2610

校長 外山 義勇

創立 明治36年4月15日



素朴でまじめな忍耐強い伝統的校風を根底におき、積極性・指導性を養い、のびのびと充実した学校生活を送ることを目標に勉学と部活動の充実に努力している。明治36年創立以来80周年、今日の如くスキーを普及発展させた原動力は飯山北高にありと言っても過言ではあるまい。冬期間の体育授業にスキーを課しているのも昔からずっとつづいている。スキー部が各種大会に数多くの優勝の栄冠を獲得し、この間多くの名選手を生み、日本スキー界を担う人々を送りだしている。剣道部・弓道部も「北高に剣道部あり弓道部あり」とその名をとどろかせている。柔道部・体操部も過去の栄光をもう一度と復活をめざして努力してきている。また最近卓球部・野球部の活躍がめざましい。その他バレー部・陸上部や女子運動クラブが伸びてきている。明治・大正・昭和と旧制飯山中・飯山北高が輩出した卒業生一万余名、母校ではぐくまれたものは今も脈々とそれぞれの胸に流れ続けている。



### 長野県 飯山南高等学校

所在地 飯山市新町裏 226

校長 澁井 光久

創立 大正10年 4月1日



大正10年、郡立下水内高等学校として開校、翌年、県に移管され、長野県飯山南高等学校と改称、現在に至る。昭和36年照丘分校が落成、昭和49年独立して照丘高校になるまで分校として存続。昭和50年、全日制男女共学となり、男子54名が入学。現在男子生徒 206 名。定時制は昭和56年 3月をもって幕を閉じている。校舎は県下でも最も古い木造校舎であり、昭和57年改築案が出されたが、新幹線構想、又将来の生徒数大巾減のあおりを受け、現在行き詰まった状態にある。そんな環境の中にあつて、地域の特性を生かし、昨年より強歩大会を実施（男子 38.5km、女子 32km）、90%以上の完歩率を見た。クラブ活動は全体的には低迷を続けているが、スキー部、卓球部を中心に少ないながら活躍を見せ、スキー部においては41年に総合優勝、それ以降7連勝を飾り、更に52年、53年、60年と計10回の全国制覇を成し遂げた。卓球部においても女子が県2位に入賞。四季を通じてすばらしい環境にあり、豪雪に耐えながら、地域に根ざした教育を目標に頑張っている。



### 長野県 下高井農林高等学校

所在地 下高井郡木島平村穂高 2975

校長 巢山 第三郎

創立 明治39年 4月27日



本校は、奥信濃地域の振興を担って、明治39年創立以来本年で79年間、単独の農業高校として一貫して農業教育をすすめ、地域社会の発展に寄与してきた。この間に送り出した卒業生は、8,000 余名におよび、地域社会はもとより広く県内外で活躍している。

とくに創立70周年記念事業によって、農場、その他の諸施設・設備が整い学習環境が充実した。間もなく80周年を迎え、さらに学習環境の整備計画が進められている。

また、生徒会クラブ活動も活発であり、第一回全国高等学校スキー大会総合優勝・県下総合4連勝・インターハイ出場・世界ジュニア選手権出場（昭和60年スイスツエルマツト）のスキー部をはじめ、野球部、測量競技8連勝の農業クラブが伝統に輝く成果をあげている。昭和59年度には、第35回日本学校農業クラブ全国大会長野大会で意見発表の部門も担当した。

毎年、卒業生の70%以上が郷土に残り、地域の農業および産業人として尽している。



長野県 中野高等学校

所在地 中野市小館6  
校長 丸山治夫  
創立 明治44年4月

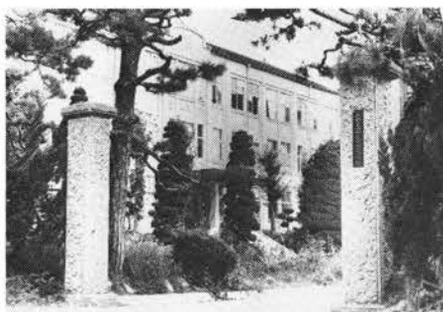


西に北信五岳、東には志賀の山並みが階上より望まれる。林立する校内の桜からは季節になると一面に花吹雪が舞い散る。明治44年高等女学校として発足し多くの卒業生を輩出している。一時途絶えた男女共学も昭和49年に再開し現在に至っている。在籍生徒1,100余名、学級数25の大規模校である。運動部の活動は近年増々活発になり、早朝から元気な練習姿を見る事が出来る。運動部数14で、バトミントン、陸上部等が毎年好成績を上げ、全国大会に出場している。ことに今夏の野球部は、県のベスト8に初めて仲間入りを果し、本校生徒だけでなく、中野市民の志気を大いに高めてくれた。他部の今後の活躍も十分に期待できそうである。しかし、グラウンドが狭く野球、ソフトボール、陸上等思う存分の練習ができず、互いに譲り合って使用している現状であり、今後の改善が急がれる。部活動を通じて心身を鍛え、明るく活気ある校風づくりに努力していきたい。



長野県 中野実業高等学校

所在地 中野市三好町2-1-53  
校長 長田善八郎  
創立 明治39年4月26日



本校は四季を通して賑わう志賀高原の玄関口中野市の中心に位置した商業、工業両科そろった実業高校である。現在全日制・定時制合わせて1,060名が在籍し、運動クラブ数は16。年々活動が活発になってきた。特にスキーは全国大会で活躍し優勝者もだしている。それに柔道が県下敵なしの活躍をし、体操がそれに次ぐ頑張りをみせ、バドミントン、卓球も全国大会へ出場した。また定時制では4年連続で陸上が3年連続でバレーボールが全国定通大会で上位入賞を果たした。これらに刺激され他の多くのクラブが意欲的に活動し、体育館、グラウンドの使用は競争の状態であり、県大会へ駒を進めるクラブが多くなってきた。しかし、クラブ加入率は決して良くなく運動系・文化系合わせて6割ぐらいである。本校は遠距離通学者もいるためクラブ加入率を低下させていることもあるが、それだけではない。今後は部活動を通じて一つの目標を達成する喜びと身心の鍛練及び人間形成の場としてより多くの加入を勧め活気ある学校作りに努力していきたい。

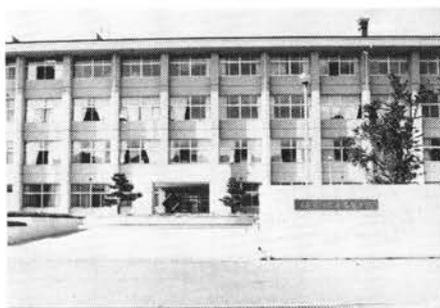


### 長野県 中野西高等学校

所在地 中野市西条 544 - 1

校長 倉沢任彦

創立 昭和58年11月1日



本校は、創造・探究・友愛を校訓に昭和59年開校された1学年8学級の新設校である。北信五岳を一望できる広い敷地で、職員・生徒一丸となり、「敬」と「愛」と「信」に満ちた学園創りに邁進している。本校は、クラブ活動の全入制を取り入れ、運動部は現在、硬式野球・サッカー・ソフト・陸上・バレー・バスケット・軟庭・卓球・バドミントン・柔道・剣道・弓道・スキー・新体操の14部に、全生徒の約7割が所属し、将来の飛躍をめざし、日夜練習に励んでいる。体育施設は、グラウンド(190m×110m)・テニスコート(4面)・小体育館・格技室は完備されているが、大体育館・弓道場は60年に、プール・合宿所は61年に完工が予定されている。今後、全入制の良さを理解し、学校・生徒会が一体となり、あらゆる困難を克服し、活気あるクラブ活動・学校創りを推進していきたいと願っている。



### 長野県 須坂商業高等学校

所在地 須坂市六角堂 1150

校長 小平学

創立 大正15年3月11日



本校の徽章はY.S.C.のアルファベット文字とYにまきついている蛇2匹と翼を組み合わせで作られている。Yの字にまきついている蛇2匹と翼ですが、商業の神と言われるマーキュリをあらわしている。現在創立60年の輝かしい伝統があり、卒業生も6,800名余を数え、誇りと自信をもって産業界はじめあらゆる分野で幅広く活躍しています。商業高校として、県下でいち早く事務教育の近代化に力を入れ事務機械、事務管理科目を設置して情報処理関係の基礎教育を実施しており、事務近代化や商品実験のための新しい器具の整備、活用など新時代に即応した商業教育の推進に努めている。教科学習とともに教科外活動がきわめて盛んにおこなわれている。それは人間的つながり、規律、自主性、積極的な意欲、愛校心などの育成のために部活動を重視している。校舎も全面改築され須商の歴史もあらたにスタートしようとしている。



### 長野県 須坂東高等学校

所在地 須坂市日滝 4-4

校長 山本吉夫

創立 大正7年4月30日



北信五岳を仰ぐ須坂市の東、鎌田山のみどり豊かな環境と60余年の歴史と伝統をもつ須坂東高等学校は、女子650名、男子300名の普通高校として、8年前に男女共学となりました。

特に、クラブ活動が盛んで、かつて陸上競技と体操競技の名門校として知られていました。最近では女子バレーボール、男女水泳、女子体操、女子バドミントンなど全国大会へ出場しました。発足間ない男子クラブのバスケットボール、サッカー、バドミントン、弓道、野球など着々と実力をつけてきました。昭和58年度春季北信大会では7種目にわたる優勝杯を得ることが出来ました。このことは、スポーツのもつ教育的意義が理解され、学校全体の協力体制が整えられ、生徒の熱意と科学的トレーニング法の採用などによっているように思われます。今後ますますクラブ活動を通じての人間形成を目ざして、教育全般の向上に全校スクラムを組んで当たりたいと頑張っています。



### 長野県 須坂高等学校

所在地 須坂市金井原 1518-2

校長 西村忠彦

創立 大正11年10月6日



本校は須坂市の南東に位置し、北信五岳を一望するだけでなく、西方には北アルプス連峰が屏風の如く連なり、白馬三山の秀峰がひととき目立つ高台にある。創立は普通科男子校として発足したが、新制高校と同時に女子が入り、年毎にその比率が高まり、本年は男子660名対女子460名の割合となっている。校章は、四阿山に群れ咲く深山竜胆の正視形である。また、本校生は臥竜魂の所有者となるべく、正義高潔、質実剛健の心胆を錬る伝統が受け継がれている。教育方針のひとつとして、文武両道を奨励し、クラブ活動が実に盛んである。水泳、卓球は旧制時代から名を馳せたが、現在は幾多のクラブが全国大会に駒を進めている。定時制は昭和23年より併置され、30年台後半には400名の生徒が学んだが、現在は70名であり、クラブ活動が盛んである。特にバスケットボールは本年北信越大会に出場した。進学校として、文武両道の道は険しいが、豊かな教養と不屈の体力、精神力の持主になるべく、今日もクラブ活動が行われている。



長野県 須坂園芸高等学校

所在地 須坂市大字須坂 1616

校長 神津 昭

創立 明治45年 4月11日



地域の農業振興の大きな期待を担って、明治45年現在地上高井郡立農学校として創設された。以来今日に至るまで「地域のために働らく人材の養成」という当時の建学の精神は続いている。組合立の時代を経て県立になり、昭和33年より須坂園芸高等学校となり、昭和57年10月創立70周年の記念式典を盛大に挙行了。70年間の卒業生の大部分は「土着の精神」を発揮して、地域農業の中核者は勿論、政治、経済、文化の各方面に活躍しており、園芸を語らずして当地方を語ることはできないといわれている。戦前より特に運動が盛んに行われていたが、その中でも陸上競技に秀で「陸上王国の上高健児」と名声をはせた。昭和23年2月第一回全国中等学校駅伝大会で第3位入賞、また野球では昭和45年甲子園大会に出場した。吹奏楽クラブは5回東海大会に出場している。現在は先輩の残した数多くの業績を受けつぎ「明るい学園 美しい心」の教育モットーのもと職員・生徒打って一丸となり努力している。



長野県 上水内北部高等学校

所在地 上水内郡三水村普光寺<sup>156</sup>

校長 井上 昭英

創立 明治42年 5月11日



信越五山を背景に、東遙かに三国の山脈を望む景勝の台地に、地域文教地区の中心として位置する恵まれた環境にある本校は、創立以来70余年の伝統に培われた不屈の精神と豊かな人間性、創造力の錬成に励んでいる。生徒数は3年7学級、2・1年8学級、計23学級 890名である。

運動クラブは男女17の部と2つの同好会があり、240名が加入し放課後2時間半の練習に励んでいる。しかし、本校は列車通学者が75%にも達し、しかも年々増加の傾向のある中での練習時間の確保、運動部加入者減等の問題を抱えている。その中で、今年度陸上・軟式テニス・空手道が北信越大会に出場し、他のクラブも顧問ともども活発な活動を続けている。

生徒の大半が就職する本校において、体育及びクラブ活動が生涯体育の基礎となるスポーツ活動の提供の場となれば幸いである。



長野県 長野吉田高等学校

所在地 長野市吉田 2-12-19

校長 平松 剛

創立 明治41年 4月22日



四阿山連峰が校舎の前方に見え、背景には飯綱山が聳える素晴らしい環境にあります。本校は農学校として創立したので、農学校にふさわしい校歌「撓まず倦まず晴耕雨読」が普通高校に変わっても現在なお脈々と生き続け、培われています。現在県内の産業・経済・教育・文化・政治などあらゆる分野において卒業生(1万4千余名)が活躍しています。本校は現在普通科1,280名余の大規模の進学校です。生徒会の運動班16、学芸班15、愛好会14のクラブ活動が所狭しと活発に活動しています。運動クラブ発足以来の対外試合は、バレーボールが岩手国体でベスト8に入り、バスケットボールが神奈川高校総体ベスト8、柔道は鹿児島高校総体個人戦ベスト8、スケート(フィギュア)岩手高校総体個人ベスト6、水泳四国高校総体(高飛び込み)2位。いずれのクラブも近年県大会等で愈々華やかに活躍している状況下であります。

また、併設されている戸隠分校は生徒数92名を数え、地域高校として着実な発展をし、バレーボールが定通北信越大会で4連勝するなど、クラブ活動が実に盛んであります。



長野県 長野高等学校

所在地 長野市上松 1-16-12

校長 小林 元亨

創立 明治32年 4月



明治32年、長野県尋常中学校長野支校が独立して長野県立長野中学校となった時を創立と定めている。以来80有余年、幾多の先輩が勉学に運動に常に県下の雄たらんと努力してきた伝統が、今も校内に脈打っている。全日制の生徒数1,300名弱。23の運動系のクラブで活動しているが、99%の生徒が大学進学希望という本校では「勉学と運動の両立」は宿命と言える。その宿命の中での、明治33年剣道、昭和10年柔道の全国制覇は別格としても、戦後だけをみても毎年、野球を含めて何らかの種目で、長野県を代表して全国大会へ駒を進めており、それが皆無であった年はない。昭和58年も剣道(団体)・軟式庭球(団体)が全国高校総体に出場している。定時制も生徒数が400名前後の時期があり、クラブ活動も活発で、第37回日本陸上選手権大会5,000m1位の伊藤貞夫の活躍を頂点として、多くの輝かしい戦歴がある。最近では生徒数が40名前後に減少し、やや低調になってきたとはいえ、定通大会では、なかなか頑張っている。



長野県 長野西高等学校

所在地 長野市箱清水 1455

校長 中山 博

創立 明治29年 4月10日



緑の山にかこまれ、四季折々の美しい花の咲く高台に白い五階建校舎がくっきりと聳えている。その校舎に昭和60年度より男子が入学し永い女子高校の歴史が変わって来た。校内は勉強にいそしみ、しっかりと落ち着いた優美な雰囲気に満ちている。全てにおいてやるき十分な生徒が多く、各部の活動情況は活発で、どのクラブも朝、昼、放課後とインターハイ、国体出場をめざして練習に励んでいる。体育施設も校舎改築と共に徐々に整え、各クラブ共に新たな歴史を作るために組織作りに力を入れ、今迄女子高校にはなかった、野球、サッカー等のクラブをはじめ男子のクラブが次々にでき、活気に満ちた活動が続いている。本校は過去インターハイ出場チームは陸上、バスケット、バレー、軟庭、卓球、体操、バド、水泳、山岳、弓道と数多く、中でも陸上個人、山岳団体の優勝は、永い本校の歴史のなかでも光っており、その他のクラブも数々の好成績を上げ、今後の各クラブの活動に尊い教訓を残してくれた。また、永く続いた定時制は長野高定と併合移転し、現在は通信制が併設されている。



長野県 長野商業高等学校

所在地 長野市妻科 243

校長 北 沢 輝 夫

創立 明治33年 6月11日



長野市を一望にする旭山の緑深き山ふところ、ここ上野ヶ原に位置を占め、建学以来八十有余年を、商業教育一筋に貫き通してきた県下商業教育の中心校であり、明治、大正、昭和の三世代の産業、文化の発展に貢献しつつ今日まで歩いて来た全国的にも古い歴史ある商業高校である。

交通の便や学習環境に恵まれ、現在の在籍生徒数は全日制男子 387 名、女子 792 名、学級数 26、定時制男子 44 名、女子 7 名の 4 学級。運動クラブ数、全日制 16 クラブ、定時制クラブがそれぞれ活躍している。特に昭和58年には、第2グラウンドの完成と共に45年ぶり夏の甲子園出場を夢見た野球部を始め、過去に輝しい歴史を持つ数々の運動クラブも、創立80周年記念事業としての第2体育館の完成、更に3階建部室も完成するなど、着々と諸施設が整備され、女子生徒の増加に伴ない女子の運動、文化両面にわたるクラブ活動の充実を図り、今後の部活動を通して活気溢れる校風と豊かな人間形成の根元にと考えている。



長野県 長野東高等学校

所在地 長野市大豆島 2743-1

校長 伊藤 邦雄

創立 昭和49年1月1日



長野県としては、50余年ぶりに新設された県立普通科高校である。「将来、国際的視野に立って社会の進展に貢献できる人材の育成に努める。このために明朗で秩序ある学校生活をとおして教養を高め、心身を鍛え、自主的で創造性豊かな人間形成を期する。」の教育方針のもとに、現在 27 学級、1,257 名が勉学と部活動の充実に努力している。

運動部総数 15。陸上競技、水泳、剣道、軟式テニス、テニス、バドミントン、男子新体操、弓道、フィギュアスケート、スキー、相撲、カヌーなどが全国大会に出場したのをはじめ、各部共に県内外で活躍している。

今後も部活動を通じて精神的、肉体的に若者を鍛えると共に、その技術を身につけ、互いに協力し、一つの目標を達成する喜びをわかちあえる人間づくりと、活気ある学校づくりを推進していきたいと願っている。



長野県 長野工業高等学校

所在地 長野市安茂里孤島 7473

校長 加納 洋

創立 大正7年4月25日



戸隠の山腹に源を発する裾花川の清流が犀川と交叉する河畔に、静かなたたずまいを見せて建つ学舎。大正7年開校以来67年を数える本校の歴史である。全日・定時千二百有余の生徒が、「至誠努力」の校訓の下、勉学・部活動に励んでいる。運動部では、甲子園出場を目指す野球を始めとして16の班が、日々練習に懸命である。最近遠距離通学者が増加したせいか、部活動への参加率の低下、従って成績も全般的には伸び悩みの傾向にあるが、昭和60年度の活動ではバレー部の北信大会優勝、サッカー部・陸上部の県大会出場等次第に向上している。本校は立地条件としては比較的恵まれているので、施設・設備の充実を図り部活動全員加入を今後の目標として、肉体・精神共々に鍛え、職員生徒一体となつての活動を推進し、活気ある学校にしていきたい。工業高校ということで卒業後すぐに社会の一員として活躍する者が多いので、社会の形成者としてのよりよい資質を養うよう更に努力を重ねてゆきたいと考えている。



### 長野清泉女学院高等学校

所在地 長野市箱清水 2345

校長 飯田 京子

創立 昭和24年4月1日



永遠の価値あるものをめざし、明るく喜びにみちた人間を育成するために“神のみ前に清く正しく愛深く”を教育のモットーとする長野県唯一のカトリック学校である。学校は長野市城山の高台にあり、眺望は素晴らしく善光寺平を一望し、遠く志賀の山並が続いている。宗教教育と教科の学習のなかでも運動部の活動も盛んであり、58年冬には卓球場を新設し体育、運動部の充実を願っている。運動部は、新体操、卓球、テニス、バスケット、バレー、バドミントン、剣道、陸上の8部があり、放課後の限られた時間のなかで活動している。新体操は、北信高校体育大会では59年の秋まで団体12連勝を続け、56年6月には北信越大会で個人2位となった。またバスケットは57年春の北信高校体育大会で優勝し、その夏の関東地区カトリック大会でも優勝した。これらは他の運動部に活力を与えることとなった。それとともに部活動は心身共に人間育成に役立っている。



### 長野女子高等学校

所在地 長野市三輪 9-11-3

校長 小林 俊文

創立 大正14年5月21日



長野市の一角、善光寺の東側、宇木に緑と住宅地に囲まれた静かな学園があります。大正14年5月21日、長野和洋裁縫女学校を創立して、今日の長野女子高等学校へと発展してまいりました。創立以来、自主独立と風雪に撓まない強じんな心身の育成を建学の精神としてきております。本校の校章である白梅は清楚にして芳香をただよわせていますが、これを具体的に象徴したものです。全校で九百数十名の生徒を数え、女子としての一貫した女子教育を貫いています。運動クラブは、硬式テニス、軟式テニス、バレーボール、バスケットボール、卓球、陸上競技、剣道、ソフトボール、バトントワリング、等放課後約2時間あまり懸命に、日々練習に励み、その技術と精神を身につけ立派な人間形成を目指して、努力している状況です。



文化女子大学附属  
長野高等学校

所在地 長野市上千田 141  
校長 大沼 毅  
創立 昭和6年4月15日



本校は、人間性豊かな近代女性の育成を目指し、昭和6年、故尾崎はつ先生によって創設された女子の高校である。爾来、長野文化高校として一貫して女子教育に貢献し、昭和58年12月1日、文化女子大学附属長野高等学校と改称、進学中心の普通高校として今日に至っている。

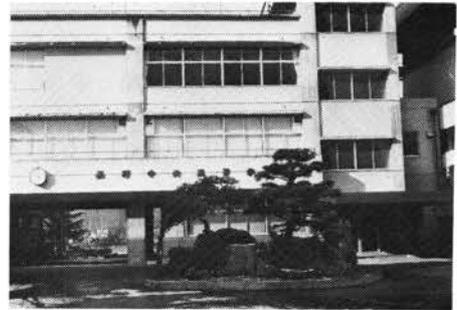
生徒の通学範囲は広く、北信一帯を中心に、東信は上小・北佐久、中信は松本方面に及んでいる。そのため部活動の練習時間も充分にとれず、また生徒数が少なく、部活動も少ないが、少数精鋭、相互に切磋琢磨して練習に励んでいる。特筆されるのは体操部である。部員7名であるが、昭和59・60年と北信大会に優勝、昭和60年には県大会の優勝を果たした。また、体操・水泳は昭和60年の国体に出場するなど、各部それぞれ精一杯の活躍をしている。

昭和59年から自由講座（必修クラブ）を設け、研究関係・体育関係と多彩な研究と活動を展開し、学内全体の体位の向上と研究心の振興に努めている。



長野中央高等学校

所在地 長野市東和田 253  
校長 山崎 隆晴  
創立 昭和34年1月26日



地域の要望に立ち、昭和34年創立以来、建学の精神である学業と知性、質実剛健、友情と情操、自主自制を旨として人間練成に厳しい修練に怠りないでいる。運動クラブ15、約450名の部員が校内の施設と近くの東和田運動公園の諸施設を利用することにより、恵まれた環境の下で練習にはげんでいる。進学・就職が好成績をあげつつあるのに併せて、運動部の活況が見られ、水泳、体操が県内での10連勝をはさんで更に実績をのばし、北信越での優勝、連年全国大会出場を果たし、その他男子バレー、野球、弓道、サッカー、バドミントン、剣道等県での優勝、準優勝の実績をもつ。単に競技成績のみでなく、本校教育内の生徒活動であるので、クラブ活動が自己の人間形成にいかにかプラスしているかを見つめさせる姿が地につかなければならぬと考える。



### 長野市立 皐月高等学校

所在地 長野市徳間3-1133

校長 金子 萬次郎

創立 大正8年3月31日



長野市の東北、緑につままれた若槻丘陵に沿う静かな環境に建つ。大正8年創立の長野市実科高等女学校を前身として、昭和43年市立高(被服)、第二高(普通)の合併により発足した。現在は、被服科12クラス、普通科12クラス、生徒総数1,050名からなる異色ある女子高校である。

運動クラブは、陸上、ソフトボール、バスケットボール、バレーボール、バドミントン、体操、水泳、軟式テニス、卓球、ワンダーフォーゲルの10クラブと数は少ないが、五種公認グラウンド、2つの体育館、プール、卓球室等、恵まれた環境の中で活動している。近年、全国大会、北信越大会、県大会出場等、活躍目ざましい陸上、ソフトボールを中心に他のクラブもこれに続けと顧問、生徒一丸となって練習に明け暮れている。

基礎体力の増進、実戦力での練磨はもちろんのこと、苦しみに共に耐え、喜びを分かち合う精神力とチームワークの向上が今後の課題である。



### 長野県 中条高等学校

所在地 上水内郡中条村2378

校長 宮崎 和 順

創立 明治42年4月1日



本校は過疎化が進行しつつある、上水内郡西方の西山地域山村に位置する、小規模普通高校である。教育方針「健康な心身と豊かな情操を養う」を信条に明治42年郷土西山の人々の教育に対する強い熱意と努力によって、創立された70有余年の伝統を持ち、卒業生11,000余名を超え、故西沢権一郎(前知事)を始め県内外各方面で活躍しております。現在在籍数は440名、学級数12学級、運動部数14部、約5割の生徒が運動部に属し活動している。本校も魅力ある学校づくりに取り組み、最近各部の活躍も著しくバレーボール・サッカー等の活躍に刺激され、他クラブも熱心に練習に励んでいる。又、体育施設も着々と整備され、待望のグラウンド拡張は、実現に向って進んでいる。なお、第2体育館建設の構想も進められている。

今後も学校全体が、活気に満ちた明るい学園作りに努力していきたい。



### 長野県 犀峽高等学校

所在地 上水内郡信州新町1000-1

校長 岩崎 彌

創立 大正10年



本校は国道19号線に沿い、四季を通じて美しい山々に囲まれた自然環境の中にある。創立60有余年、犀峽の地域に根ざした普通高校で、卒業生は約7,000名、県内外の各方面で活躍している。現在の在籍生徒数は402名で、クラブには全員加入しており、このうち約半数の生徒が運動クラブに所属している。バスの運行回数が少なく、毎日の練習もバスの時間に合わせて、切り上げなければならないという悪条件にもかかわらず、平素の活動は近年ますます活発になってきた。また近くに高校が少なく、対外練習試合も満足に出来ないという制約を受けながらも、各種大会における成績は次第に向上している。学芸系クラブにおいては、地道な調査、研究、奉仕等積極的に地域活動にとりくんでいる。校地は狭く、校舎は木造で老朽化しており、各種活動に不便を感じているが、本年漸く移転改築が本決まりとなった。64年度の移転(予定)に向けて、更に地域住民の要望に応え、活気に満ちた特色ある高校づくりを目指して努力している。



### 長野県 長野南高等学校

所在地 長野市稲里田牧 236-2

校長 倉科 訓之

創立 昭和58年4月1日



善光寺平を流れる犀川と千曲川の中の川中島合戦の由緒ある地に、地域の強い要望で58年4月に開校された新設高で、全日制普通科1学年10学級は県下最大規模。明るく活気に満ちた学校造りを目指し、開校早々運動関係19、学芸関係14のクラブ、同好会が一斉にスタートし、殆んど全員が加入している。上級生のいないこと、教職員が1人何役もといった問題はあるが、他校との交流を図ったり、春の大会から参加したりして励みを持たせ、技術面のみならず精神面の育成にも意を用いている。



長野県 篠ノ井高等学校

所在地 長野市篠ノ井布施高田 1161-2  
校長 福田 芳典  
創立 大正12年4月8日



創立60有余年、卒業生1万8千名を超える本校は、大正12年更級女学校として誕生した。後、篠ノ井高等女学校、更には戦後の学制改革で篠ノ井高等学校となり、夜間定時制を併設した。昭和60年度は全日制26学級1,179名、定時制4学級54名。運動部は15。約600名が活躍している。59年度には野球部が甲子園に出場という快挙を成し遂げ、60年度には陸上部が全国高校総体で、男子800mで優勝、ハンマー投げでは6位入賞など見事な成績を挙げ、弓道、ウェイトリフティングなども出場した。また、バスケット、バドミントン、軟式庭球、ソフトボールなどの実績も華やかなものがある。狭隘なグラウンド、また施設設備の不十分な中で学業と運動との両立に最大限の努力を傾けつつ、心身を鍛え、社会性のある人間づくりを目指して、職員・生徒一体となって頑張っている。また、60年度より北信高体連の事務局校として緑の下の仕事にできる限りの努力を傾けている現状である。



長野県 更級農業高等学校

所在地 長野市篠ノ井布施高田 200  
校長 古川 彦次  
創立 明治40年4月1日



篠ノ井駅から東へ2km、広い前庭芝生の緑、幾棟もある校舎の統一された赤い屋根とのコントラストが美しい。正門を入ると初代・3代校長矢田鶴之助先生のブロンズ像がある。

創立以来80年、「質実剛健・智徳兼備」を校訓として現在も受け継がれ、常に時代に先がけた農業の担い手や、地域のリーダーを輩出し現在に至っている。校舎は大正10年塩崎の唐猫地籍より現在地に移転改築、更に昭和38年現在の鉄筋コンクリート3階建の校舎となった。

生徒は各学年共5学級（農業科1、園芸科1、農業化学科1、生活科2）、性別は男子3、女子2の割合で612名が勉学に励んでいる。運動クラブは12あるが、その活躍としては、昭和34年の全国高校駅伝大会への出場と、最近ではバドミントンクラブが53年の全国高校総体に団体出場を果し、その前後も全国大会に選手を送っている。



### 篠ノ井旭高等学校

所在地 長野市篠ノ井御幣川 1045  
校長 窪田利治  
創立 昭和35年4月4日



国道18号線沿いに位置し、リング畑と住宅地に隣接している。昭和60年6月4階建て校舎に増改築された。新校舎には視聴覚機材をふんだんに使えるような施設・設備が整えられている。広い廊下にはロッカールームや清掃具入れなどが組み込まれている。また、エレベーターもあり、車イス生徒の移動も楽にしている。創立25周年の記念にふさわしい新校舎となった。

現在の生徒数は、男女あわせて508名で、卒業生は5千人にならんとしている。クラブ活動はここ数年、生徒数減により不活発さが見られたが、120運動部に所属している生徒は、明るさや素直さ、努力面で他生徒の良い刺激となり、全体の雰囲気盛り上げている。また必修クラブの活動が文化的な面で、全校生徒の意欲をかりたてている。とくに学園祭等で発表し、その成果に見るべきものが多かった。



### 長野県 松代高等学校

所在地 長野市松代町西条 4065  
校長 小池和良  
創立 明治39年5月2日



明治39年、松代町立乙種農学校として創立、以来80年にならんとする県下でも古い歴史と伝統をほこる高校の一つであり、「克己」を校是とし勉学と部活動の充実に努力してきている。昭和43年、校舎全面改築により旧真田邸跡地より現在地に移転した。皆神山の麓、緑に囲まれたのどかな田園の古い町並を眺望できる高台にあり、学習環境にも恵まれている。全日制商業科10学級、普通科9学級、計834名、及び定時制商業科4学級、計24名が在籍している。運動部数は15で、全校の半数以上が所属している。かつては陸上、軟式庭球、排球、剣道等の各部が好成績をのこした。現在は野球、テニス、水泳、バドミントン、レスリングの各部の活躍がめざましく、野球、テニスでは県下でも常に上位にある。特にテニス部では、毎年総体・選抜等の全国大会に多くの選手が出場し大活躍をしている。より多くの生徒が入部し、学校、生徒会が一体となり、活発な部活動、特色ある学校作りをめざしている。



### 長野県 屋代高等学校

所在地 更埴市屋代1000

校長 田中 三郎

創立 大正12年



「質実剛健」の教育方針のもと、創立60周年（昭和58年）も過ぎ、学校環境は、将来の高速道路となる中央道長野線と関越道の分岐点近く「青垣山」と校歌にある。北アルプス・戸隠連峰や菅平・志賀・聖高原と川中島古戦場の茶臼山・皆神山などの連山眺望抜群で、全国的に有名になった「森のアンズの里」の匂うところ、鳩の校章のもと、26学級、男女1,180余名が380万㎡の「魂のふる郷」で文武に励んでいる。

運動部は、男女500余名が20余部に参加し、全国大会10回余出場のハンドボール部から、全国大会出場経験のある伝統の陸上競技部、柔道、弓道、バスケットボール、水泳、軟式テニスに続けと放課後6時すぎまで、県制覇を目指して頑張っている。近年は、女子生徒が3割をこえて、練習場の不足に悩み乍らもハンドボール、軟式テニス、水泳で全国大会出場を果し、女子校と間違えられそうな勢いである。



### 長野県 屋代南高等学校

所在地 更埴市屋代2104

校長 小松 一弘

創立 明治42年4月1日



創造性の源泉である「自発」と、人間形成の基本的要素である「誠実」が本校の教育目標である。これを受けて全校男女生徒（780名余）は、規則正しい学園生活を実践し、古い伝統をふまえつつ、より新しい方向と真実を求めて歩みを進めている。千曲川の清流に身と心を浄め、冠着山を仰ぎ見る環境に位置する本校は、徳性の体得、学力の向上、体力の充実を図るのが教育方針である。運動部は、排球、軟庭、硬庭、籠球、卓球、陸上、ソフトボール、体操、野球、サッカー、剣道、バドミントン等があり、平素の活動状況は年々活発化してきている。最近ではインターハイへ体操、陸上、北信越大会へ剣道などが出場した。

運動施設面の大きな特色としては、千曲川河川敷内に設置されている第二グラウンドである。学校から約1.5キロ離れた西方にあたり、野球、サッカー、陸上などの練習をおこなっている。川の瀬音をバックに、広々としたグラウンドで技と力を磨いている。



### 長野県 坂城高等学校

所在地 埴科郡坂城町 6727-1

校長 上原武則

創立 明治43年 4月26日



坂城町の北東、葛尾山を背景に千曲川を一望できる丘陵地を切り開いた所に、昭和60年に完成した4階建ての理科棟と管理・普通教室棟がある。新体育館は62年完成予定である。本校は長野県組合立埴南農蚕学校として設立、幾多の変遷を経て現在に至っている。また定時制課程は昭和23年に設置され、昭和56年その歴史を閉じた。体育施設は、三つのグラウンドと柔剣道・卓球場・体育館・プールで、それぞれのクラブが盛んに行われている。主な活躍は、ハンドボール部の全国大会三回出場、県新人戦7回優勝、剣道部では、男女団体・個人で常に上位を占め、女子団体では、57年より3年連続全国大会出場（通算4回目）と60年には女子個人で全国大会出場という輝かしい戦歴をほこっている。他の運動部もハンド・剣道に続けと毎日練習に励んでおり、各顧問も互いに協力し、一つの目標を達成する喜びを分かちあえる部づくりを推進したいと願っている。



### 埴生高等学校

住所 更埴市杭瀬下

創立 昭和32年 4月1日

閉校 昭和53年10月31日

昭和32年黒木義雄を理事長兼校長とし、普通科・商業科を併設して開校。以後、33年自動車科、35年機械科・電子科・47年プラスチック科・理数科を設置し、“逞しい実行力のある青年子女の育成”を教育方針として、地域や時代の要請に応じてきた。

クラブ活動は、野球、陸上、バスケットボール、サッカー、卓球、柔道、剣道、弓道等があり活動も盛んであった。

昭和53年3月最後の卒業生を送り出した。卒業生の総数は3,900名である。

## あ　と　が　き

昭和55年から始まった「北信高体連のあゆみ」の編集作業は、ようやく全ての原稿をまとめ、印刷へまわすはこびとなりました。この間、当初予定を1年オーバーし、まる6年の歳月を要したわけであります。

「北信高体連のあゆみ」が企図された経緯と具体的な編集作業の経過は、本文の「専門部のあゆみ」のうちの「調査研究」に詳しく述べられている通りですが、編集作業の遅れにともない、名称を「北信高体連35年のあゆみ」から「北信高体連のあゆみ」に変更したことを申し添えておきます。

内容面の柱である「専門部のあゆみ」は、各専門部の小史と大会記録から構成されていますが、記録のまとめには、各専門部のご協力をいただきながら編集委員会としても委員会の大半をその収集、整理に費やしたにもかかわらず、相当に不明な箇所を残してしまったことは残念ではありますが、次の機会により正確なものを期待し、一応の区切りと致しました。北信高体連の大きな流れについては「北信高体連のあゆみ」としてまとめましたが、事務局の膨大な資料を十分に生かすことができなかつた点、力不足でご容赦いただき、歴代会長、理事長の先生方に在任期間の思い出を寄稿していただいた「発刊に寄せて」や専門部の小史を参考にいただければ幸いです。

編集作業を進める中で、発足以来40年になんなんとする北信高体連のあゆみは、多くの先輩の方々によって支えられて発展し今日に至っていることをつくづく実感し、大きな感動を覚えるとともに、先輩各位のご努力にあらためて敬意を表すものであります。編集を終えるにあたり、6年間を振り返り、ようやく最終段階までこぎつけた安堵感と同時に、あゆみを辿るに足るものであったか不安でもありません。

最後に、編集には関係各位のご協力が不可欠でありました。お忙しい中原稿をお寄せくださいました方々、貴重な資料や写真をご提供くださいました方々、信濃毎日新聞社、そして、編集会議のたびにいろいろご協力くださいました長野吉田高校・篠ノ井高校の事務局の先生方に心から感謝申し上げます。

昭和61年1月28日

編集委員長 塚 田 修 三

編集委員長	山 岸 重 夫 (昭55～昭57)	編集委員	相 沢 和 典	編集委員	中 村 一 幸
			〃 石 坂 喜久雄		〃 平 井 準一郎
〃	宮 坂 正 篤 (昭58)		〃 北 原 勲		〃 町 田 暁 世
			〃 小 池 宗 男		〃 松 橋 昌 美
〃	塚 田 修 三 (昭59～昭60)		〃 清 水 泰 雄		〃 山 際 莊 一
			〃 鈴 木 文 雄		〃 山 田 栄一郎